

工 事 番 号							
設計年度	令和 3 年度		橋梁耐震補強工事(市道港町5号線曙橋) 三原市 港町三丁目 補 国 助 庫 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 施工延長 L=52.9m ポンプ 床掘 V=350m3 橋脚補強Co（水中不分離性） V=54m3 無収縮モルタル V=1m3 鉄筋（エポキシ樹脂塗装） W=5.054t 仮設工 一式							

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原港町三丁目 橋梁耐震補強工事（市道港町5号線曙橋）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・土木工事共通仕様書（令和2年8月）広島版

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 材料

第1節 水中不分離性コンクリート

当該工事における次の対象構造物は水中不分離性コンクリートとして施工し、次のとおり取り扱うこと。

- 1 対象構造物
橋脚巻き立てコンクリート構造物。
- 2 打設数量の確認
対象構造物のコンクリート打設数量については、施工後、打設図等の数量確認資料を作成し監督員へ提出すること。

第3章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
施工内容 工事全般
時期 全工事期間
時間 調整による
施工方法・理由 工事箇所出入り口が歩道であるため、調整を十分に行い安全対策をした上で施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

- 2 建設発生土の仮置場
場所 三原市和田沖町1地内 貝野2号荷捌き地 を見込んでいる。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
仮栈橋の設置及び撤去作業期間中、交通誘導員を1（人／日）見込んでいる。

第4節 工食用道路

- 1 一般道路
 - 使用期間 工事施工期間
 - 使用時間 8時～17時
 - 工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 建設副産物

- 1 産業廃棄物の場外保管
当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

- 1 工食用機資材の仮置き
場所 受注者が責任をもって確保すること。
- 2 各補修工の事前調査
 - 1) 受注者は、橋梁洗浄後に計画図をもとに詳細計測を行い、補修を必要とする損傷が発見された場合には、発注者と協議を行うこと。
- 3 法定外の労災保険 の付保
 - 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
 - 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和元年8月）『1-1-30 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
橋脚巻立て工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	先行水中掘削及びポンプ床掘り 粘性土	式		1	レベル4
橋脚コンクリート巻立て工		式		1	レベル3
コンクリート削孔	径32mm, 削孔長420mm以上500mm未満 アンカー材無	箇所		54	レベル4
コンクリート削孔	径35mm, 削孔長460mm以上540mm未満 アンカー材無	箇所		108	レベル4
コンクリート削孔	径26mm, 削孔長250mm以上300mm未満 アンカー材無	箇所		420	レベル4
下地処理		m2		160	レベル4
水中不分離性コンクリート	30-12-25(20)BB	m3		54	レベル4
無収縮モルタル		m3		1	レベル4
鋼板接着	シール工	m		36	レベル4
鉄筋	SD345,D13	t		0.078	レベル4
鉄筋	SD345,D16	t		2.834	レベル4
鉄筋	SD345,D19～D25	t		2.142	レベル4
機械式継手	スリーブ圧着ネジ継手 SD345,D22×D22	箇所		8	レベル4
機械式継手	スリーブ圧着ネジ継手 SD345,D25×D25	箇所		16	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
機械式継手	スリーブ圧着ネジ継手				レベル4
	SD345,D16×D16	箇所		360	
コンクリートアンカーボルト設置	M12×60	本		180	レベル4
型枠	鋼製	式		1	レベル4
足場	安全ネット有	式		1	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
仮橋・仮栈橋工		式		1	レベル3
防護施設工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		28	レベル4
* * 直接工事費 * *					
事業損失防止施設費					
事業損失防止施設費		式		1	レベル2
事業損失防止施設費		式		1	レベル3
事業損失防止施設費		式		1	レベル4
役務費					
役務費		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
役務費		式		1	レベル3
借地料	土地の借上げ等に要する費用	式		1	レベル4
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
重建設機械分解組立輸送費		回		2	レベル4
仮設材運搬費		t		149	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
施工調査費		式		1	レベル4
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費		式		1	レベル3
安全監視船		式		1	レベル4
現場環境改善費					
現場環境改善費		式		1	レベル2
現場環境改善費		式		1	レベル3

工事数量総括表

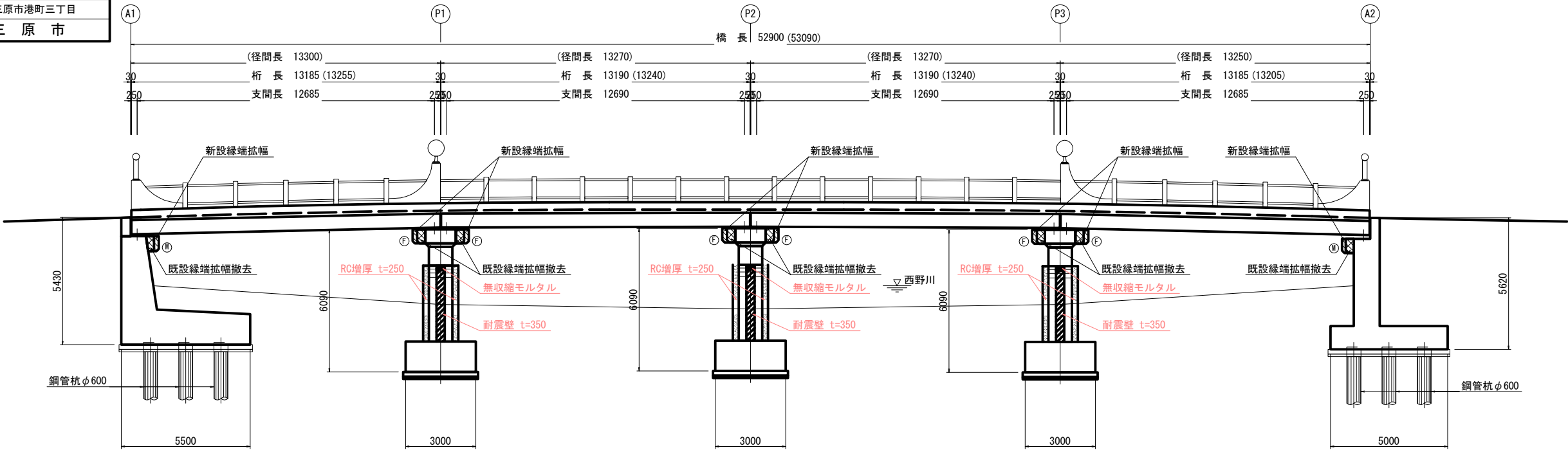
頁0 -0004

[illegible]

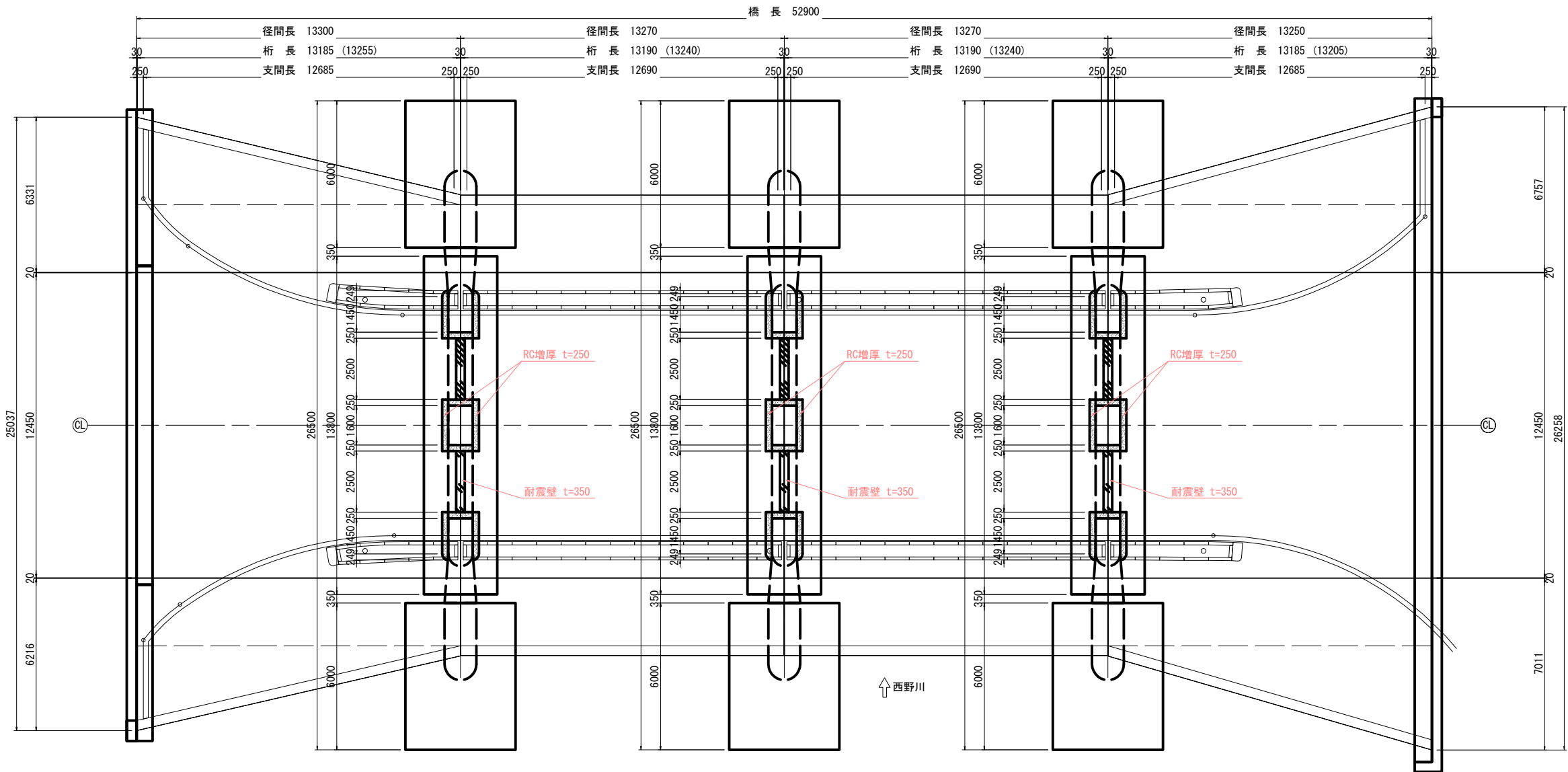
図面番号	34 枚の内 10	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(増橋)		
種 別	補強一般図(2)	番号	
路線 河川	港町 5 号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
三 原 市			

曙橋 補強一般図(2)

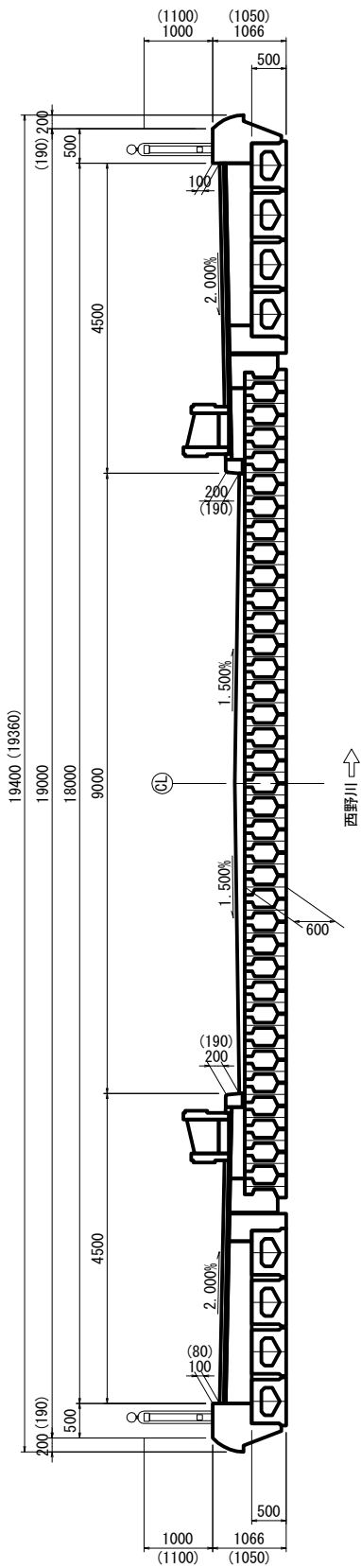
側 面 図 S=1:100



平 面 図 S=1:100



標準断面図 S=1:50



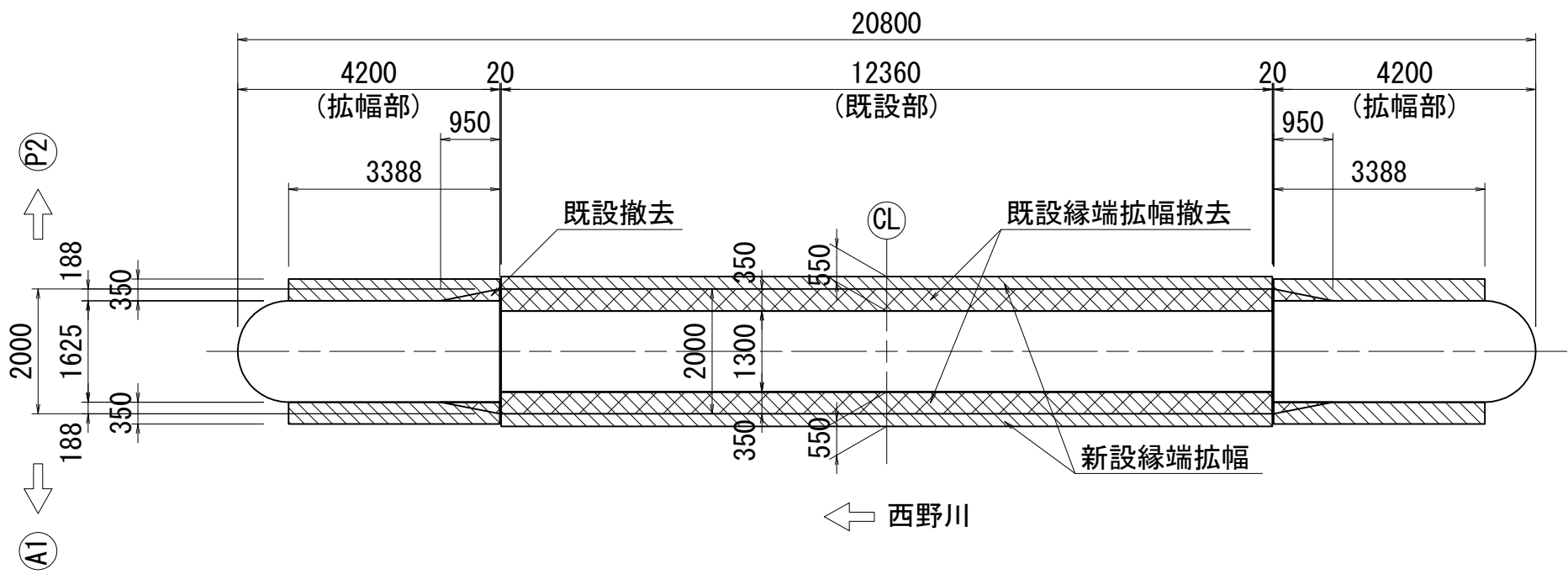
※ 朱書きの寸法値は、実測値を示す。

図面番号	34 枚の内 12	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(曙橋)		
種 別	下部工構造図(2) P1橋脚	番号	
路線名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

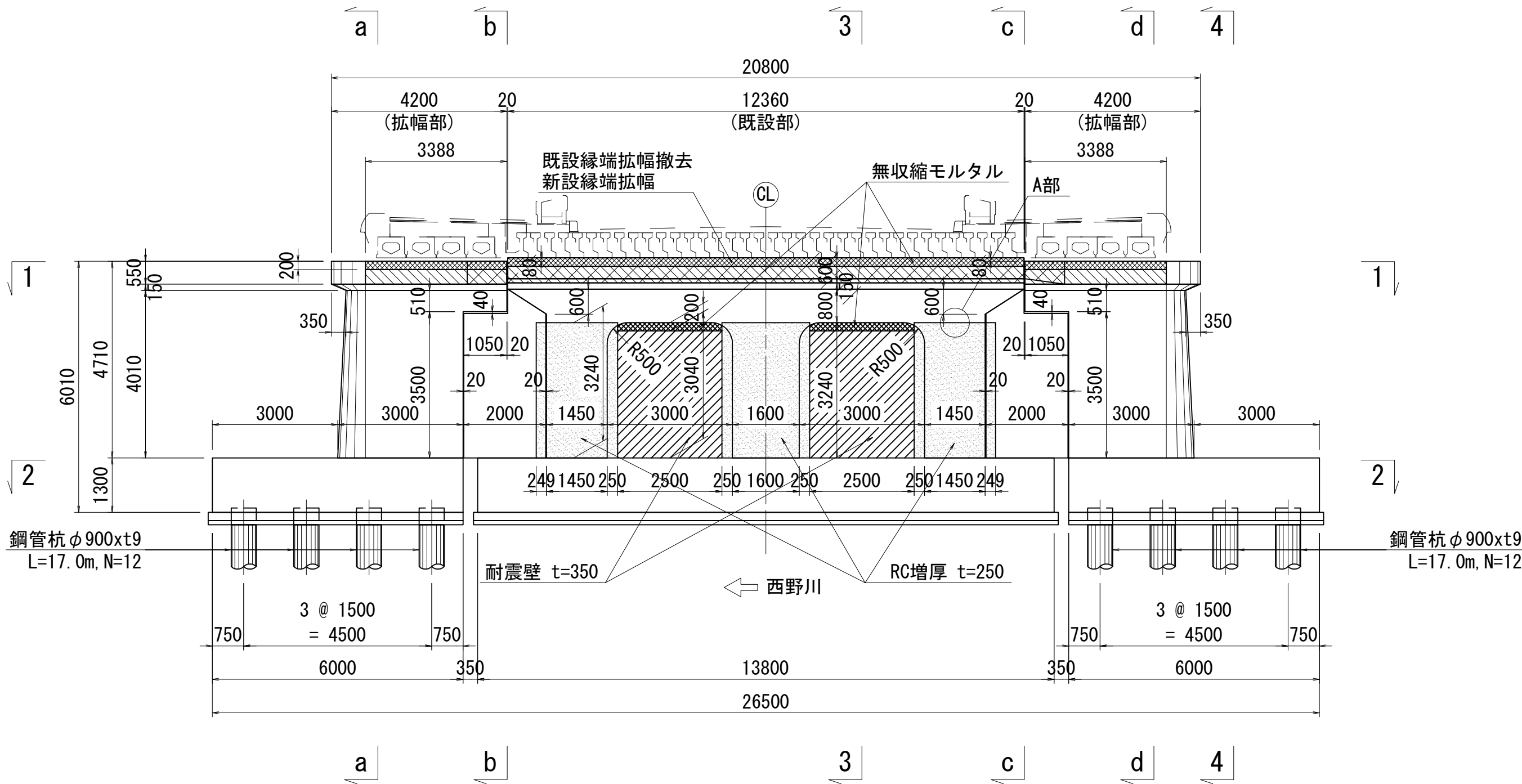
曙橋 下部工構造図(2) S=1:100

P1橋脚

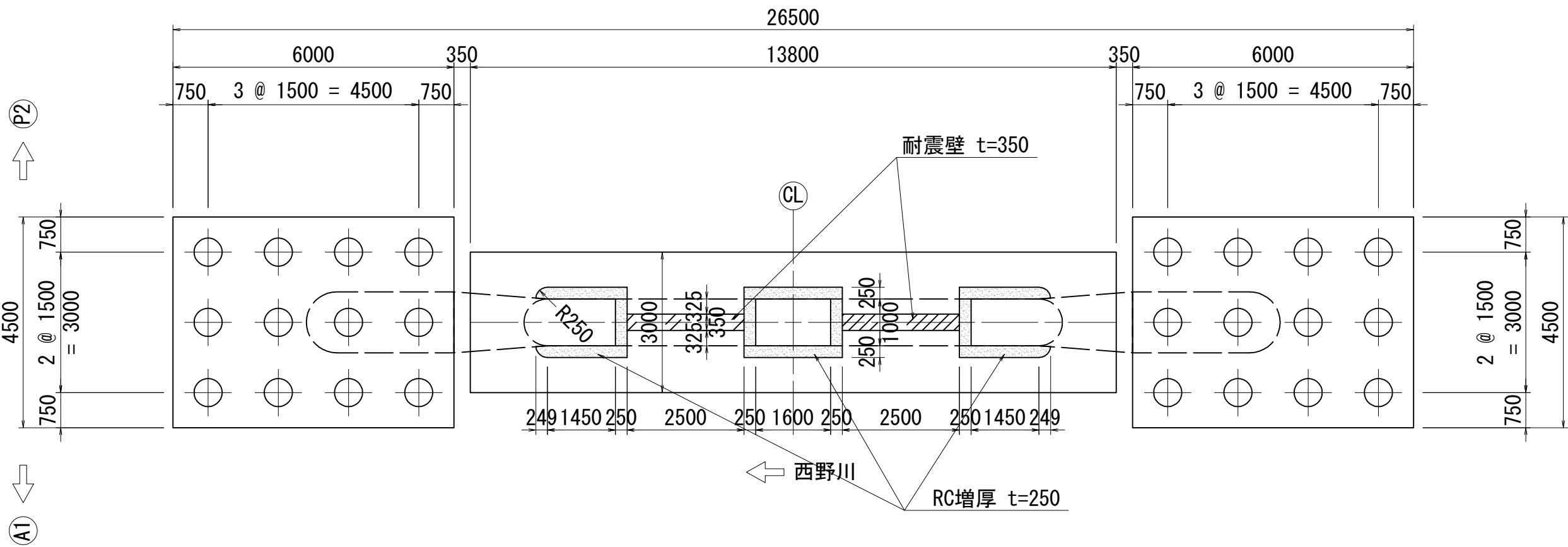
橋座平面図
(1 - 1)



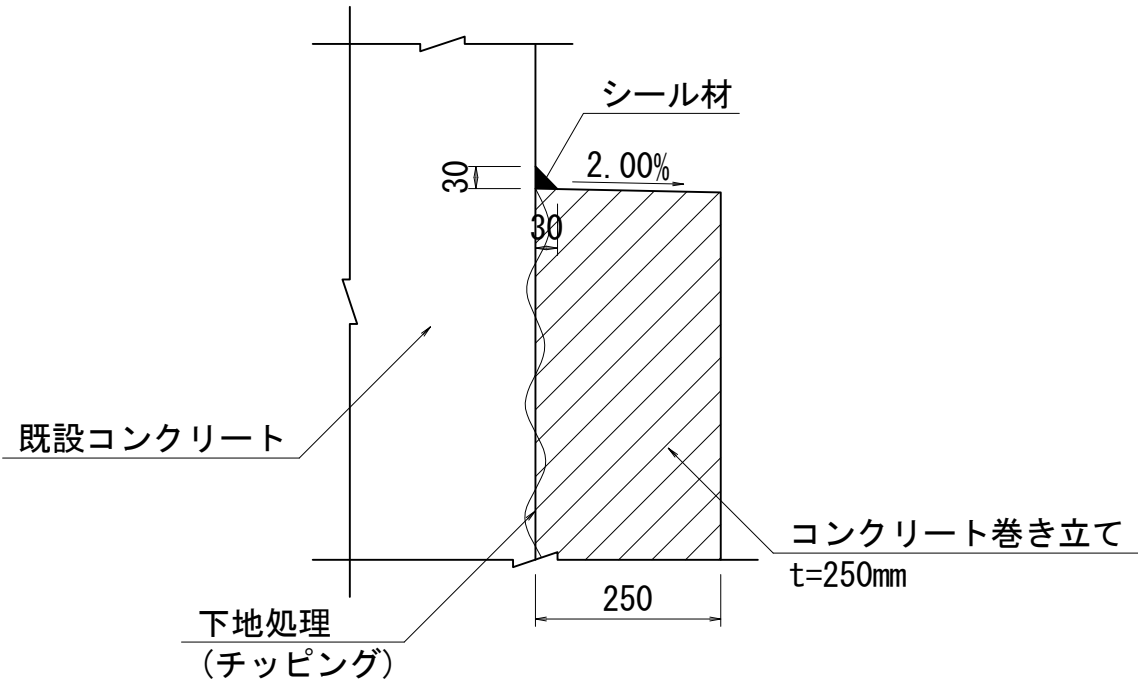
正面図 (起点側)



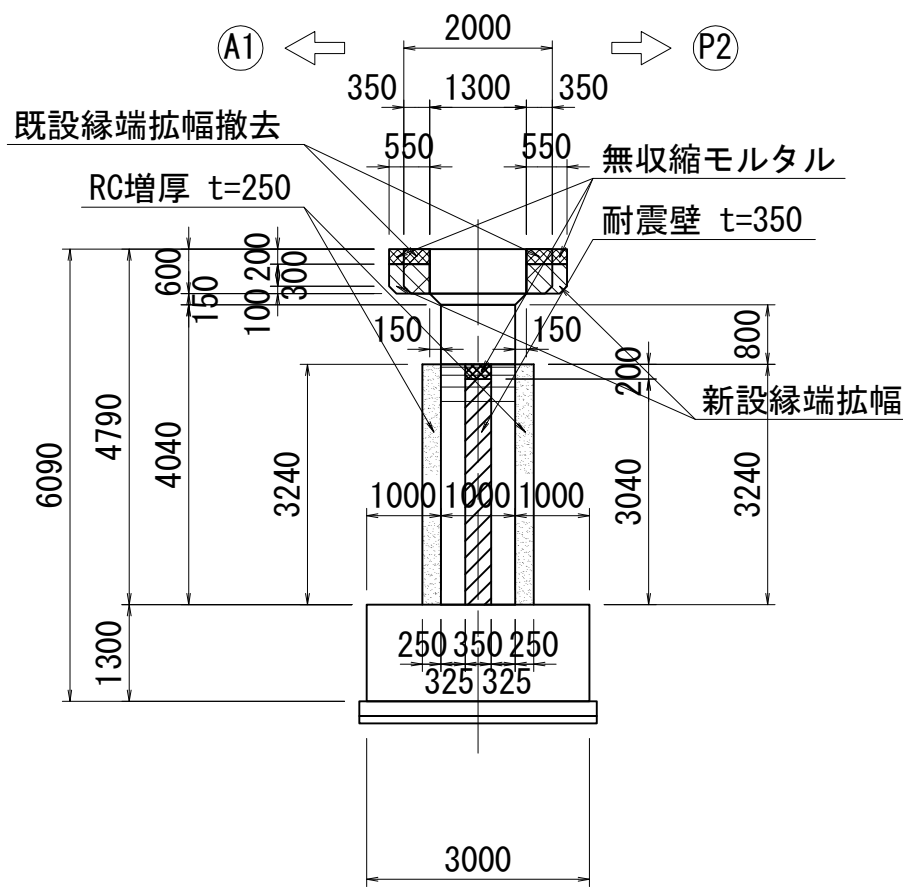
フーチング平面図
(2 - 2)



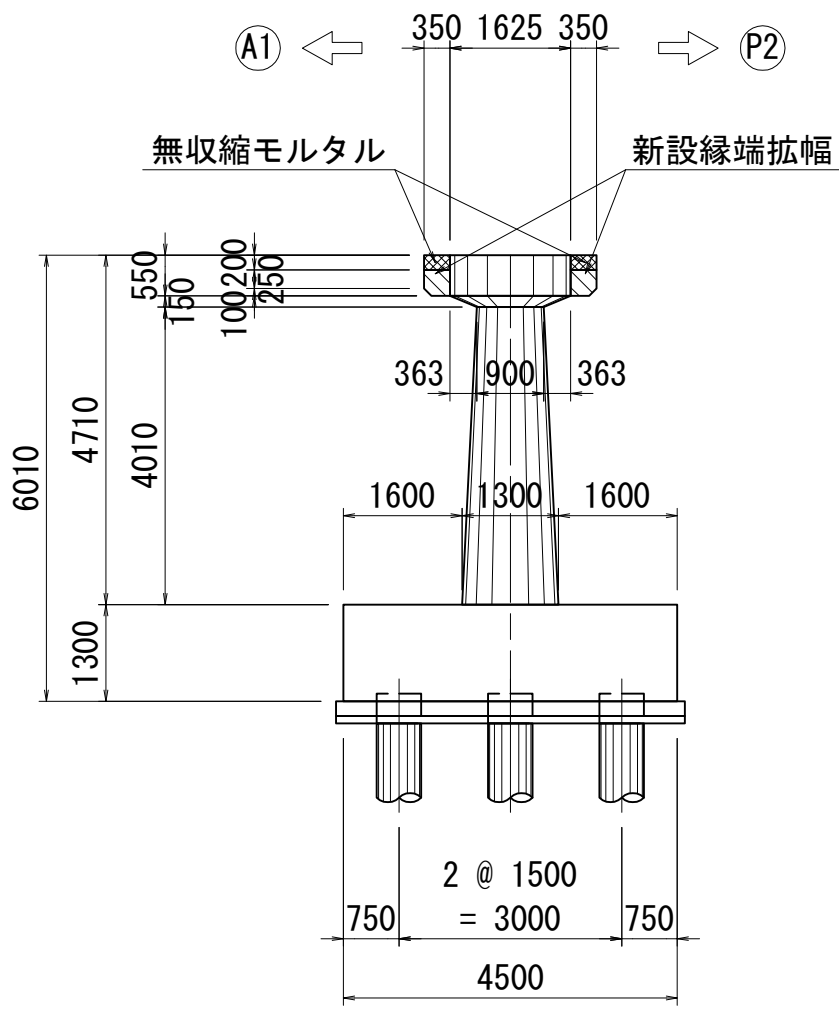
A部詳細図 S=1:10



既設部断面図
(3 - 3)

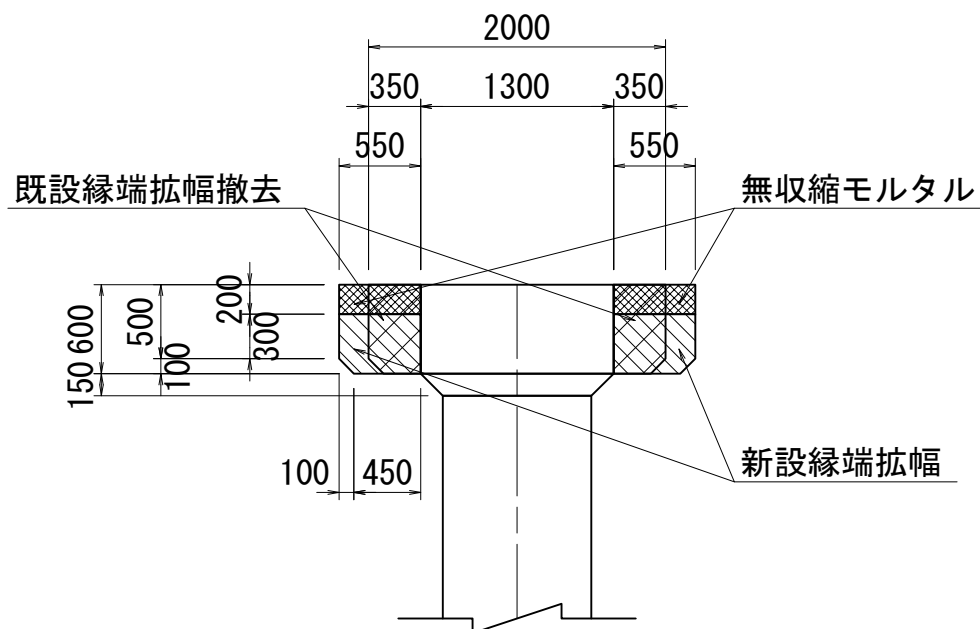


側面図
(4 - 4)

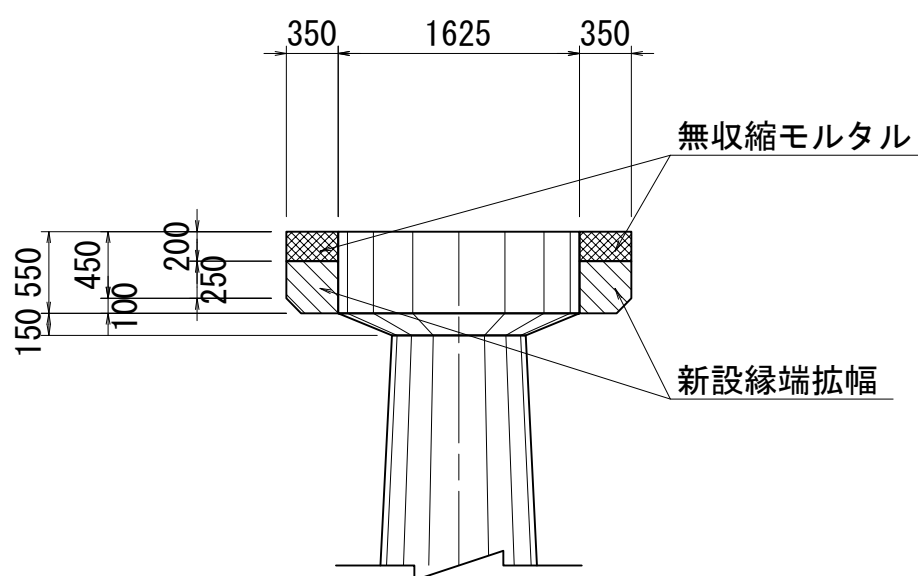


沓座拡幅詳細図 S=1:50

(3 - 3)



(4 - 4)

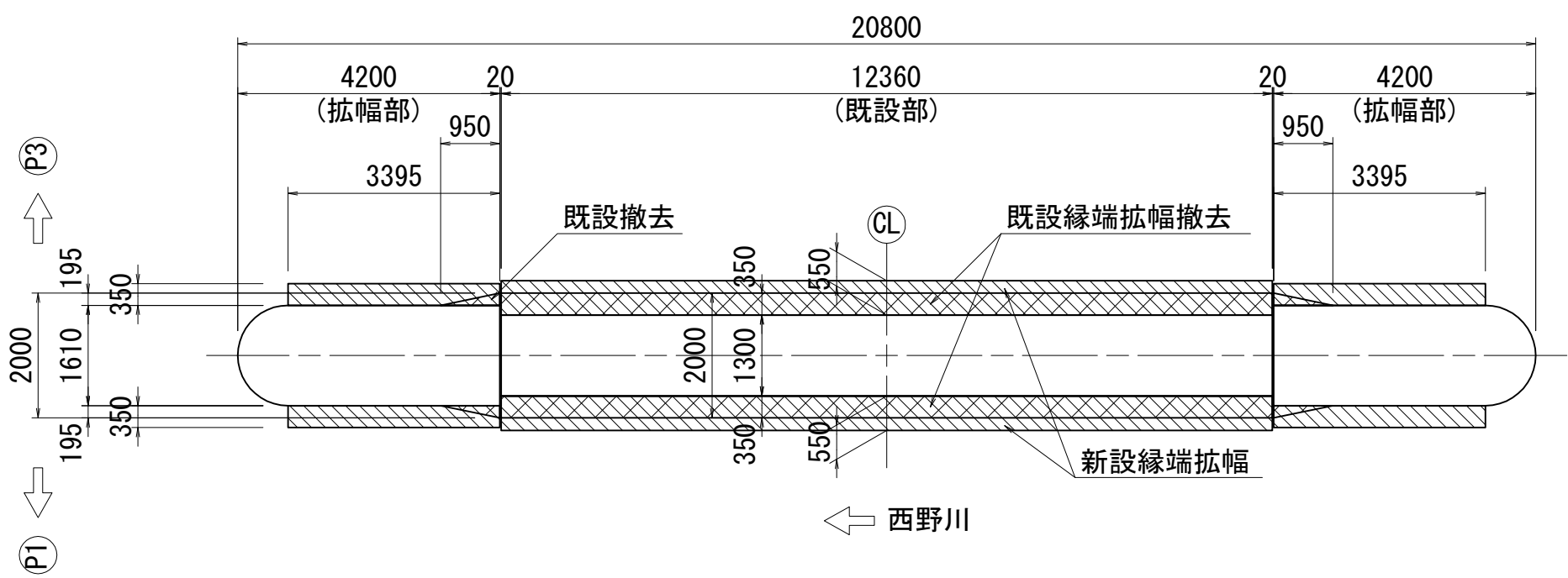


図面番号	34 枚の内 13	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(曙橋)		
種 別	下部工構造図(3) P2橋脚	番号	
路線名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

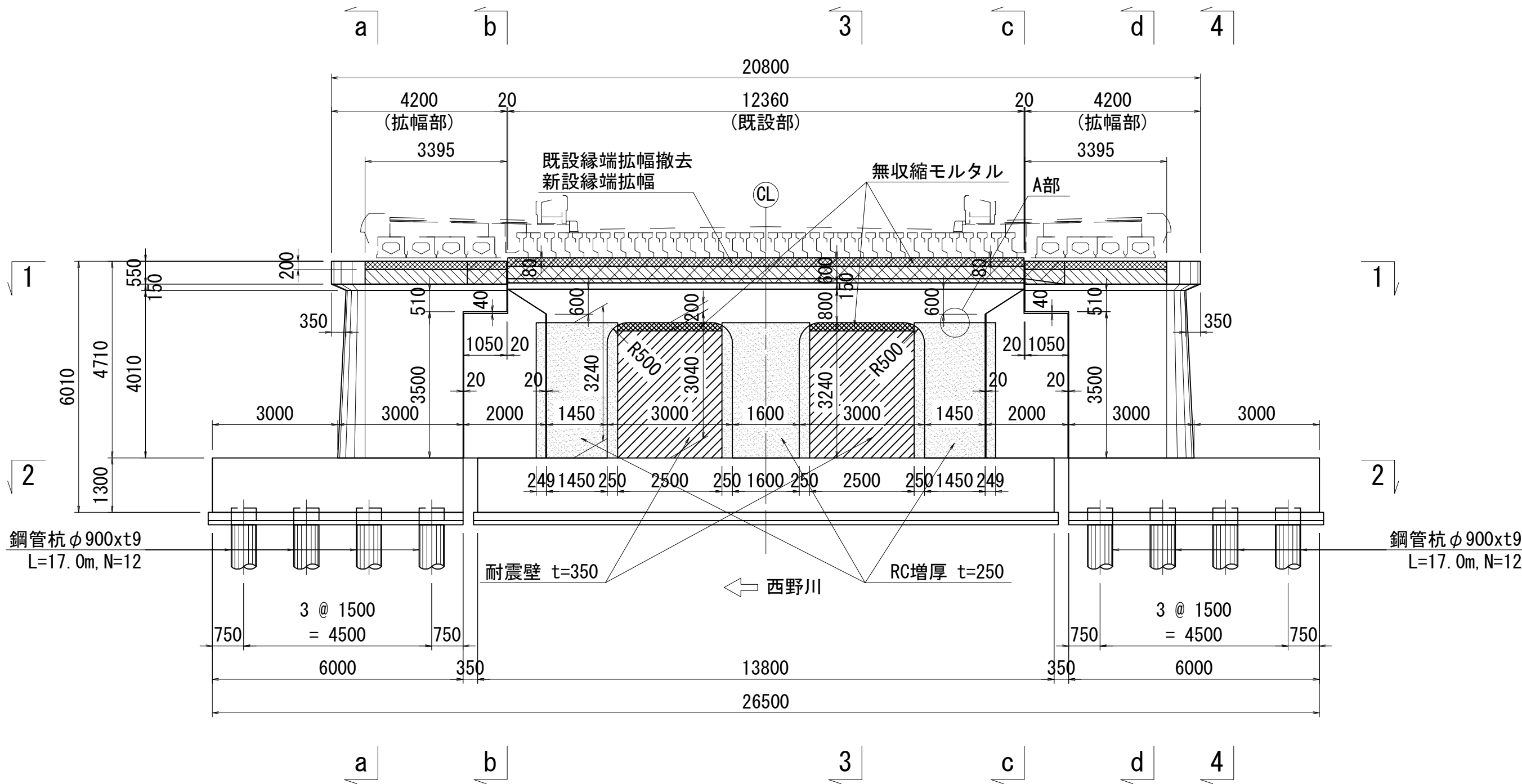
曙橋 下部工構造図(3) S=1:100

P2橋脚

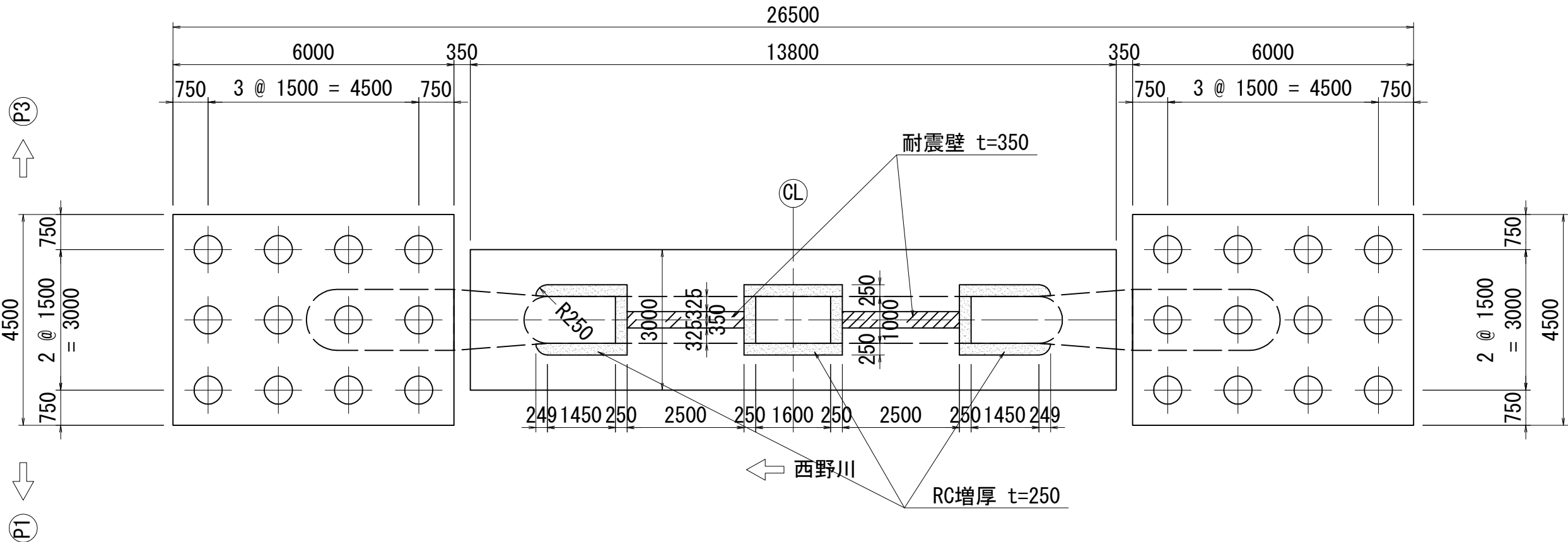
橋座平面図
(1 - 1)



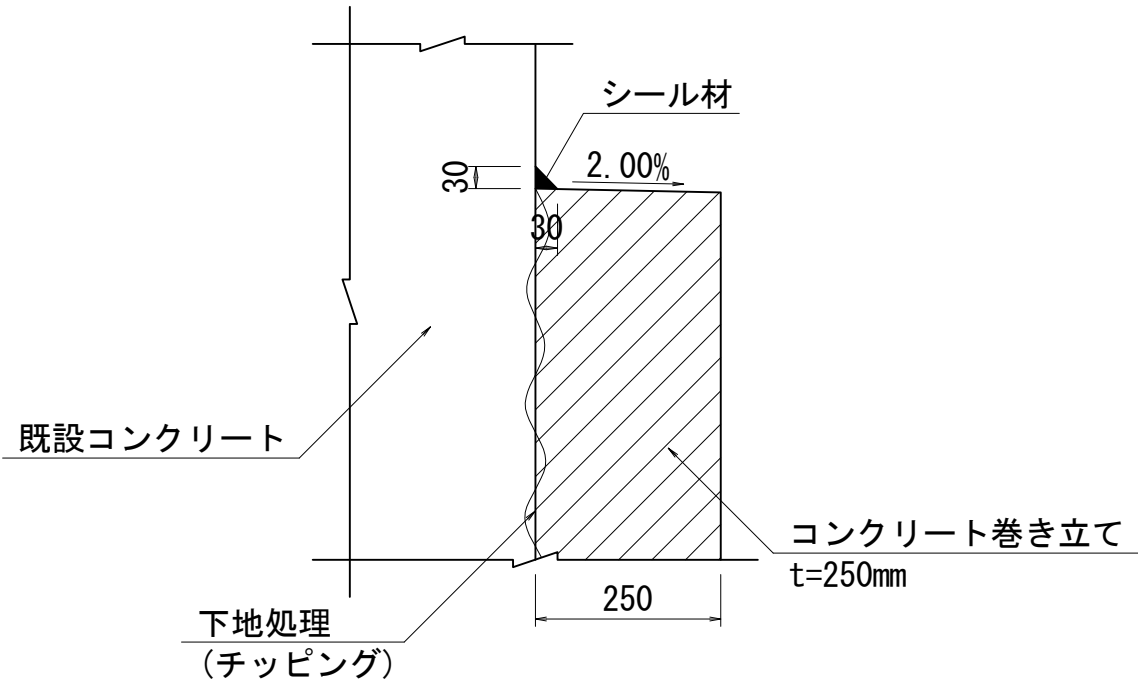
正面図 (起点側)



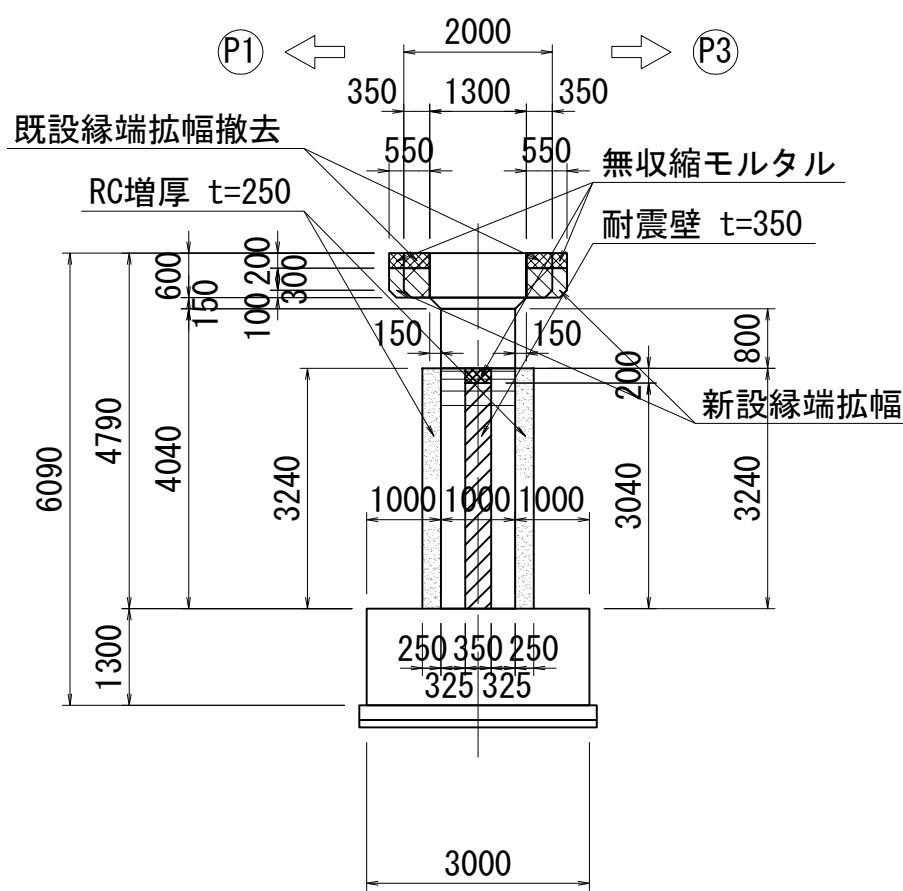
フーチング平面図
(2 - 2)



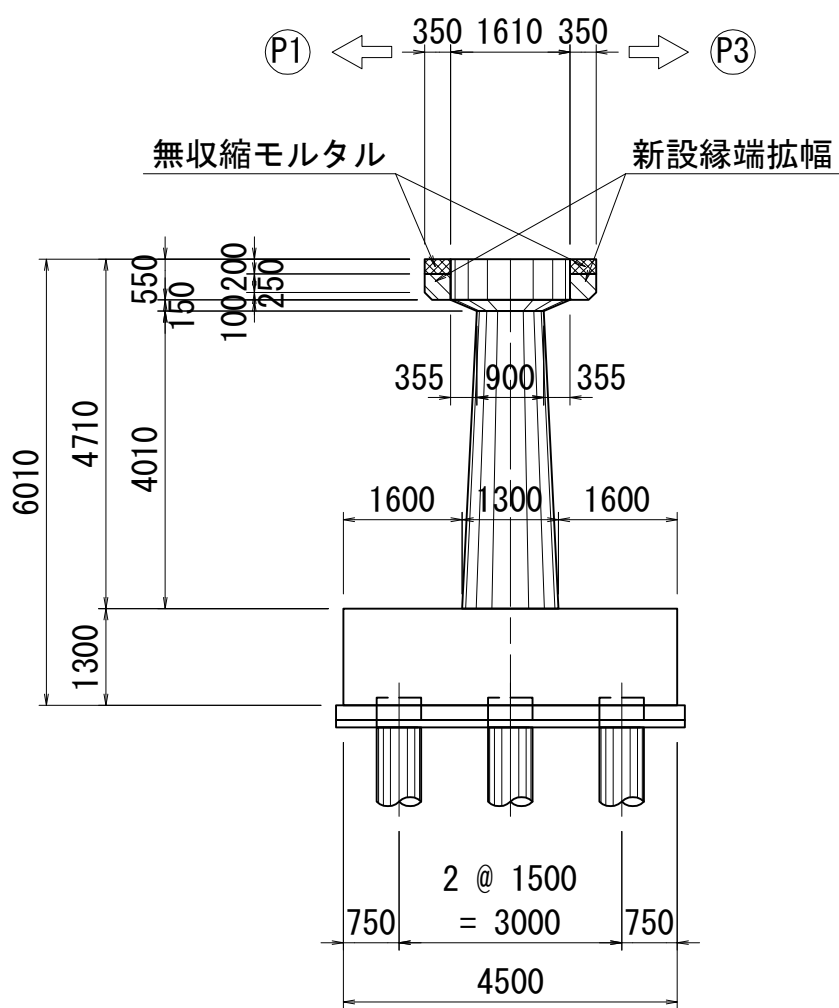
A部詳細図 S=1:10



既設部断面図
(3 - 3)

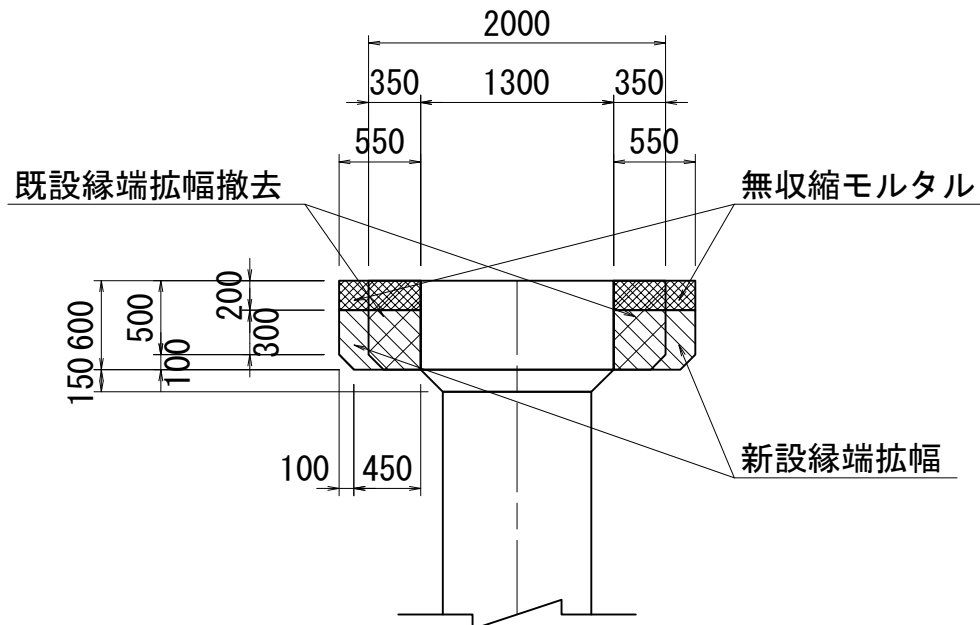


側面図
(4 - 4)

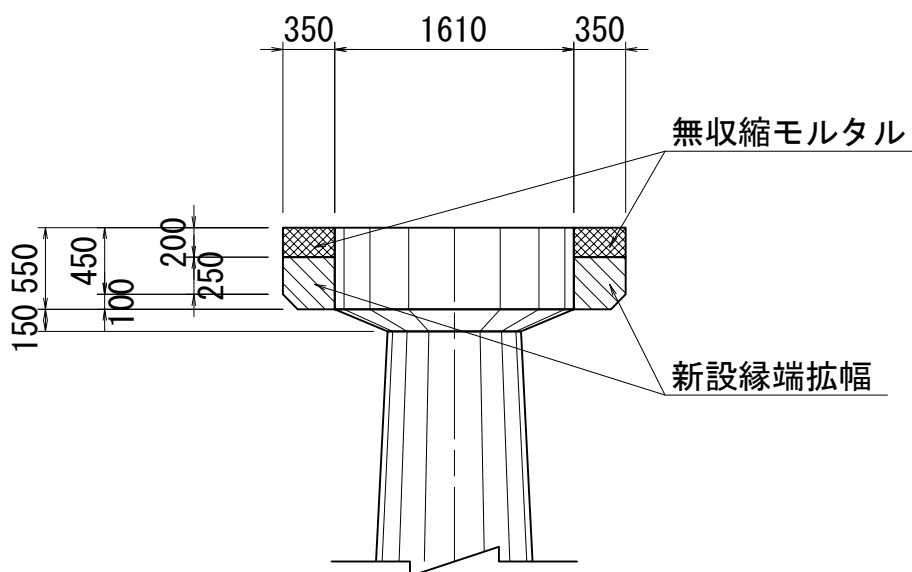


沓座拡幅詳細図 S=1:50

(3 - 3)



(4 - 4)

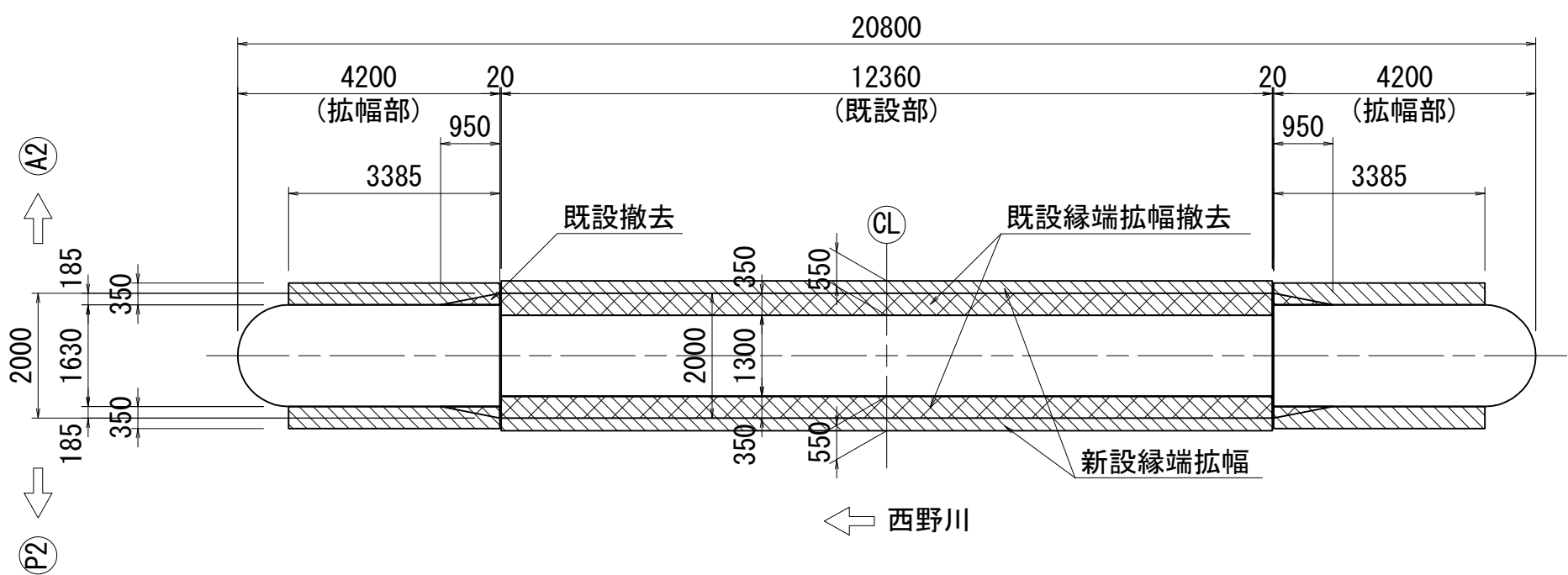


図面番号	34 枚の内 14	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(曙橋)		
種 別	下部工構造図(4) P3橋脚	番号	
路線名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

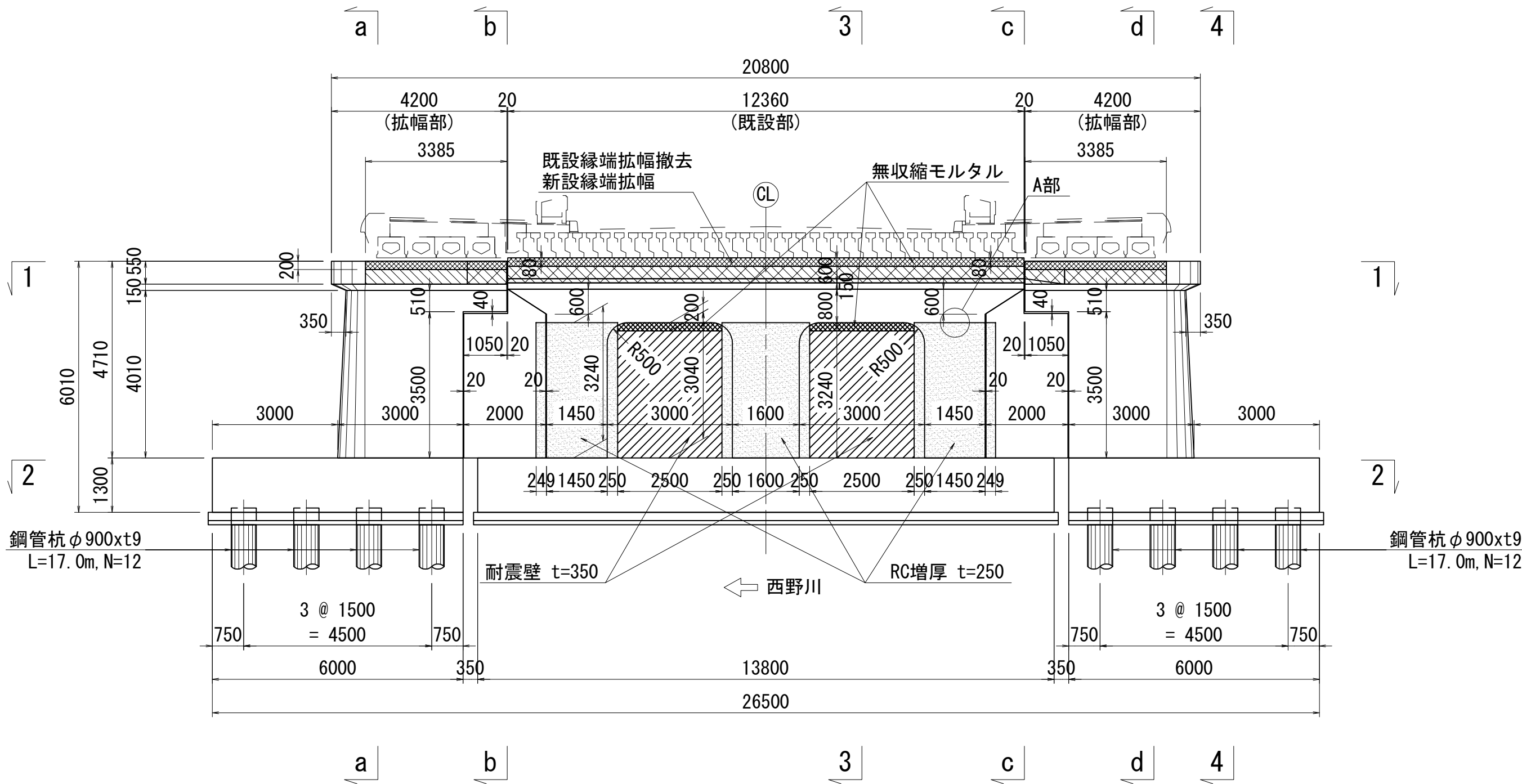
曙橋 下部工構造図(4) S=1:100

P3橋脚

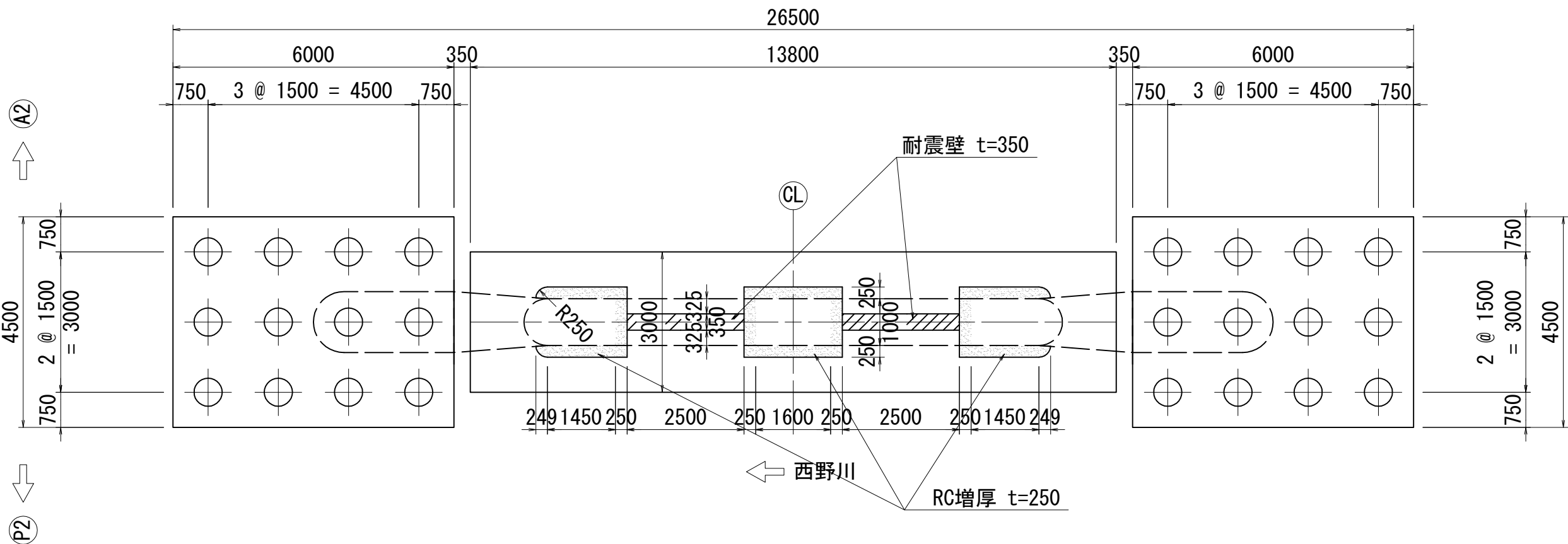
橋座平面図
(1 - 1)



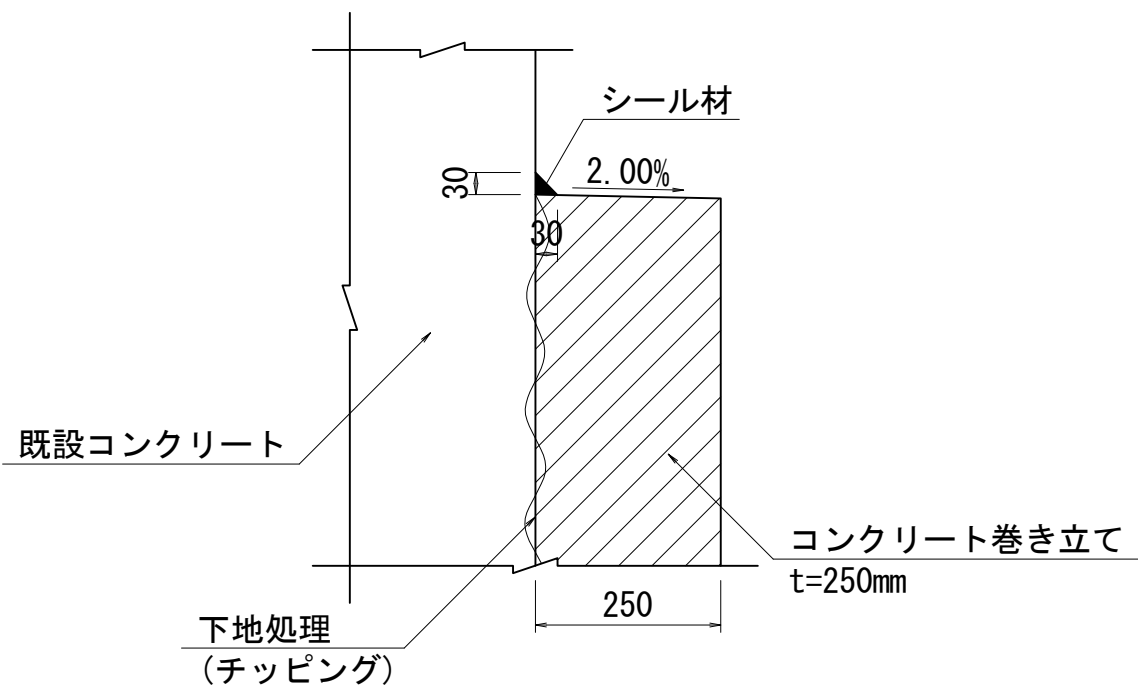
正面図 (起点側)



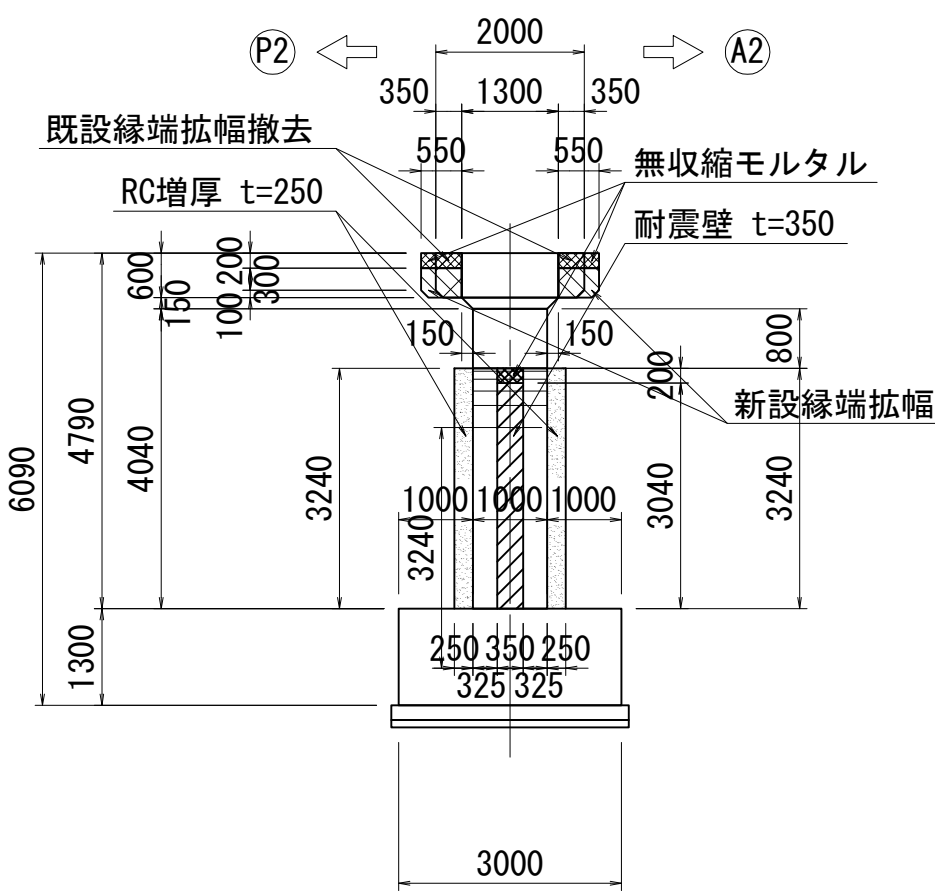
フーチング平面図
(2 - 2)



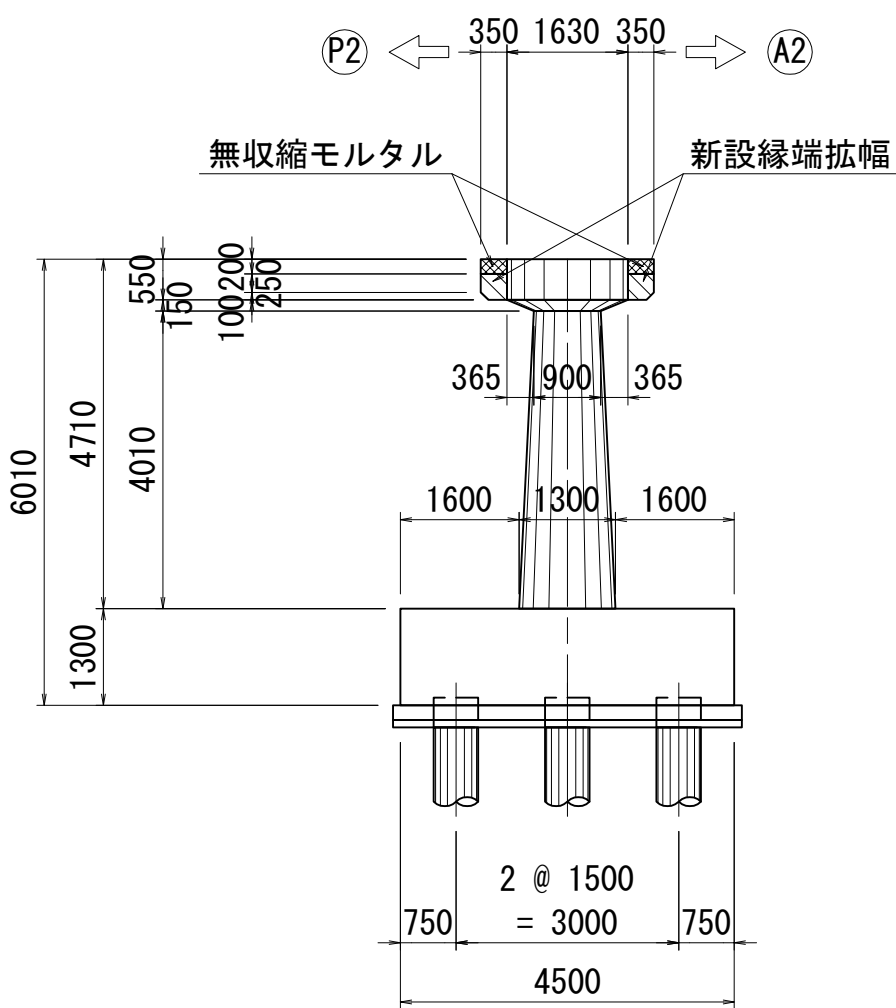
A部詳細図 S=1:10



既設部断面図
(3 - 3)

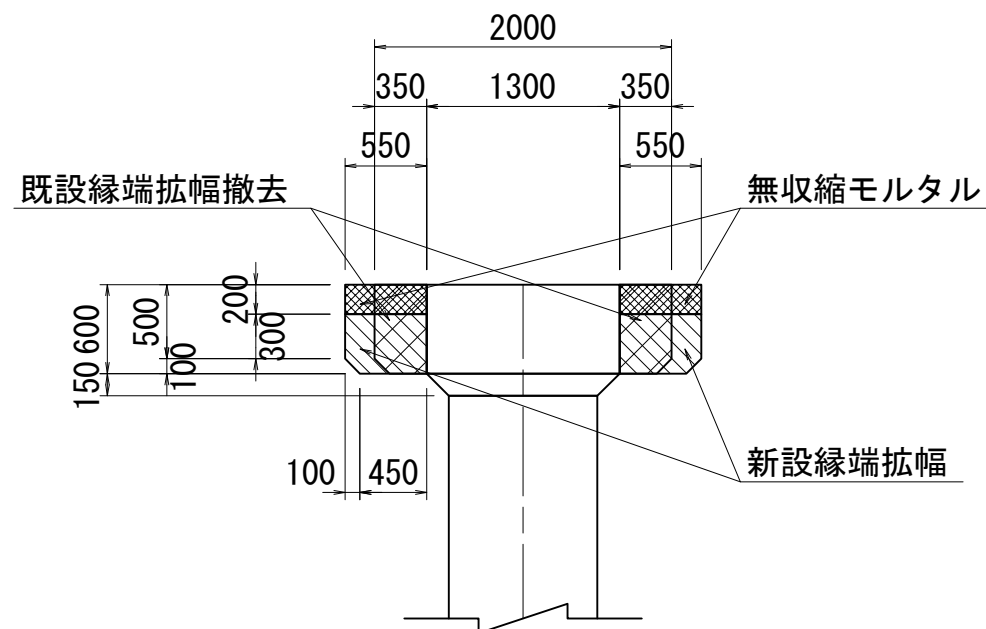


側面図
(4 - 4)

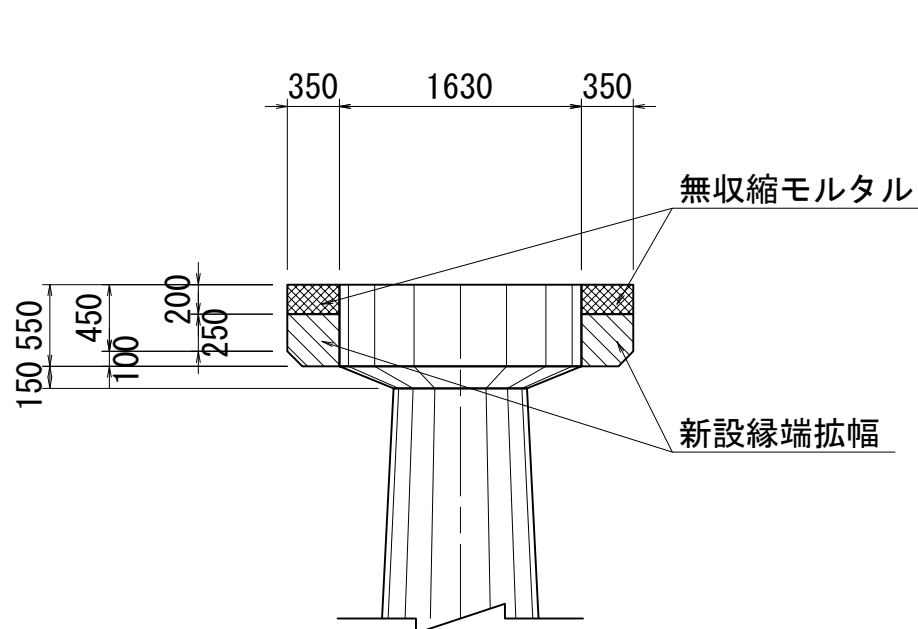


沓座拡幅詳細図 S=1:50

(3 - 3)

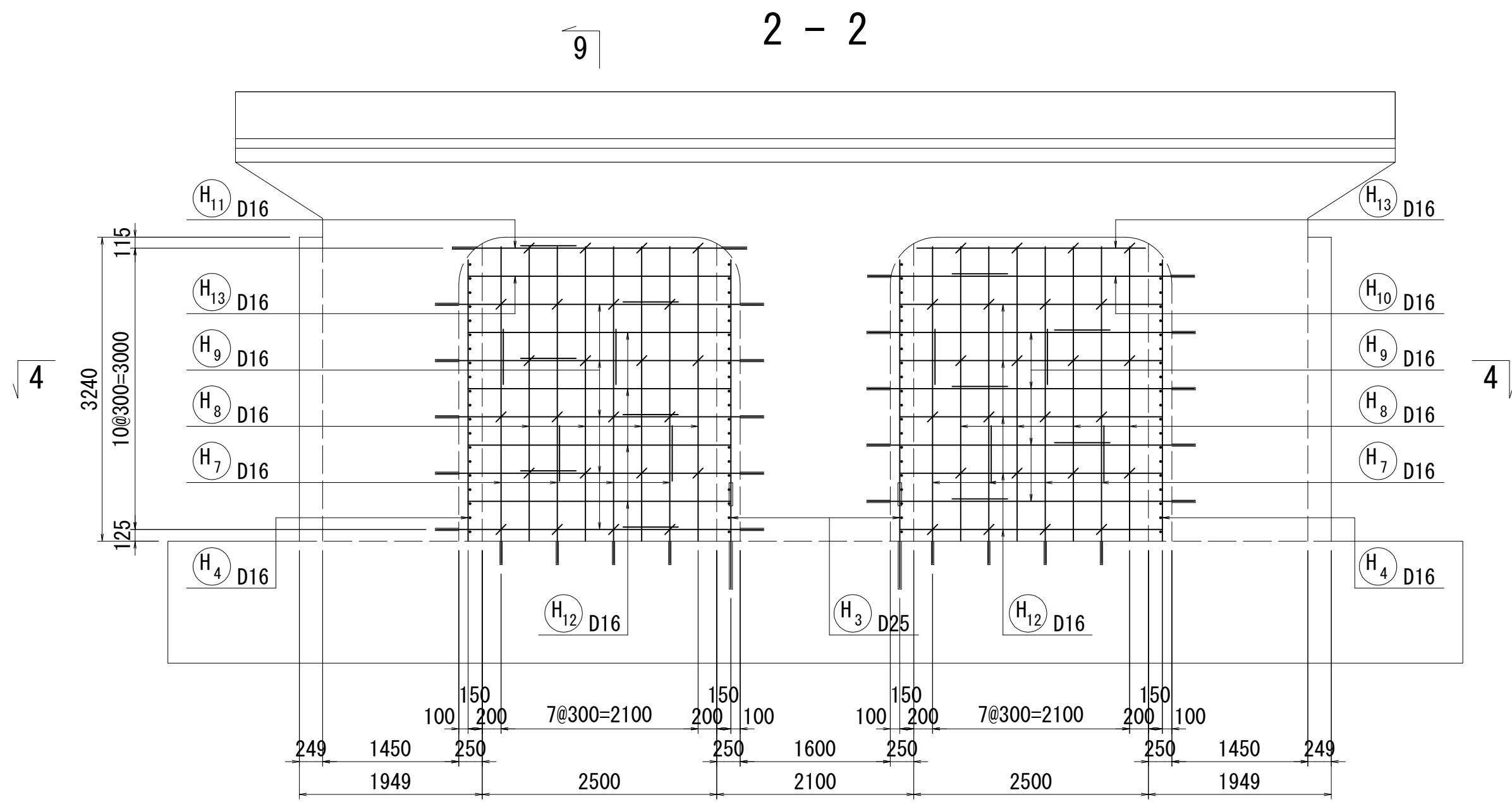
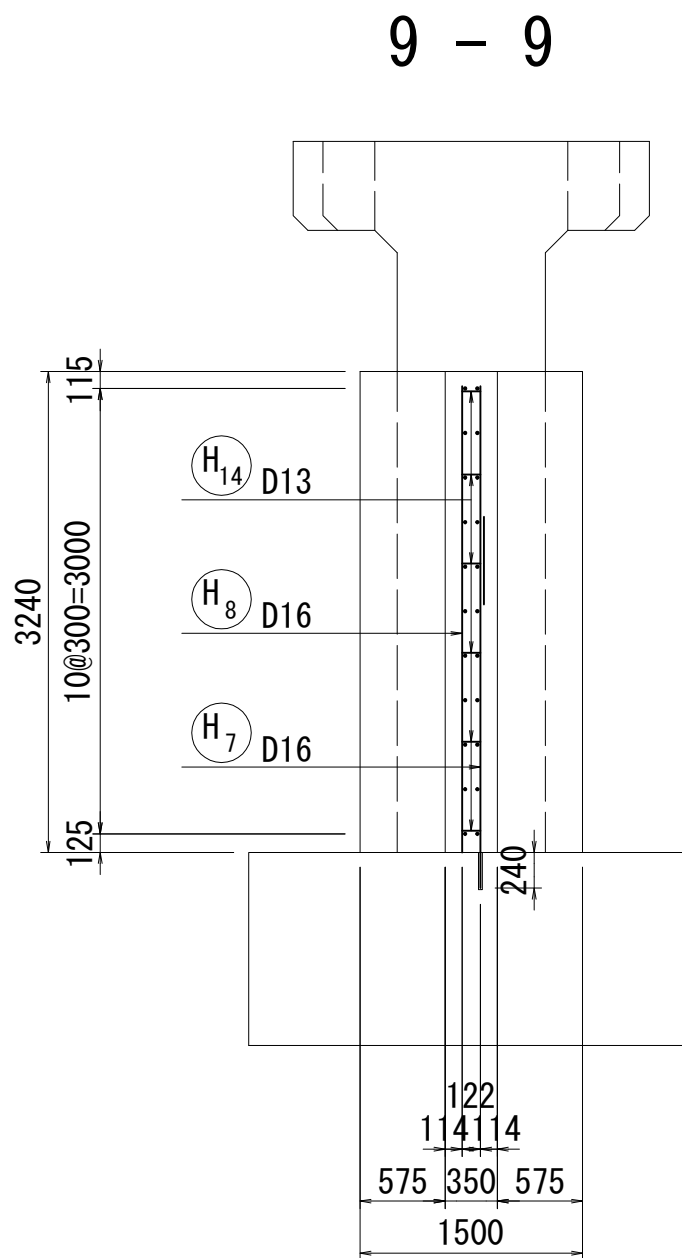
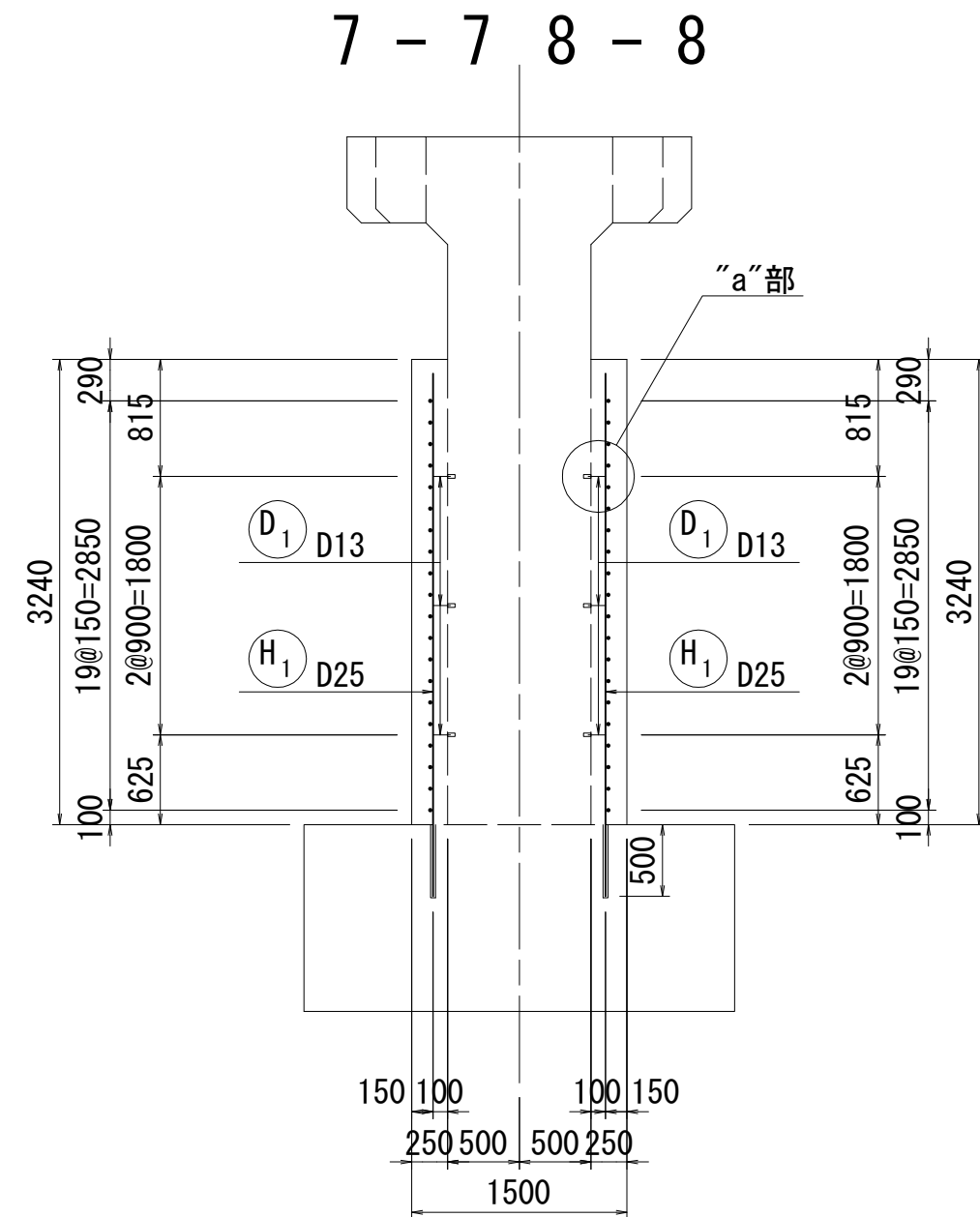
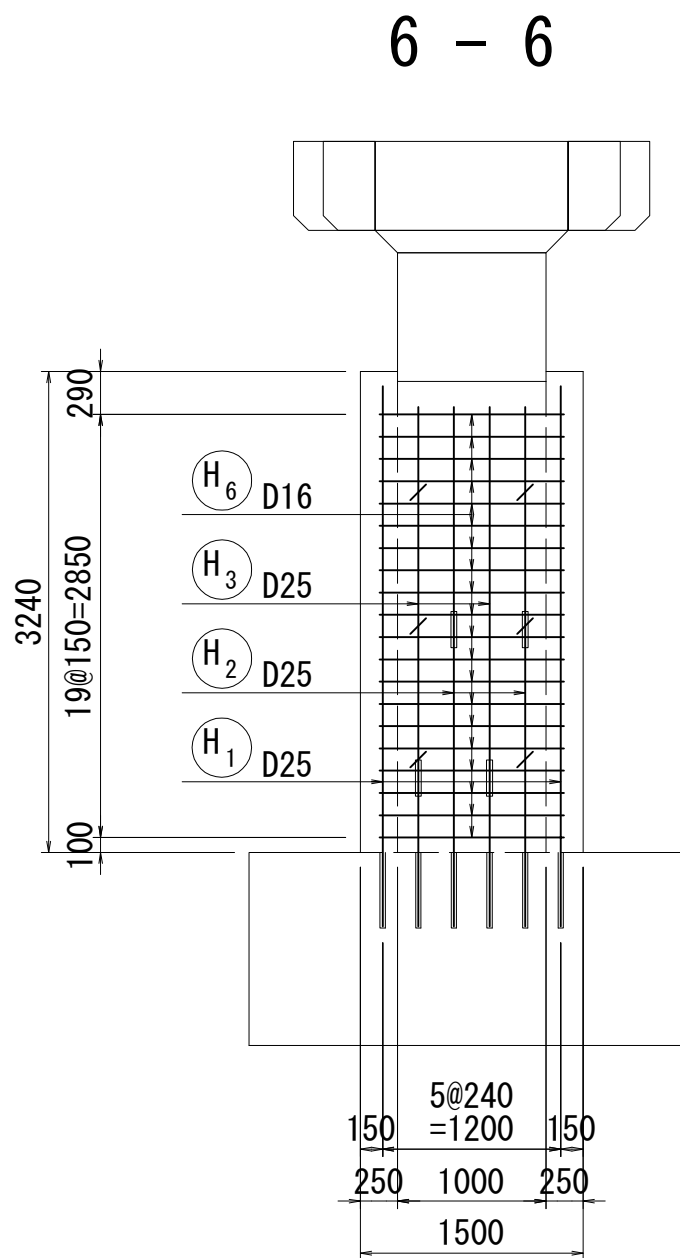
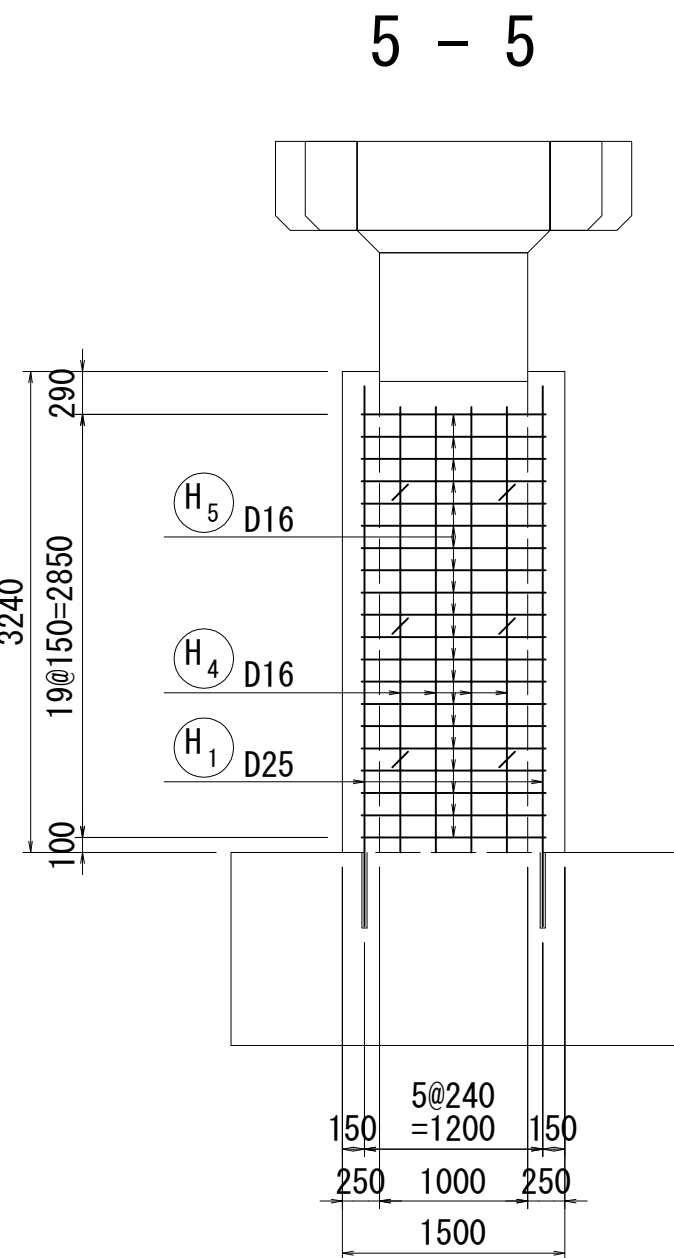
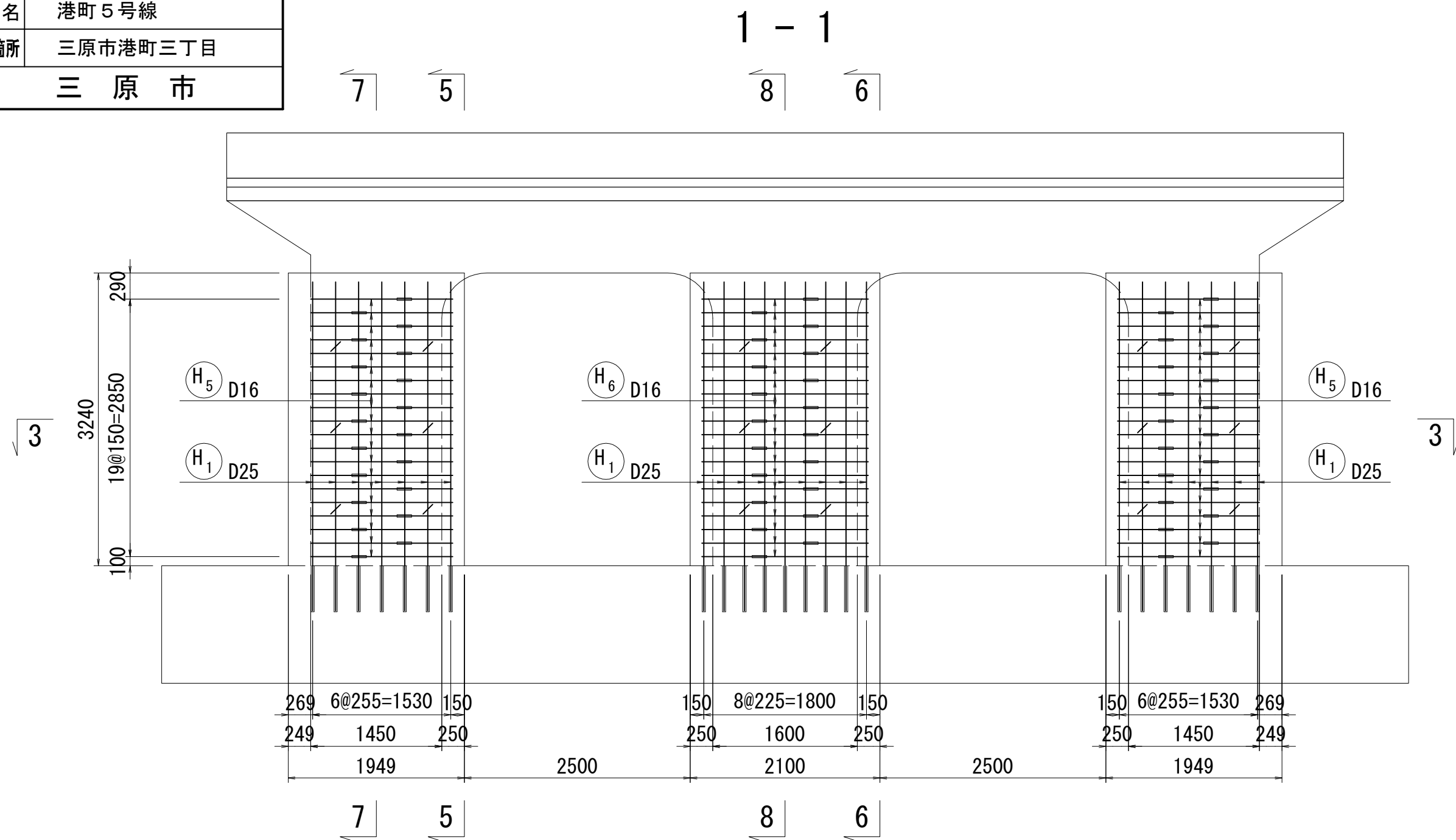


(4 - 4)

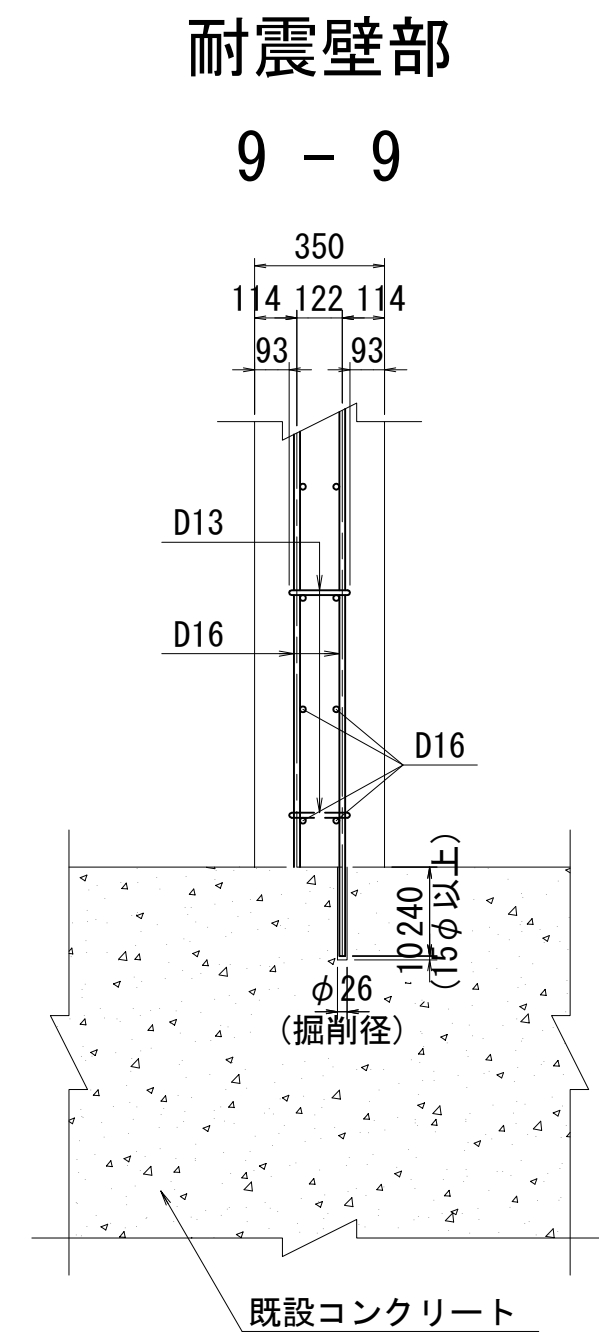
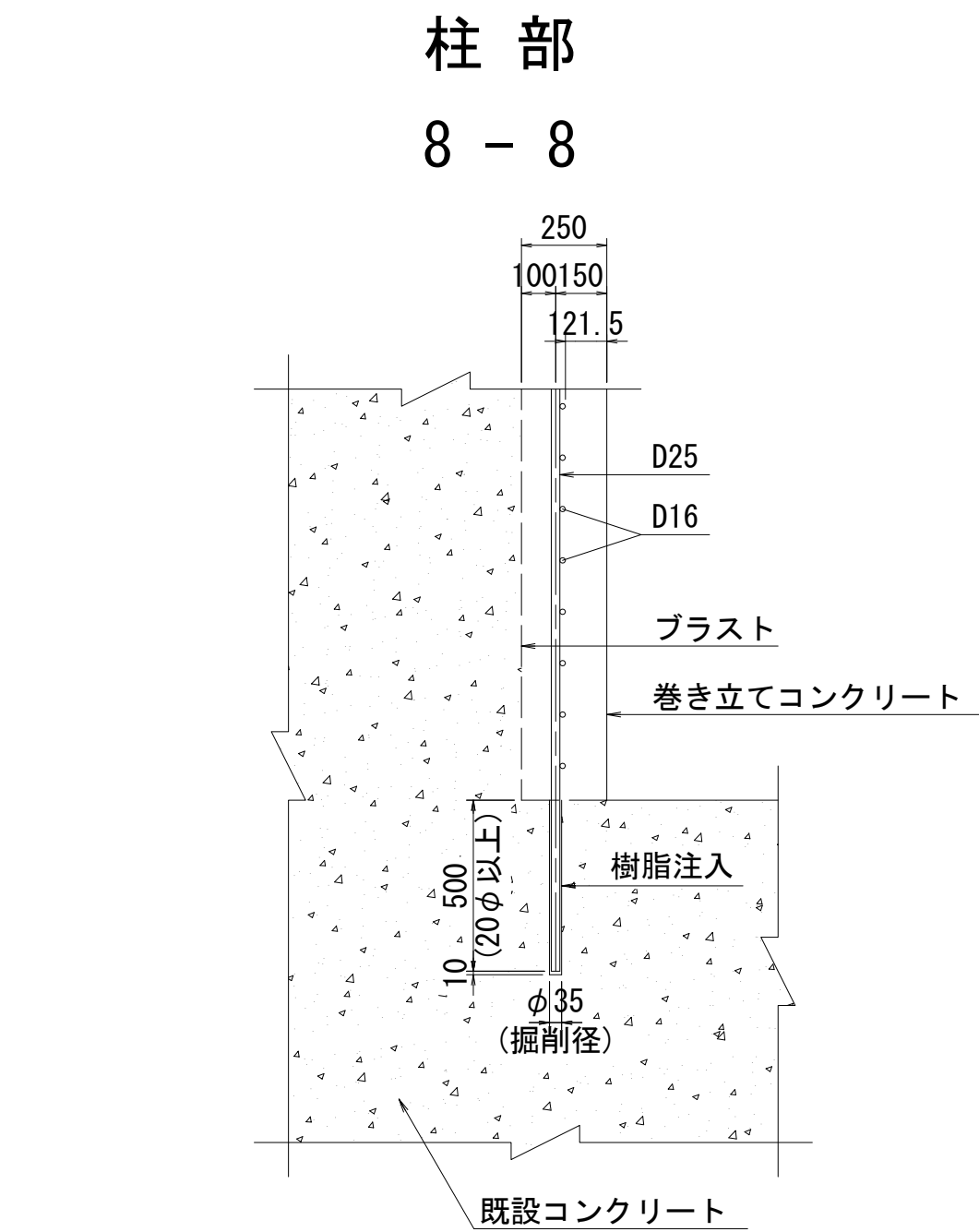


図面番号	31 枚の内 16		縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事 (曙橋)			
種 別	補強配筋図 (1) P1橋脚			番号
路線 河川 名	港町 5 号線			
工事箇所	三原市港町三丁目			
三 原 市				

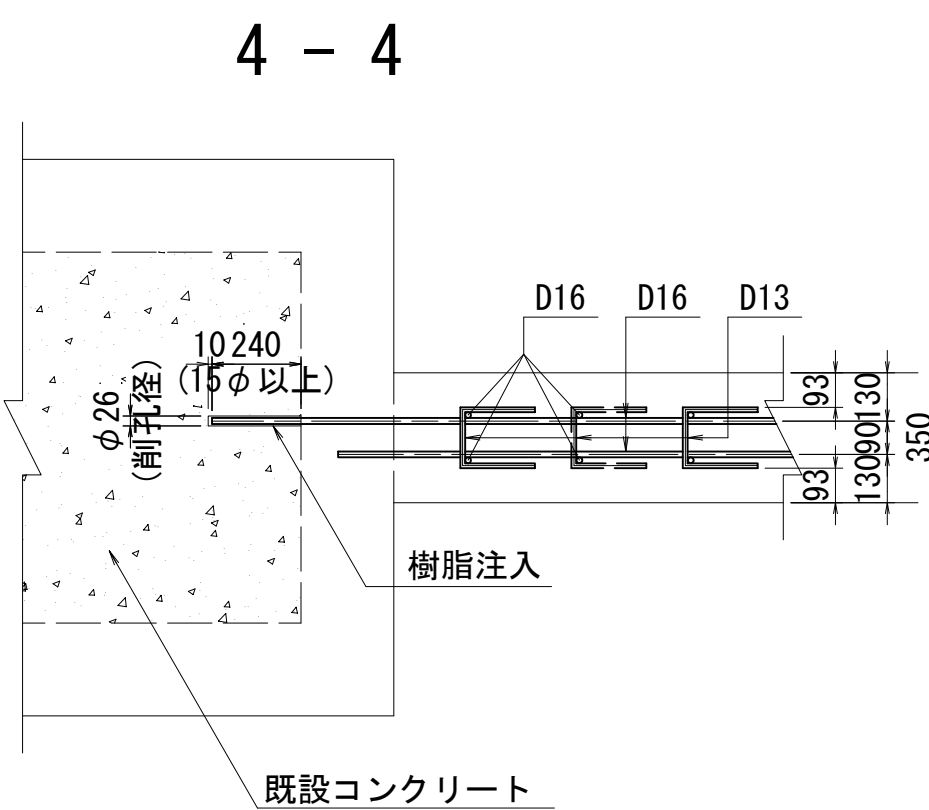
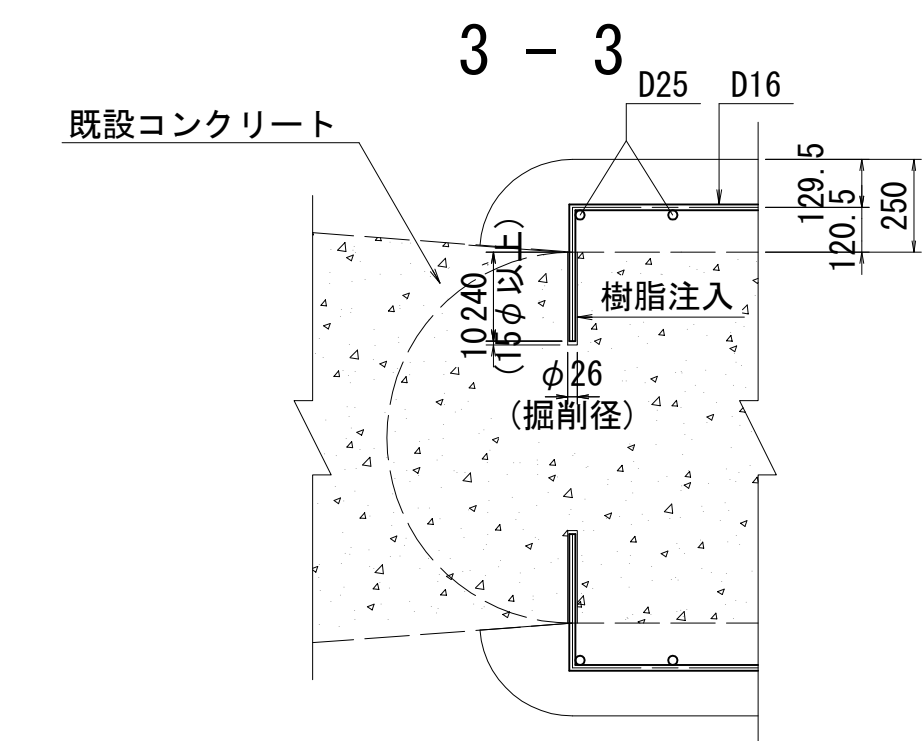
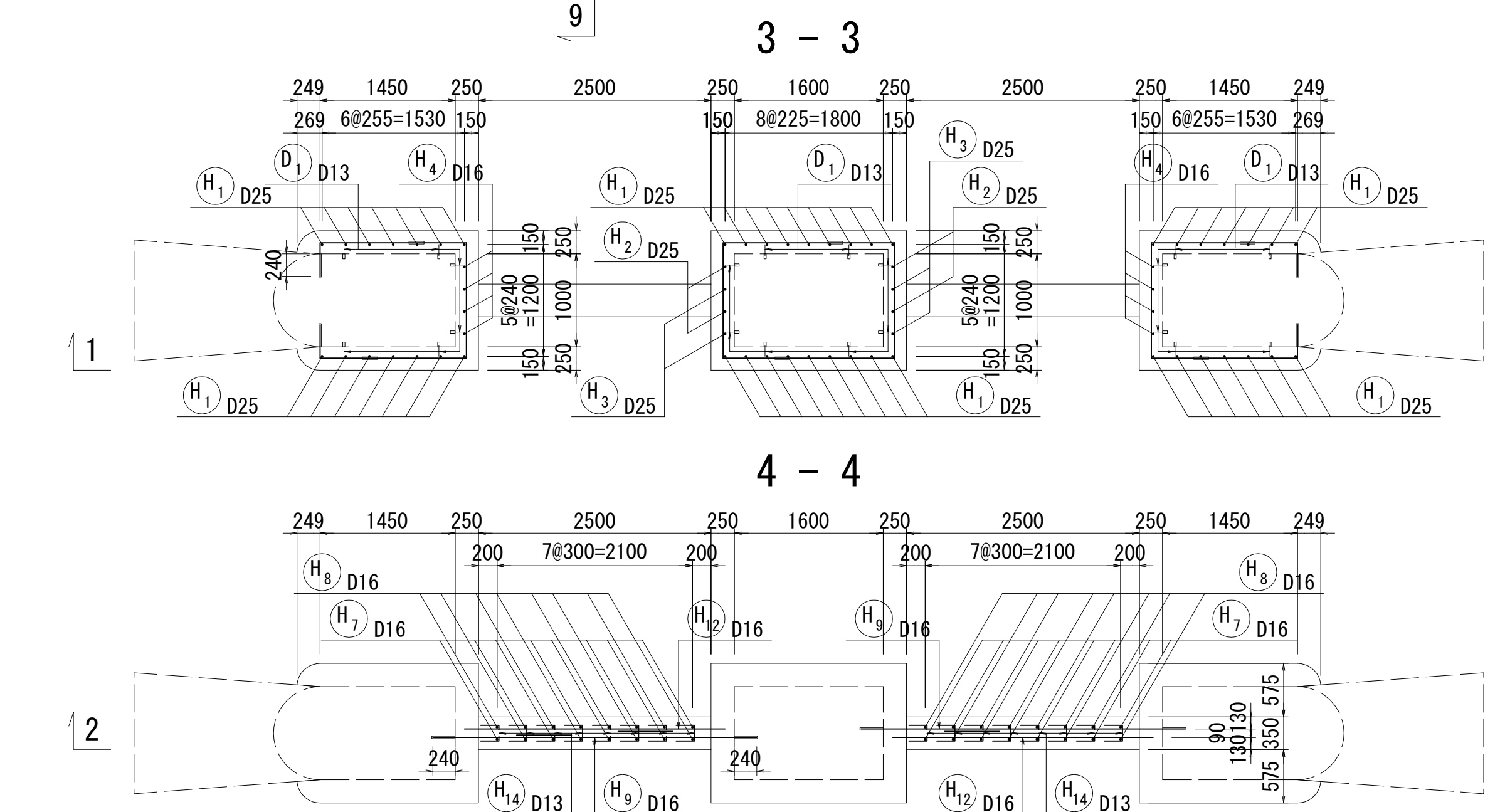
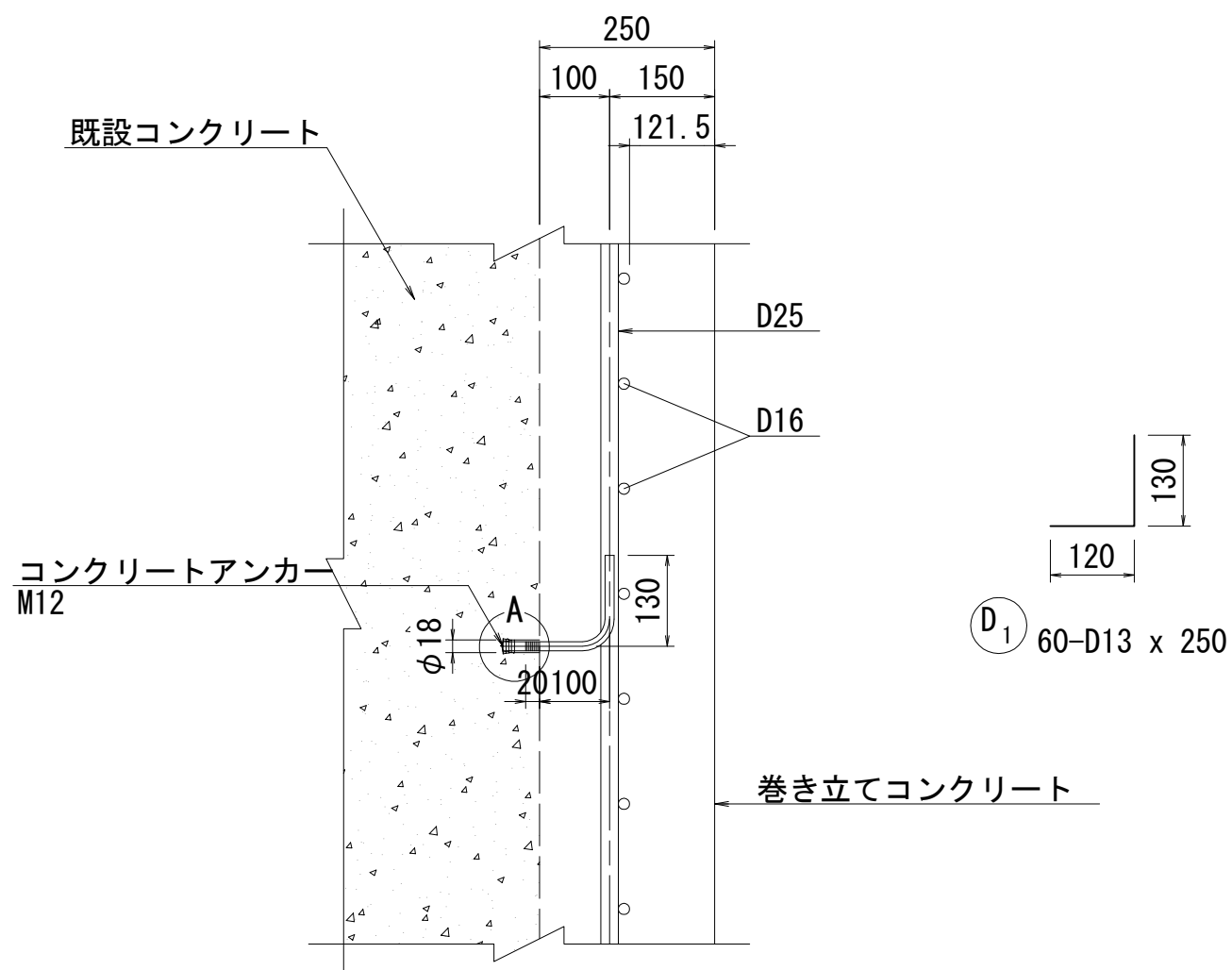
曙橋 補強配筋図(1) S=1:50
P1橋脚



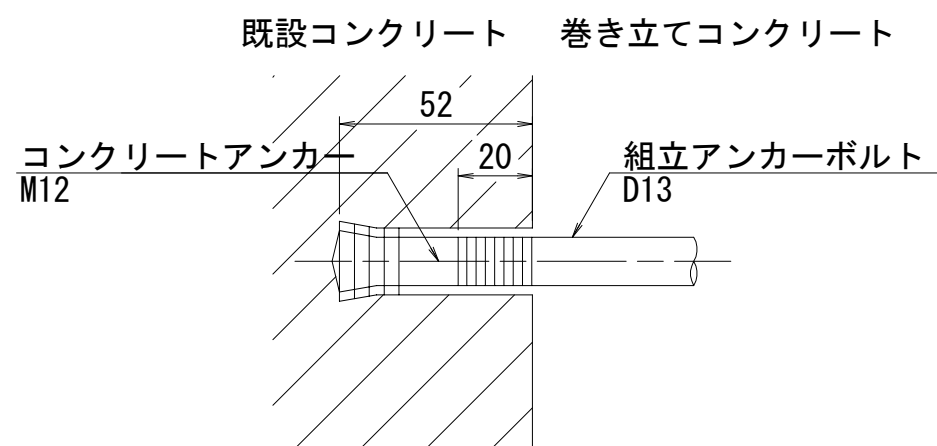
かぶり詳細図 S=1:20



"a"部詳細図 S=1:10

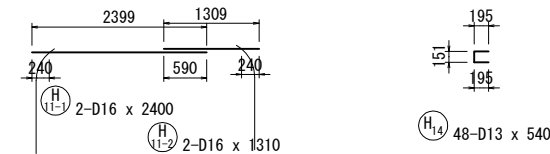
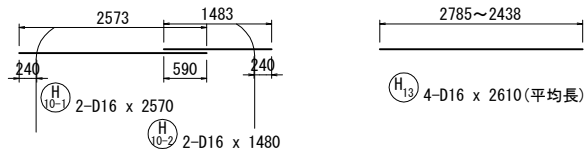
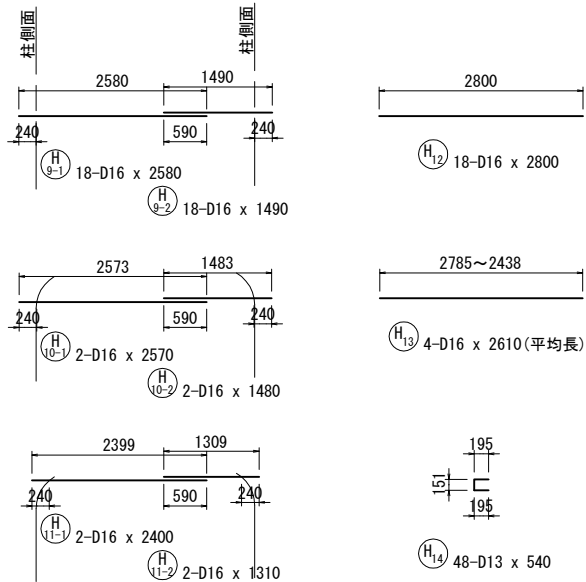
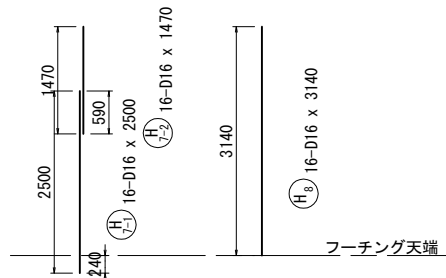
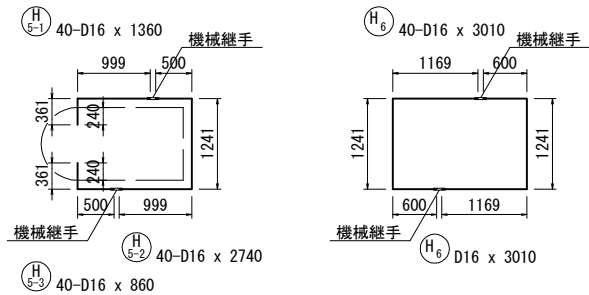
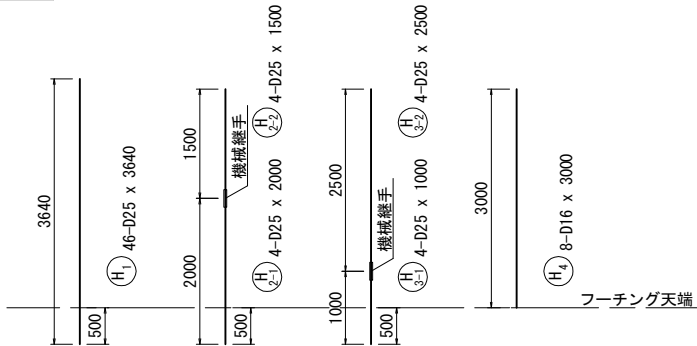


A部詳細図(参考図)



図面番号	31 枚の内 17	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(増補)		
種 別	補強配筋図(2) P1橋脚	番号	
路線 河川 名	港町 5 号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
三 原 市			

曙橋 補強配筋図(2) S=1:50 P1橋脚



鉄 筋 表

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当たり質量	質 量	摘 要
H 1	D25	3 640	46	3.98	14.49	667	
H 2-1	D25	2 000	4	3.98	7.96	32	<4>
H 2-2	D25	1 500	4	3.98	5.97	24	<4>
H 3-1	D25	1 000	4	3.98	3.98	16	
H 3-2	D25	2 500	4	3.98	9.95	40	
H 4	D16	3 000	8	1.56	4.68	37	
H 5-1	D16	1 360	40	1.56	2.12	85	<40>
H 5-2	D16	2 740	40	1.56	4.27	171	<40>
H 5-3	D16	860	40	1.56	1.34	54	<40>
H 6	D16	3 010	40	1.56	4.70	188	<40>
H 7-1	D16	2 500	16	1.56	3.90	62	
H 7-2	D16	1 470	16	1.56	2.29	37	
H 8	D16	3 140	16	1.56	4.90	78	
H 9-1	D16	2 580	18	1.56	4.02	72	
H 9-2	D16	1 490	18	1.56	2.32	42	
H 10-1	D16	2 570	2	1.56	4.01	8	
H 10-2	D16	1 480	2	1.56	2.31	5	
H 11-1	D16	2 400	2	1.56	3.74	7	
H 11-2	D16	1 310	2	1.56	2.04	4	
H 12	D16	2 800	18	1.56	4.37	79	
H 13	D16	2 610	4	1.56	4.07	16	(平均長)
H 14	D13	540	48	0.995	0.54	26	
1 750 kg							

※：< > 内数値は機械継手数を示す。

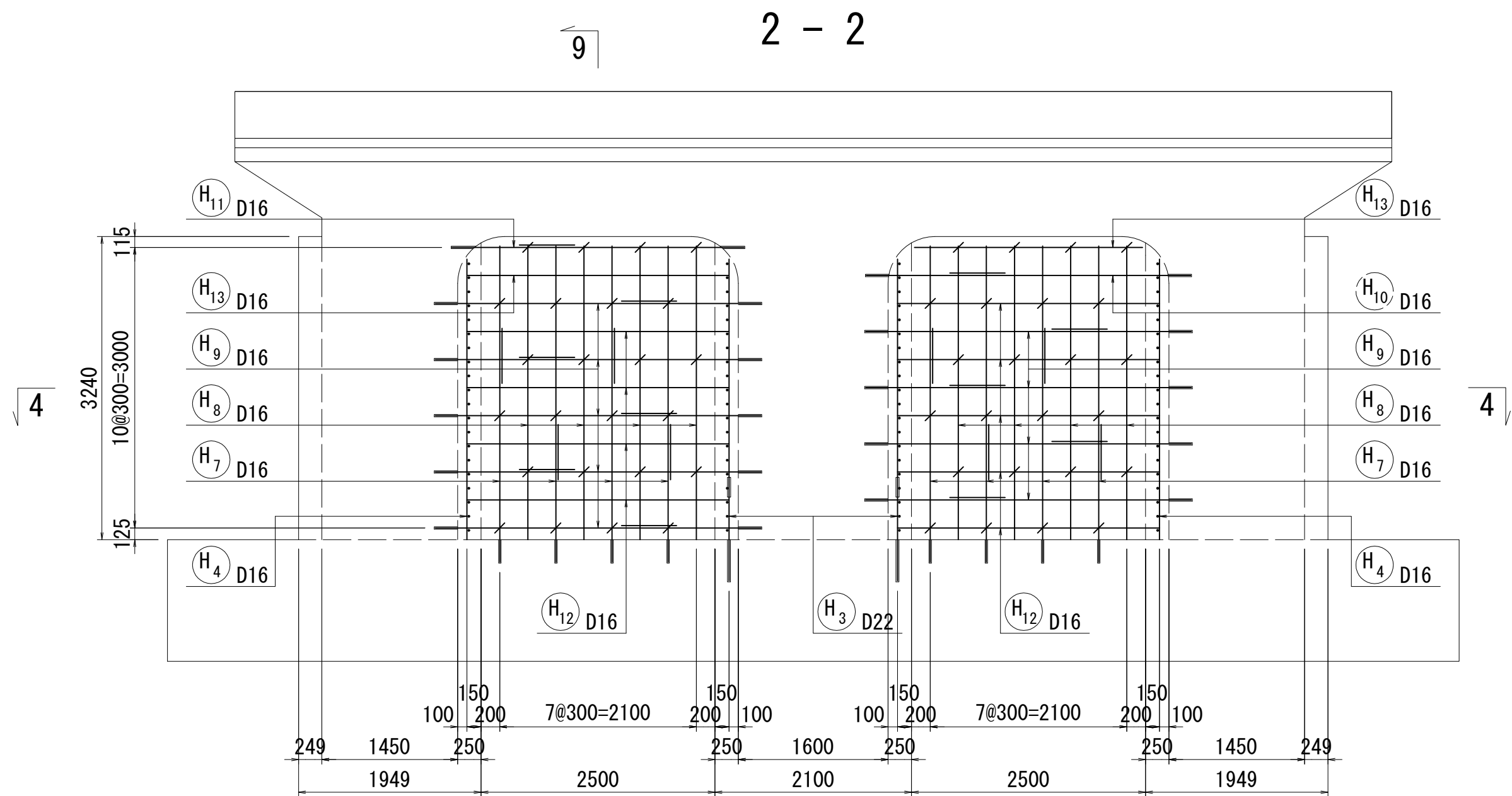
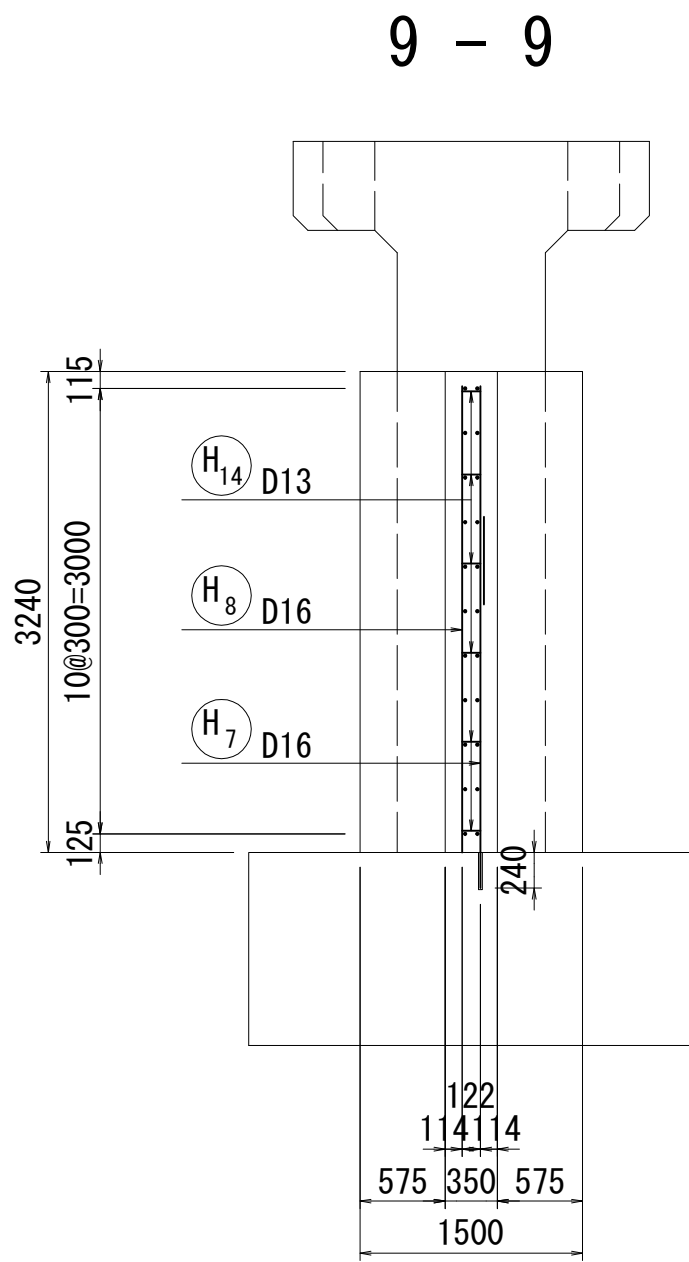
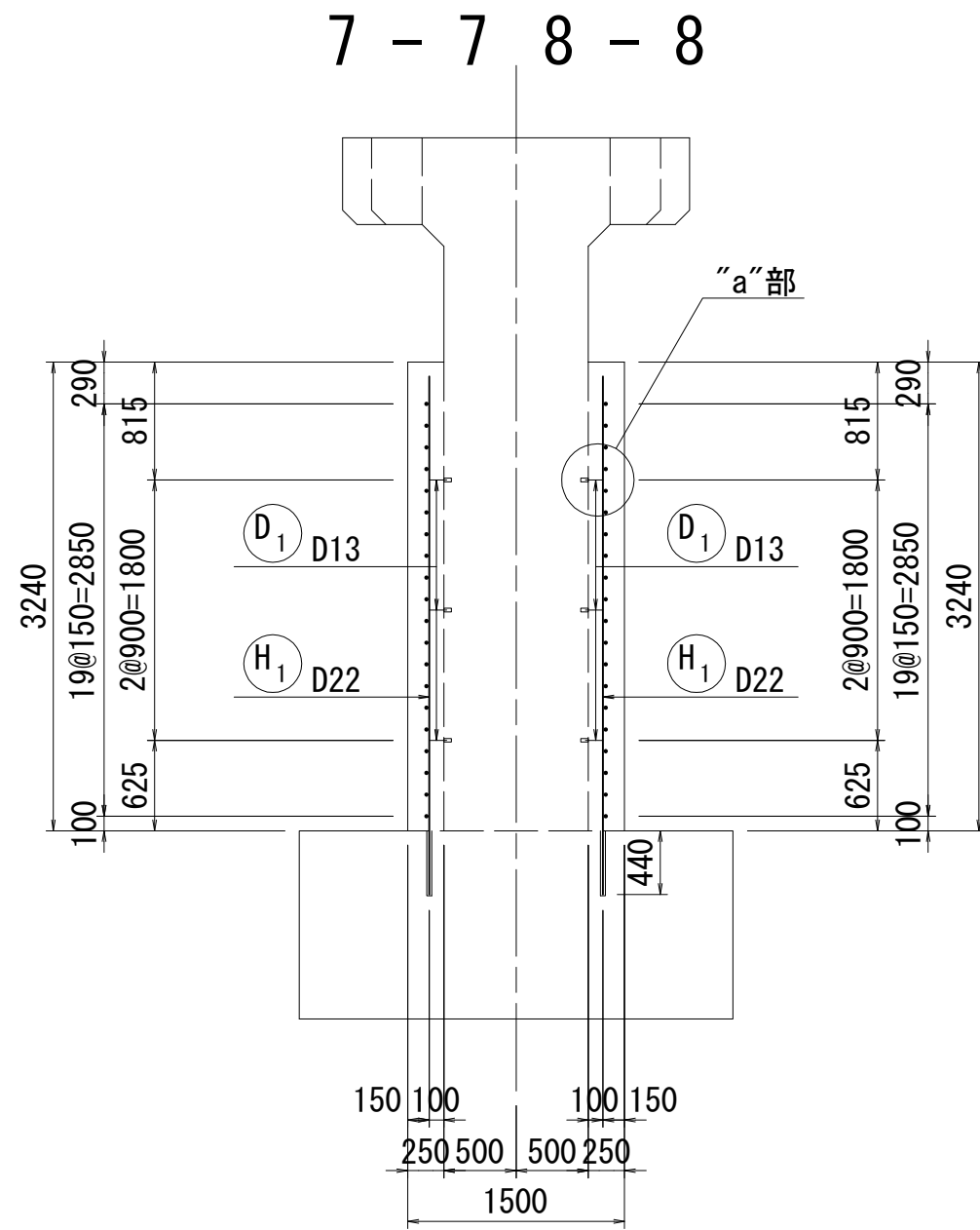
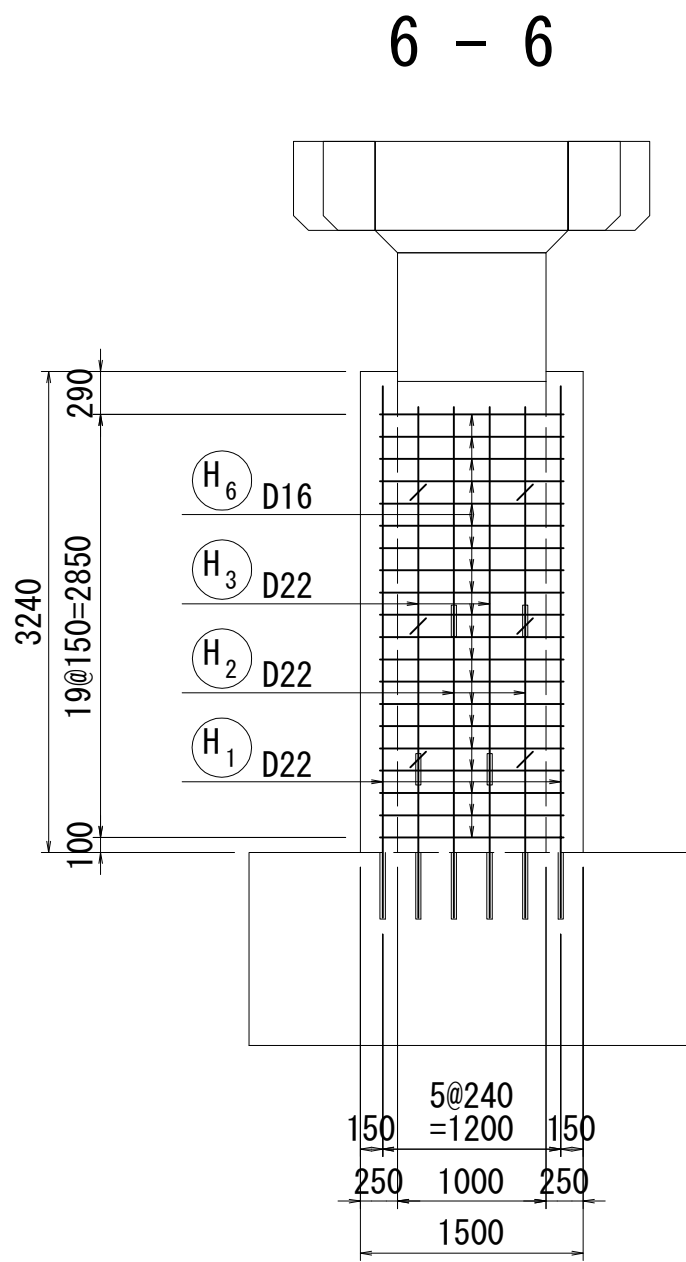
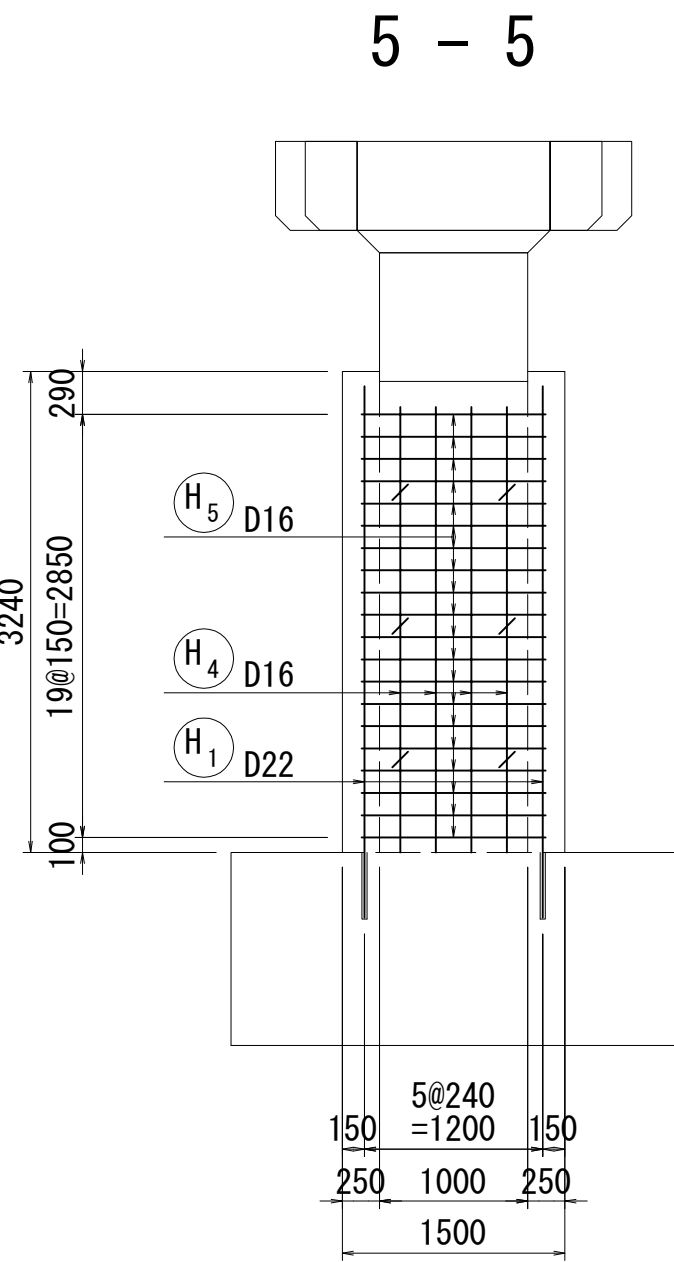
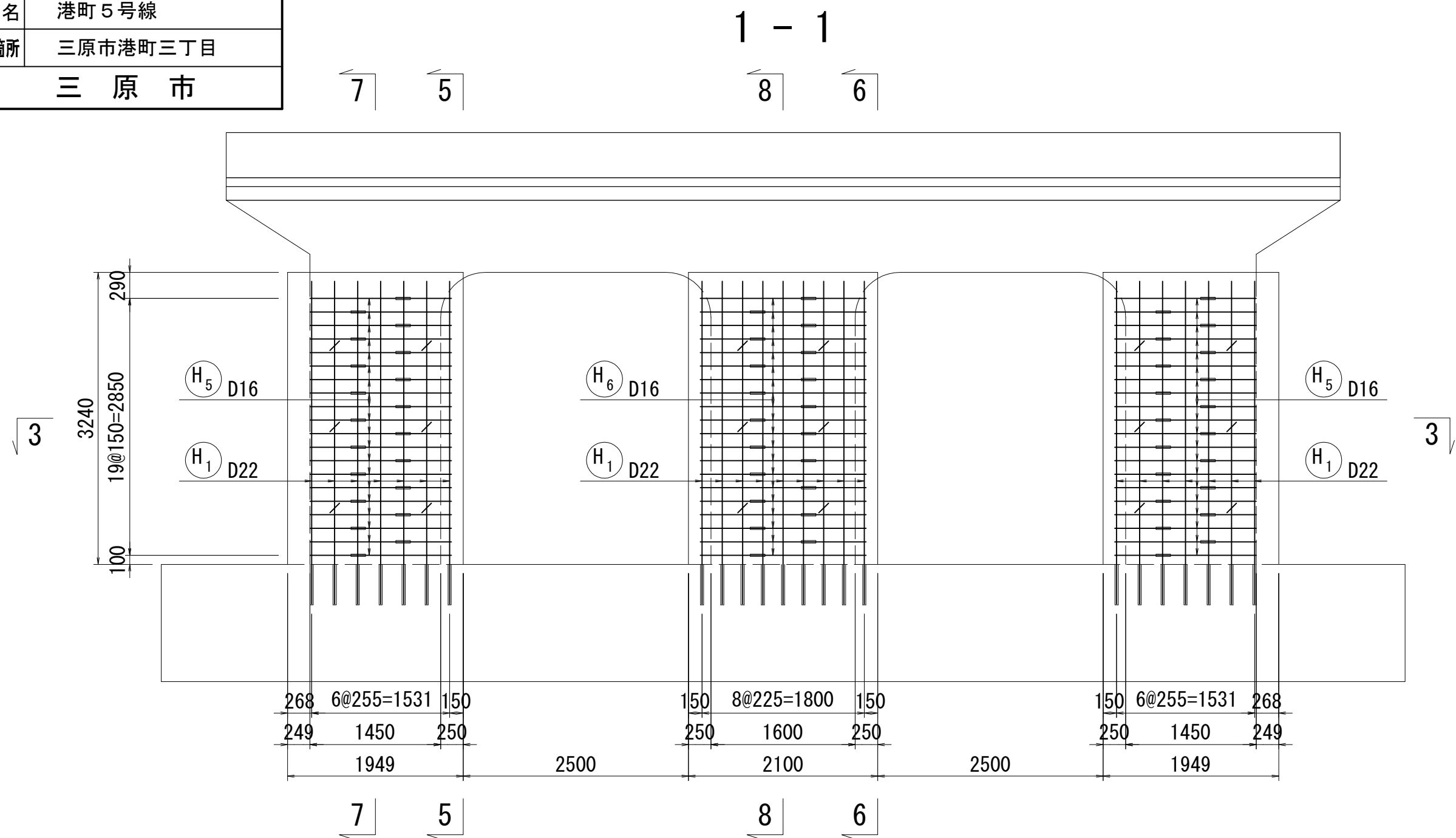
鉄 筋 表(参考数量)

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当たり質量	質 量	摘 要
D 1	D13	250	60	0.995	0.25	15	—
15 kg							
鉄筋質量							
D13			15 kg				
合計			15 kg				

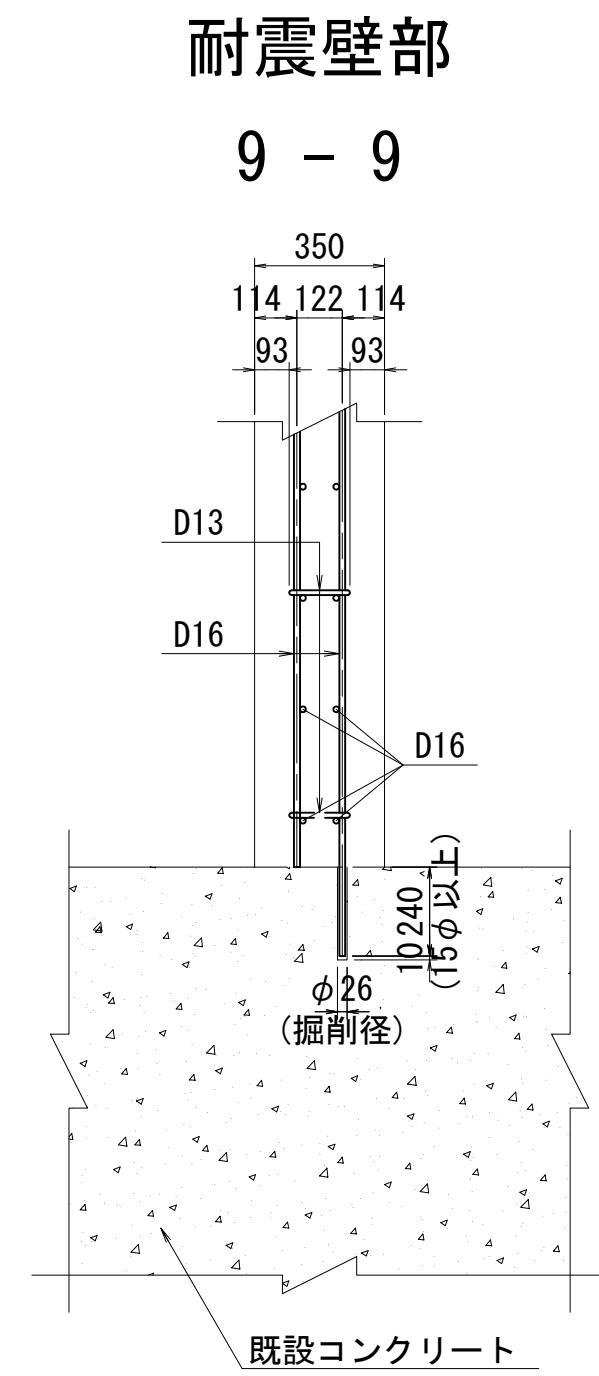
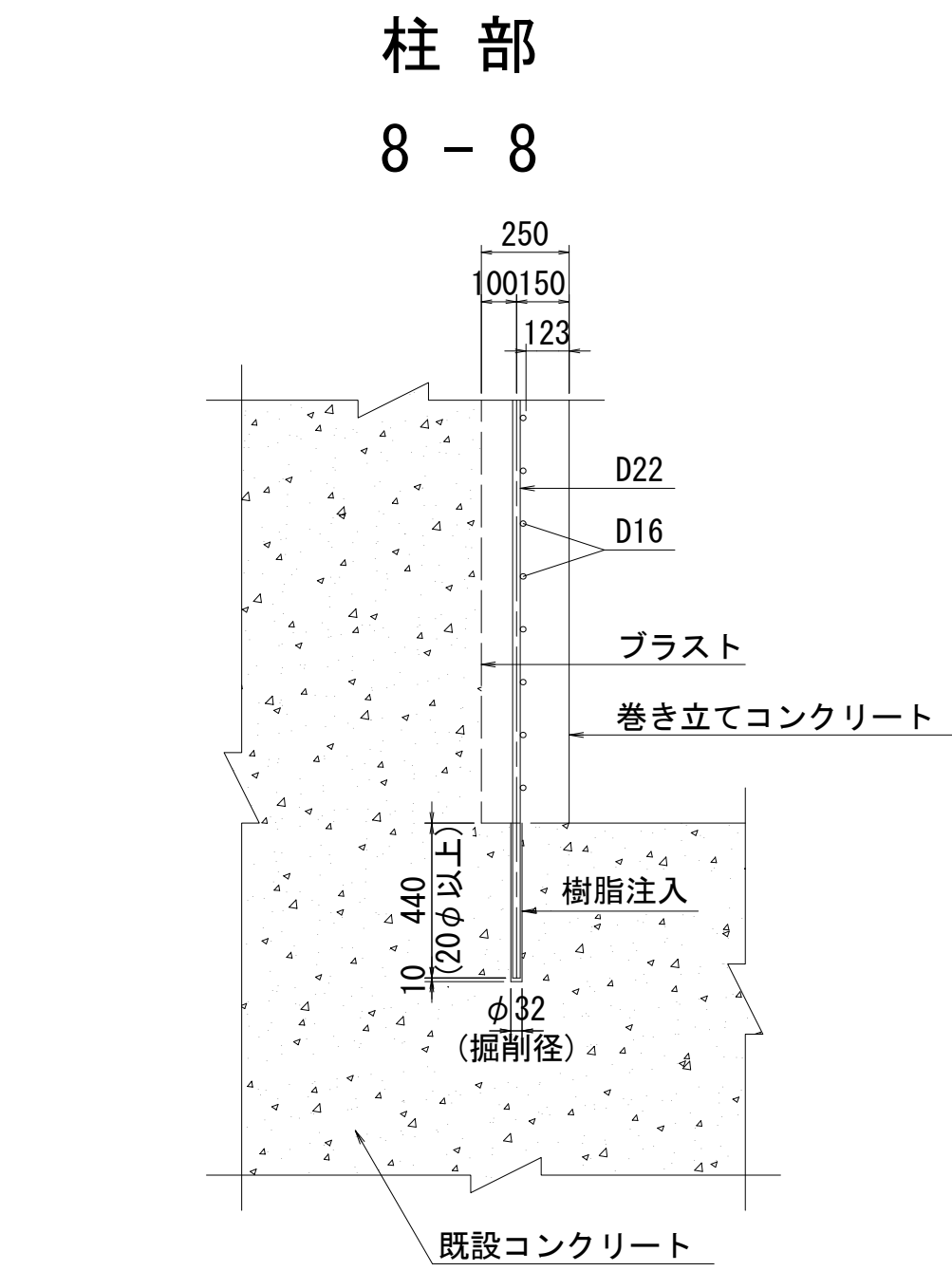
- 1) 現橋梁の寸法を現地にて確認した後、製作施工を行うこと。
- 2) アンカー孔の径は、アンカー鉄筋径+10mmを越えないようにし、エポキシ樹脂を注入して充填する。
- 3) 旧コンクリート面は、打設面全体にわたりチッピングを行い、十分な粗度をつけるものとする。
- 4) チッピング面に直接コンクリートを打ち継ぐときは打設面を十分に湿潤にし、コンクリートを打ち継ぐものとする。
- 5) **コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N}/\text{mm}^2$ 以上とする。**
又、水セメント比は55%以下とする。
- 6) 鉄筋の材質はSD345とする。
- 7) アンカー筋の既設下部工への定着長は、必要長を確実に確保すること。
- 8) アンカー筋の設置にあたっては、既設鉄筋位置をRC探査等により確認し、既設鉄筋を切断しないようにする。
- 9) 組立用アンカーは、1本/m程度配置すること。
- 10) 鉄筋は、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

図面番号	31 枚の内 18		縮尺	図示	
工 種	橋梁耐震補強工事 (曙橋)				
種 別	補強配筋図 (3) P2橋脚			番号	
路線 河川 名	港町 5 号線				
工事箇所	三原市港町三丁目				
三 原 市					

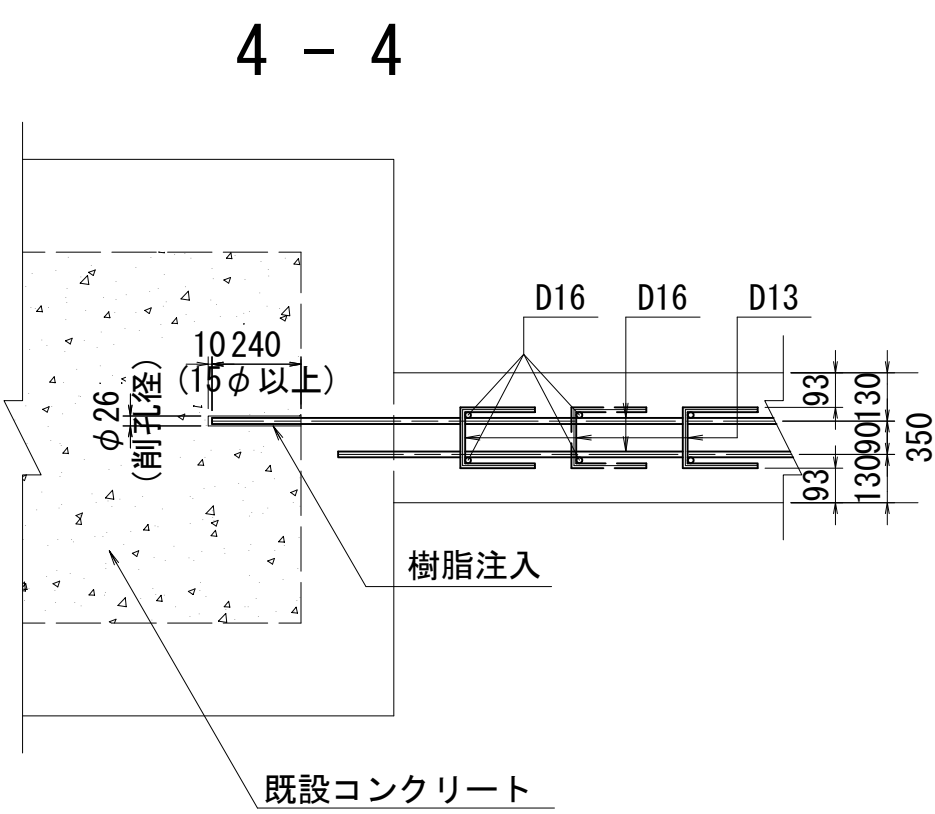
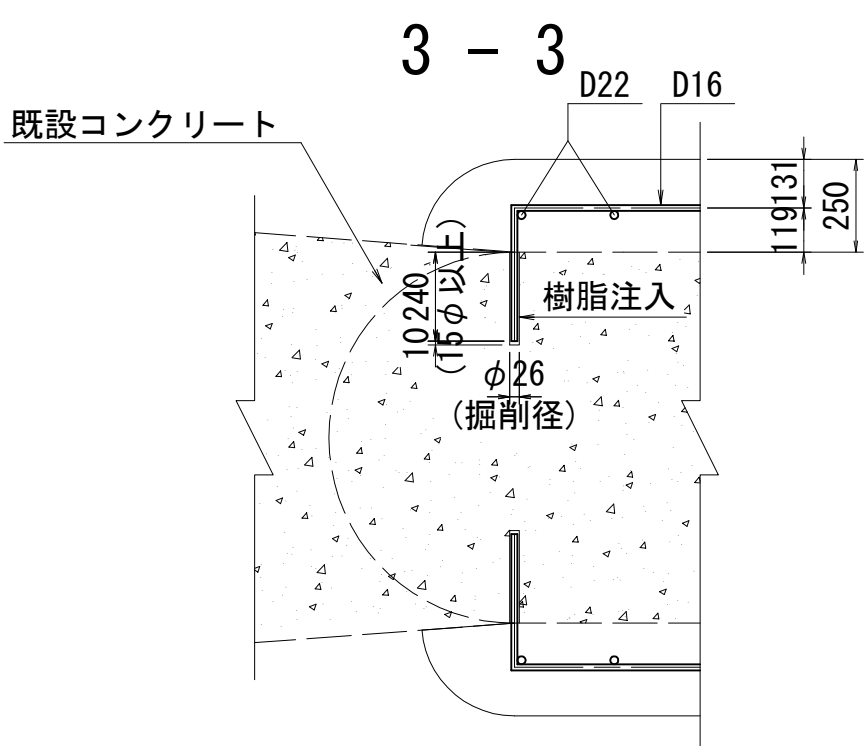
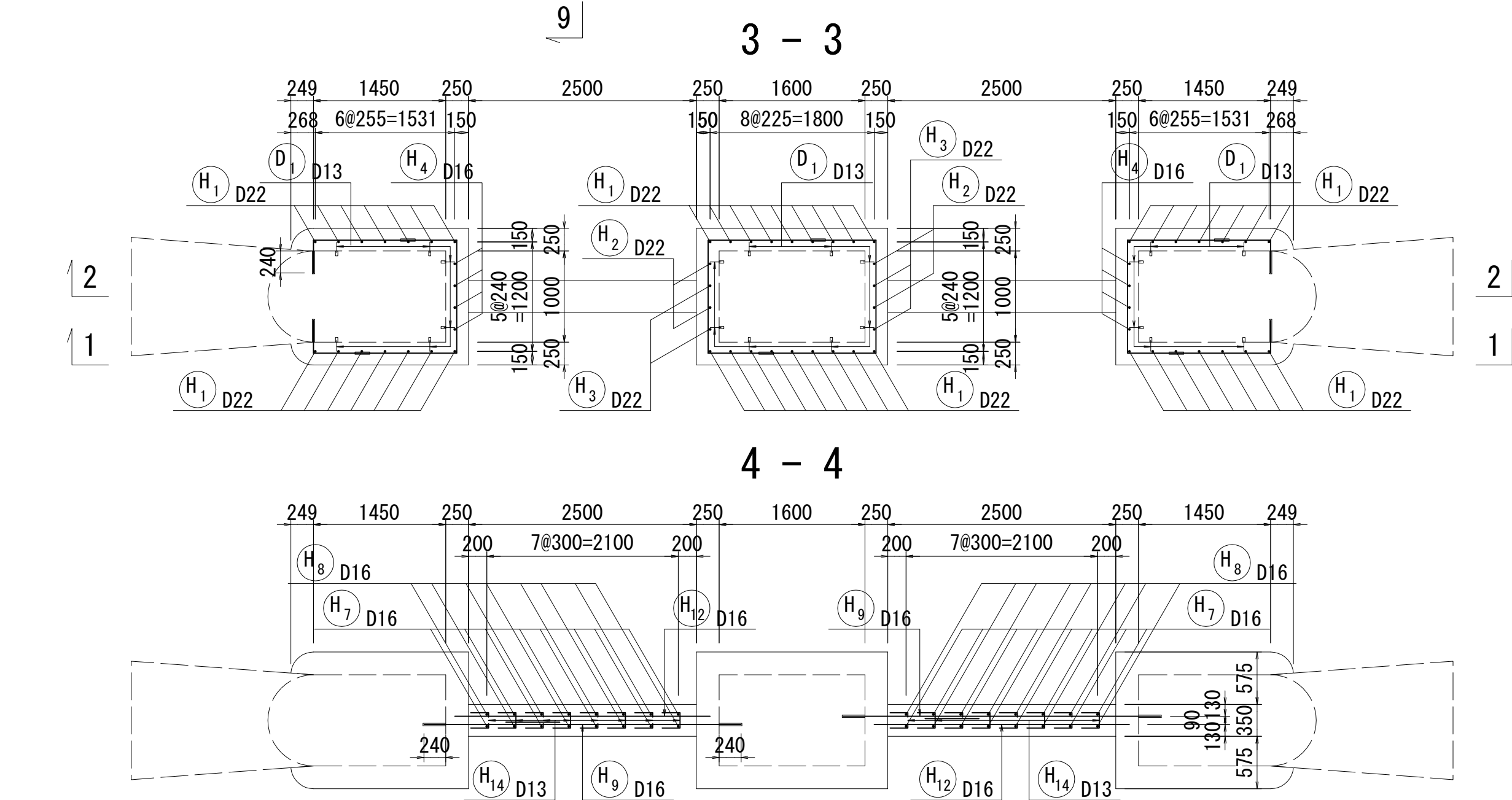
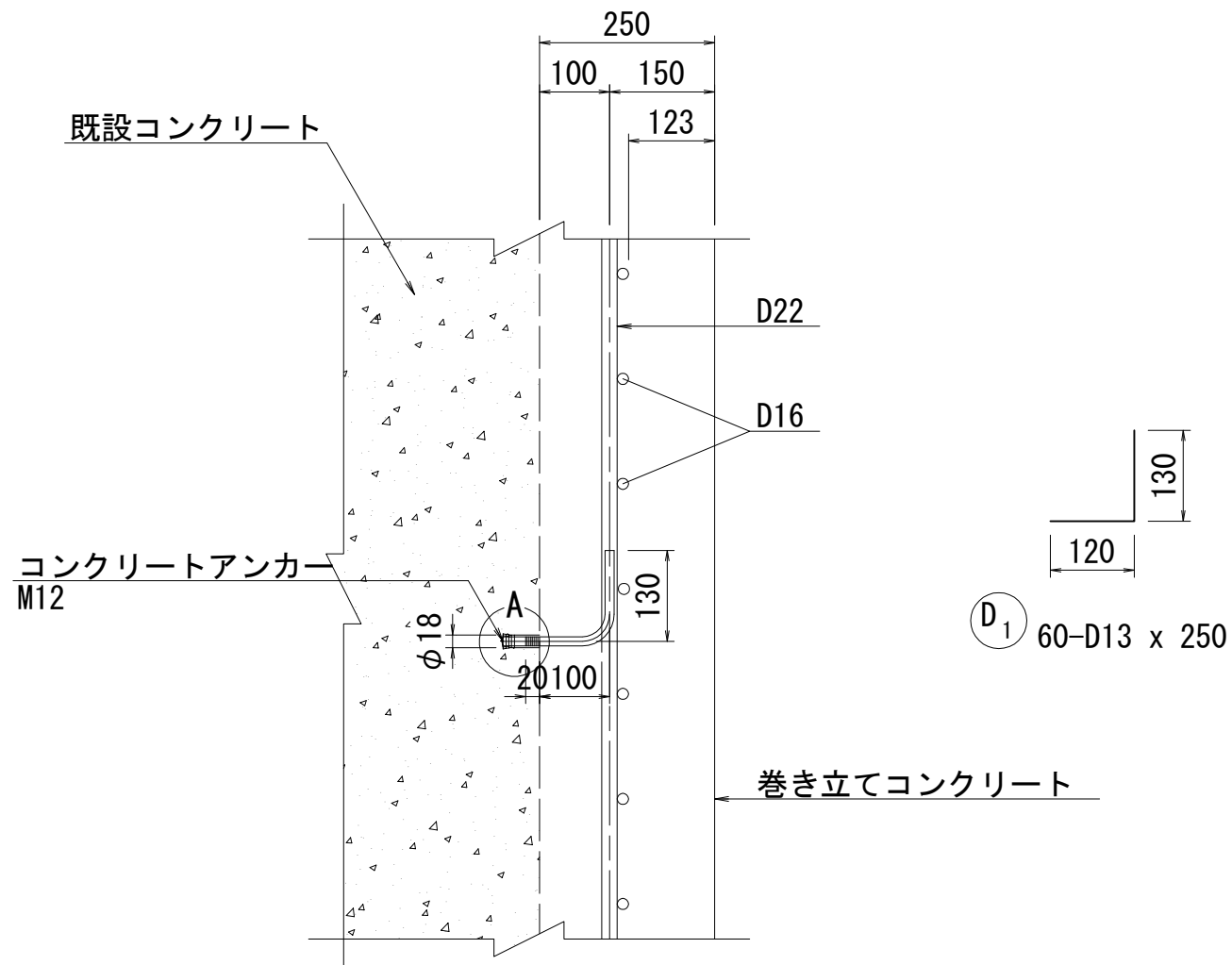
曙橋 補強配筋図(3) S=1:50
P2橋脚



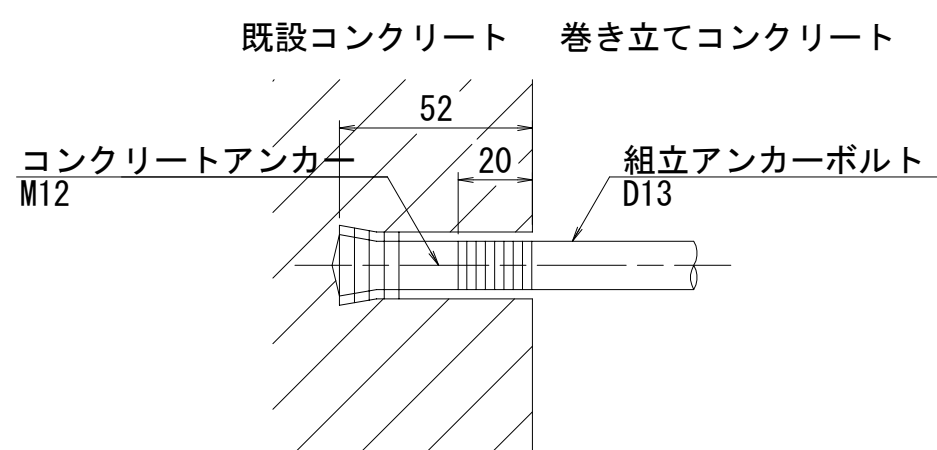
かぶり詳細図 S=1:20



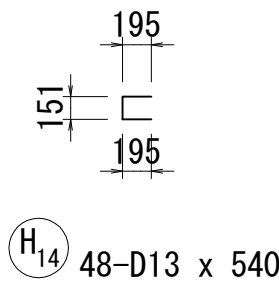
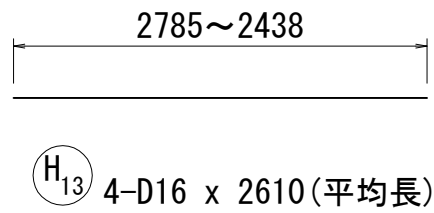
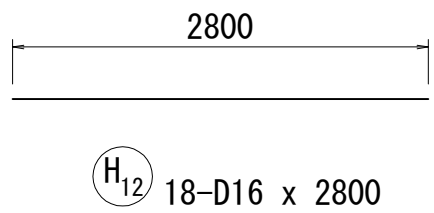
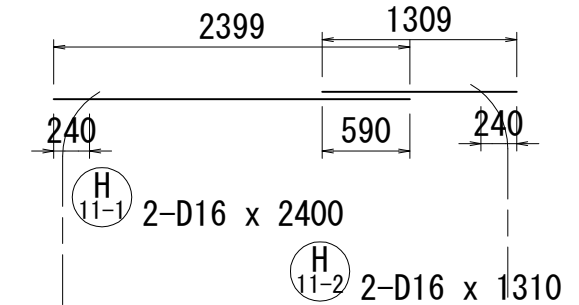
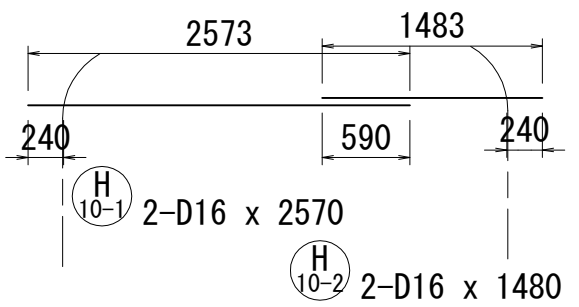
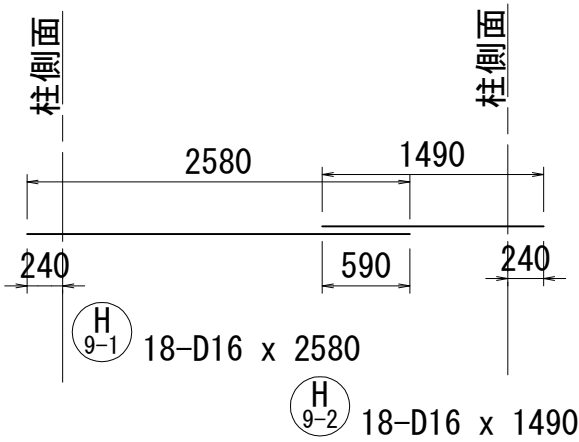
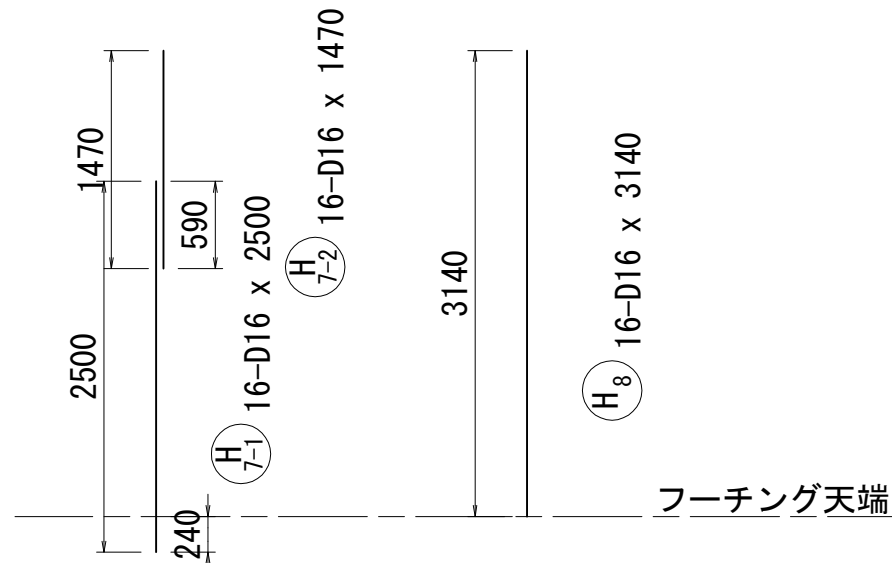
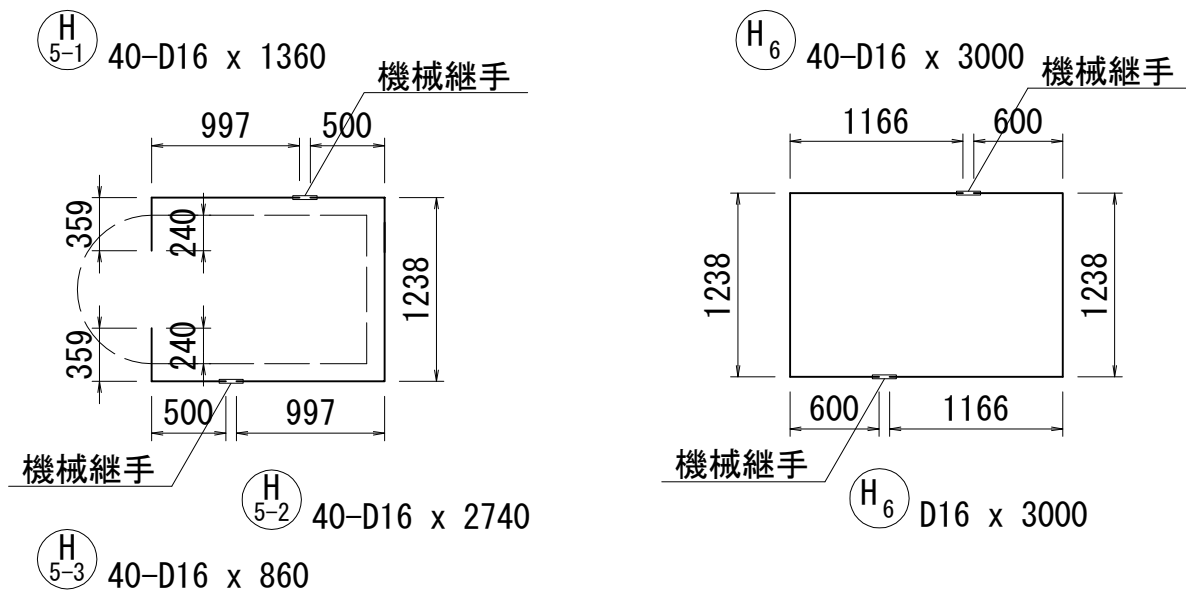
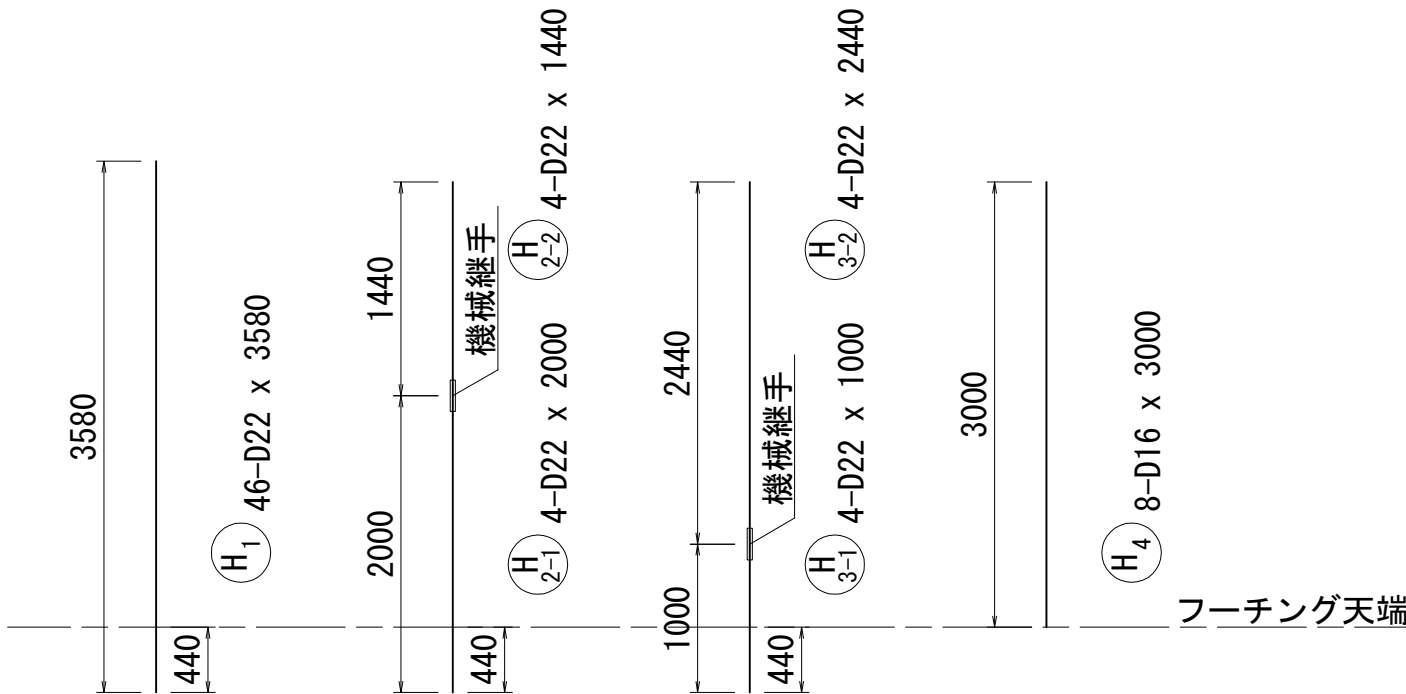
"a"部詳細図 S=1:10



A部詳細図(参考図)



図面番号	31 枚の内 19		縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事 (曙橋)			
種 別	補強配筋図 (4) P2橋脚		番号	
路線 河川 名	港町 5 号線			
工事箇所	三原市港町三丁目			
三 原 市				



曙橋 補強配筋図(4) S=1:50 P2橋脚

鉄 筋 表

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当たり質量	質 量	摘 要
H 1	D22	3 580	46	3. 04	10. 88	500	
H 2-1	D22	2 000	4	3. 04	6. 08	24	⌋ <4>
H 2-2	D22	1 440	4	3. 04	4. 38	18	⌋
H 3-1	D22	1 000	4	3. 04	3. 04	12	⌋ <4>
H 3-2	D22	2 440	4	3. 04	7. 42	30	⌋
H 4	D16	3 000	8	1. 56	4. 68	37	
H 5-1	D16	1 360	40	1. 56	2. 12	85	⌋ <40>
H 5-2	D16	2 740	40	1. 56	4. 27	171	⌋ <40>
H 5-3	D16	860	40	1. 56	1. 34	54	⌋
H 6	D16	3 000	40	1. 56	4. 68	187	⌋ <40>
H 7-1	D16	2 500	16	1. 56	3. 90	62	
H 7-2	D16	1 470	16	1. 56	2. 29	37	
H 8	D16	3 140	16	1. 56	4. 90	78	
H 9-1	D16	2 580	18	1. 56	4. 02	72	—
H 9-2	D16	1 490	18	1. 56	2. 32	42	—
H 10-1	D16	2 570	2	1. 56	4. 01	8	—
H 10-2	D16	1 480	2	1. 56	2. 31	5	—
H 11-1	D16	2 400	2	1. 56	3. 74	7	—
H 11-2	D16	1 310	2	1. 56	2. 04	4	—
H 12	D16	2 800	18	1. 56	4. 37	79	—
H 13	D16	2 610	4	1. 56	4. 07	16	— (平均長)
H 14	D13	540	48	0. 995	0. 54	26	⌋
1 554 kg							
鉄筋質量				機械継手箇所数			
D22				8 箇所			
D16				120 箇所			
D13				-			
合計				128 箇所			

※: < > 内数値は機械継手数を示す。

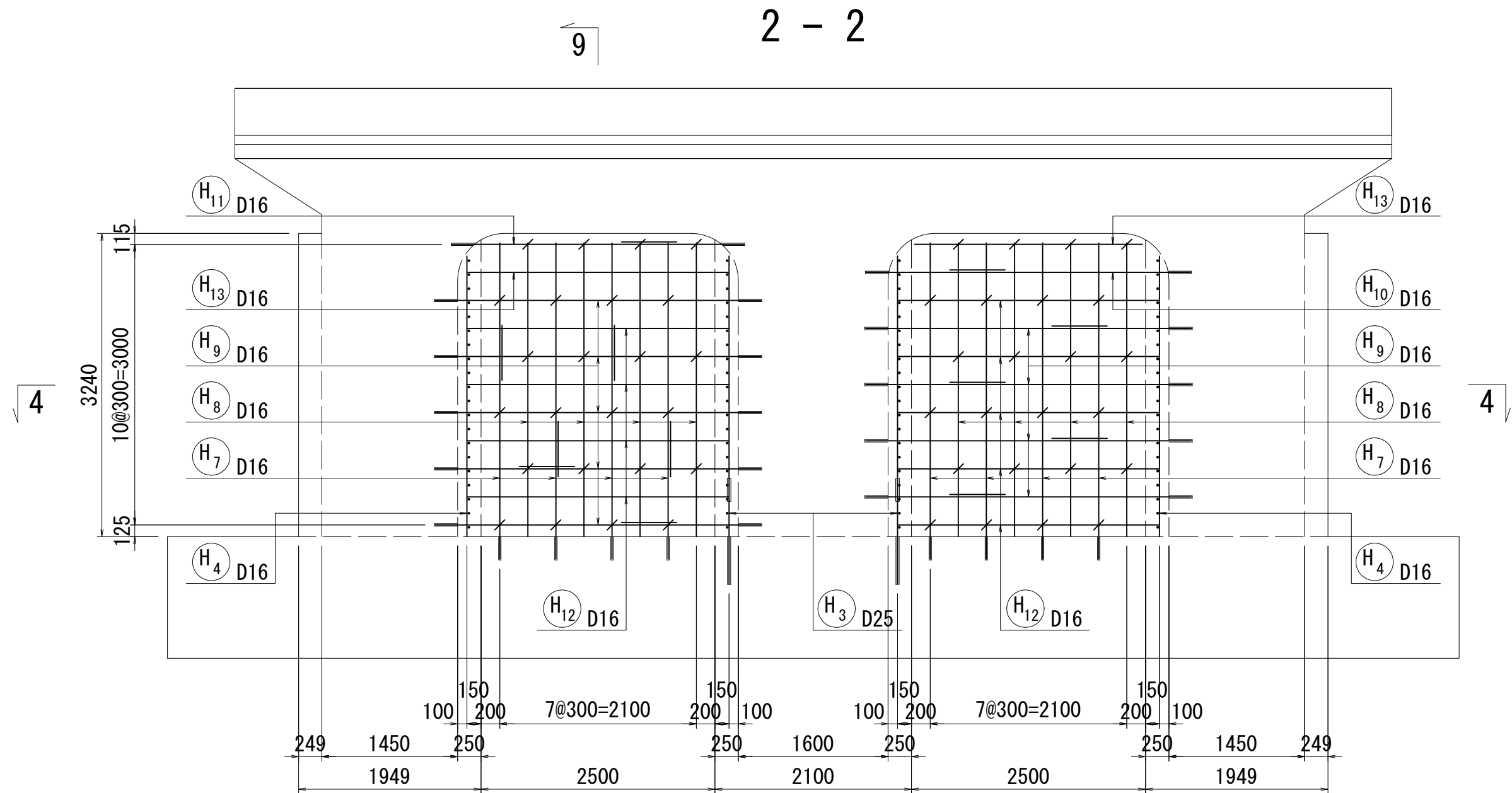
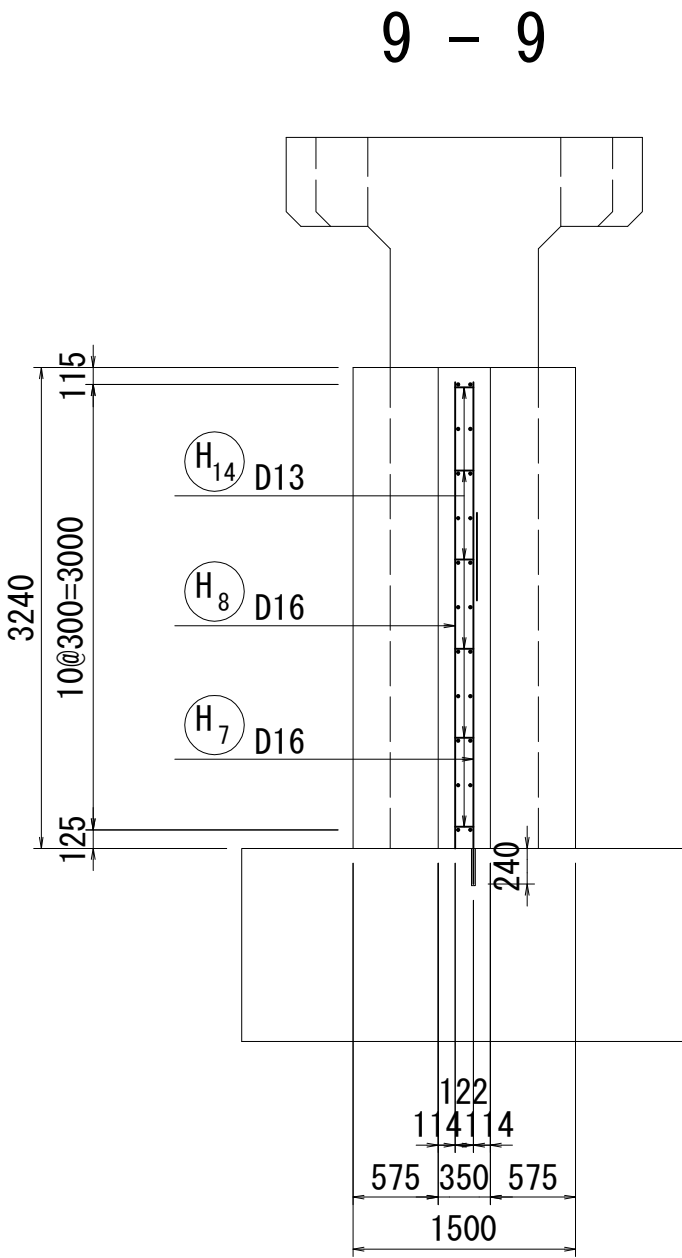
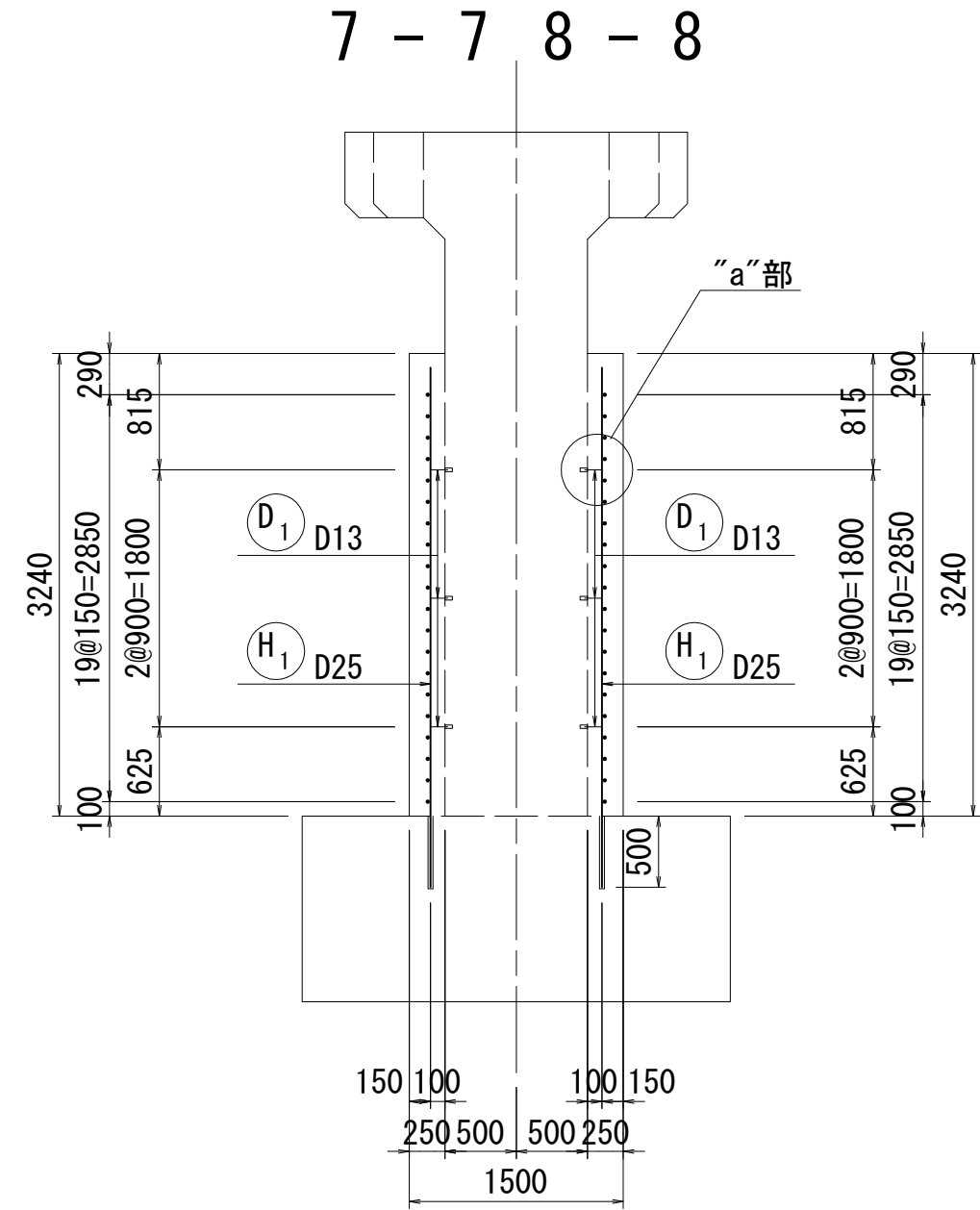
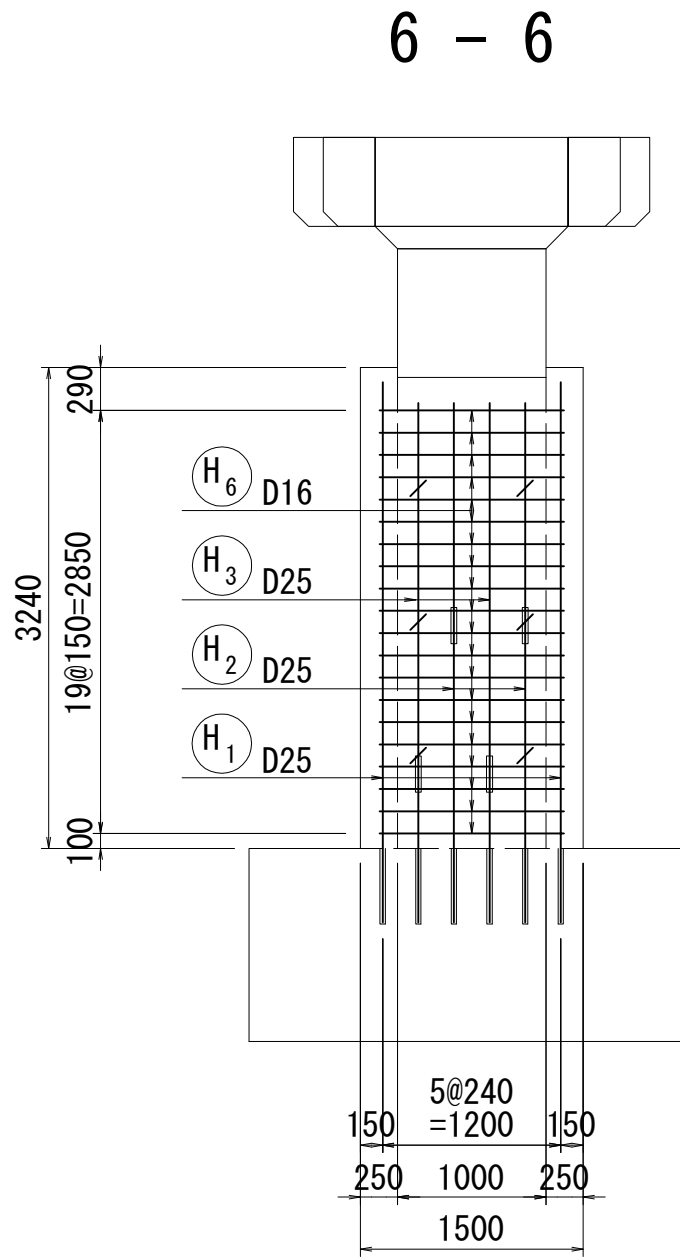
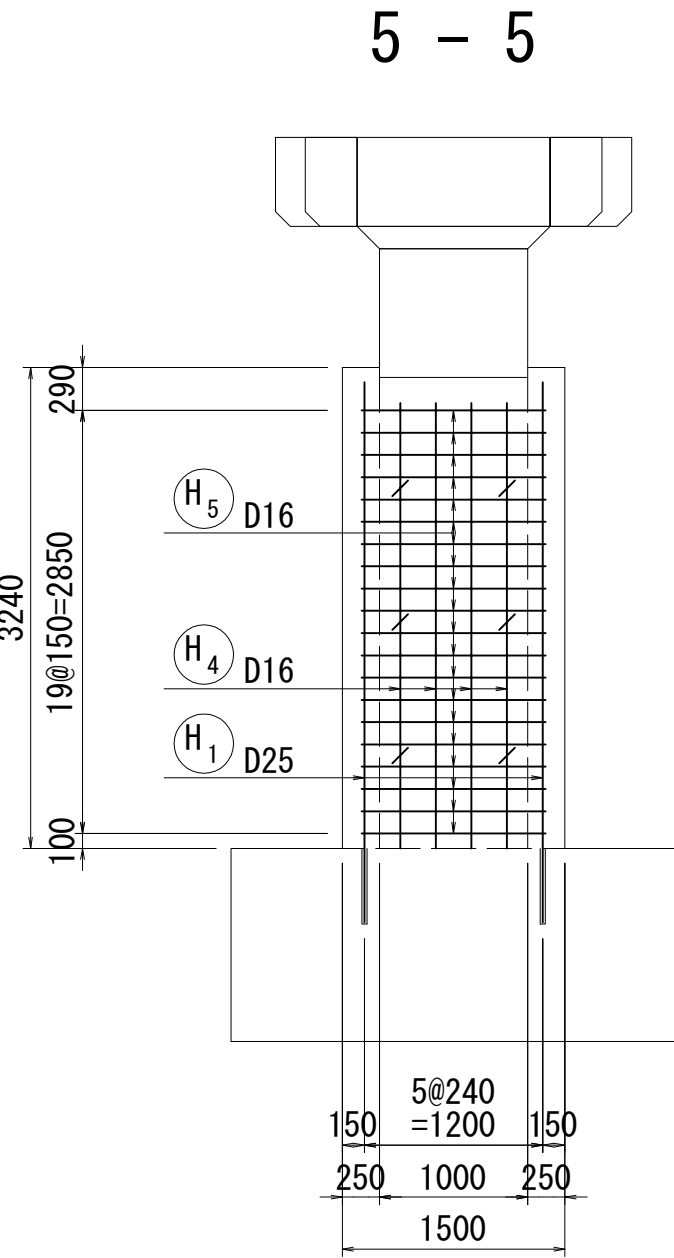
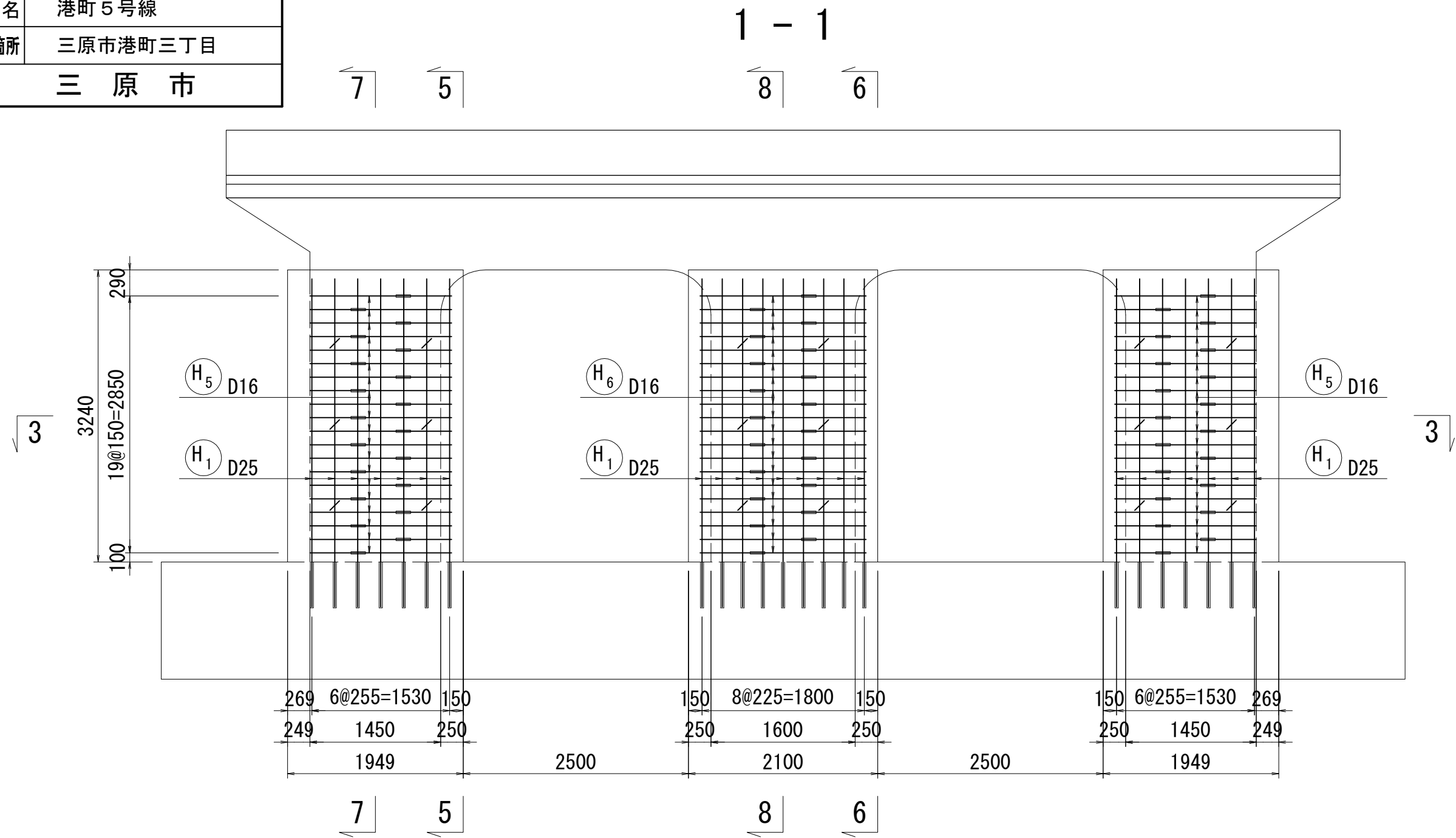
鉄 筋 表(参考数量)

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当たり質量	質 量	摘 要
D	1	D13	250	60	0.995	0.25	15 ┘
							15 kg
鉄筋質量							
D13			15 kg				
合計			15 kg				

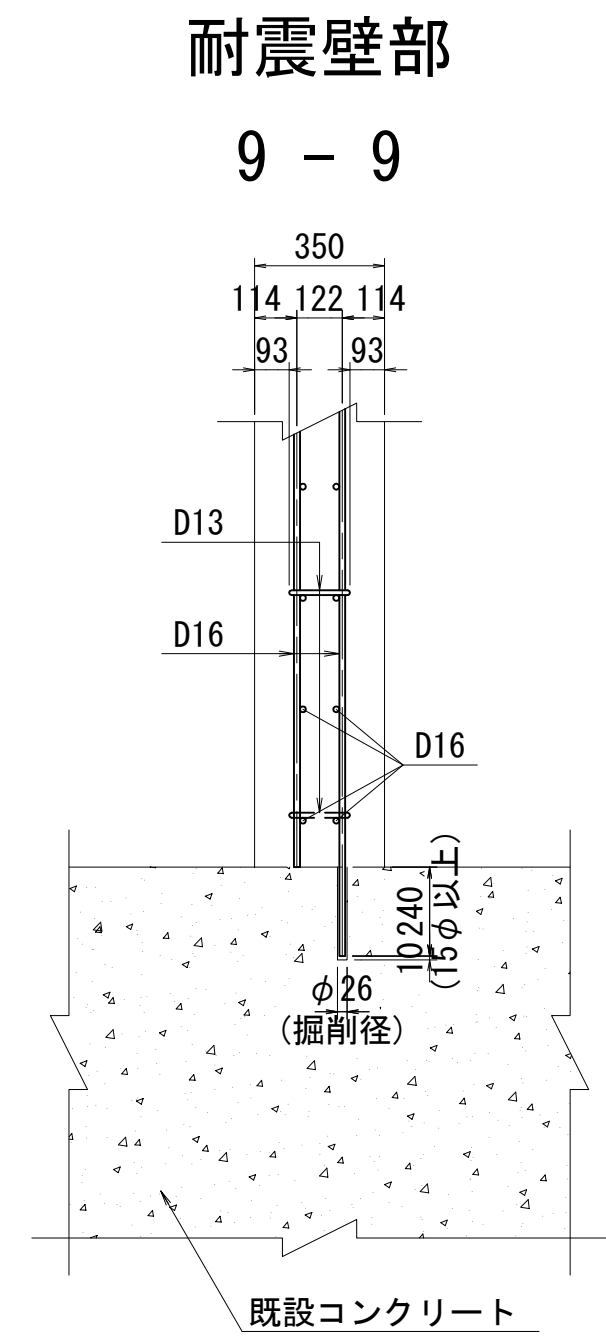
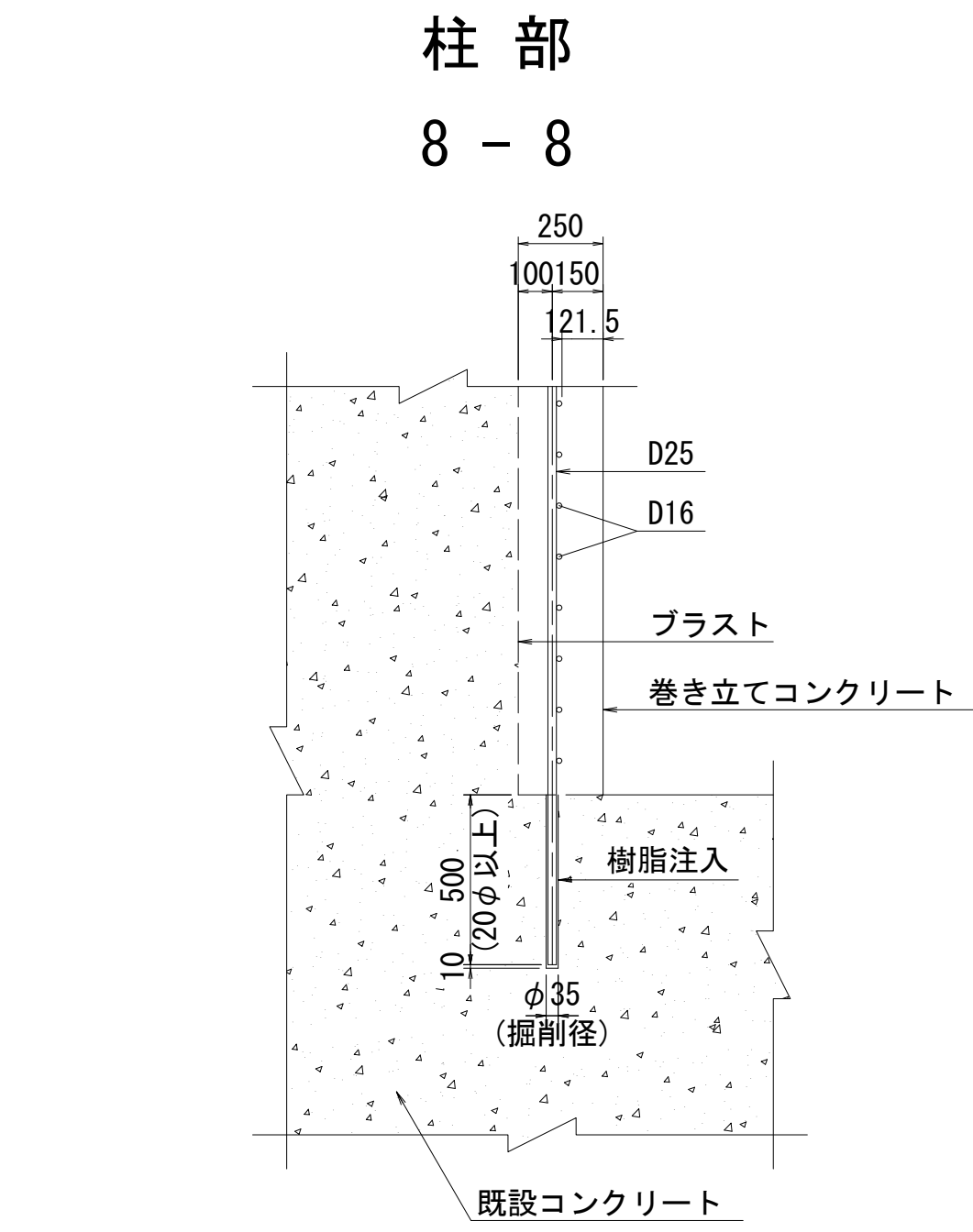
- 1) 現橋梁の寸法を現地ににて確認した後、製作施工を行うこと。
- 2) アンカー孔の径は、アンカー鉄筋径+10mmを越えないようにし、エポキシ樹脂を注入して充填する。
- 3) 旧コンクリート面は、打設面全体にわたりチッピングを行い、十分な粗度をつけるものとする。
- 4) チッピング面に直接コンクリートを打ち継ぐときは打設面を十分に湿潤にし、コンクリートを打ち継ぐものとする。
- 5) コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24N/?$ 以上とする。
又、水セメント比は55%以下とする。
- 6) 鉄筋の材質はSD345とする。
- 7) アンカー筋の既設下部工への定着長は、必要長を確実に確保すること。
- 8) アンカー筋の設置にあたっては、既設鉄筋位置をRC探査等により確認し、既設鉄筋を切断しないようにする。
- 9) 組立用アンカーは、1本/m程度配置すること。
- 10) 鉄筋は、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

図面番号	31 枚の内 20		縮尺	図示	
工 種	橋梁耐震補強工事(曙橋)				
種 別	補強配筋図(5) P3橋脚			番号	
路線 河川	港町 5 号線				
工事箇所	三原市港町三丁目				
三 原 市					

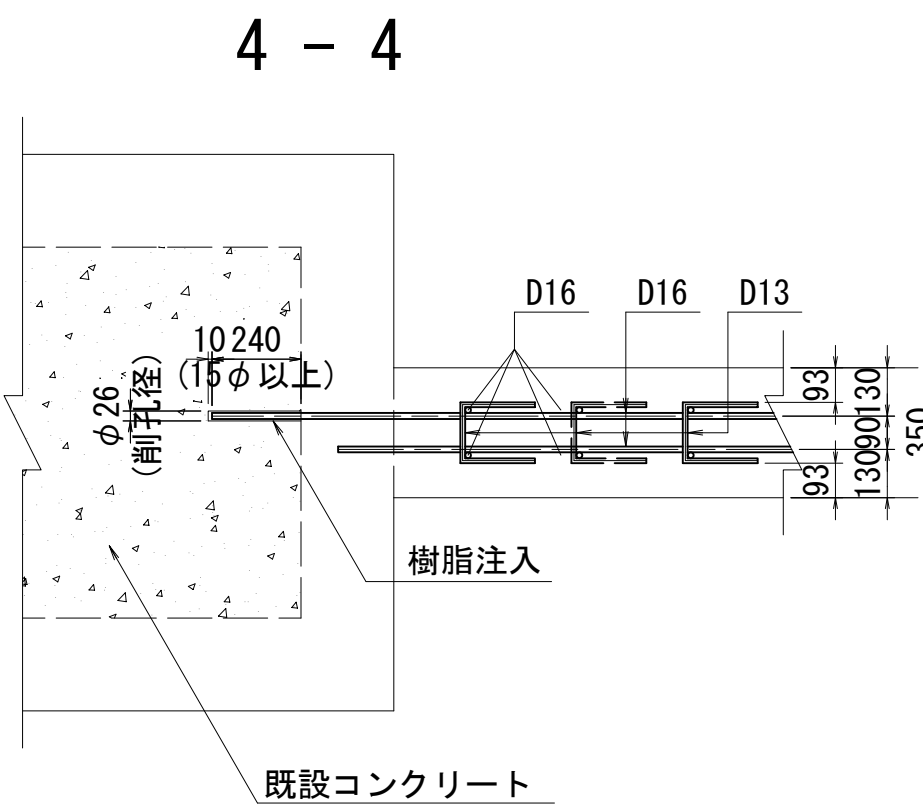
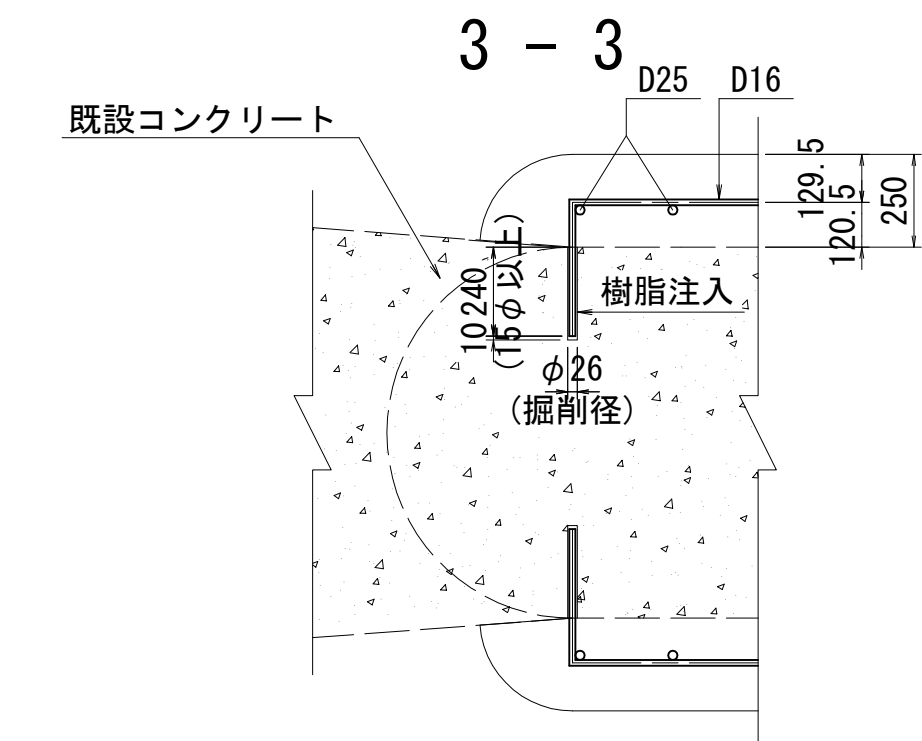
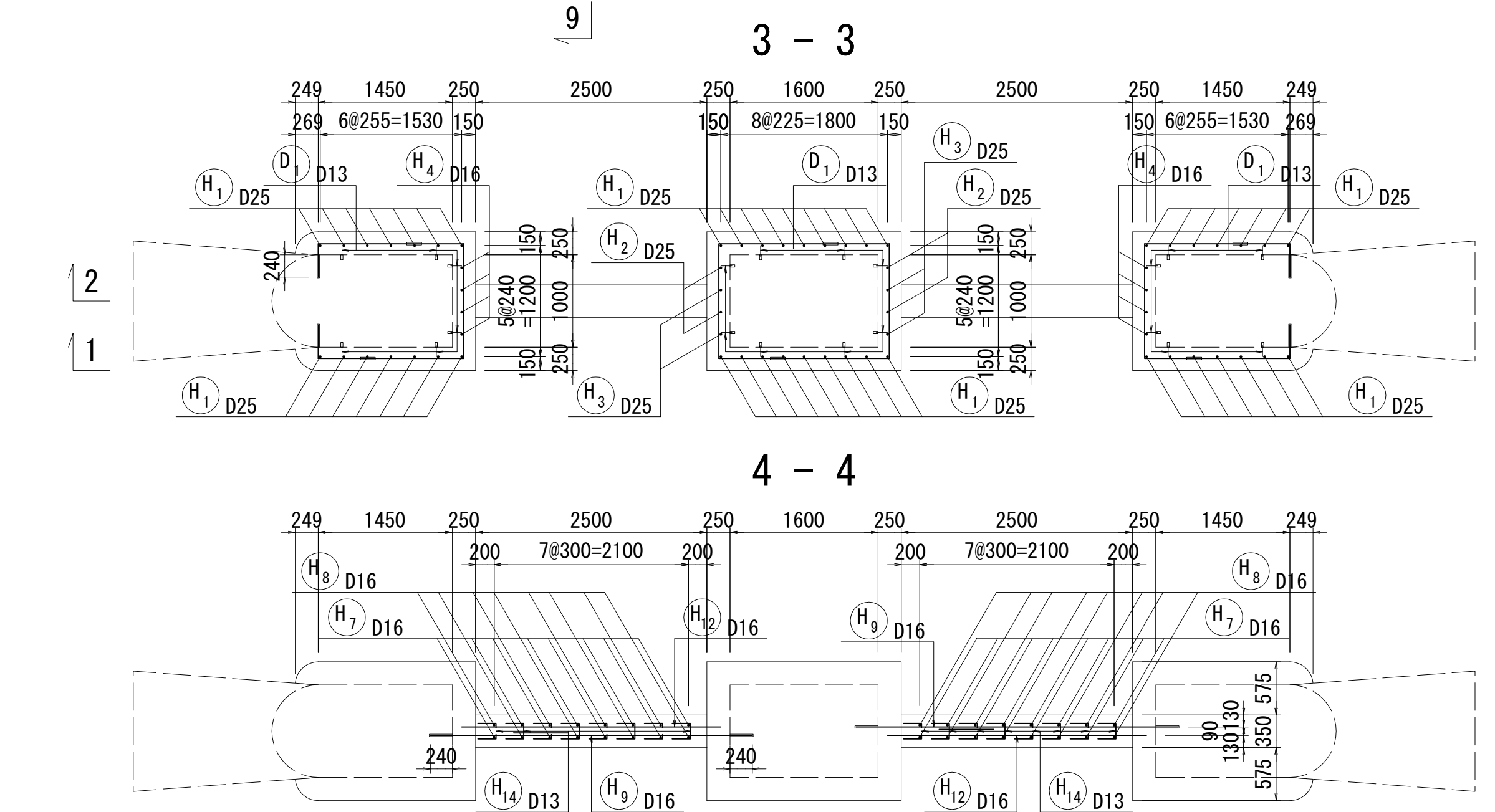
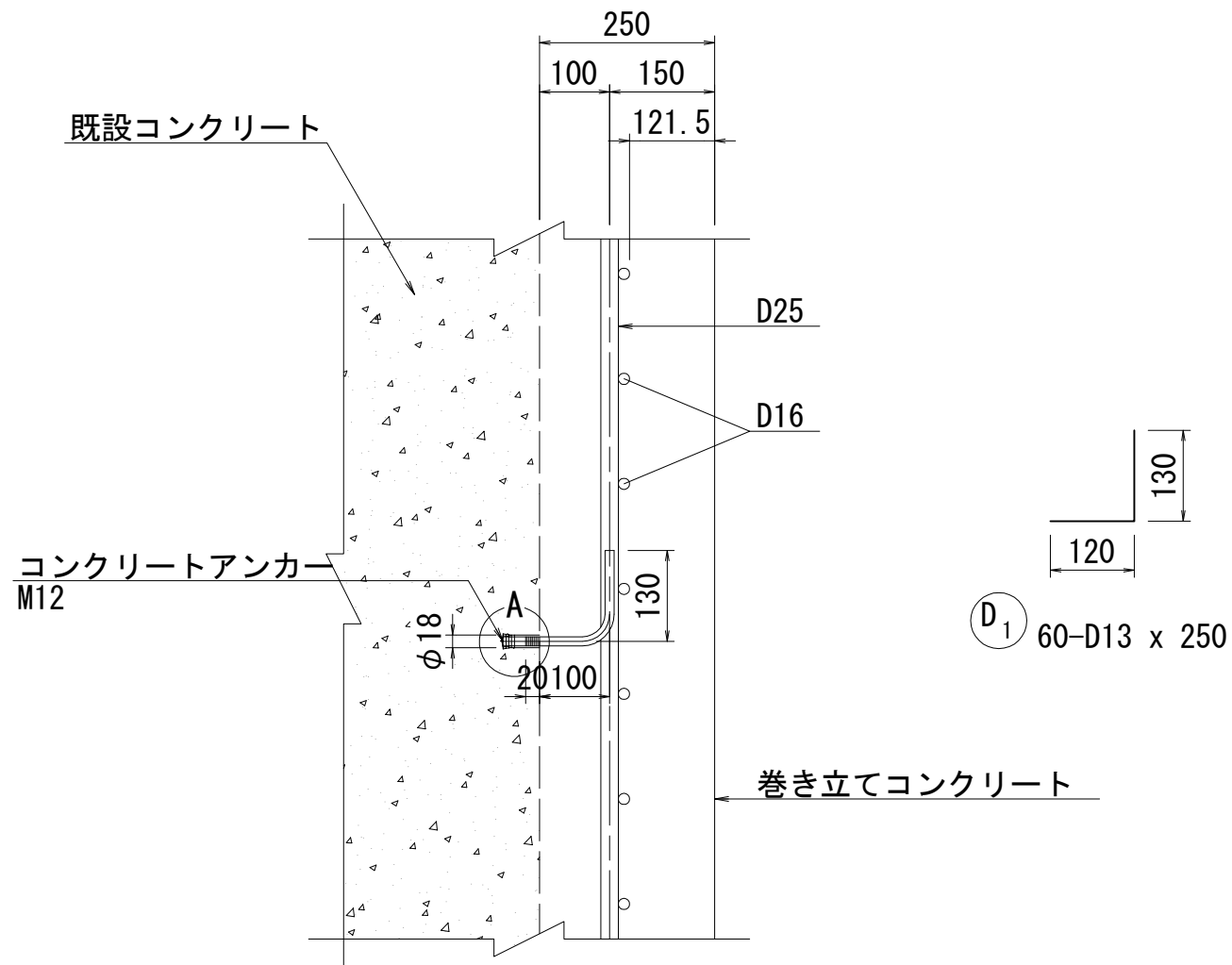
曙橋 補強配筋図(5) S=1:50
P3橋脚



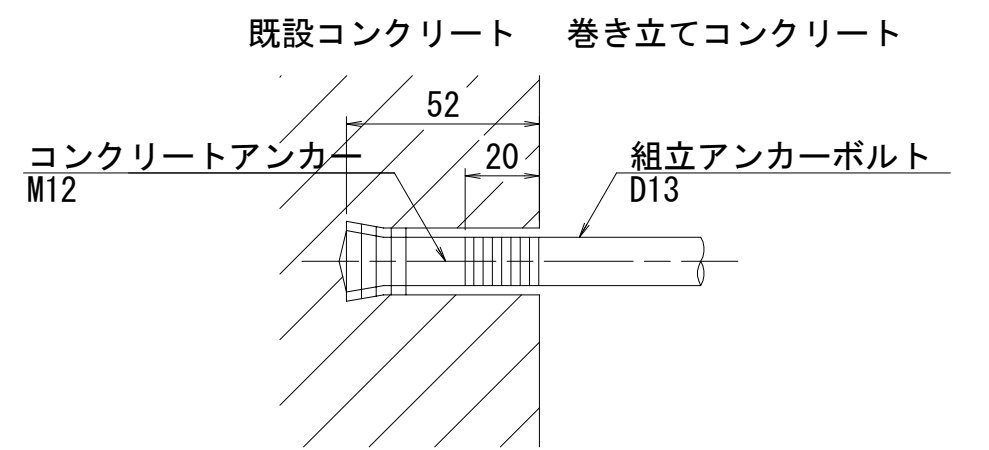
かぶり詳細図 S=1:20



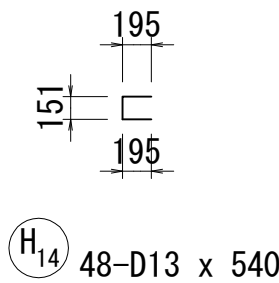
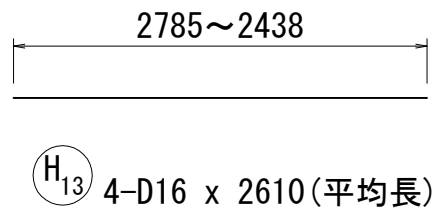
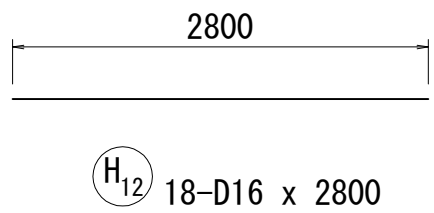
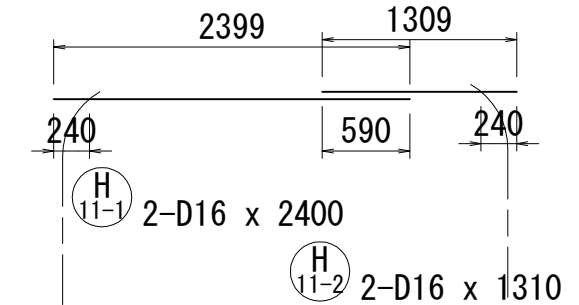
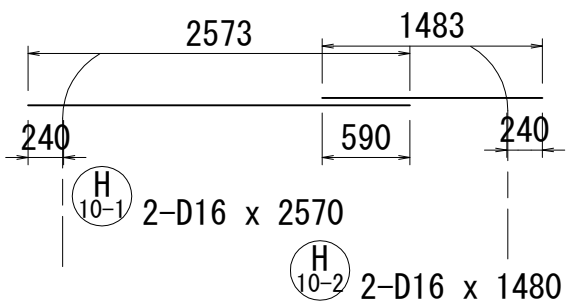
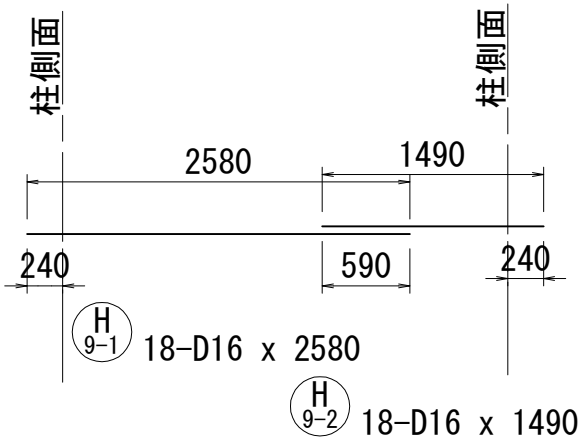
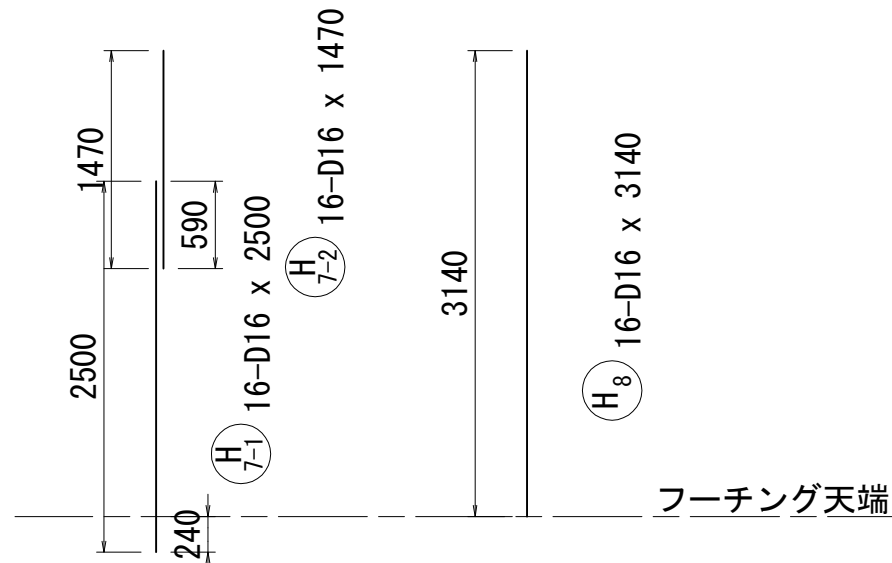
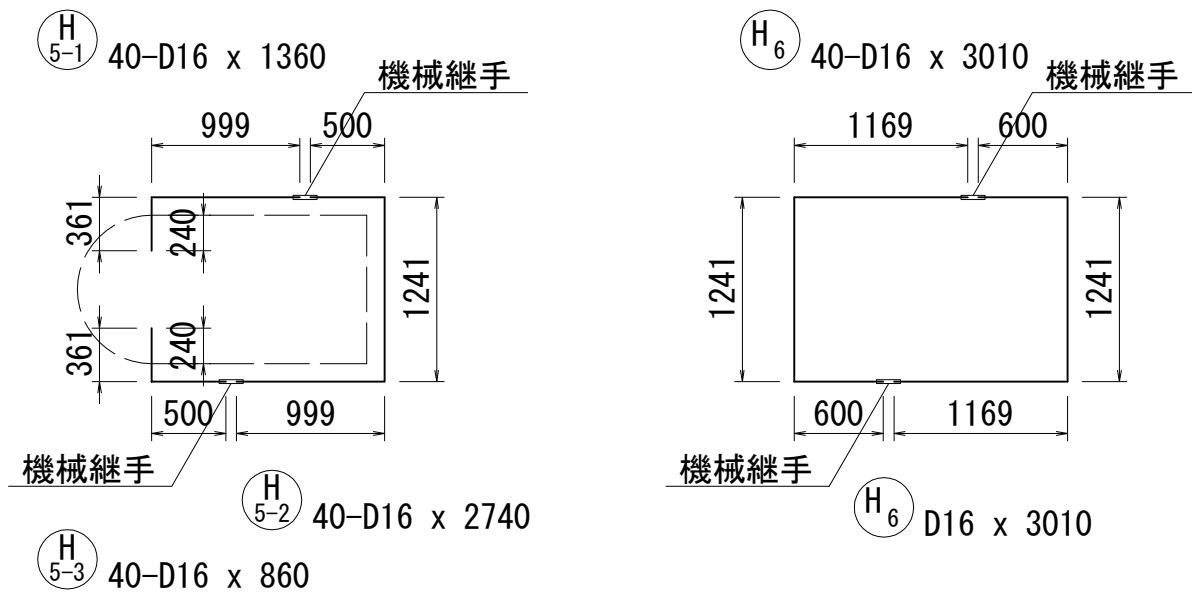
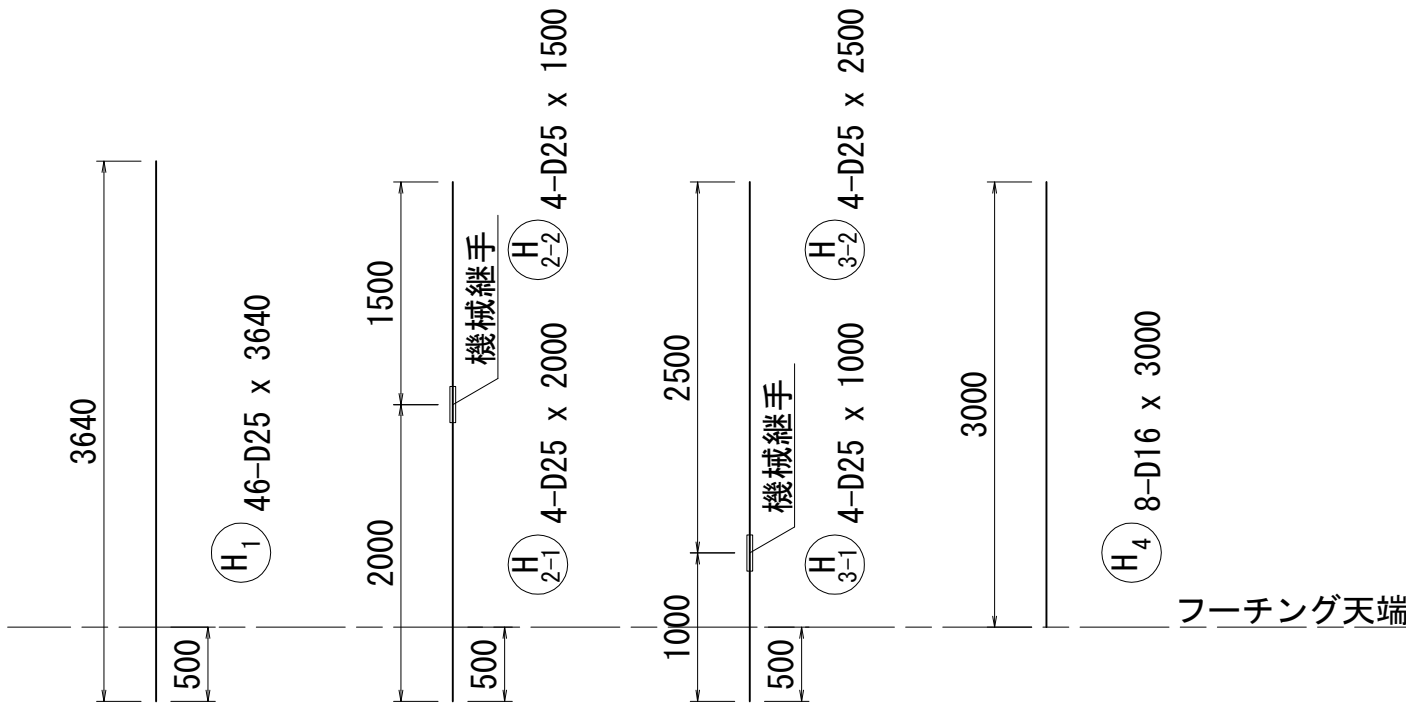
“a”部詳細図 S=1:10



A部詳細図(参考図)



図面番号	31 枚の内 21		縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事 (曙橋)			
種 別	補強配筋図 (6) P3橋脚			番号
路線 河川名	港町 5 号線			
工事箇所	三原市港町三丁目			
三 原 市				



曙橋 補強配筋図(6) S=1:50 P3橋脚

鉄 筋 表

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当たり質量	質 量	摘 要
H 1	D25	3 640	46	3.98	14.49	667	
H 2-1	D25	2 000	4	3.98	7.96	32	⌋ <4>
H 2-2	D25	1 500	4	3.98	5.97	24	⌋
H 3-1	D25	1 000	4	3.98	3.98	16	⌋ <4>
H 3-2	D25	2 500	4	3.98	9.95	40	⌋
H 4	D16	3 000	8	1.56	4.68	37	
H 5-1	D16	1 360	40	1.56	2.12	85	⌋ <40>
H 5-2	D16	2 740	40	1.56	4.27	171	⌋ <40>
H 5-3	D16	860	40	1.56	1.34	54	⌋
H 6	D16	3 010	40	1.56	4.70	188	⌋ <40>
H 7-1	D16	2 500	16	1.56	3.90	62	
H 7-2	D16	1 470	16	1.56	2.29	37	
H 8	D16	3 140	16	1.56	4.90	78	
H 9-1	D16	2 580	18	1.56	4.02	72	—
H 9-2	D16	1 490	18	1.56	2.32	42	—
H 10-1	D16	2 570	2	1.56	4.01	8	—
H 10-2	D16	1 480	2	1.56	2.31	5	—
H 11-1	D16	2 400	2	1.56	3.74	7	—
H 11-2	D16	1 310	2	1.56	2.04	4	—
H 12	D16	2 800	18	1.56	4.37	79	—
H 13	D16	2 610	4	1.56	4.07	16	— (平均長)
H 14	D13	540	48	0.995	0.54	26	⌋
1 750 kg							
鉄筋質量				機械継手箇所数			
D25				779 kg 8 箇所			
D16				945 kg 120 箇所			
D13				26 kg -			
合計				1 750 kg 128 箇所			

※: < > 内数値は機械継手数を示す。

鉄 筋 表(参考数量)

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当たり質量	質 量	摘 要
D	1	D13	250	60	0.995	0.25	15 ┘
							15 kg
鉄筋質量							
D13			15 kg				
合計			15 kg				

- 1) 現橋梁の寸法を現地にて確認した後、製作施工を行うこと。
- 2) アンカー孔の径は、アンカー鉄筋径+10mmを越えないようにし、エポキシ樹脂を注入して充填する。
- 3) 旧コンクリート面は、打設面全体にわたりチッピングを行い、十分な粗度をつけるものとする。
- 4) チッピング面に直接コンクリートを打ち継ぐときは打設面を十分に湿潤にし、コンクリートを打ち継ぐものとする。
- 5) コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ 以上とする。
又、水セメント比は55%以下とする。
- 6) 鉄筋の材質はSD345とする。
- 7) アンカー筋の既設下部工への定着長は、必要長を確実に確保すること。
- 8) アンカー筋の設置にあたっては、既設鉄筋位置をRC探査等により確認し、既設鉄筋を切断しないようにする。
- 9) 組立用アンカーは、1本/m程度配置すること。
- 10) 鉄筋は、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

参 考 資 料

— 橋梁耐震補強工事(市道港町5号線曙橋) —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03.04.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 02 市街地(DID補正)(1) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋脚巻立て工	1	式			Y1G0323 レベル2
作業土工	1	式			Y1G032301 レベル3
床掘り 先行水中掘削及びポンプ床掘り 粘性土	1	式			Y1G03230102 レベル4
掘削 土砂 水中掘削	350	m3			SPK20040001 00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)	350	m3			単第0 -0001 表 SPK20040002 00
整地 残土受入れ地での処理	350	m3			単第0 -0002 表 SPK20040003 00
ポンプ床掘 鋼1350PS型(993kW) 排送距離50m 粘性土 N値2	350	m3			単第0 -0003 表 V970001 00
	350	m3			単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ浚渫 鋼1350PS型(993kW) 排送距離50m 粘性土 N値2	350	m3			V970002 00 単第0 -0006 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	350	m3			SPK20040007 00 単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)	350	m3			SPK20040002 00 単第0 -0002 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	350	m3			SPK20040007 00 単第0 -0007 表
ポンプ浚渫拘束 鋼1350PS型(993kW)	1	式			V970003 00 単第0 -0008 表
橋脚コンクリート巻立て工	1	式			Y1G032305 レベル3
コンクリート削孔 径32mm, 削孔長420mm以上500mm未満 アンカー材無	54	箇所			Y1G03230501 レベル4 F=0.3596
コンクリート削孔 アンカー材径_D22 削孔深420mm以上500mm未満	54	箇所			SPK20040329 00 単第0 -0010 表
コンクリート削孔 径35mm, 削孔長460mm以上540mm未満 アンカー材無	108	箇所			Y1G03230501 レベル4 F=0.3596

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート削孔 アンカー材径_D25 削孔深460mm以上540mm未満	108	箇所			SPK20040329 00 単第0 -0011 表
コンクリート削孔 径26mm, 削孔長250mm以上300mm未満 アンカー材無	420	箇所			Y1G03230501レベル4 F=0.3596
コンクリート削孔 アンカー材径_D16 削孔深250mm以上300mm未満	420	箇所			SPK20040329 00 単第0 -0012 表
下地処理	160	m2			Y1G03230502レベル4 F=0.3596
下地処理(適用範囲外Co巻立て)	160	m2			SPK20040332 00 単第0 -0013 表
水中不分離性コンクリート 30-12-25(20)BB	54	m3			Y1G03230503レベル4
水中不分離性コンクリート打設	54	m3			V5043005 00 単第0 -0014 表
無収縮モルタル	1	m3			Y4999 レベル4 F=0.3596
無収縮モルタル	1	m3			V0151 00 単第0 -0019 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼板接着 シール工					Y4999 レベル4
	36	m			
鋼板接着工(シール工)					V3030005 00
	36	m			単第0 -0021 表
鉄筋 SD345,D13					Y1G03230504 レベル4
	0.078	t			
鉄筋加工組立 (重力式) S D 3 4 5 1 3 mm					S5298 00
	78	kg			単第0 -0022 表
異形棒鋼工ボキシ樹脂塗装費 D13					TH003990 00
	78	kg			
鉄筋 SD345,D16					Y1G03230504 レベル4
	2.834	t			
鉄筋加工組立 (重力式) S D 3 4 5 1 6 ~ 2 5 mm					S5298 00
	2,834	kg			単第0 -0023 表
異形棒鋼工ボキシ樹脂塗装費 D16					TH003992 00
	2,834	kg			
鉄筋 SD345,D19 ~ D25					Y1G03230504 レベル4
	2.142	t			

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋加工組立 (重力式) S D 3 4 5 1 6 ~ 2 5 mm	2,142	kg			S5298 00 単第0 -0023 表
異形棒鋼エポキシ樹脂塗装費 D19 ~ D25	2,142	kg			TH003994 00
機械式継手 スリーブ圧着ネジ継手 SD345, D22 × D22	8	箇所			Y4999 レベル4
機械式継手工 スリーブ圧着ネジ継手 D22 × D22	8	箇所			V1001022 00 単第0 -0024 表
機械式継手 スリーブ圧着ネジ継手 SD345, D25 × D25	16	箇所			Y4999 レベル4
機械式継手工 スリーブ圧着ネジ継手 D25 × D25	16	箇所			V1001025 00 単第0 -0025 表
機械式継手 スリーブ圧着ネジ継手 SD345, D16 × D16	360	箇所			Y4999 レベル4
機械式継手工 スリーブ圧着ネジ継手 D16 × D16	360	箇所			V1001016 00 単第0 -0026 表
コンクリートアンカーボルト設置 M12 × 60	180	本			Y4999 レベル4 F=0.3596

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカーボルト設置 芯棒打込み式 M12(W1/2)×70 電気亜鉛めっき	180	本			SPK20040412 00 単第0 -0027 表
型枠 鋼製	260	m2			Y1G03230505レベル4
鋼製型枠組立組外（陸上）	260	m ²			V5180 00 単第0 -0028 表
【鋼橋門扉等工事原価】					#0044
鋼製型枠 間接労務費及び工場管理費込み スクラップ控除価格	260	m2			F0000518001 00
足場 安全ネット有	270	掛m2			Y1G03230506レベル4
鋼製枠組足場架払（重力式） ラフテレーンクレーン（油）：2 5 t 吊	270	m2			S5294 00 単第0 -0029 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事用道路工					Y1J010101 レベル3
	1	式			
工事用道路盛土 W=4.0m					Y1J01010101 レベル4
	120	m3			
路床盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し					SPK20040005 00
	120	m3			単第0 -0030 表
購入土砂(ほぐし) 設計CBR20以上					TH010194 00
	150	m3			
土砂等運搬 土砂					Y1G03031002 レベル4
	120	m3			
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満					SPK20040001 00
	120	m3			単第0 -0031 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)					SPK20040002 00
	120	m3			単第0 -0002 表
残土等処分					Y1G03031003 レベル4
	120	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土受入れ費 土砂					F0041000001 00
	120	m3			
仮橋・仮栈橋工					Y1J010102 レベル3
	1	式			
仮橋コンクリート基礎 24N					Y1J01010215 レベル4
	1	箇所			
仮栈橋基礎コンクリート 24N					V01010215 00
	5	m3			単第0 -0032 表
橋脚					Y1J01010216 レベル4
	61.8	t			
バイプロハンマ施工による打込み(H形鋼) 陸上施工 H形鋼 H300 打込長20m					S0491 00
	28	本			単第0 -0036 表
杭橋脚設置工 (杭基礎) CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊					S1030 00
	7.8	t			単第0 -0038 表
杭橋脚撤去工 (杭基礎) CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊					S1030 00
	7.8	t			単第0 -0040 表
バイプロハンマ施工による鋼矢板等の引抜き 陸上施工 引抜き長20m					S0492 00
	28	枚(本)			単第0 -0041 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
H型鋼300型賃料 1回使用 供用日数120日	61.8	t			S0850 00 単第0 -0043 表
杭橋脚設置（材料費）	1	式			V103001 00 単第0 -0044 表
仮橋上部 設置撤去	31.6	t			Y1J01010217レベル4
上部工架設工 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊	31.6	t			S1020 00 単第0 -0045 表
上部工撤去工 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊	31.6	t			S1020 00 単第0 -0046 表
H型鋼594型賃料 1回使用 供用日数120日	31.6	t			F0850059401 00
覆工板設置・撤去[仮橋・仮棧橋]	264	m2			Y1J01010220レベル4
覆工板設置工 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊	264	m2			S1022 00 単第0 -0047 表
覆工板撤去工 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊	264	m2			S1022 00 単第0 -0048 表

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
覆工板賃料 2000×1000×200 A=264m2	1	式			V10015 00 単第0 -0049 表
仮設高欄 単管パイプ型,設置撤去	94	m			Y1J01010221 レベル4
高欄設置工 単管パイプ型	94	m			S1024 00 単第0 -0051 表
高欄撤去工 単管パイプ型	94	m			S1024 00 単第0 -0052 表
角パイプ(賃料) 60×60×2.3×2000	48	本			V102401 00 単第0 -0053 表
コンクリート構造物取壊し 鉄筋	5	m3			Y1J01010222 レベル4
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	5	m3			SDT00033 00 単第0 -0054 表
殻運搬 Co(有筋)	5	m3			Y1J01010224 レベル4
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 D1D区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)	5	m3			SPK20040146 00 単第0 -0055 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 Co（有筋）	5	m3			Y1J01010225レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
Co殻受入れ費 有筋	14	t			F0041001002 00
防護施設工	1	式			Y1J010116 レベル3
法留柵	172	m			Y1J01011604レベル4
仮囲い設置撤去工 丸パイプ土中打込み式 H = 3 m	172	m			S1032 00
交通管理工	1	式			単第0 -0056 表 Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	28	人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B	28	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
事業損失防止施設費					Z0002
事業損失防止施設費					YZZ02 レベル2
	1	式			
事業損失防止施設費					YZZ02001 レベル3
	1	式			
事業損失防止施設費					YZZ02001008 レベル4
	1	式			
汚濁防止工 汚濁防止フェンス設置・撤去					V2001008 00
	200	m			単第0 -0057 表
役務費					Z0003
役務費					YZZ03 レベル2
	1	式			
役務費					YZZ03001 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
借地料 土地の借上げ等に要する費用	1	式			YZZ03001001レベル4
借地料	1	式			F0300100101 00
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
重建設機械分解組立輸送費	2	回			YZZ04001003レベル4
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え 80t吊以下	2	回			S8115 00
仮設材運搬費	149	t			単第0 -0063 表 YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 34.4km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0064 表

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など 積み込み,取卸しに要する費用	数量	単位	単価	金額	備考
	1	式			S1000009 00 単第0 -0067 表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006 レベル4
鉄筋探索工 横向き	19	m2			V600100601 00 単第0 -0068 表
鉄筋探索工 下向き	14	m2			V600100603 00 単第0 -0069 表
安全費					Z0009
安全費	1	式			YZZ09 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					YZZ09001 レベル3
	1	式			
安全監視船					Y4999 レベル4
	1	式			
安全監視船運転 FRP D 180PS型 10.0t 132kW					S9740 00
	94	日			単第0 -0070 表
現場環境改善費					Z0017
現場環境改善費					YZZ17 レベル2
	1	式			
現場環境改善費					YZZ17001 レベル3
	1	式			
現場環境改善費					YZZ17001001レベル4
	1	式			
現場環境改善費（率分） 市街地					S1Z0017 00
	1	式			単第0 -0071 表
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0018

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 水中掘削
機械構成比: 58.38% 労務構成比: 25.70% 材料構成比: 15.92% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0001 表

1
標準単価: 356.43000
m3 当り

SPK20040001

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m3	58.38%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m3		MTPC00065 MTPT00065
運転手(特殊)	25.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.92%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 水中掘削		

施工単価表

頁0 -0020

土砂等運搬

SPK20040002

単第0 -0002 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.5km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.71%

労務構成比:

37.09%

材料構成比:

15.20%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

796.61000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9 距離3.5km以下(3.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0021

整地

SPK20040003

單第0 -0003 表

1

m3 当り

残土受入れ地での処理

機械構成比: 25.89%

勞務構成比: 49.69%

材料構成比: 24.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

110.19000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<質>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	25.89%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	49.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	24.42%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 残土受入れ地での処理					

施工単価表

頁0 -0022

ポンプ床掘 鋼1350PS型(993kW)

V970001

单第0 -0004 表

5392

m3

当り

排送距離50m 粘性土 N值2

[illegible]

施工単価表

ポンプ浚渫船運転
鋼 D 1 3 5 0 ps型 9 9 3 kW

S9700

単第0 -0005 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	535.4	10L			5354/10
船団長	3.18	人			2*1.59
高級船員	3.18	人			2*1.59
普通船員	32.00	人			20*1.6
ポンプ浚渫船 ディーゼル式 D1350PS型	16	時間			
損料 (供用)	1.65	日			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 鋼 D 1 3 5 0 ps型 9 9 3 kW			B=1 運転 1 日 (1 6 時間)		

施工単価表

頁0 -0024

ポンプ浚渫 鋼1350PS型(993kW)

V970002

单第0 -0006 表

5042

m3

当り

排送距離50m 粘性土 N值2

[illegible]

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK20040007

単第0 -0007 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 43.54% 労務構成比: 38.36% 材料構成比: 18.10% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 200.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	43.54%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
運転手(特殊)	38.36%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.10%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0026

**ポンプ浚渫拘束
鋼1350PS型(993kW)**

V970003

单第0 -0008 表

1 式 当り

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

ポンプ浚渫船供用

S9700

单第0 -0009 表

鋼 D 1 3 5 0 ps型 9 9 3 kW

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

コンクリート削孔
アンカー材径_D22
機械構成比: 0.00%

SPK20040329
削孔深420mm以上500mm未満
労務構成比: 74.69%

材料構成比: 25.31%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1
標準単価:

箇所 当り
2,365.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	39.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	13.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	11.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
注入材(水中注入用) エポキシ樹脂系	25.31%		注入材 エポキシ樹脂		TTPC00253 TTPT00253
積算単価			積算単価		EP001
A=3 アンカー材径_D22			B=10 削孔深420mm以上500mm未満		

施工単価表

頁0 -0029

コンクリート削孔
アンカー材径_D25
機械構成比: 0.00%

SPK20040329
削孔深460mm以上540mm未満
労務構成比: 70.09%

材料構成比: 29.91%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0011 表

1
標準単価:

箇所 当り
2,521.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	37.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	12.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	10.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
注入材(水中注入用) エポキシ樹脂系	29.91%		注入材 エポキシ樹脂		TTPC00253 TTPT00253
積算単価			積算単価		EP001
A=4 アンカー材径_D25			B=12 削孔深460mm以上540mm未満		

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート削孔
アンカー材径_D16
機械構成比: 0.00%

SPK20040329
削孔深250mm以上300mm未満
労務構成比: 78.26%

材料構成比: 21.74%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0012 表

1
標準単価:

箇所 当り
1,309.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	43.68%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	14.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	12.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
注入材(水中注入用) エポキシ樹脂系	21.74%		注入材 エポキシ樹脂		TTPC00253 TTPT00253
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アンカー材径_D16			B=2 削孔深250mm以上300mm未満		

施工単価表

下地処理(適用範囲外Co巻立て)

SPK20040332

単第0 -0013 表

機械構成比:0.00%

労務構成比:100.00%

材料構成比:0.00%

市場単価構成比:0.00%

標準単価:1

備考:m2 当り

1,860.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	33.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	31.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.3596)	24.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0032

水中不分離性コンクリート打設

V5043005

单第0 -0014 表

54

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

配管設置撤去

S5186

单第0 -0015 表

100

m 当り

[illegible]

施工単価表

水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設)
生コンクリート(各種)

V504300501

単第0 -0016 表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
水中コンクリート 30-12-25(20)BB 水中不分離性混和剤	10.6	m3			割増しを含む
コンクリートポンプ車運転 ブーム式 9 0 ~ 1 1 0 m3 / h 就業 8 時間	0.2	日			単第0-0017 表
潜水土船運転 D 1 8 0 ps型 3 ~ 5 t 1 3 2 kW	0.1	日			単第0-0018 表
土木一般世話役	0.3	人			
特殊作業員	0.4	人			
普通作業員	0.9	人			
雑材料	0.5	%			#06
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

頁0 -0035

コンクリートポンプ車運転
ブーム式 90～110m³/h

S5980007

单第0 -0017 表

就業 8 時間

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

潜水土船運転
D180ps型 3～5t 132kW

S9738

単第0 -0018 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 ミニローリー 船舶用(取引税抜き)	8.6	10L			86/10
潜水世話役	0.24	人			0.2*1.2
潜水土	1.20	人			1*1.2
潜水連絡員	1.20	人			1*1.2
潜水送気員	1.20	人			1*1.2
潜水土船 潜水土船 D180PS型3～5t吊4.9GT	1	日			
損料（供用）	1.65	日			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 運転 1 日（就業 8 時間）			B=1 単独潜水方式		

施工単価表

頁0 -0037

無収縮モルタル

V0151

单第0 -0019 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

無収縮モルタル工

V015101

单第0 -0020 表

0.8

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

鋼板接着工(シール工)

V3030005

单第0 -0021 表

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

鉄筋加工組立（重力式）

S5298

单第0 -0022 表

S D 3 4 5 1 3 mm

1000

kg 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

鉄筋加工組立 (重力式)
S D 3 4 5 1 6 ~ 2 5 mm

S5298

单第0 -0023 表

1000

kg 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

機械式継手工 スリーブ圧着ネジ継手

V1001022

单第0 -0024 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

機械式継手工 スリーブ圧着ネジ継手

V1001025

单第0 -0025 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

機械式継手工 スリーブ圧着ネジ継手

V1001016

单第0 -0026 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

コンクリートアンカーボルト設置

SPK20040412

単第0 -0027 表

芯棒打込み式

M12(W1/2) × 70 電気亜鉛めっき

1

本 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 93.53%

材料構成比: 6.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,368.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
設計労務単価の補正割増し(1.3596)					
普通作業員	27.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
設計労務単価の補正割増し(1.3596)					
土木一般世話役	16.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
設計労務単価の補正割増し(1.3596)					
その他(労務)			その他(労務)		ER009
芯棒打込み式 M12(W1/2) × 70 電気亜鉛めっき	6.35%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		TTPC00217 TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 芯棒打込み式			B=4 M12(W1/2) × 70 電気亜鉛めっき		

施工単価表

鋼製型枠組立組外（陸上）

V5180

単第0 -0028 表

頁0 -0046

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.0	日			
潜水土船運転 D 1 8 0 ps型 3 ~ 5 t 1 3 2 kW	2.2	日			単第0-0018 表
土木一般世話役	5.2	人			
型わく工	9.1	人			
特殊作業員	4.4	人			
普通作業員	17	人			
消耗費	15	%			#01
雑材料	0.5	%			#06
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施工単価表

頁0 -0047

鋼製枠組足場架払（重力式）
ラフテレーンクレーン（油）：25 t吊

S5294

单第0 -0029 表

100

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

路床盛土
施工幅員4.0m以上
機械構成比: 20.92% 労務構成比: 64.78% 材料構成比: 14.30% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 302.41000

SPK20040005 施工数量10,000m3未満 障害無し

単第0 -0030 表 1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	10.78%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	10.14%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	43.85%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.30%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比: 47.87% 労務構成比: 33.41% 材料構成比: 18.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK20040001
障害無し 5,000m3未満

単第0 -0031 表

1
標準単価: 309.80000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	47.87%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	33.41%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.72%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 D=2 押土無し F=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット E=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0050

仮栈橋基礎コンクリート

V01010215

单第0 -0032 表

5.5 m3 当り

24N

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

鉄筋工

SD345 D13

SS000099

单第0 -0033 表

一般構造物 [規]10t未満

1

t

当り

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK20040150

単第0 -0034 表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 7,673.50000

m2 当り
7,673.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.22%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0053

コンクリート

SPK20040148

単第0 -0035 表

小型構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.50% 労務構成比: 39.86% 材料構成比: 55.64% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 28,481.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.25%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	12.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	6.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.47%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	53.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0054

コンクリート

SPK20040148

单第0 -0035 表

小型構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.50%

勞務構成比:

39.86%

材料構成比: 55.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

28,481.00000

[illegible]

施工単価表

パイプロハンマ施工による打込み(H形鋼)
陸上施工 H形鋼 H300 打込長20m

単第0 -0036 表

10 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.000	人			1*2
とび工	6.000	人			3*2
普通作業員	2.000	人			1*2
パイプロハンマ杭打機運転 油圧振り子式 2 3 5 k W 排ガス 2 次基準 加ラクレン油圧式50～55 t 吊 排ガス 1 次基準	2.000	日			単第0-0037 表
継施工費 H形鋼H300	20.000	箇所			10*2
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 陸上施工 C=3 継施工2箇所 E=20 H形鋼打込長 (m)			B=2 油圧式パイプロハンマ D=3 H形鋼 H300		

施工単価表

パイプロハンマ杭打機運転

S9119

単第0 -0037 表

油圧振り子式 2 3 5 kW 排ガス2次基準 クローラ式油圧式50～55t吊 排ガス1次基準

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	523.00	L			
パイプロハンマ(単体) 油圧式・可変超高周波・排2 振り子,最大起振473kN周波数20～60Hz	1.30	供用日			
クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排1 50～55t吊	1.30	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=9 C=1 E=1.3 G=2	油圧振り子式 2 2 4 (2 3 5) kW 運転労務数量 (人/日) 機械損料数量 (供用日/日) クレーン排出ガス対策型1次基準		B=3 D=523 F=4	クローラクレーン 油圧式 軽油消費量 (L/日) パイプロハンマ排出ガス対策型2次基準	5 0 ～ 5 5 t 吊

施工単価表

杭橋脚設置工（杭基礎）
CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊

S1030

単第0 -0038 表

10

t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	2.100	人			
橋りょう特殊工	4.900	人			
溶接工	1.800	人			
普通作業員	1.300	人			
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50～55t吊 排出ガス対策型3次基準	1.700	日			単第0-0039 表
諸雑費	13	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置			B=2 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊		

施工単価表

頁0 -0058

機-18_クローラクレーン運転
油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50～55t吊

S9069

排出ガス対策型3次基準

单第0 -0039 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

杭橋脚撤去工（杭基礎）
CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊

S1030

単第0 -0040 表

10

t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.740	人			
橋りょう特殊工	1.900	人			
溶接工	0.520	人			
普通作業員	0.270	人			
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50～55t吊 排出ガス対策型3次基準	0.850	日			単第0-0039 表
諸雑費	8	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去			B=2 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊		

施工単価表

パイプロハンマ施工による鋼矢板等の引抜き
陸上施工 引抜長20m S0492

単第0 -0041 表

10 枚(本) 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.303	人			1*0.303
とび工	0.606	人			2*0.303
普通作業員	0.303	人			1*0.303
パイプロハンマ杭打機運転 油圧振り子式 2 3 5 k W 排ガス 2 次基準 ラフレ-ンク-ン油圧式25 t 吊 排ガス 1 次基準	0.303	日			単第0-0042 表
諸雑費	0.2	%			#09
*** 合計 ***	10	枚(本)			
*** 単位当たり ***	1	枚(本)			
A=1 陸上施工 C=20 引抜長 (m)			B=2 油圧式パイプロハンマ		

施工単価表

パイプロハンマ杭打機運転

S9119

単第0 -0042 表

油圧振り子式 2 3 5 kW 排ガス2次基準 ラフテレーンクレーン油圧式25 t 吊 排ガス1次基準

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	570.00	L			
パイプロハンマ(単体) 油圧式・可変超高周波・排2 振り子,最大起振473kN周波数20~60Hz	1.20	供用日			
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排1 25t吊	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=9 C=1 E=1.2 G=2	油圧振り子式 2 2 4 (2 3 5) kW 運転労務数量 (人/日) 機械損料数量 (供用日/日) クレーン排出ガス対策型 1 次基準		B=10 D=570 F=4	ラフテレーンクレーン 油圧式 2 5 t 吊 軽油消費量 (L / 日) パイプロハンマ排出ガス対策型 2 次基準	

施工単価表

頁0 -0062

H型鋼300型賃料

S0850

單第0 -0043 表

1回使用

供用日数120日

1

t

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0063

杭橋脚設置（材料費）

V103001

单第0 -0044 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

上部工架設工
CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊

S1020

単第0 -0045 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.620	人			
橋りょう特殊工	2.100	人			
普通作業員	0.410	人			
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50～55t吊 排出ガス対策型3次基準	0.580	日			単第0-0039 表
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 架設			B=6 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊		

施工単価表

上部工撤去工
CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊

S1020

単第0 -0046 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.340	人			
橋りょう特殊工	1.000	人			
溶接工	0.130	人			
普通作業員	0.170	人			
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50～55t吊 排出ガス対策型3次基準	0.290	日			単第0-0039 表
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去			B=6 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊		

施工単価表

覆工板設置工
CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊

S1022

単第0 -0047 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.450	人			
とび工	1.500	人			
普通作業員	0.270	人			
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50～55t吊 排出ガス対策型3次基準	0.470	日			単第0-0039 表
諸雑費	2	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 設置			B=6 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊		

施工単価表

覆工板撤去工
CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊

S1022

単第0 -0048 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.270	人			
とび工	0.800	人			
普通作業員	0.120	人			
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50～55t吊 排出ガス対策型3次基準	0.210	日			単第0-0039 表
諸雑費	2	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 撤去			B=6 CC油圧駆動式ウインチ型50-55t吊		

施工単価表

覆工板賃料
2000×1000×200

V10015

単第0 -0049 表

A=264m2

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
覆工板賃料	264	m2			単第0-0050 表
等辺山形鋼（中古） 100×100×10	0.089	t			
溝形鋼（中古） 200×90×8	3.333	t			
高力六角ボルトF10T(JISB1186)2種A M22×65 単位質量540g/組	330	組			
高力六角ボルトF10T(JISB1186)2種A M22×70 単位質量555g/組	385	組			
高力六角ボルトF10T(JISB1186)2種A M22×80 単位質量585g/組	200	組			
高力六角ボルトF10T(JISB1186)2種A M22×90 単位質量615g/組	45	組			
* * * 単位当たり * * *	1	式			

施工単価表

頁0 -0069

覆工板賃料

SHD10015

单第0 -0050 表

1

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0070

高欄設置工 単管パイプ型

S1024

单第0 -0051 表

100 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0071

高欄撤去工 単管パイプ型

S1024

单第0 -0052 表

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0072

角パイプ（賃料）
60×60×2.3×2000

V102401

单第0 -0053 表

1

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0073

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

单第0 -0054 表

1

m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0055 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込

DID区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.71%

労務構成比: 37.09%

材料構成比: 15.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,035.60000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)		37.09%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		15.20%		軽油1.2号パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)			B=1 D=17	機械積込 運搬距離3.5km以下(3.0km超)		

施工単価表

頁0 -0075

仮囲い設置撤去工
丸パイプ土中打込み式 H = 3 m

S1032

单第0 -0056 表

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.490	人			
普通作業員	2.449	人			
仮設材損料	90.000	供用日			
諸雑費	10	%			仮囲鉄板丸パイプ #09
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置・撤去			B=90	仮囲い供用日数 (日)	

施工単価表

汚濁防止工

V2001008

単第0 -0057 表

汚濁防止フェンス設置・撤去

200 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
汚濁防止膜設置 設置	200	m			単第0-0058 表
汚濁防止膜移設【手間のみ】	200	m			
汚濁防止膜撤去 撤去	200	m			単第0-0059 表
汚濁防止フェンス賃料 L=200m, 賃貸日数140日 高2×長20m, 生地引張強度1000以上2000未満	1	式			単第0-0060 表
汚濁防止膜保守管理	1	式			単第0-0061 表
汚濁防止膜清掃	400	m2			単第0-0062 表
*** 合計 ***	200	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0077

汚濁防止膜設置 設置

S5852

单第0 -0058 表

120

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0078

汚濁防止膜撤去
撤去

S5852

单第0 -0059 表

120

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0079

汚濁防止フェンス賃料

V200100801

单第0 -0060 表

L=200m, 賃貸日数140日

高2×長20m，生地引張強度1000以上2000未滿

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0080

汚濁防止膜保守管理

S5504001

单第0 -0061 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0081

汚濁防止膜清掃

V200100802

单第0 -0062 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0082

重建設機械分解組立輸送

S8115

单第0 -0063 表

1 回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0083

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬

S1000007

单第0 -0064 表

運搬距離 34.4km

製品長 12m以内

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0084

基本運賃

S1000009

单第0 -0065 表

運搬距離 34.4km

製品長 12m以内 運搬質量 149.34t

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0085

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

单第0 -0066 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0086

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

单第0 -0067 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0087

鉄筋探査工 横向き

V600100601

单第0 -0068 表

12.5

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0088

鉄筋探査工 下向き

V600100603

单第0 -0069 表

18

m2

当り

[illegible]

施工単価表

安全監視船運転
FRP D 180PS型 10.0t 132kW

S9740

単第0 -0070 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	3.7	10L			37/10
高級船員	1.20	人			1*1.2
普通船員	1.20	人			1*1.2
交通船 FRP製 D180PS型10.0GT	1	日			
損料 (供用)	1.65	日			
* * * 単位当たり * * *	1	日			
A=1 運転1日 (就業8時間)			B=1 FRP D 180PS型 10.0t 132kW		

施工単価表

頁0 -0090

現場環境改善費（率分）
市街地

S1Z0017

单第0 -0071 表

1

式 当り

[illegible]

§1 数量集計表

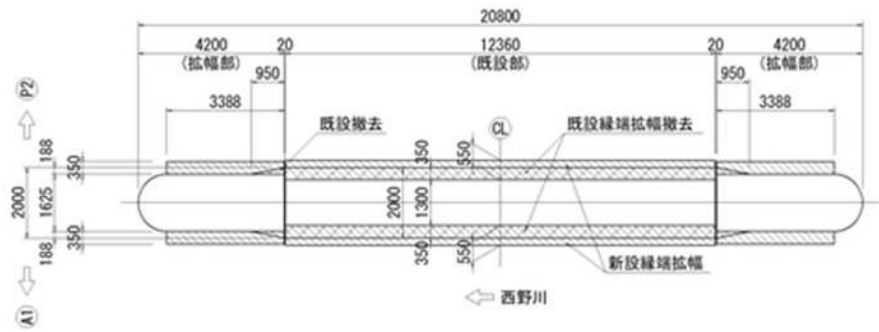
工種	種別・規格			単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	A2橋台	合計	備考	
柱補強・耐震壁	表面処理工	チッピング		m ²	－	53.2	53.2	53.2	－	159.6		
	コンクリート	σ ck=24N/mm ²		m ³	－	18.1	18.1	18.1	－	54.3		
	無収縮モルタル			m ³	－	0.4	0.4	0.4	－	1.2		
	型枠工	一般型枠		m ²	－	86.2	86.2	86.2	－	258.6		
	シール材	30×30		m	－	12.0	12.0	12.0	－	36.0		
	鉄筋工	SD345	D13	D13	t	－	0.026	0.026	0.026	－	0.078	
			D16	D16	〃	－	0.945	0.944	0.945	－	2.834	
				D19	〃	－	－	－	－	－	0.000	
				D22	〃	－	－	0.584	－	－	0.584	
				D25	〃	－	0.779	－	0.779	－	1.558	
				計	〃	－	1.724	1.528	1.724	－	4.976	
			合計	〃	－	1.750	1.554	1.750	－	5.054		
		機械継手	D16		箇所	－	120	120	120	－	360	
			D22		〃	－	－	8	－	－	8	
			D25		〃	－	8	－	8	－	16	
	コンクリート削孔	柱基部補強	φ 32×450	箇所	－	－	54	－	－	54		
			φ 35×510	〃	－	54	54	－	108			
		耐震壁	φ 26×250	〃	－	140	140	140	－	420		
	樹脂注入	エポシキ樹脂		kg	－	34	30	34	－	98		
	組み立てアンカー	D13		本	－	60	60	60	－	180	SD345	
コンクリートアンカー	M12×52		本	－	60	60	60	－	180			
足場工	枠組足場		掛m ²	－	91.2	91.2	91.0	－	273.4			
浚渫工			m3	－	115.7	115.7	115.7	－	347.1			
交通誘導員			日	－	28			－	28.0	工程表より		

工種	種別・規格		単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	A2橋台	合計	備考
共通仮設	汚濁防止柵	シルトプロテクター	m	－		200		－	200.0	
	鉄筋探査	横向き	m ²	－		19		－	19.0	
	鉄筋探査	下向き	m ²	－		14		－	14.0	
	安全監視船		日	－		94		－	94.0	工程表より
	現場環境改善費		式	－		1		－	1.0	

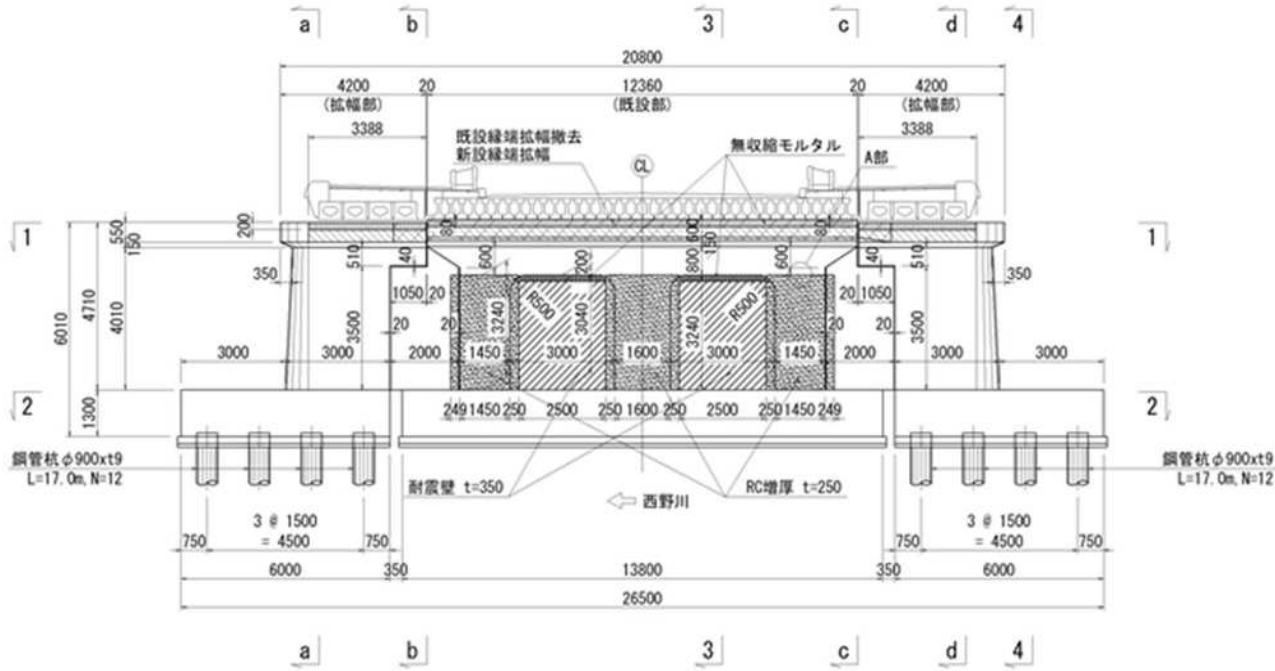
図面番号	縮尺	図示
工 種	曙橋 下部工構造図(その2)	
種 別		
図 名	三原市役所本庁舎	
工事箇所	三原市港町三丁目	
三 原 市		

曙橋 下部工構造図 (その2) S=1:100
P1橋脚

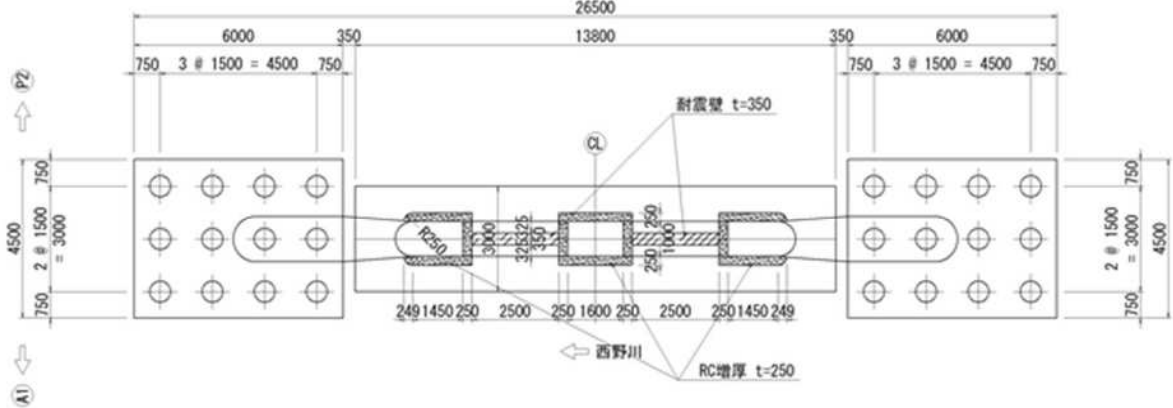
橋座平面図
(1-1)



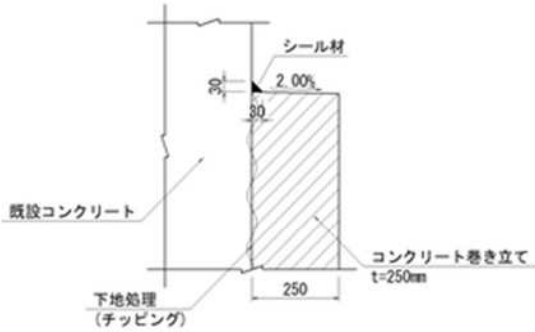
正面図 (起点側)



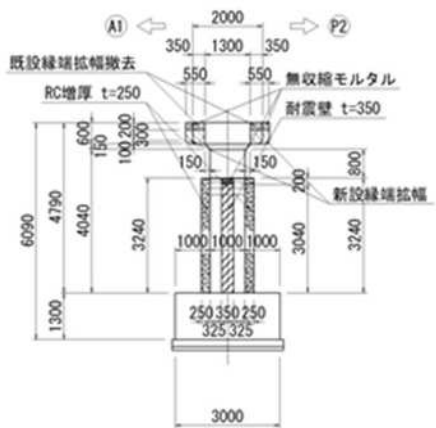
フーチング平面図
(2-2)



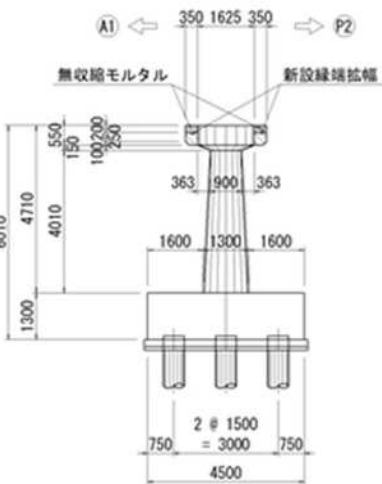
A部詳細図 S=1:10



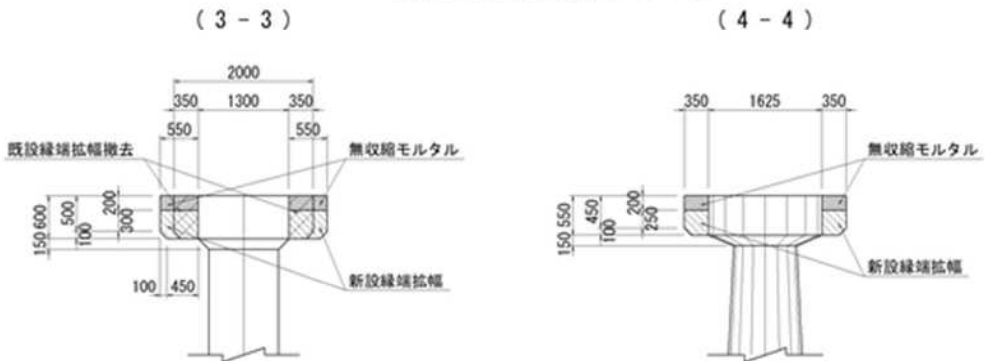
既設部断面図
(3-3)



側面図
(4-4)



沓座拡幅詳細図 S=1:50



1. コンクリートはつり

3. 表面処理工

チッピング

2) 柱補強

- ・ 底版上面

端柱

$$\begin{aligned} a &= \frac{1}{4} \times \pi \times 0.500^2 \times \frac{1}{2} \\ &+ 1.450 \times 0.250 \times 2 + 1.500 \times 0.250 = 1.198 \text{ m}^2 \\ A4 &= 1.198 \times 2 = 2.40 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

中間柱

$$\begin{aligned} a &= 2.100 \times 1.500 - 1.600 \times 1.000 = 1.550 \text{ m}^2 \\ A4 &= 1.550 \times 1 = 1.55 \text{ 〃} \end{aligned}$$

耐震壁

$$A5 = 2.500 \times 0.350 \times 2 = 1.75 \text{ 〃}$$

- ・ 既設柱

端柱

$$A6 = (1.000 + 1.699 \times 2) \times 3.240 \times 2 = 28.50 \text{ 〃}$$

中間柱

$$A7 = (1.000 + 1.600) \times 3.240 \times 2 = 16.85 \text{ 〃}$$

梁下面

$$A8 = 3.000 \times 0.350 \times 2 = 2.10 \text{ 〃}$$

小計 53.15 m²

合計 53.15 m²

4. コンクリート工

2) 柱補強

端柱

$$V4 = 1.198 \text{ m}^2 \times 3.240 \times 2 = 7.76 \text{ m}^3$$

中間柱

$$V5 = 1.550 \text{ m}^2 \times 3.240 = 5.02 \text{ 〃}$$

耐震壁

$$V6 = 0.350 \times 3.040 \times 2.500 \times 2 = 5.32 \text{ 〃}$$

小計 18.10 m³

5. 無収縮モルタル

既設部

耐震壁部

$$V1 = 0.350 \times 0.200 \times 2.500 \times 2 = 0.35 \text{ m}^3$$

合計 0.35 m³

6. 型枠工

2) 柱補強

端柱

$$A6 = (1.949 \times 2 + 1.150) \times 3.240 \times 2 = 32.71 \text{ m}^2$$

中間柱

$$A7 = (2.100 + 1.150) \times 3.240 \times 2 = 21.06 \text{ 〃}$$

耐震壁

$$A8 = 2.500 \times 3.240 \times 4 = 32.40 \text{ 〃}$$

$$\text{小計} = 86.17 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = 86.17 \text{ m}^2$$

8. シール材

30×30

既設端柱

$$L1 = (1.949 \times 2) \times 2 = 7.80 \text{ m}$$

既設中間柱

$$L2 = 2.100 \times 2 = 4.20 \text{ 〃}$$

$$\text{合計} = 12.00 \text{ m}$$

9. 鉄筋工

1) 質量

項目	径	単位	縁端拡張	柱補強	合計	機械継手		摘 要
D13	D13	t		0.026	0.026			SD345
D16 }	D16	〃		0.945	0.945	120		〃
	D19	〃		-	-			〃
	D22	〃		-	0			〃
D25 }	D25	〃		0.779	0.779	8		〃
	D16-D25計	〃		1.724	1.724	128		〃
D29 }	D29	〃		-	-			〃
	D32	〃		-	-			〃
	D29-D32	〃		0.000	0.000	0		〃
合計		〃		1.750	1.750	128		〃

$$\text{組立てアンカー} \quad D13 = 60 \text{ 本}$$

$$\text{コンクリートアンカー} \quad M12 \times 52 = 60 \text{ 本}$$

10. コンクリート削工

2) 柱補強

$$\begin{aligned} \phi &= 35 \text{ mm} & L &= 510 \text{ mm} & n &= 54 \text{ 箇所} \\ L &= 0.510 \times 54 & & & & = 27.5 \text{ m} \\ \phi &= 26 \text{ mm} & L &= 250 \text{ mm} & n &= 140 \text{ 箇所} \\ L &= 0.250 \times 140 & & & & = 35.0 \text{ m} \end{aligned}$$

11. エポキシ樹脂注入

2) 柱補強

$$\begin{aligned} V2 &= \{ (0.035^2 - 0.025^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.510 \} \\ &\times 1200 \times (1 + 0.16) \times 54 & & = 18.1 \text{ kg} \\ &\text{(単位質量1200kg/m}^3\text{)} & & \text{(ロス率)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V3 &= \{ (0.026^2 - 0.016^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.250 \} \\ &\times 1200 \times (1 + 0.16) \times 140 & & = 16.1 \text{ kg} \\ &\text{(単位質量1200kg/m}^3\text{)} & & \text{(ロス率)} \end{aligned}$$

合計 34.20 kg

13. 足場工

既設部

$$A1 = 4.790 \times 12.360 = 59.2 \text{ 掛m}^2$$

拡幅部

$$A2 = 4.710 \times 3.388 = 16.0 \text{ 〃}$$

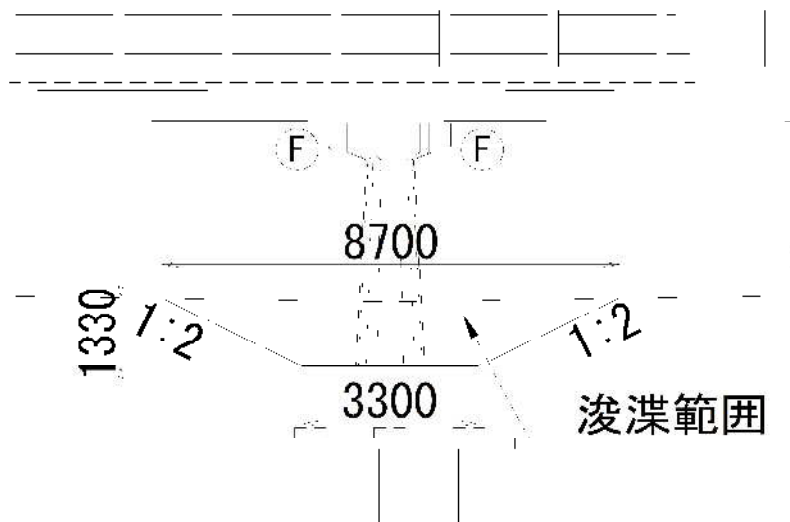
$$A2 = 4.710 \times 3.388 = 16.0 \text{ 〃}$$

合計 91.2 掛m²

14. 浚渫工

$$A1 = (3.300 + 8.700) / 2 \times 1.33 \times 14.500 = 115.7 \text{ m}^3$$

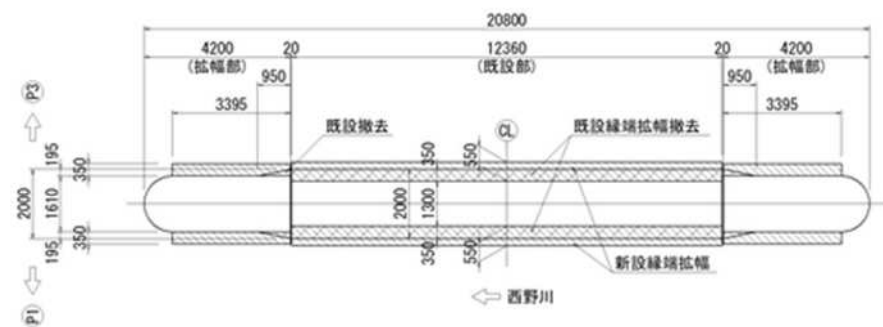
橋軸直角方向延長



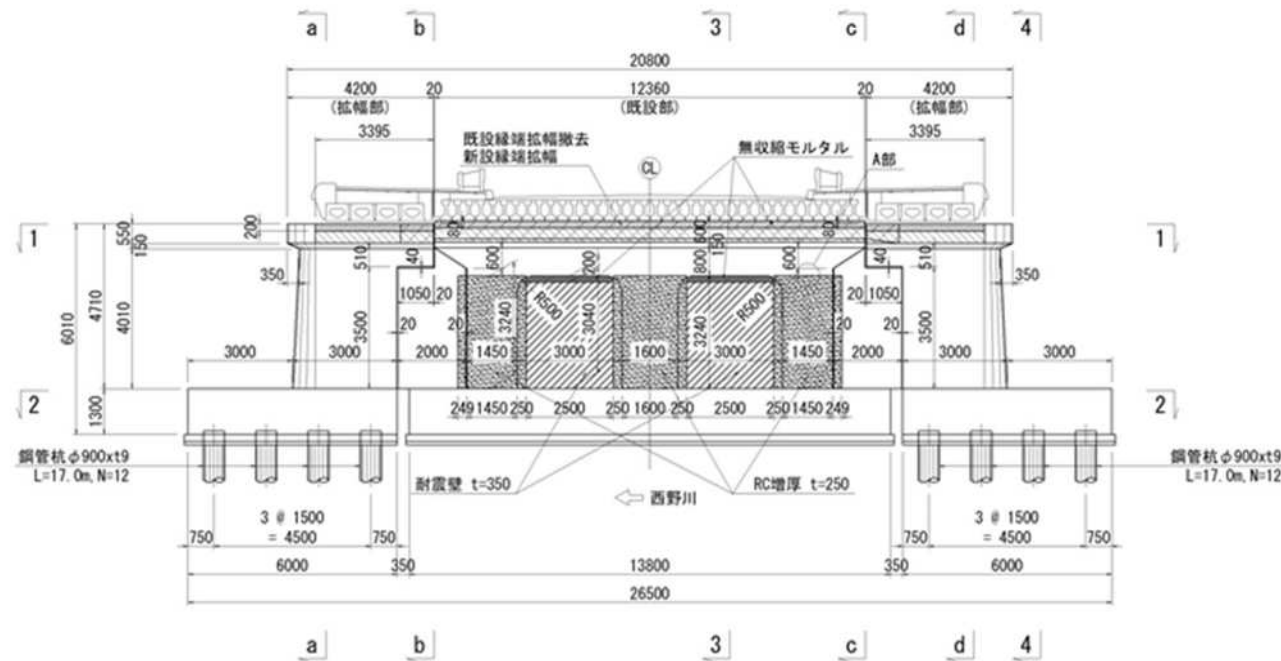
図面番号	縮尺	図示
工 種	曙橋 下部工構造図(その3)	
種 別		
図 名	三原市役所本庁舎	
工事箇所	三原市港町三丁目	
三 原 市		

曙橋 下部工構造図 (その3) S=1:100
P2橋脚

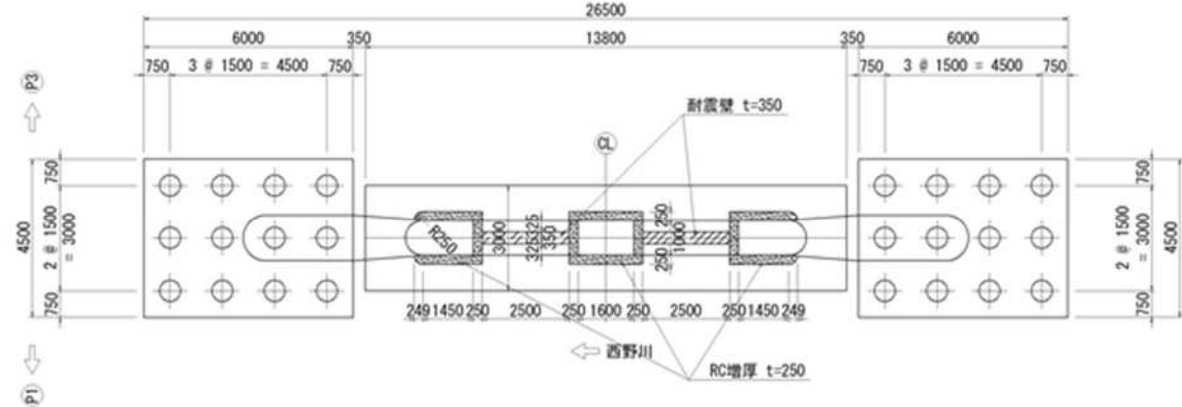
橋座平面図
(1 - 1)



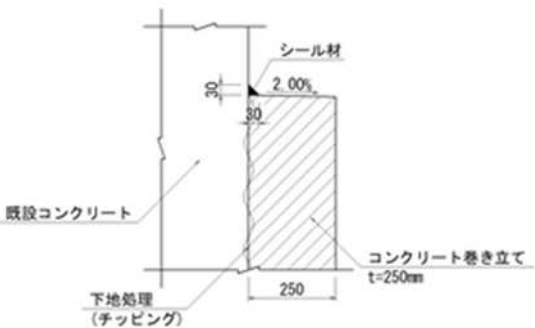
正面図 (起点側)



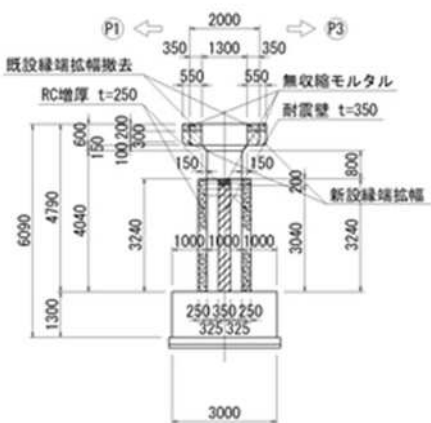
フーチング平面図
(2 - 2)



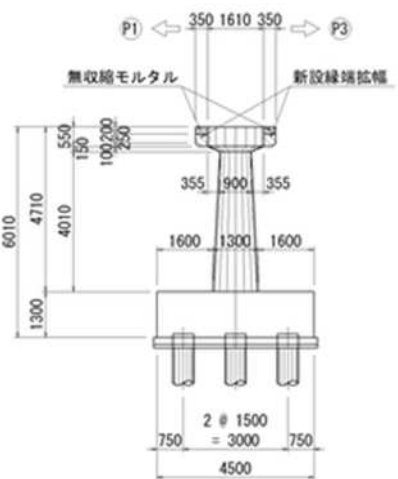
A部詳細図 S=1:10



既設部断面図
(3 - 3)

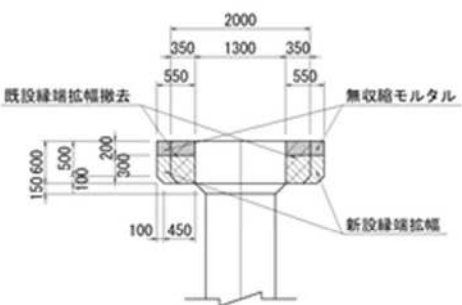


側面図
(4 - 4)

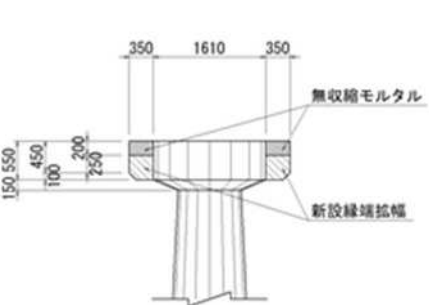


沓座拡幅詳細図 S=1:50

(3 - 3)



(4 - 4)



3. 表面処理工

チッピング

2) 柱補強

・ 底版上面

端柱

$$\begin{aligned} a &= \frac{1}{4} \times \pi \times 0.500^2 \times \frac{1}{2} \\ &+ 1.450 \times 0.250 \times 2 + 1.500 \times 0.250 = 1.198 \text{ m}^2 \\ A4 &= 1.198 \times 2 = 2.40 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

中間柱

$$\begin{aligned} a &= 2.100 \times 1.500 - 1.600 \times 1.000 = 1.550 \text{ m}^2 \\ A4 &= 1.550 \times 1 = 1.55 \text{ 〃} \end{aligned}$$

耐震壁

$$A5 = 2.500 \times 0.350 \times 2 = 1.75 \text{ 〃}$$

・ 既設柱

端柱

$$A6 = (1.000 + 1.699 \times 2) \times 3.240 \times 2 = 28.50 \text{ 〃}$$

中間柱

$$A7 = (1.000 + 1.600) \times 3.240 \times 2 = 16.85 \text{ 〃}$$

梁下面

$$A8 = 3.000 \times 0.350 \times 2 = 2.10 \text{ 〃}$$

$$\text{小計} = 53.15 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = 53.15 \text{ m}^2$$

4. コンクリート工

2) 柱補強

端柱

$$V4 = 1.198 \text{ m}^2 \times 3.240 \times 2 = 7.76 \text{ m}^3$$

中間柱

$$V5 = 1.550 \text{ m}^2 \times 3.240 = 5.02 \text{ 〃}$$

耐震壁

$$V6 = 0.350 \times 3.040 \times 2.500 \times 2 = 5.32 \text{ 〃}$$

$$\text{小計} = 18.10 \text{ m}^3$$

5. 無収縮モルタル

既設部

耐震壁部

$$V = 0.350 \times 0.200 \times 2.500 \times 2 = 0.35 \text{ m}^3$$

$$\text{合計} = 0.35 \text{ m}^3$$

6. 型枠工

2) 柱補強

端柱

$$A6 = (1.949 \times 2 + 1.150) \times 3.240 \times 2 = 32.71 \text{ m}^2$$

中間柱

$$A7 = (2.100 + 1.150) \times 3.240 \times 2 = 21.06 \text{ 〃}$$

耐震壁

$$A8 = 2.500 \times 3.240 \times 4 = 32.40 \text{ 〃}$$

$$\text{小計} = 86.17 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = 86.17 \text{ m}^2$$

8. シール材

30×30

既設端柱

$$L1 = (1.949 \times 2) \times 2 = 7.80 \text{ m}$$

既設中間柱

$$L2 = 2.100 \times 2 = 4.20 \text{ 〃}$$

$$\text{合計} = 12.00 \text{ m}$$

9. 鉄筋工

1) 質量

項目	径	単位	縁端拡幅	柱補強	合計	機械継手		摘 要
D13	D13	t		0.026	0.026			SD345
D16 └	D16	〃		0.944	0.944	120		〃
	D19	〃		－	－			〃
	D22	〃		0.584	0.584	8		〃
D25	D25	〃		－	－			〃
	D16-D25計	〃		1.528	1.528	128		〃
D29 └	D29	〃		－	－			〃
	D32	〃		－	－			〃
	D29-D32	〃		0.000	0.000	0		〃
合計		〃		1.554	1.554	128		〃

$$\text{組立てアンカー} \quad D13 = 60 \text{ 本}$$

$$\text{コンクリートアンカー} \quad M12 \times 52 = 60 \text{ 本}$$

10. コンクリート削工

2) 柱補強

$$\begin{aligned} \phi &= 32 \text{ mm} & L &= 450 \text{ mm} & n &= 54 \text{ 箇所} \\ L &= 0.450 \times 54 & & & & = 24.3 \text{ m} \\ \phi &= 26 \text{ mm} & L &= 250 \text{ mm} & n &= 140 \text{ 箇所} \\ L &= 0.250 \times 140 & & & & = 35.0 \text{ m} \end{aligned}$$

11. エポキシ樹脂注入

2) 柱補強

$$\begin{aligned} V2 &= \{ (0.032^2 - 0.022^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.450 \} \\ &\times 1200 \times (1 + 0.16) \times 54 & & = 14.3 \text{ kg} \\ &\text{(単位質量1200kg/m}^3\text{)} & & \text{(ロス率)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V3 &= \{ (0.026^2 - 0.016^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.250 \} \\ &\times 1200 \times (1 + 0.16) \times 140 & & = 16.1 \text{ kg} \\ &\text{(単位質量1200kg/m}^3\text{)} & & \text{(ロス率)} \end{aligned}$$

合計 30.40 kg

13. 足場工

既設部

$$A1 = 4.790 \times 12.360 = 59.2 \text{ 掛m}^2$$

拡幅部

$$A2 = 4.710 \times 3.395 = 16.0 \text{ 〃}$$

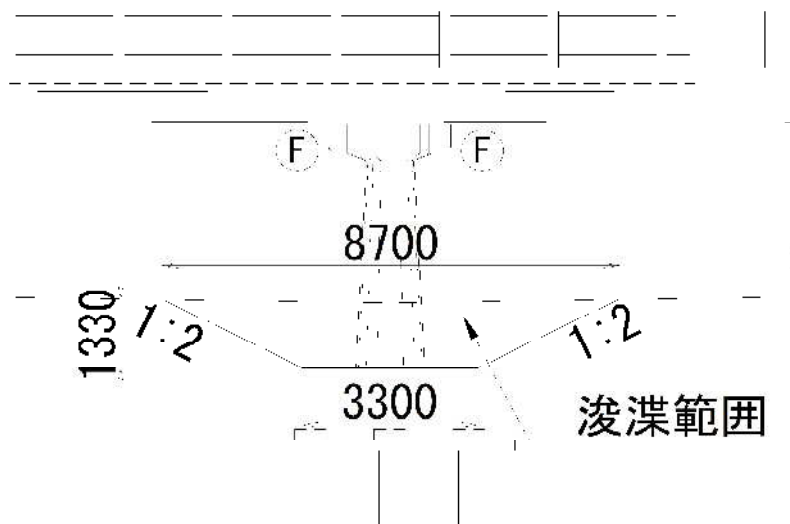
$$A2 = 4.710 \times 3.395 = 16.0 \text{ 〃}$$

合計 91.2 掛m²

14. 浚渫工

$$A1 = (3.300 + 8.700) / 2 \times 1.33 \times 14.500 = 115.7 \text{ m}^3$$

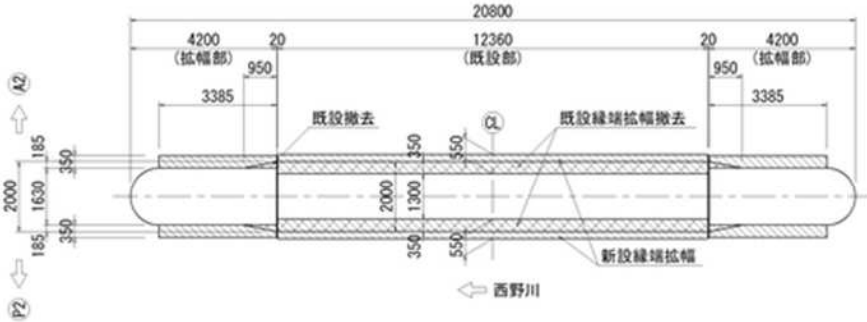
橋軸直角方向延長



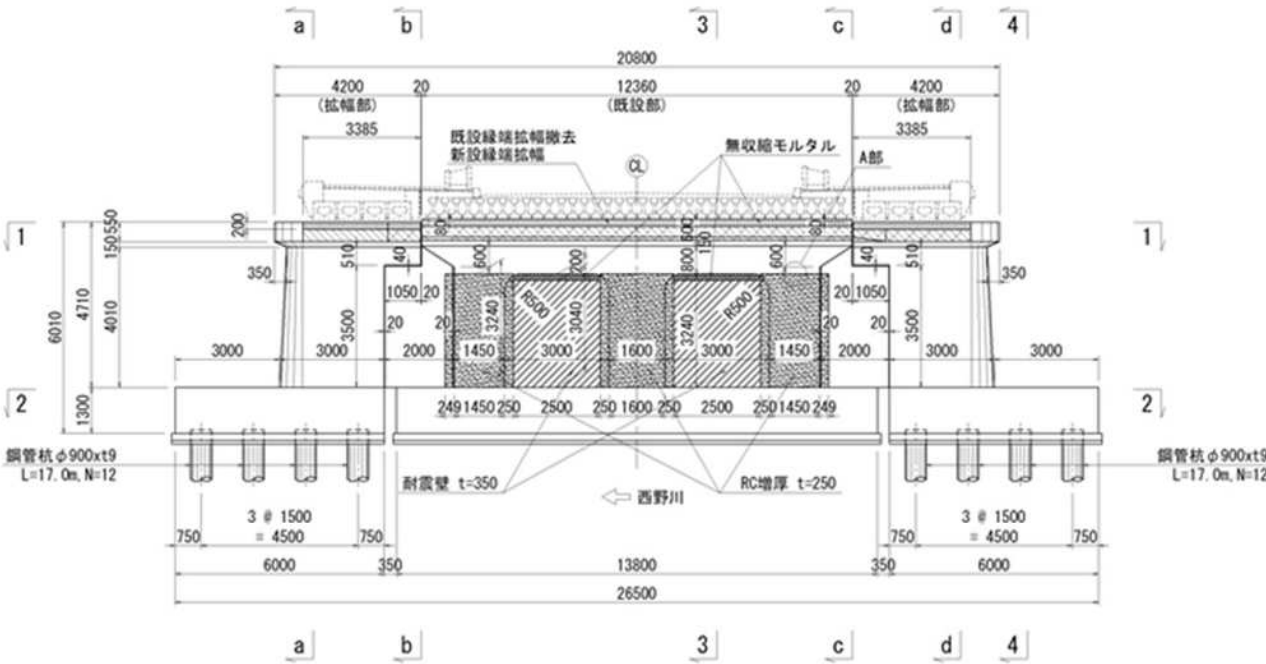
図面番号	縮尺	図示
工 種	橋脚 下部工構造図 (その4)	
種 別		
図 名	三原市役所本庁舎	
工事箇所	三原市港町三丁目	
三 原 市		

曙橋 下部工構造図 (その 4) S=1:100
P3橋脚

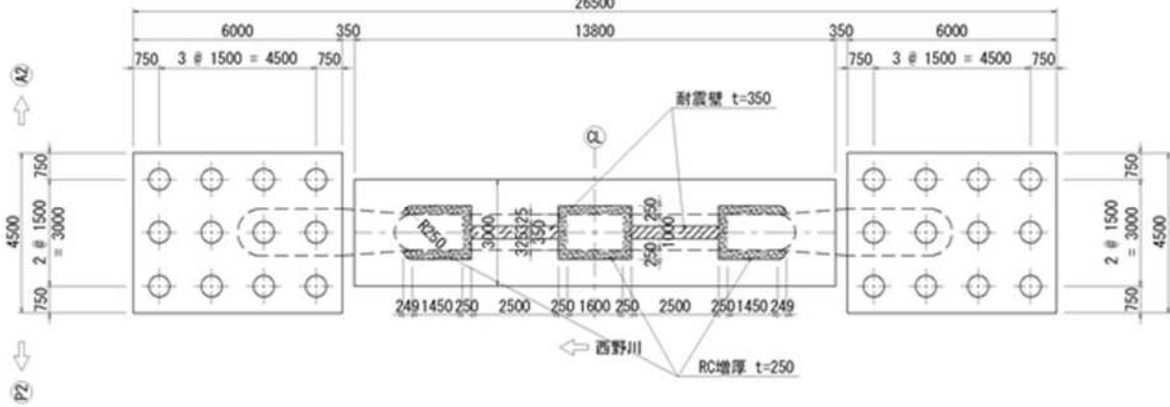
橋座平面図
(1 - 1)



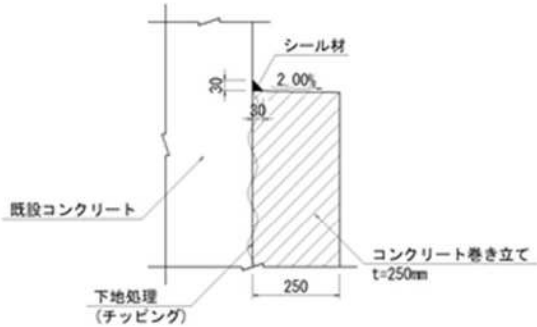
正面図 (起点側)



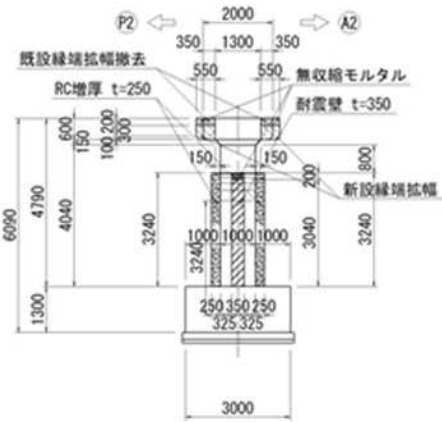
フーチング平面図
(2 - 2)



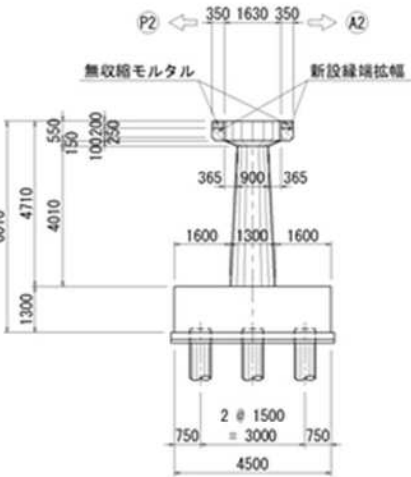
A部詳細図 S=1:10



既設部断面図
(3 - 3)

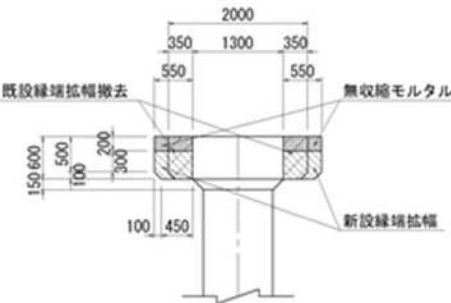


側面図
(4 - 4)

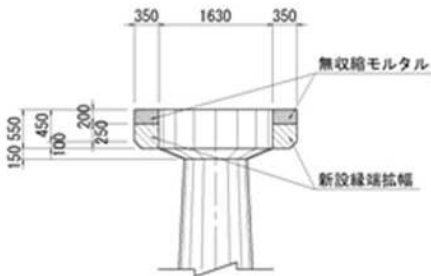


沓座拡幅詳細図 S=1:50

(3 - 3)



(4 - 4)



3. 表面処理工

チッピング

2) 柱補強

・ 底版上面

端柱

$$\begin{aligned} a &= \frac{1}{4} \times \pi \times 0.500^2 \times \frac{1}{2} \\ &+ 1.450 \times 0.250 \times 2 + 1.500 \times 0.250 = 1.198 \text{ m}^2 \\ A4 &= 1.198 \times 2 = 2.40 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

中間柱

$$\begin{aligned} a &= 2.100 \times 1.500 - 1.600 \times 1.000 = 1.550 \text{ m}^2 \\ A4 &= 1.550 \times 1 = 1.55 \text{ 〃} \end{aligned}$$

耐震壁

$$A5 = 2.500 \times 0.350 \times 2 = 1.75 \text{ 〃}$$

・ 既設柱

端柱

$$A6 = (1.000 + 1.699 \times 2) \times 3.240 \times 2 = 28.50 \text{ 〃}$$

中間柱

$$A7 = (1.000 + 1.600) \times 3.240 \times 2 = 16.85 \text{ 〃}$$

梁下面

$$A8 = 3.000 \times 0.350 \times 2 = 2.10 \text{ 〃}$$

$$\text{小計} = 53.15 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = 53.15 \text{ m}^2$$

4. コンクリート工

2) 柱補強

端柱

$$V4 = 1.198 \text{ m}^2 \times 3.240 \times 2 = 7.76 \text{ m}^3$$

中間柱

$$V5 = 1.550 \text{ m}^2 \times 3.240 = 5.02 \text{ 〃}$$

耐震壁

$$V6 = 0.350 \times 3.040 \times 2.500 \times 2 = 5.32 \text{ 〃}$$

$$\text{小計} = 18.10 \text{ m}^3$$

5. 無収縮モルタル

既設部

耐震壁部

$$V = 0.350 \times 0.200 \times 2.500 \times 2 = 0.35 \text{ m}^3$$

$$\text{合計} = 0.35 \text{ m}^3$$

6. 型枠工

2) 柱補強

端柱

$$A6 = (1.949 \times 2 + 1.150) \times 3.240 \times 2 = 32.71 \text{ m}^2$$

中間柱

$$A7 = (2.100 + 1.150) \times 3.240 \times 2 = 21.06 \text{ 〃}$$

耐震壁

$$A8 = 2.500 \times 3.240 \times 4 = 32.40 \text{ 〃}$$

$$\text{小計} = 86.17 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = 86.17 \text{ m}^2$$

8. シール材

30×30

既設端柱

$$L1 = (1.949 \times 2) \times 2 = 7.80 \text{ m}$$

既設中間柱

$$L2 = 2.100 \times 2 = 4.20 \text{ 〃}$$

$$\text{合計} = 12.00 \text{ m}$$

9. 鉄筋工

1) 質量

項目	径	単位	縁端拡幅	柱補強	合計	ガス圧接		摘 要
D13	D13	t		0.026	0.026			SD345
D16 └	D16	〃		0.945	0.945	120		〃
	D19	〃		—	—			〃
	D22	〃		—	0			〃
D25	D25	〃		0.779	0.779	8		〃
	D16-D25計	〃		1.724	1.724	128		〃
D29 └	D29	〃		—	—			〃
	D32	〃		—	—			〃
	D29-D32	〃		0.000	0.000	0		〃
合計		〃		1.750	1.750	128		〃

$$\text{組立てアンカー} \quad D13 = 60 \text{ 本}$$

$$\text{コンクリートアンカー} \quad M12 \times 52 = 60 \text{ 本}$$

10. コンクリート削工

2) 柱補強

$$\begin{aligned} \phi &= 35 \text{ mm} & L &= 510 \text{ mm} & n &= 54 \text{ 箇所} \\ L &= 0.510 \times 54 & & & & = 27.5 \text{ m} \\ \phi &= 26 \text{ mm} & L &= 250 \text{ mm} & n &= 140 \text{ 箇所} \\ L &= 0.250 \times 140 & & & & = 35.0 \text{ m} \end{aligned}$$

11. エポキシ樹脂注入

2) 柱補強

$$\begin{aligned} V2 &= \{ (0.035^2 - 0.025^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.510 \} \\ &\times 1200 \times (1 + 0.16) \times 54 & & = 18.1 \text{ kg} \\ &\text{(単位質量1200kg/m}^3\text{)} & & \text{(ロス率)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V3 &= \{ (0.026^2 - 0.016^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.250 \} \\ &\times 1200 \times (1 + 0.16) \times 140 & & = 16.1 \text{ kg} \\ &\text{(単位質量1200kg/m}^3\text{)} & & \text{(ロス率)} \end{aligned}$$

合計 34.20 kg

13. 足場工

既設部

$$A1 = 4.790 \times 12.360 = 59.2 \text{ 掛m}^2$$

拡幅部

$$A2 = 4.710 \times 3.385 = 15.9 \text{ 〃}$$

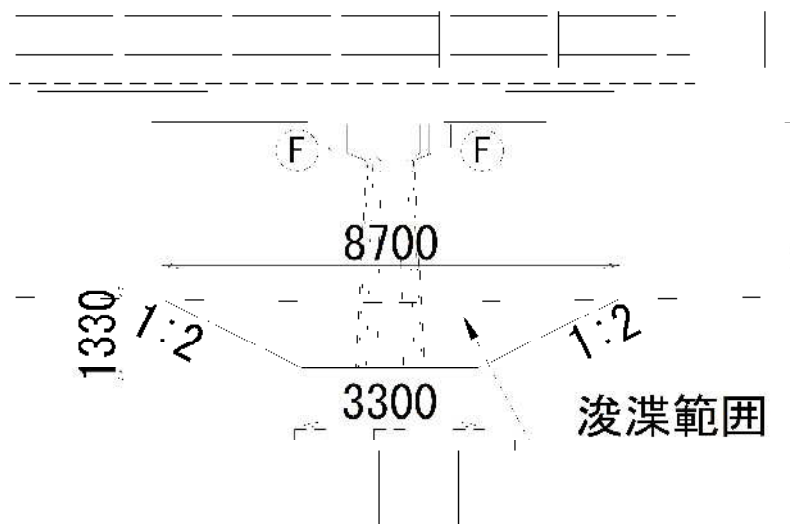
$$A2 = 4.710 \times 3.385 = 15.9 \text{ 〃}$$

合計 91.0 掛m²

14. 浚渫工

$$A1 = (3.300 + 8.700) / 2 \times 1.33 \times 14.500 = 115.7 \text{ m}^3$$

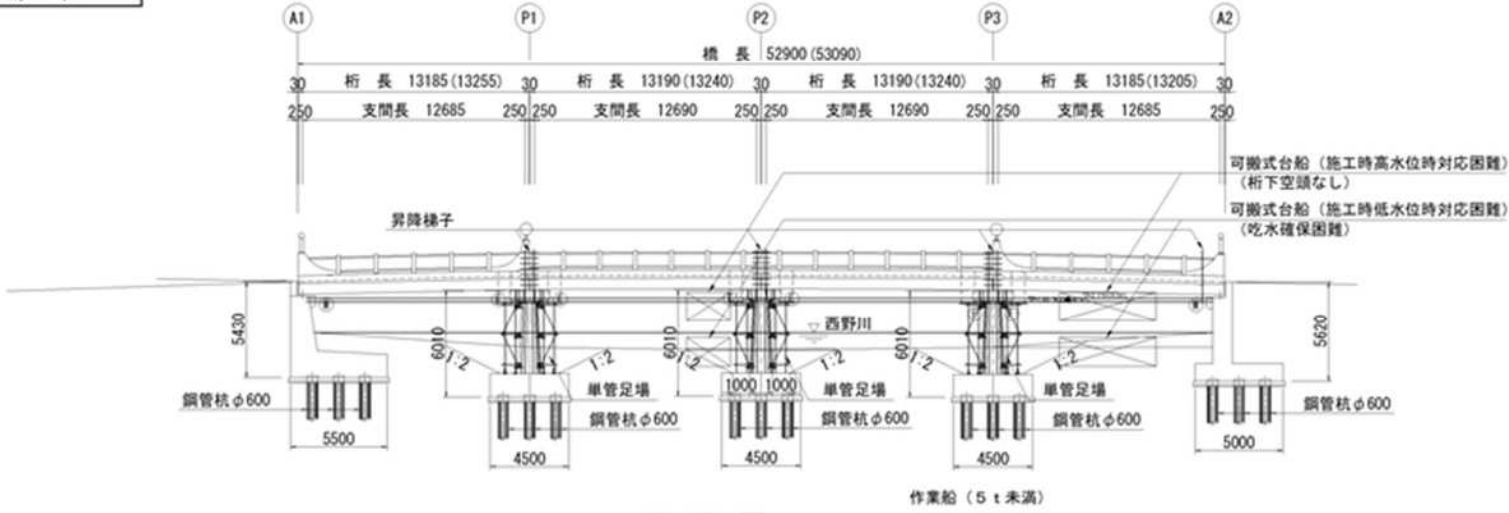
橋軸直角方向延長



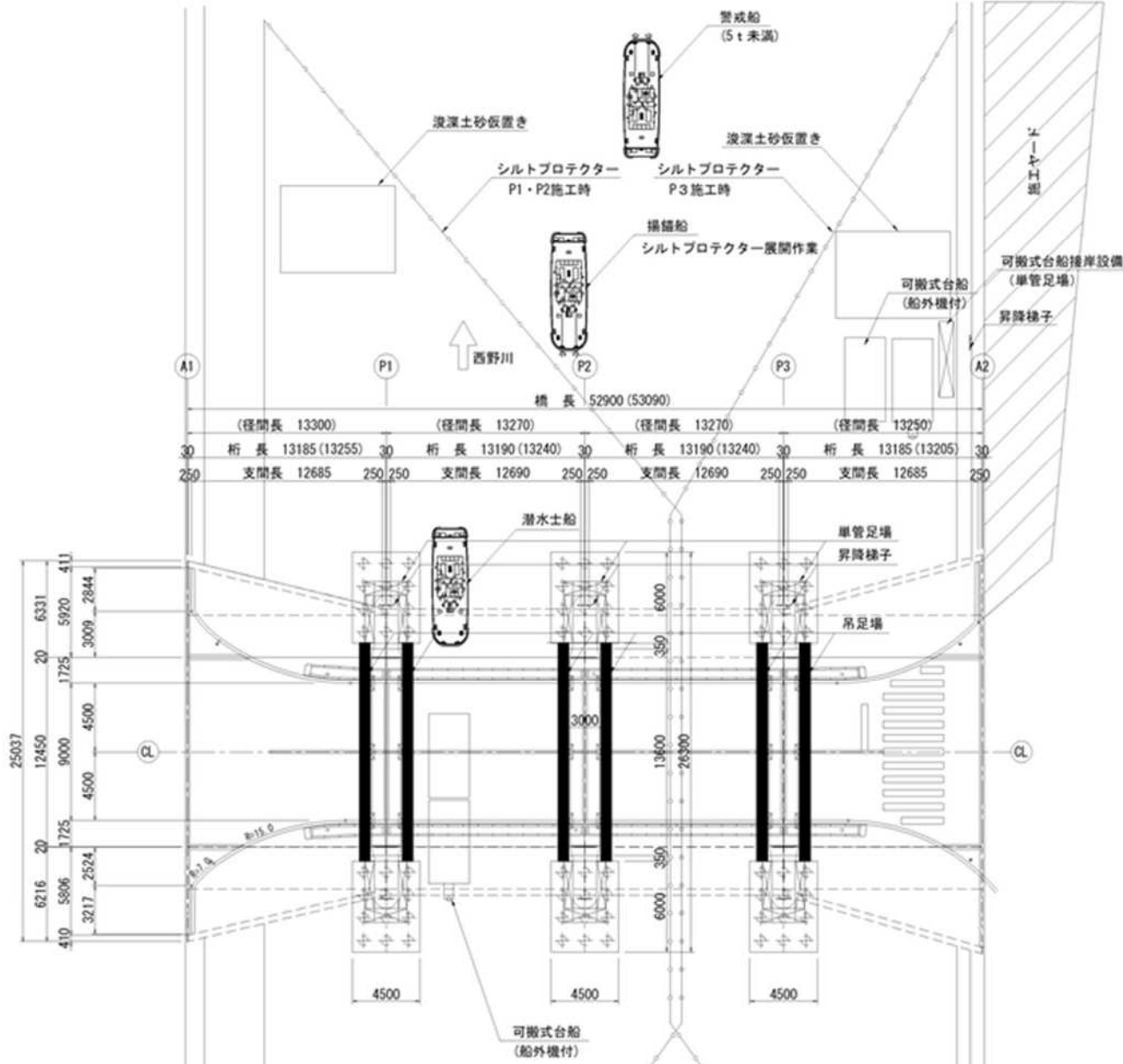
図面番号	31 枚の内 29 縮尺
工 種	橋梁耐震補強設計業務委託 (曙橋)
種 別	施工計画図 (参考図)
図 名	三原市役所本庁舎
工事箇所	三原市港町三丁目
三 原 市	

曙橋 施工計画図 (参考図) S=1:200

側面図



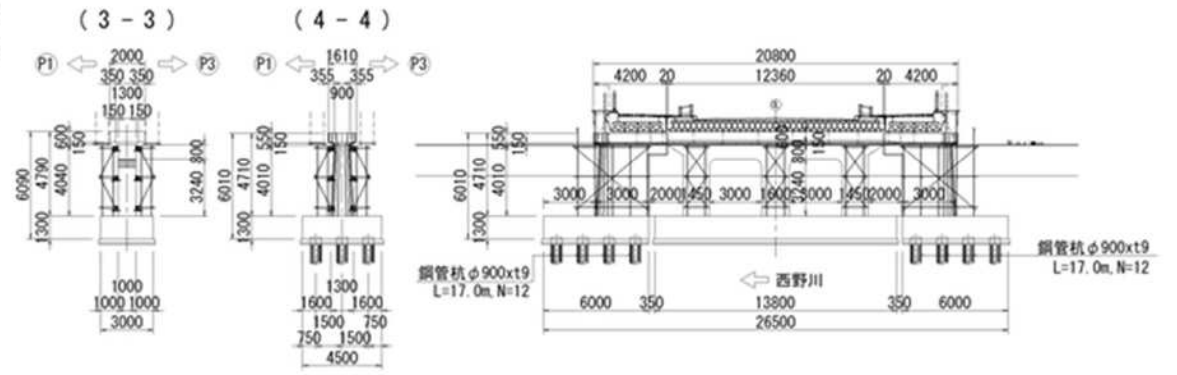
平面図



既設部断面図

側面図

(P2) 正面図



主要機材表

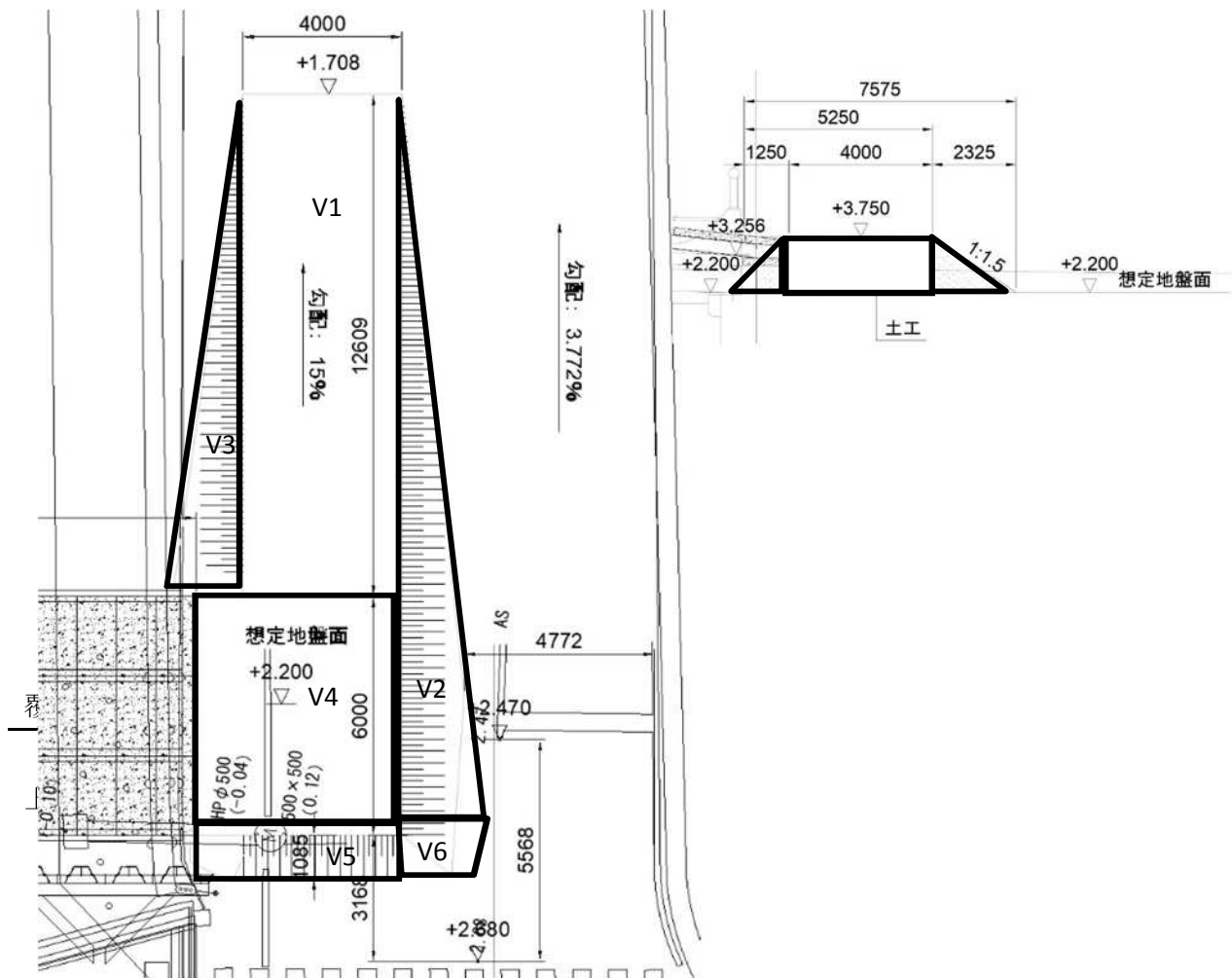
名称	規格	数量	概要
橋脚回り吊り足場	単管足場 (幅1.0m)	箇所 3	・コンクリート配管・ (干潮時) 人員移動
橋脚回り足場	単管足場	式 1	・ (満潮時) 潜水士足場・ (干潮時) 人員移動
施工ヤード	資機材仮置き場	m 150	・資機材置場・クレーン作業場設置
クレーン作業場	資機材吊下ろし	式 1	・作業台船 (資機材積込み) ・シルトプロテクター積降し
仮橋	単管足場	m 10	2隻×10 t
作業台船	船外機付可搬式台船	隻 2	2隻×13 t
警戒船		隻 1	5 t 積以下
潜水士船		隻 1	5 t 積以下
橋脚上昇降梯子	橋面→吊足場	箇所 6	施設付
シルトプロテクター		m 200	橋脚毎に転用
揚錨船	シルトプロテクター設置時	隻 2	5 t 積以下

§ 1. 総括表

工種	種別	細別	規格	単位	数量	設計数量
土工	—	路床盛土		m ³	108.9	110
		土砂等運搬		m ³	108.9	110
仮設工	—	H鋼杭		本	28	28
			H-300×300×10×15	t	61.752	61.752
		継手プレート		t	3.788	3.788
		ボルト		t	1.337	1.337
	—	導杭・導枠		本	22.4	23
	仮設工	覆工板		m ²	264.0	264
		—	スロープ間詰め材	t	0.089	0.089
			ズレ止め材	t	3.333	3.333
			HTB	kg	540	540
		覆工板受桁	主桁・横桁	t	31.620	31.620
	仮橋・仮栈橋工	杭橋脚		t	7.785	7.785
		仮設高欄		m	94.0	94
			角パイプ L=2.0m	本	48	48
		—	HTB	kg	972	972
	受け台	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$	m ³	5.496	5.496
		型枠	一般	m ²	19.486	19.486
		鉄筋	SD345	kg	192	192
		基礎砕石	RC-40	m ²	6.2	6.2
	法尻抑え柵	—	—	m	171.6	172
運搬	—	基地積込み・運搬～		t	149.340	149.340
		積込み・取卸し		t	11.207	11.207

§ 2. 仮設道路

下流側



1. 土工

搬入路部

$$\begin{aligned} V1 &= \frac{4 \times 12.609 \times (3.75 - 2.2)}{2} = 39.1 \text{ m}^3 \\ &\quad (50.44) \quad (1.55) \\ V2 &= \frac{2.325 \times 18.609 \times (3.75 - 2.2)}{6} = 11.2 \text{ m}^3 \\ &\quad (43.27) \quad (1.55) \\ V3 &= \frac{1.25 \times 12.609 \times (3.75 - 2.2)}{6} = 4.1 \text{ m}^3 \\ &\quad (15.76) \quad (1.55) \\ V4 &= \frac{5.25 \times 6 \times (3.75 - 2.2)}{1} = 48.8 \text{ m}^3 \\ &\quad (31.50) \quad (1.55) \\ V5 &= \frac{5.25 \times 1.085 \times (3.75 - 2.2)}{2} = 4.4 \text{ m}^3 \\ &\quad (5.70) \quad (1.55) \\ V6 &= \frac{2.325 \times 1.085 \times (3.75 - 2.2)}{3} = 1.3 \text{ m}^3 \\ &\quad (2.52) \quad (1.55) \end{aligned}$$

合計 108.9 m³

§ 3. 仮設工

1. H鋼杭

$$N = (5 \times 4) + (2 \times 4) = 28 \text{ 本}$$

2. 導杭・導枠

$$N = 28 \times \frac{0.8}{\text{杭10本あたり8本}} = 22.4 \text{ 本}$$

3. 覆工板面積

$$A = (37.00 + 7.00) \times 6.00 = 264 \text{ m}^2$$

$$N = (37.00 \times 3) + (7.00 \times 3) = 132 \text{ 枚}$$

4. 仮設高欄

$$N = (37.00 + 7.00) \times 2 + 6.00 = 94 \text{ m}$$

5. パイプサポート本数

$$N = (94.00 / \frac{2}{\text{1本あたり2m}}) + 1 = 48 \text{ 本}$$

6. 法尻抑え柵

$$A = (19.60 + 9.00) \times 1.00 \times 2 \times 3 = 171.6 \text{ m}$$

7. 鋼材重量

種別	項目	寸法・規格 (mm)	長さ (m)	単位 質量 (kg/m)	一部材当 たり (kg/1 本)	数量	合計 (kg)	材質	リース	購入 (中古)
覆工板	—	2000×1000×200	1.00	424	424.00	132	55968		○	
	スロープ間詰め材	L-100×100×10	6.00	14.90	89.40	1	89			○
	ズレ止め材	[-200×90×8	7.00	30.30	212.10	10	2121			○
			6.00	30.30	181.80	2	364			○
			7.00	30.30	212.10	2	424			○
			7.00	30.30	212.10	2	424			○
	HTB	F10T22×65	—	0.54	—	330	178			
		F10T22×70	—	0.56	—	385	216			
		F10T22×80	—	0.59	—	200	118			
		F10T22×90	—	0.62	—	45	28			
	覆工板合計						59930			
上部工	主桁	H-594×302×14×23	6.50	170	1105.00	24	26520	SS400	○	
		H-594×302×14×23	7.50	170	1275.00	4	5100	SS400	○	
	上部工合計						31620			
下部工	枕材	[-380×100×10.5×16	7.00	54.5	381.5	14	5341	SS400		○
	水平継ぎ	[-150×75×6.5×10	7.00	18.6	130.2	14	1823	SS400		○
	対傾構	L-65×65×5	2.50	5.9	14.775	42	621	SS400		○
	下部工合計						7785			
杭基礎	H鋼杭	H-300×300×10×15	23.00	93.0	2,139.0	8	17112	SS400	○	
		H-300×300×10×15	24.00	93.0	2,232.0	20	44640	SS400	○	
	継手プレート	PL-12×300×550	—	15.54	—	112	1740			
		PL-12×120×550	—	6.22	—	224	1393			
		PL-9×180×460	—	5.85	—	112	655			
	HTB	S10T22×75	—	0.54	—	1800	972			
		S10T22×65	—	0.51	—	715	365			
	杭基礎合計						66877			

【仮設鋼材重量】

リース品 149340 kg

購入（中古）品 11207 kg

8. 受け台

(1) コンクリート ($\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$)

$$A = 0.800 \times 0.903 + 0.300 \times 0.644 = 0.916 \text{ m}^2$$

$$V = 0.916 \times 6.000 = 5.496 \text{ m}^3$$

(2) 型 枠

$$A = (0.903 + 1.548 + 0.644) \times 6.000 = 18.570 \text{ m}^2$$

$$A = 0.800 \times 0.903 + 0.300 \times 0.644 \times 2 = 0.916 \text{ m}^2$$

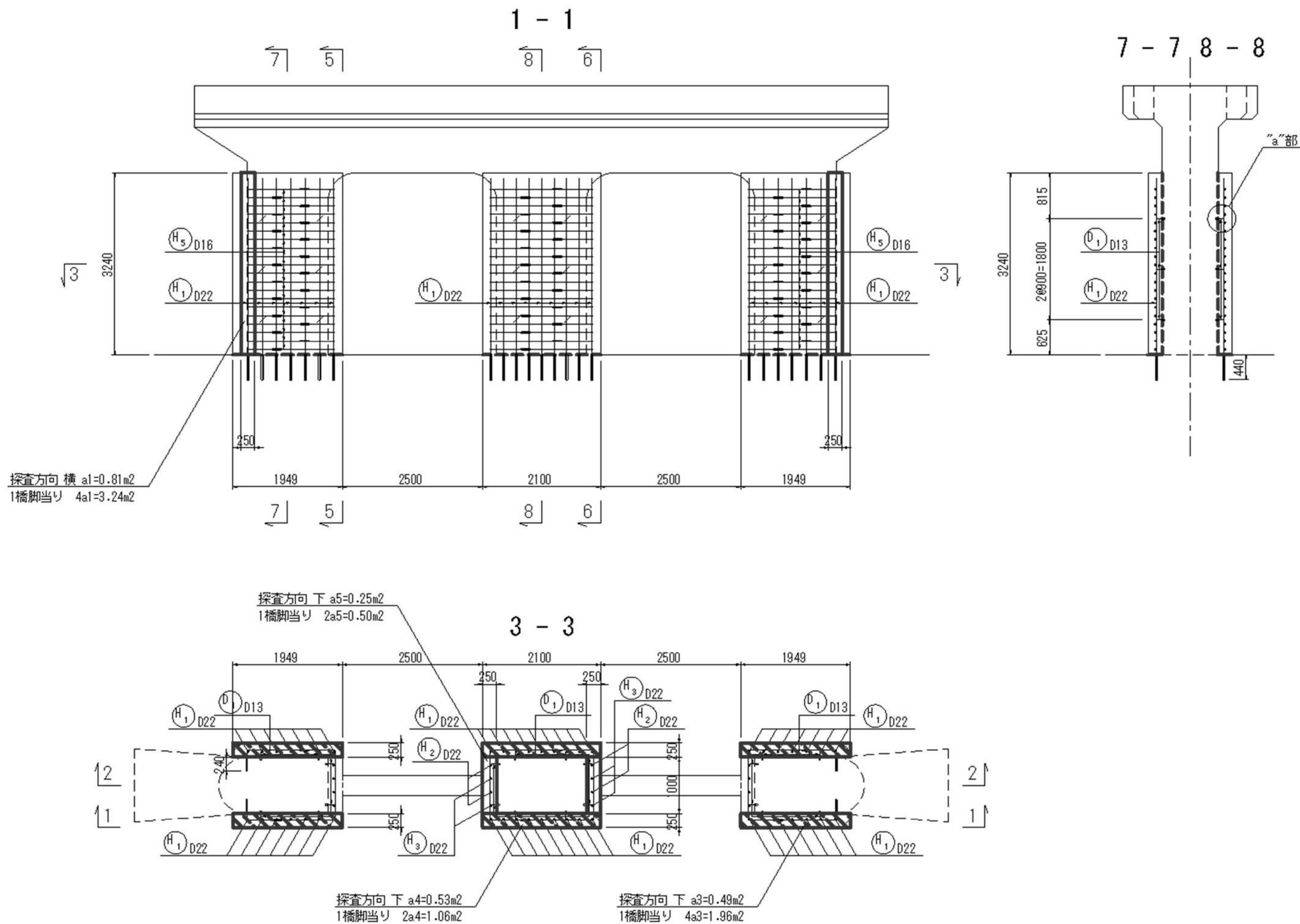
$$\underline{\underline{\Sigma A = 19.486 \text{ m}^2}}$$

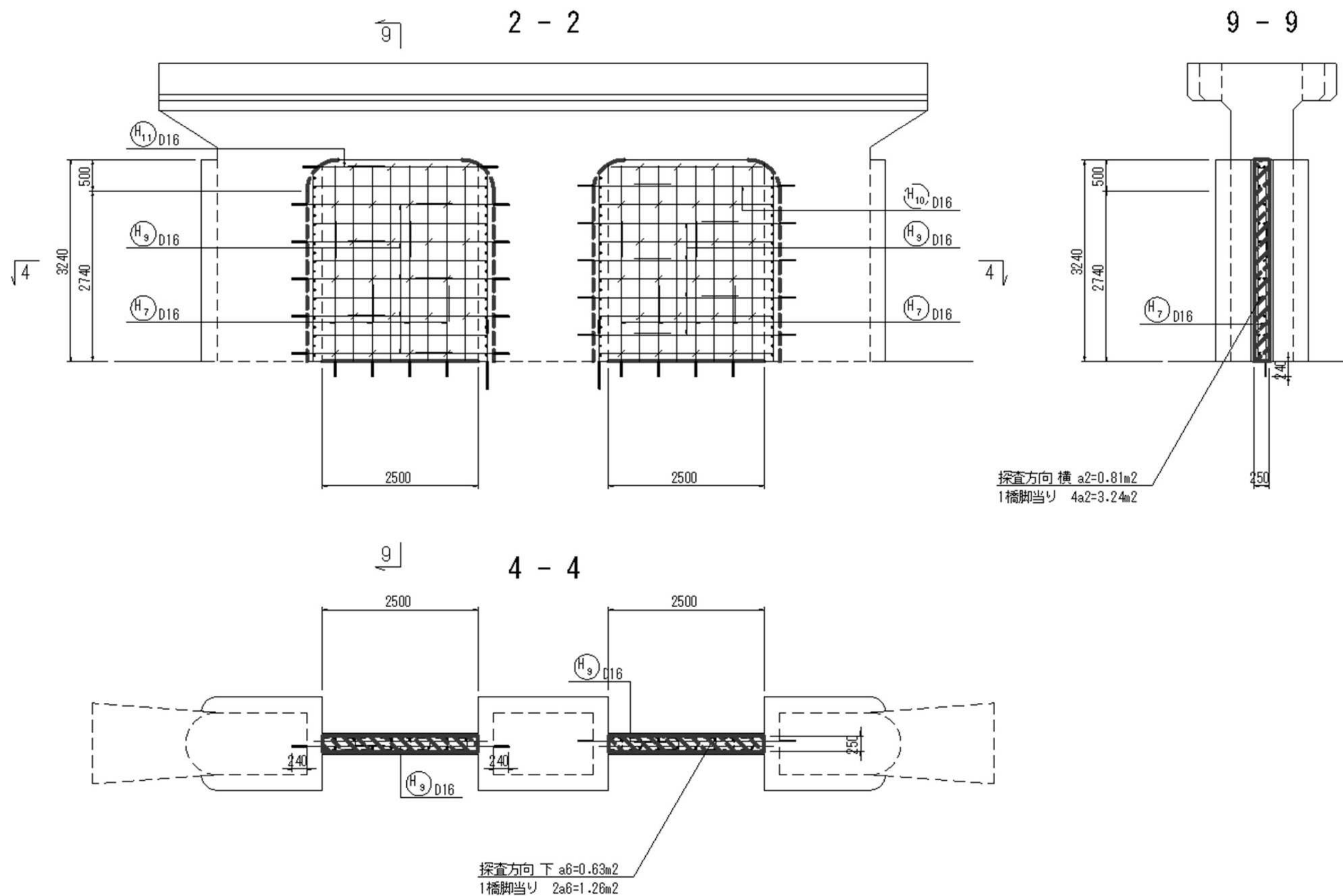
(3) 鉄 筋 (SD345)

$$\text{D13} \quad w = 5.496 \text{ m}^3 \times 35 \text{ kg/m}^3 = 192.360 \text{ kg}$$

(4) 基礎碎石 (RC-40 t=100)

$$V = 1.000 \times 6.200 = 6.2 \text{ m}^3$$





1. 鉄筋探査工

2) 柱補強・耐震壁

別紙より

・ 探査方向 横

端柱		
P1橋脚	=	3.24 m2
P2橋脚	=	3.24 m2
P3橋脚	=	3.24 m2
耐震壁		
P1橋脚	=	3.24 m2
P2橋脚	=	3.24 m2
P3橋脚	=	3.24 m2
小計	Σ 2	19.44 m2

・ 探査方向 下

端柱		
P1橋脚	=	1.96 m2
P2橋脚	=	1.96 m2
P3橋脚	=	1.96 m2
中間柱		
P1橋脚		
a = 1.06 + 0.50	=	1.56 m2
P2橋脚	=	1.56 m2
P3橋脚	=	1.56 m2
耐震壁		
P1橋脚	=	1.26 m2
P2橋脚	=	1.26 m2
P3橋脚	=	1.26 m2
小計	Σ 3	14.34 m2

10. コンクリート削工

2) 柱補強・耐震壁

アンカー定着鉄筋

P1橋脚およびP3橋脚（各橋脚当り）

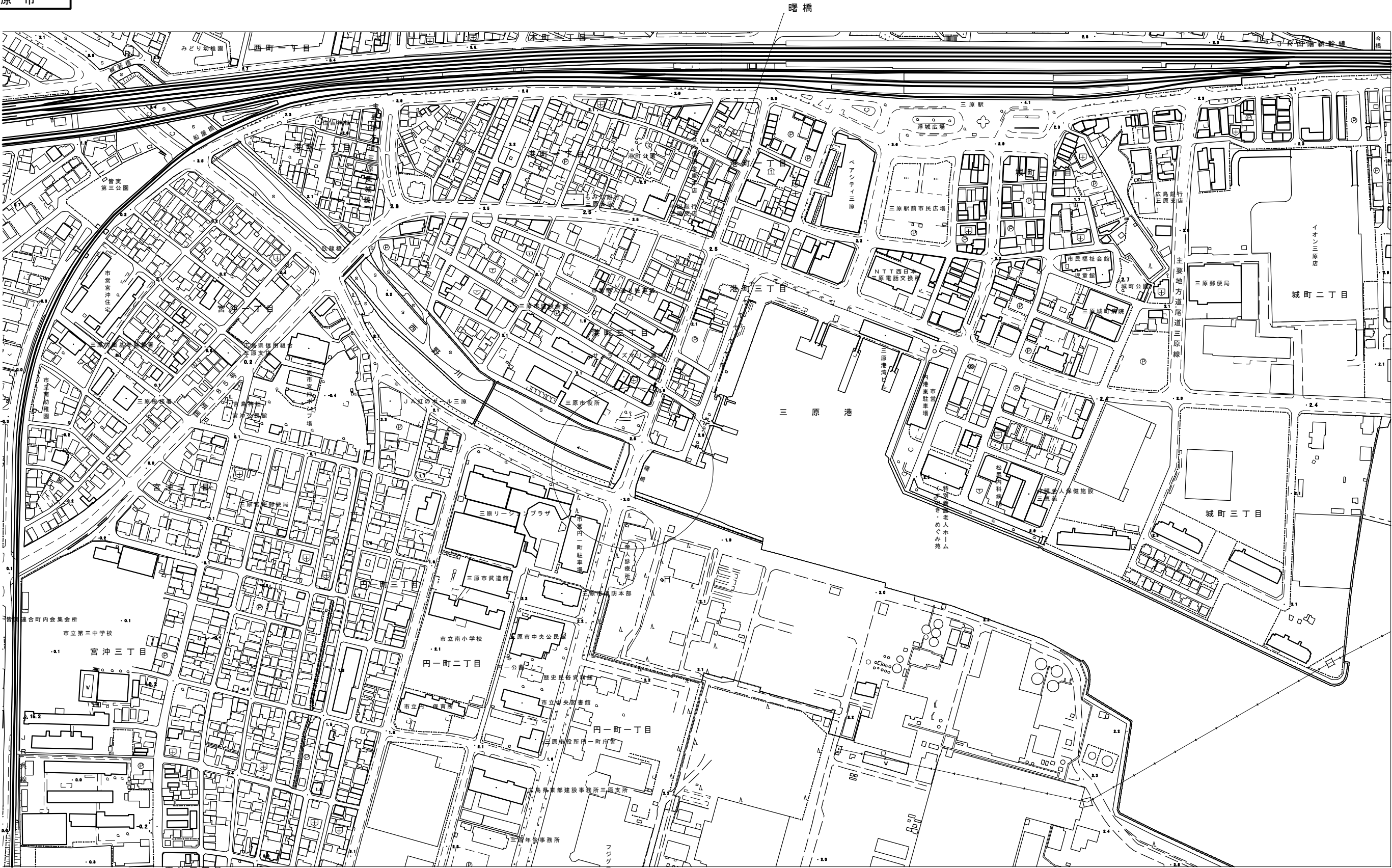
記号	径	長 さ	本数
柱補強			
H 1	D25	450	46
H 2-1	D25	450	4
H 3-1	D25	450	4
	φ35		n=54
H 5-1	D16	250	40
H 5-3	D16	250	40
	φ26		n=80
耐震壁			
H 7-1	D16	250	16
H 9-1	D16	250	18
H 9-2	D16	250	18
H 10-1	D16	250	2
H 10-2	D16	250	2
H 11-1	D16	250	2
H 11-2	D16	250	2
	φ26		n=60

P2橋脚

記号	径	長 さ	本数
柱補強			
H 1	D22	450	46
H 2-1	D22	450	4
H 3-1	D22	450	4
	φ32		n=54
H 5-1	D16	250	40
H 5-3	D16	250	40
	φ26		n=80
耐震壁			
H 7-1	D16	250	16
H 9-1	D16	250	18
H 9-2	D16	250	18
H 10-1	D16	250	2
H 10-2	D16	250	2
H 11-1	D16	250	2
H 11-2	D16	250	2
	φ26		n=60

図面番号	34枚の内 1	縮尺	1:2000
工 種	橋梁耐震補強工事(曙橋)		
種 別	曙橋 橋梁位置図		
路線名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

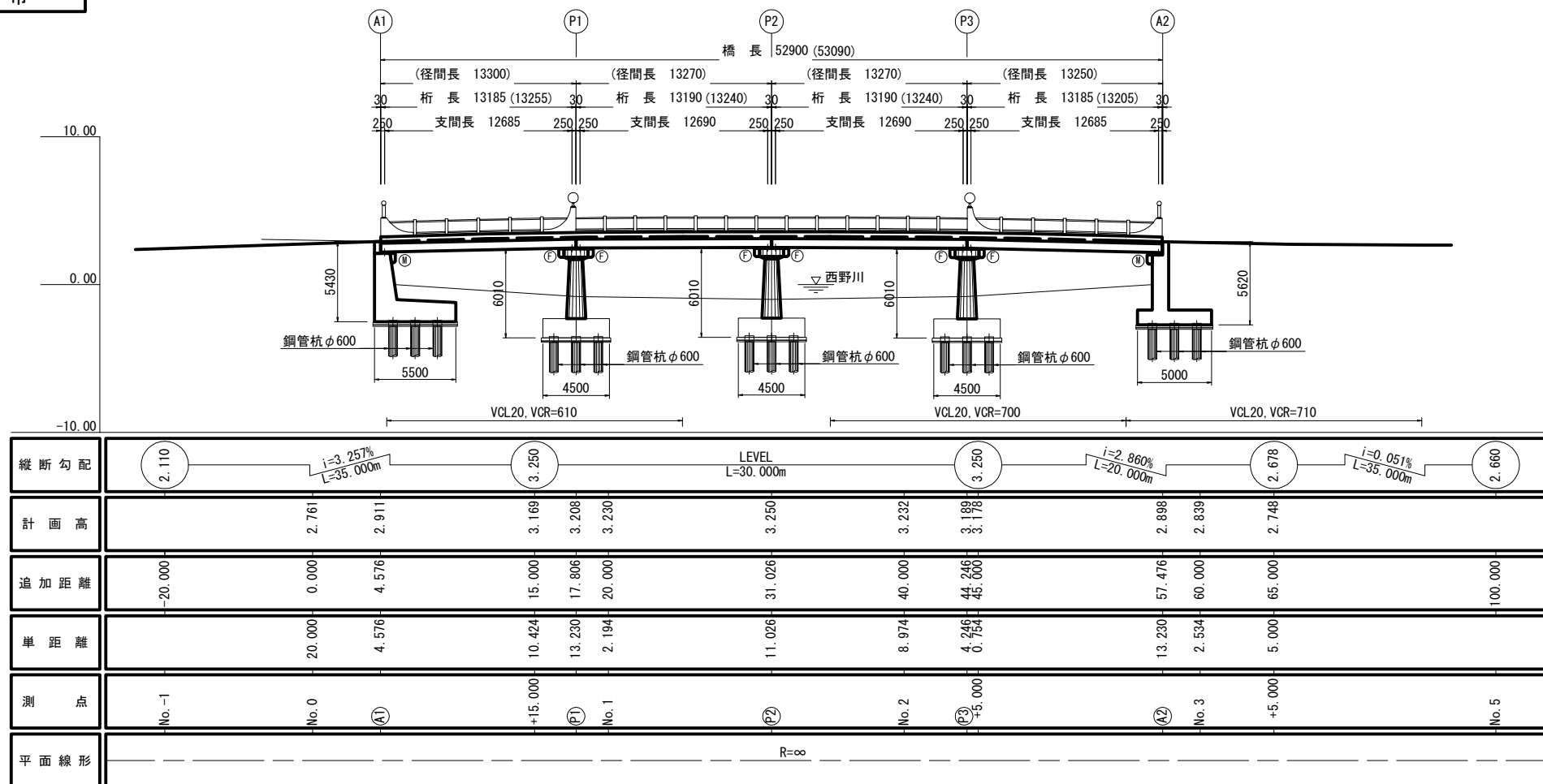
曙橋 橋梁位置図 S=1:2000



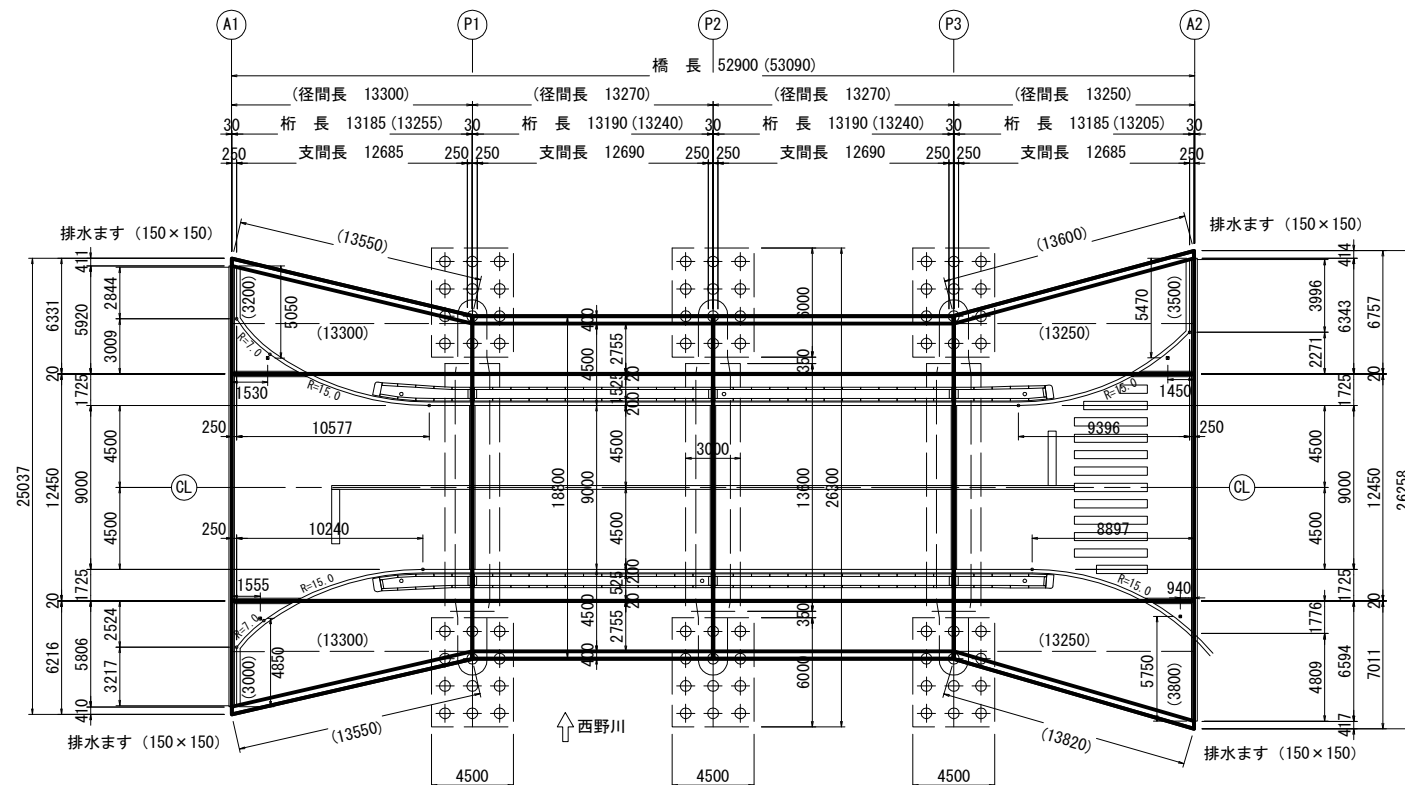
図面番号	34枚の内 2	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(増橋)		
種 別	全体一般図		番号
路線 河川 名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
三 原 市			

曙橋 全体一般図

側面図 S=1:200



平面图 S=1:200



設計条件

道路規格	4種2級
橋 長	52.900m
桁 長	13.185m+13.190m+13.190m+13.185m
支 間 長	12.685m+12.690m+12.690m+12.685m
有効幅員	4.500m+9.000m+4.500m
斜 角	90°00'00"
横断勾配	
縦断勾配	3.257% ~ LEVEL ~ -2.860%
上部工形式	プレテンション方式単純床版橋
下部工形式	逆T式橋台・壁式橋脚
基礎工形式	杭基礎（鋼管杭φ600）
活 荷 重	B活荷重
設計震度	Kh=0.26

材料強度及び許容応力度

材料強度及び許容応力度			(kgf/cm2)	
コンクリート			主桁	場所打ち
設計基準強度			500	240
許容曲げ圧縮 応 力 度	プレストレス 導入直後	長方形断面	210	120
		Ｔ形断面	200	110
	設計荷重時	長方形断面	170	100
		Ｔ形断面	160	90
許容曲げ引張 応 力 度	プレストレス導入直後	-18	0	
	設 計 荷 重 時	-18	0	
許容せん断 応 力 度	設計荷重時の検証値	6.5	---	
	終局荷重時の最大値	60	---	
許 容 斜 引 張 応 力 度			-12	---
プレストレス時の強度			350	200

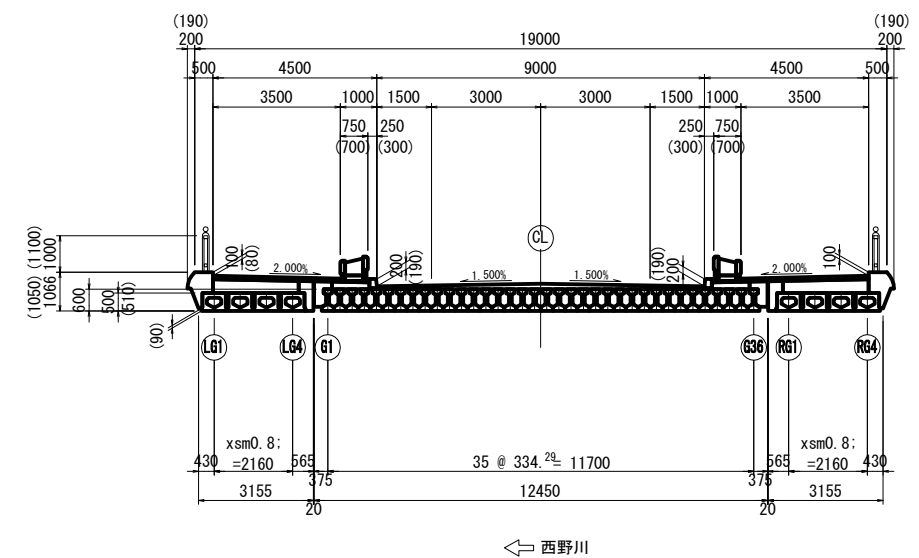
(kgf/mm²)

P C 鋼 材		SWP7B 1115.2	SBPR 785/930
引 張 強 度		190.0	95.0
降 伏 点 応 力 度		160.0	80.0
許容引張応力度	設計荷重時	114.0	57.0
	導入直後	133.0	66.5
	緊張作業時	144.0	72.0

(kgf/cm²)

鉄 筋		SD295A
降 伏 点 応 力 度		3, 000
許 容 引 張 応 力 度	主 版	1, 800
	床 版	1, 400

標準断面図 S=1:100

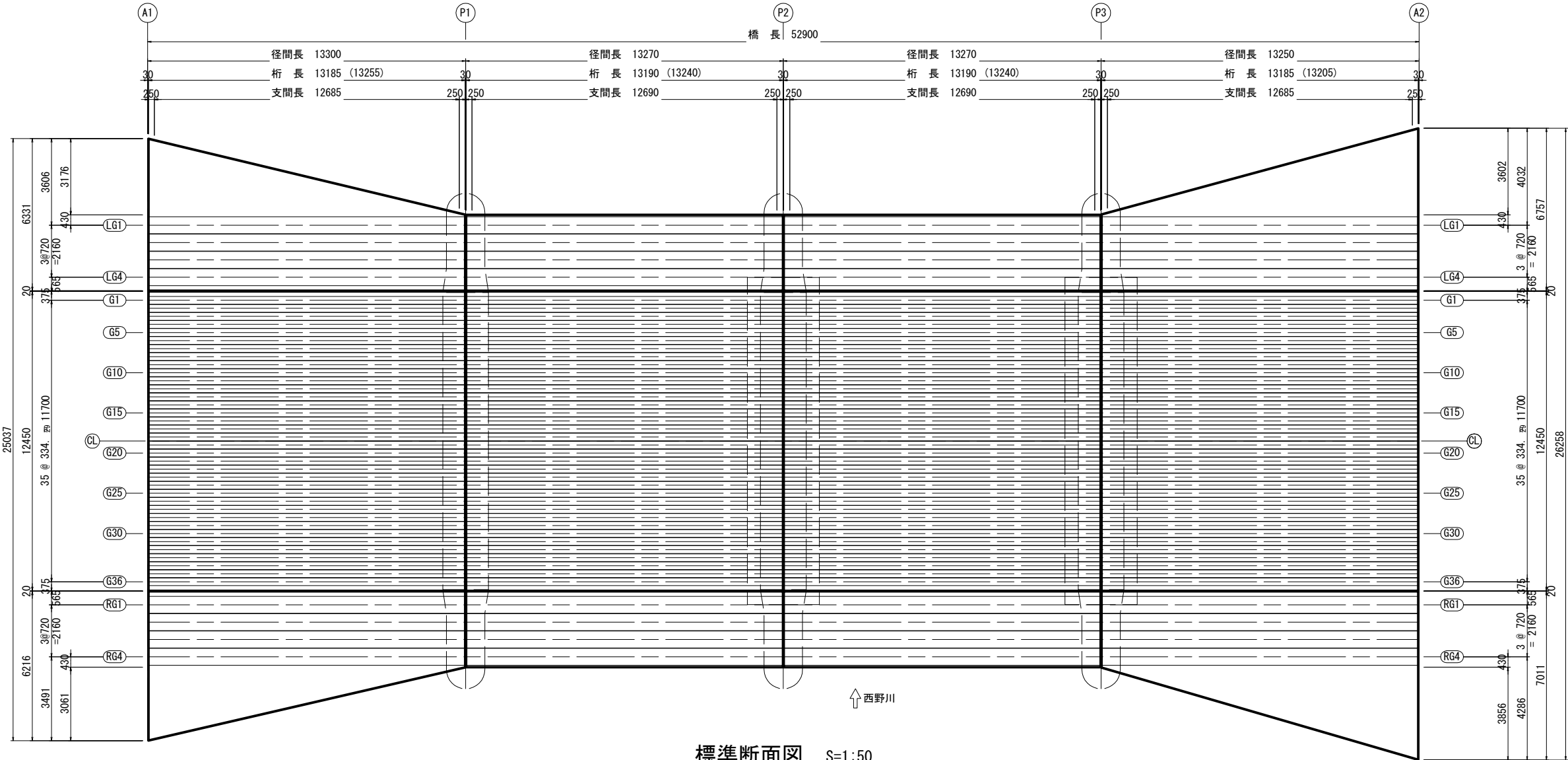


※ 朱書きの寸法値は、実測値を示す。

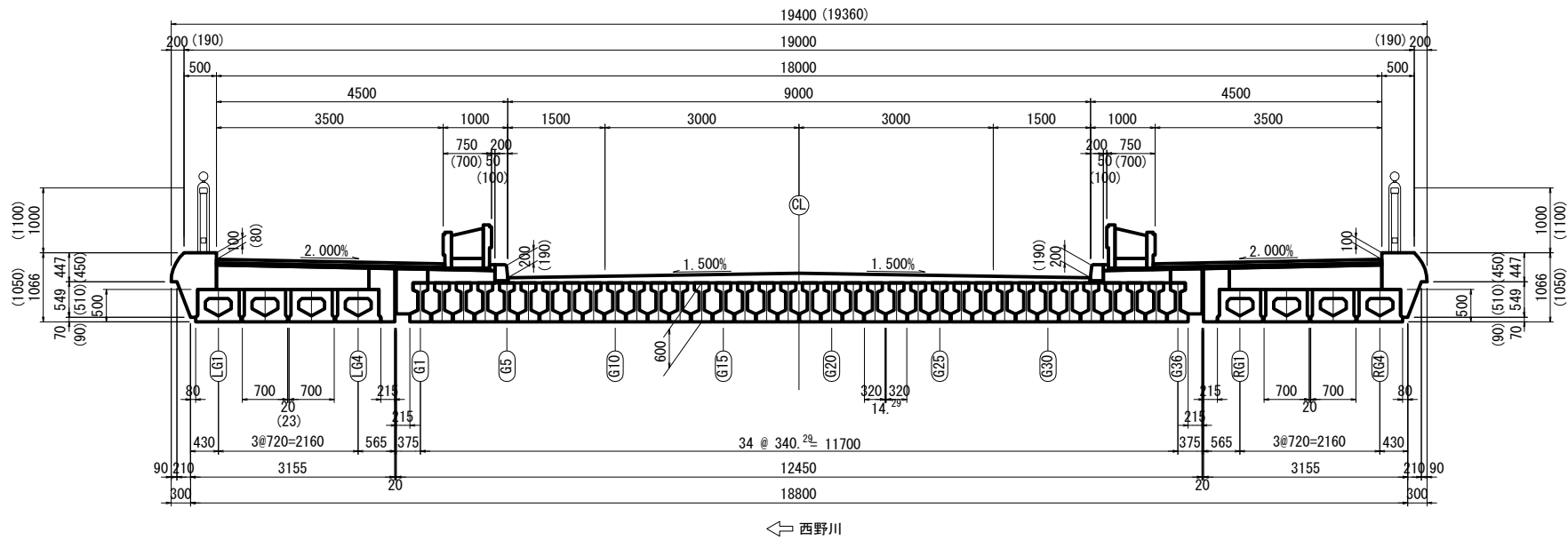
図面番号	34枚の内 3	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(増補)		
種 別	上部工一般図		
路線名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

曙橋 上部工一般図

平面図 S=1/100

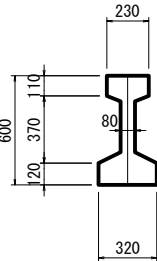


標準断面図 S=1:50

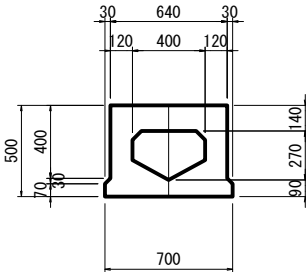


主桁断面図 S=1:20

既設部 (G1～G36)



拡幅部 (LG1～LG4, RG1～RG4)

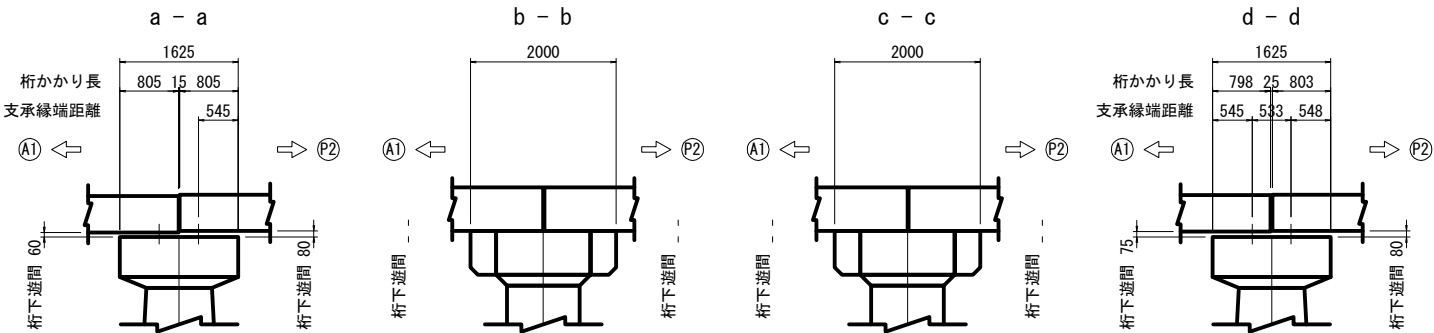


※ 朱書きの寸法値は、実測値を示す。

曙橋 下部工一般図(2) S=1:100

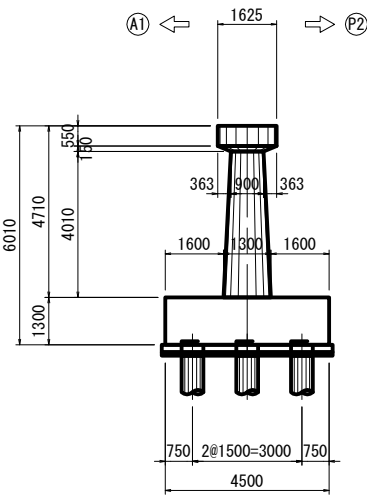
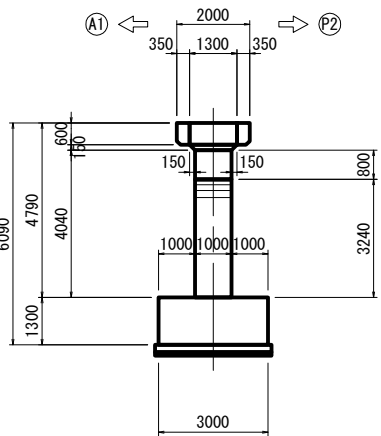
桁かかり長・支承縁端距離・桁遊間 $S=1:50$

Plan view diagram of the bridge structure. The diagram shows a cross-section of the bridge with a central span of 20,800 units. The bridge is divided into sections: a 4,200 unit wide section on the left (labeled '拡幅部'), a 20 unit wide section, a 12,360 unit wide section (labeled '既設部'), another 20 unit wide section, and a 4,200 unit wide section on the right (labeled '拡幅部'). The bridge has a central line (CL) and a width of 2,000 units. The bridge is oriented towards the '西野川' (Saiyokawa) river, indicated by an arrow pointing left. The bridge is labeled 'P2' and 'A1'.

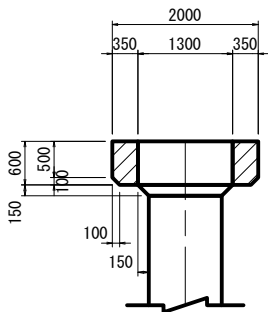
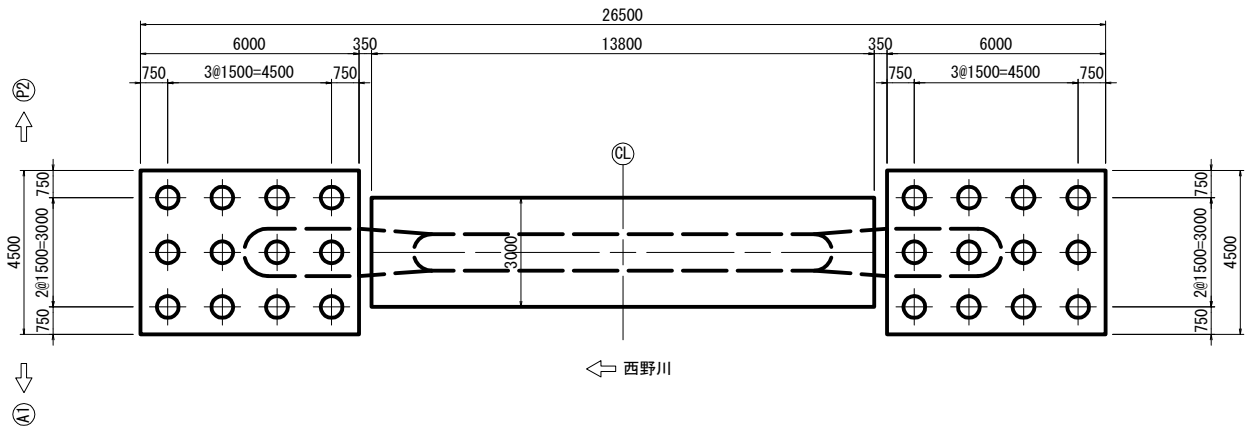


Technical drawing of a bridge cross-section. The drawing includes dimensions for the bridge deck, piers, and abutments. Key dimensions include a total width of 20800, a central span of 12360, and a total length of 26500. The drawing also shows the bridge's elevation, including the deck height (6010) and the pier height (4710). The bridge is supported by two piers and two abutments. The piers are labeled with 'R500' and 'R300'. The abutments are labeled with 'R500'. The drawing includes a section line '1-1' and a section line '2-2'. The drawing is labeled with '鋼管杭 φ900×t9 L=17.0m, N=12' and '西野川'.

側 面 図
(4 - 4)



沓座拡幅詳細図 S=1:50

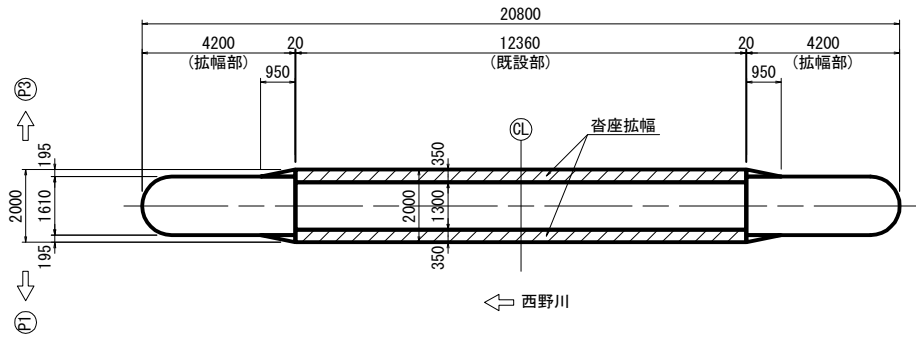


図面番号	34枚の内 6	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(増補)		
種 別	下部工一般図(3)		
路線名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

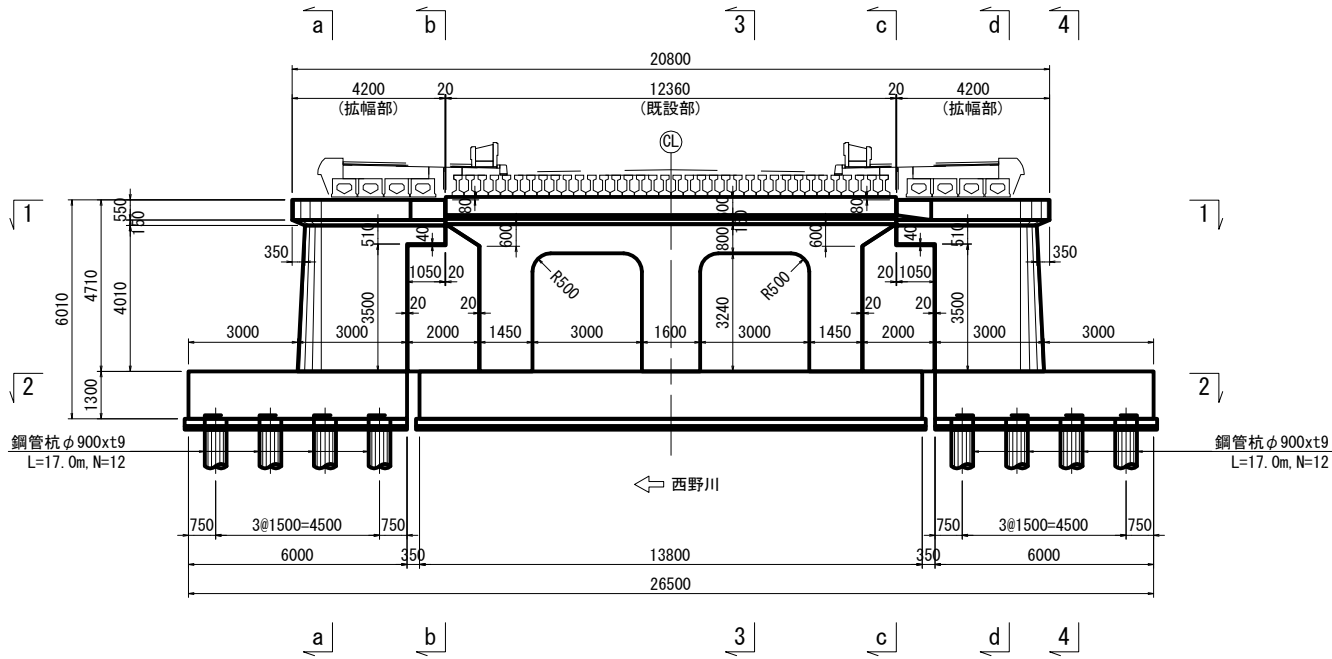
曙橋 下部工一般図(3) S=1:100

P2橋脚

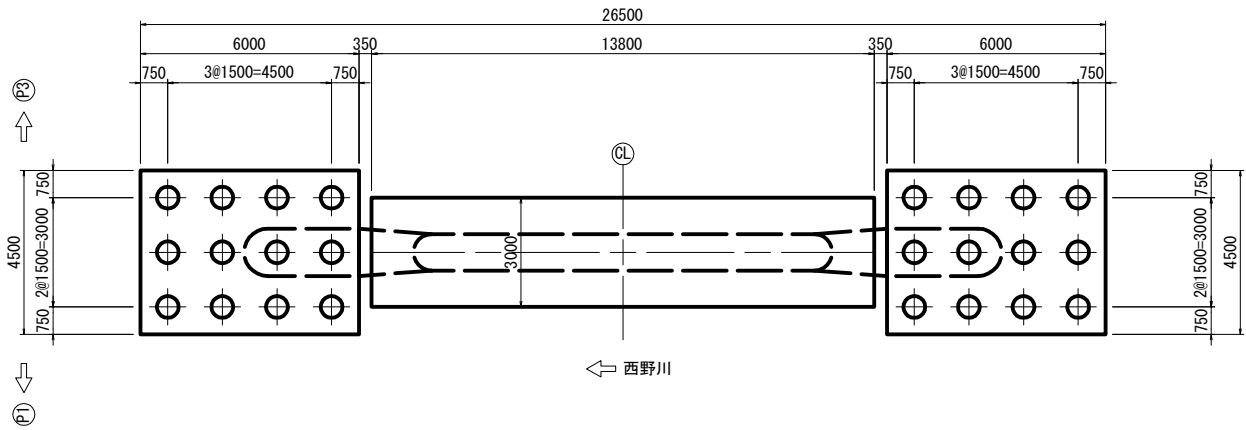
橋座平面図
(1-1)



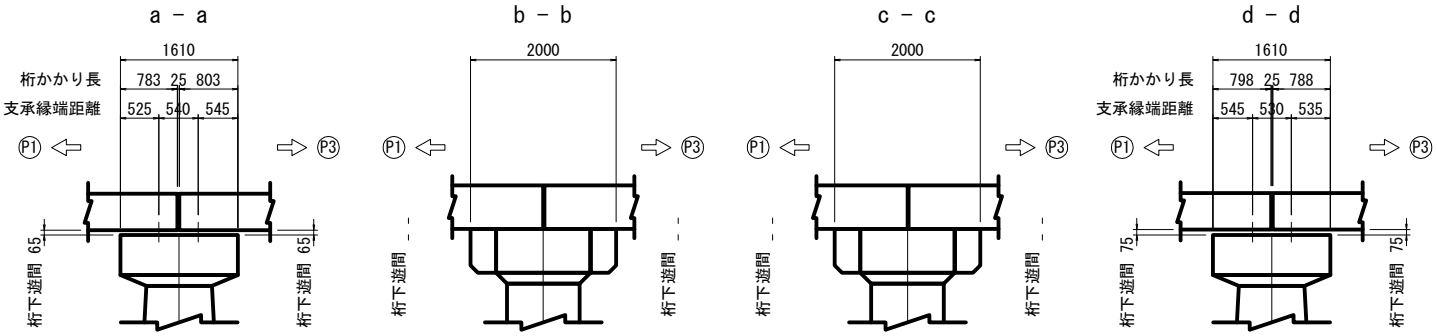
正面図(起点側)



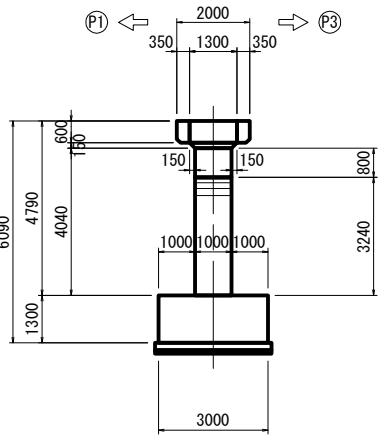
フーチング平面図
(2-2)



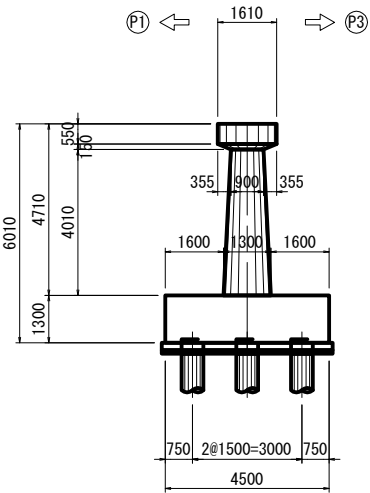
桁かかり長・支承縁端距離・桁遊間 S=1:50



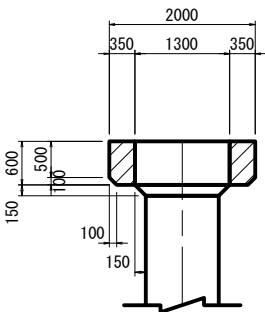
既設部断面図
(3-3)



側面図
(4-4)



沓座拡幅詳細図 S=1:50

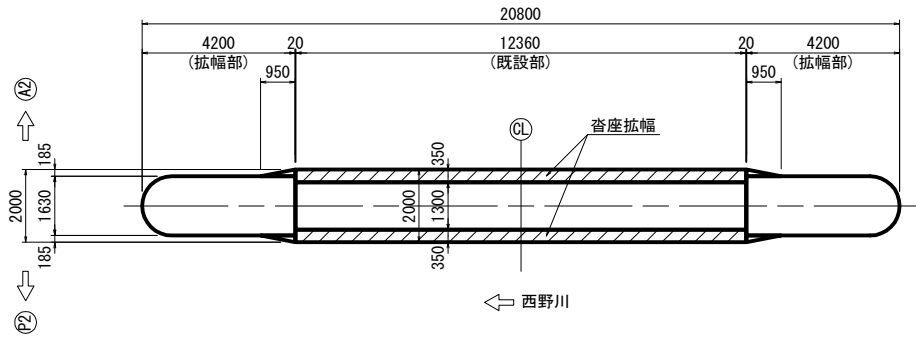


図面番号	34枚の内 7	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(増補)		
種 別	下部工一般図(4)		
路線名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

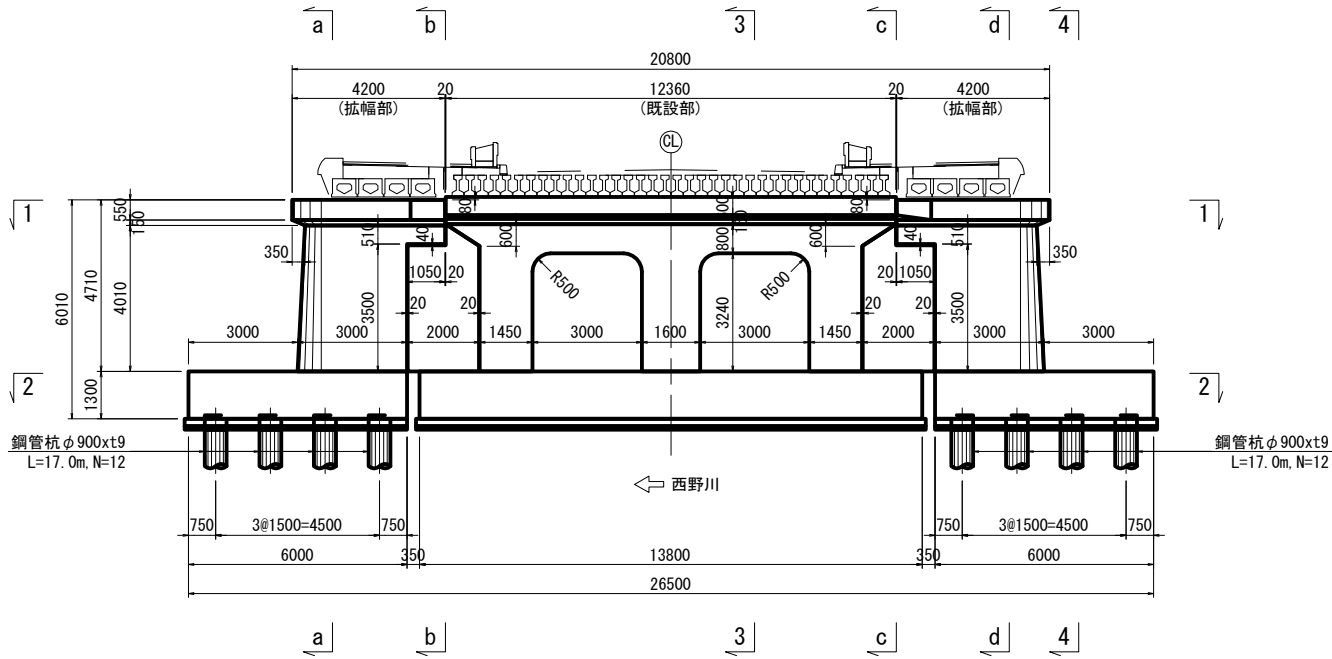
曙橋 下部工一般図(4) S=1:100

P3橋脚

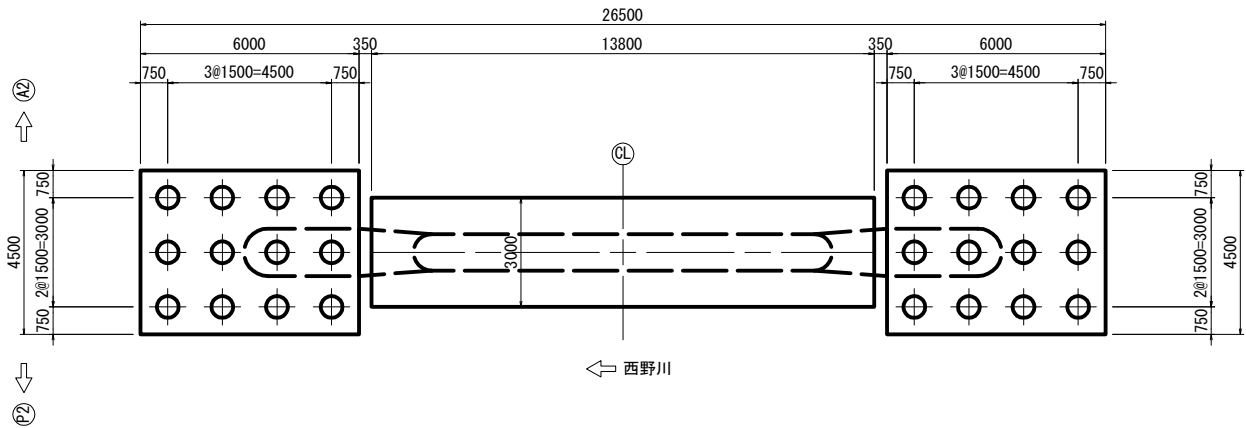
橋座平面図
(1-1)



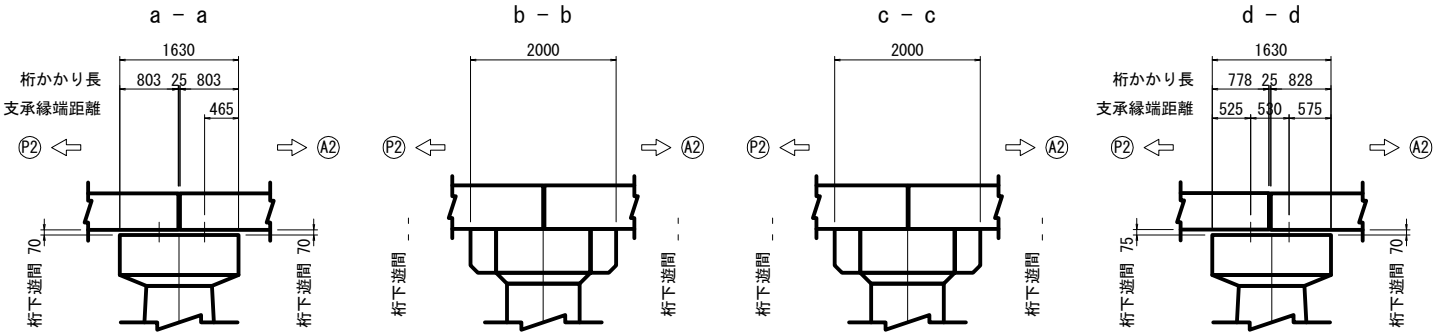
正面図(起点側)



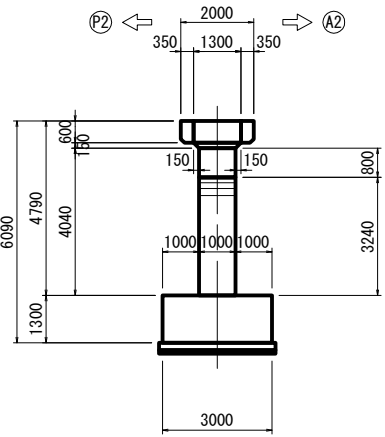
フーチング平面図
(2-2)



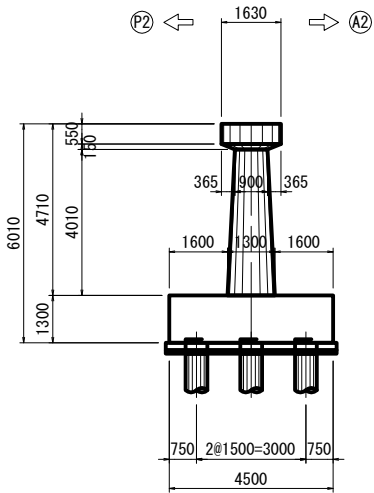
桁かかり長・支承縁端距離・桁遊間 S=1:50



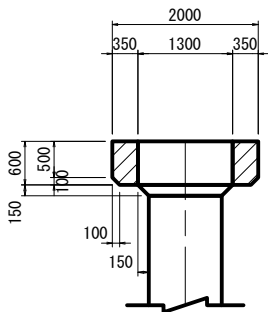
既設部断面図
(3-3)



側面図
(4-4)



沓座拡幅詳細図 S=1:50

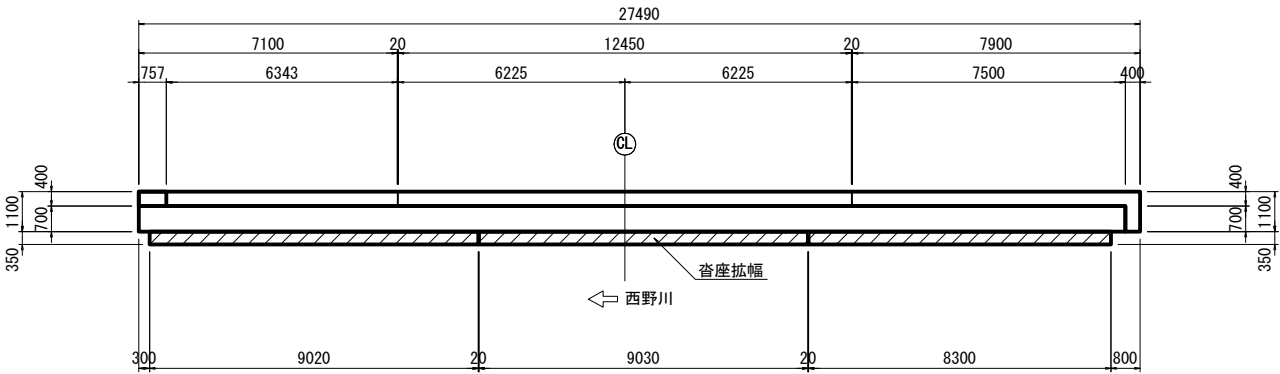


図面番号	34枚の内 8	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強工事(増補)		
種 別	下部工一般図(5)	備考	
路線 河川 名	港町5号線		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

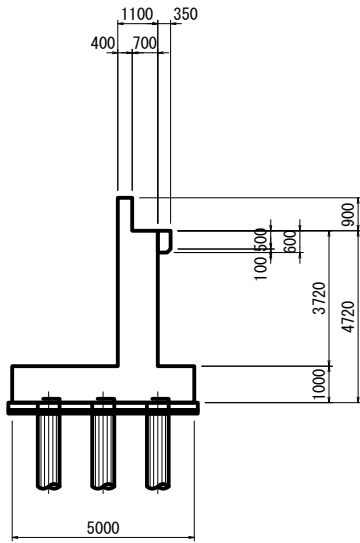
曙橋 下部工一般図(5) S=1:100

A2橋台

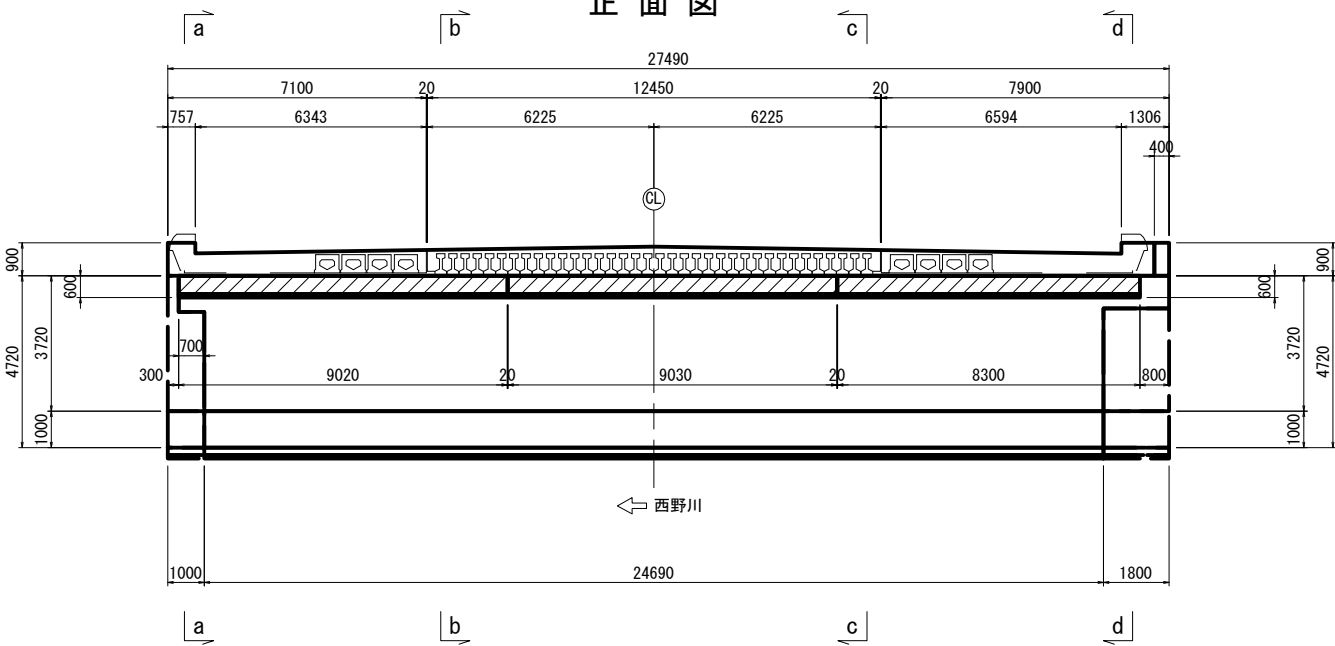
橋座平面図



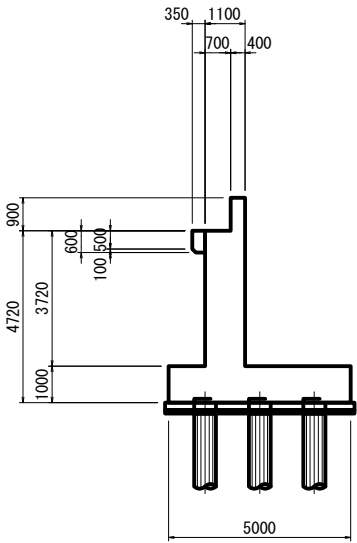
下流側側面図



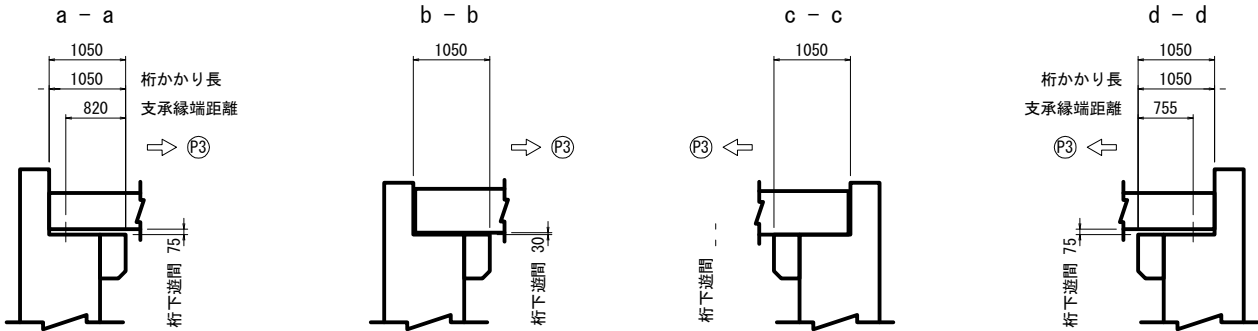
正面図



上流側側面図



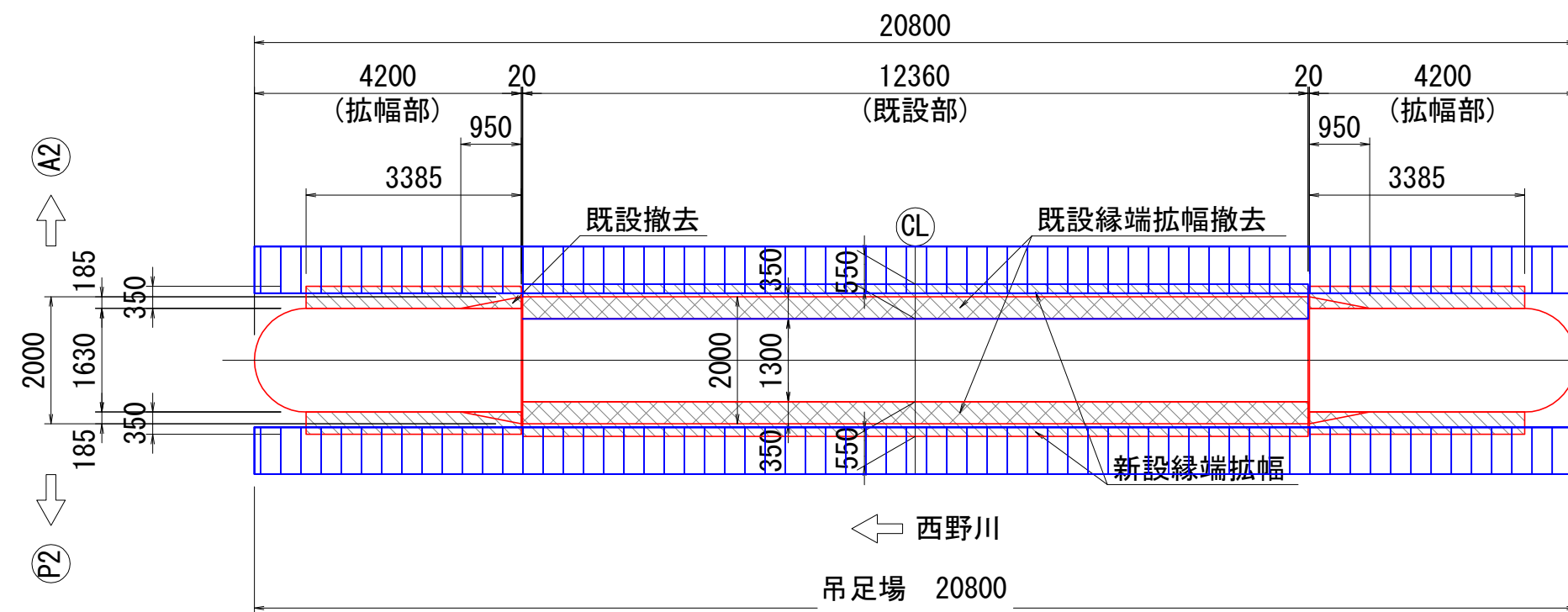
桁かかり長・支承縁端距離・桁遊間 S=1:50



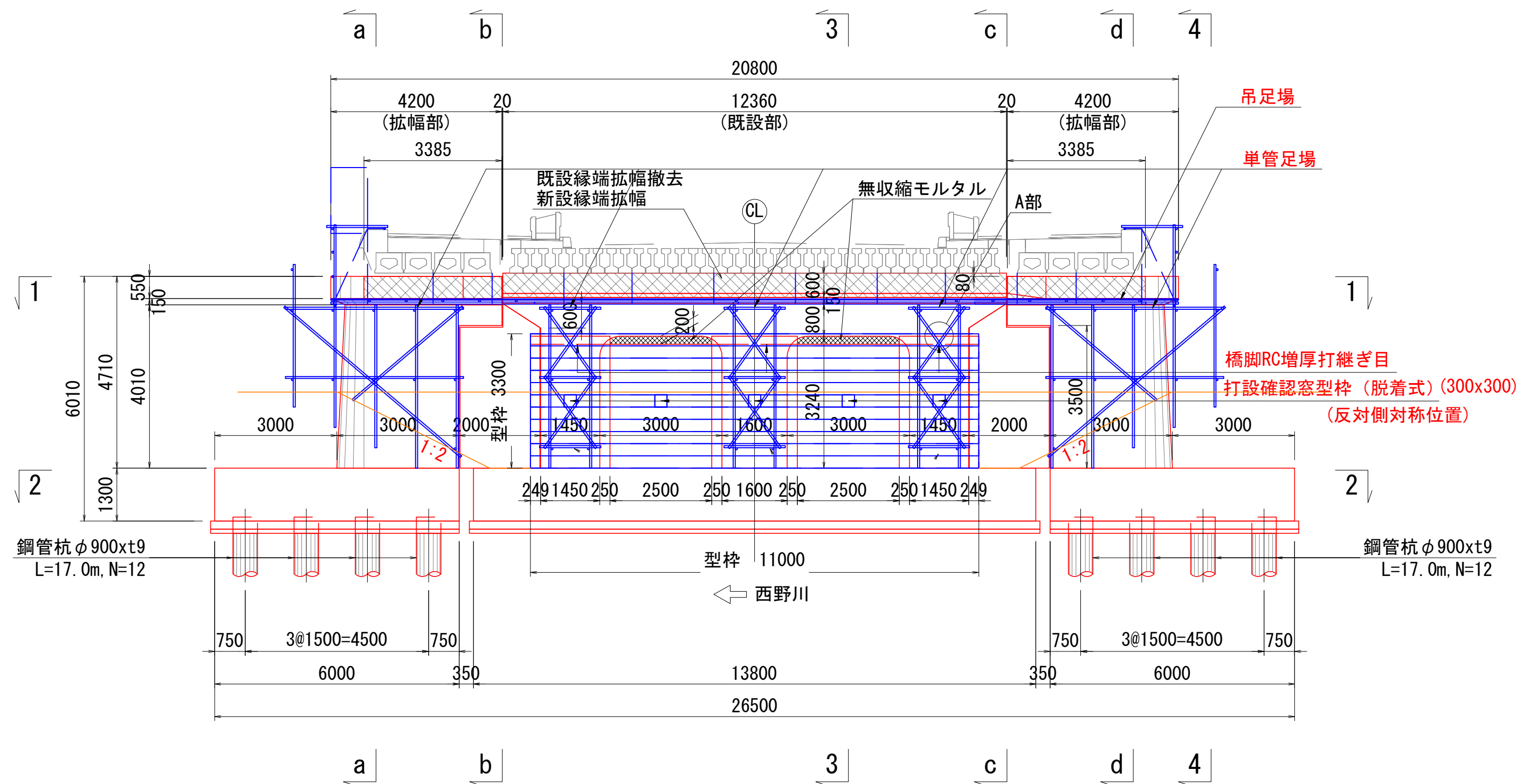
図面番号	31 枚の内 29 縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強設計業務委託(環橋)	
種 別	3カ打設計計画(参考図)	番号
路線 河川 名	三原市役所本庁舎	
工事箇所	三原市港町三丁目	
三 原 市		

曙橋 コンクリート打設計画図(参考図) S=1:100

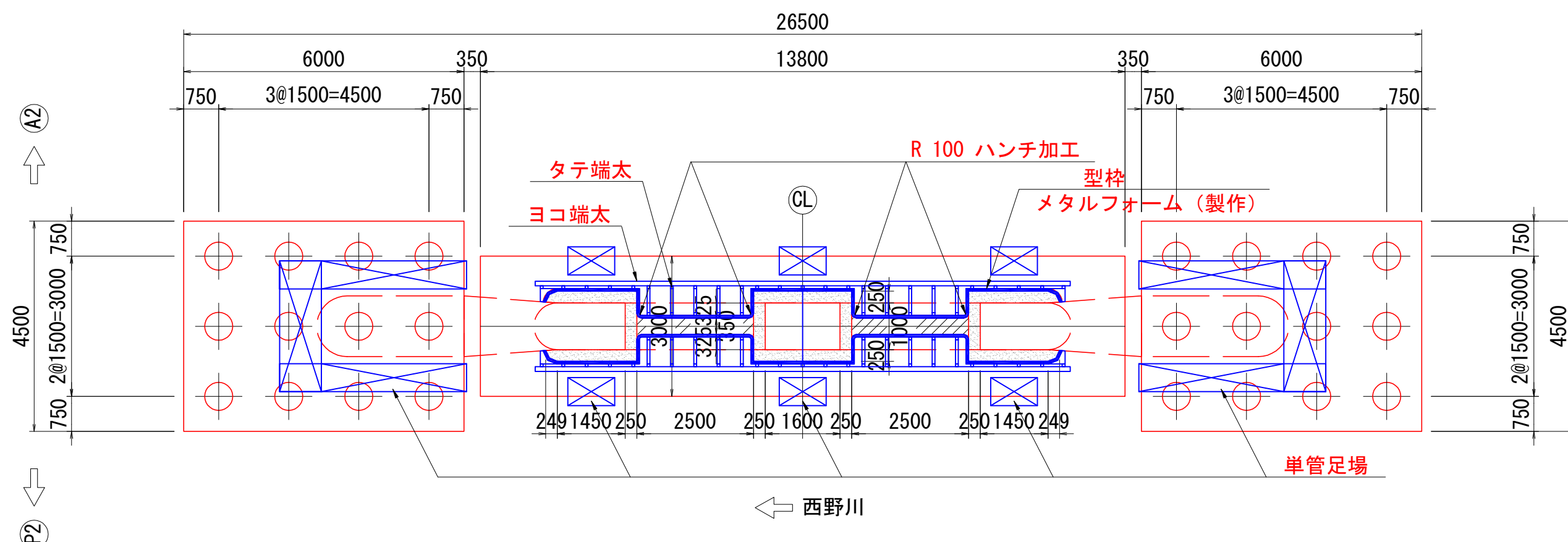
橋座平面図
(1 - 1)



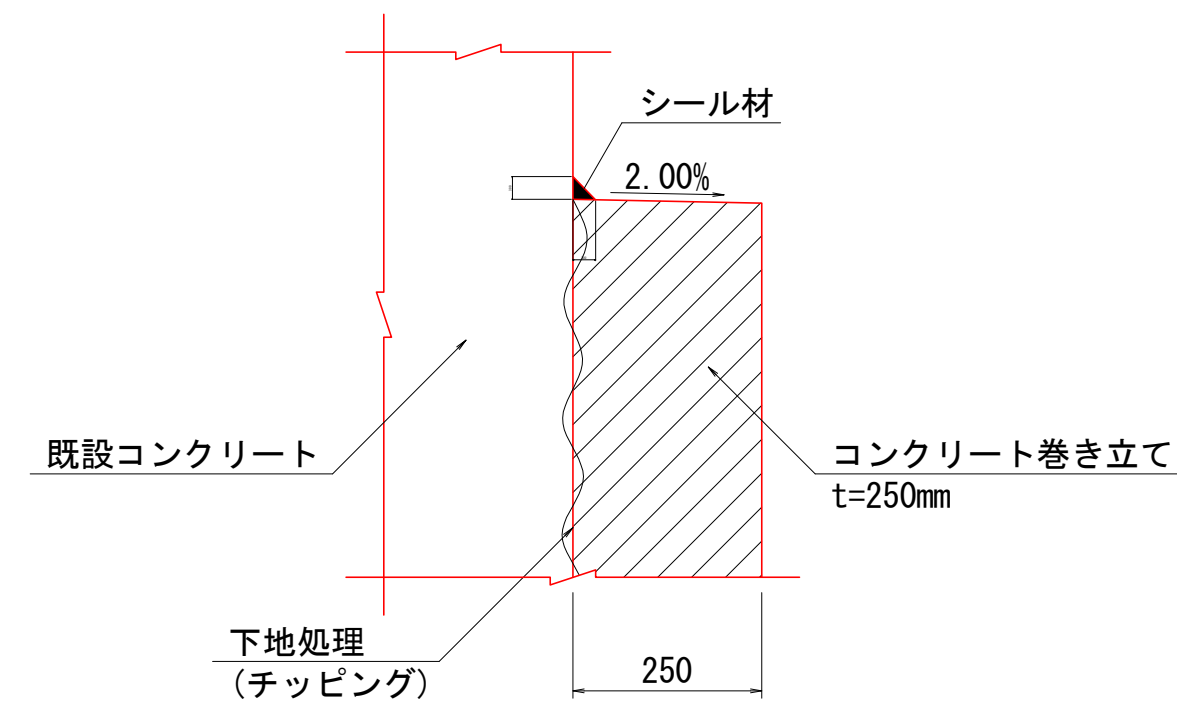
正面図 (起点側)



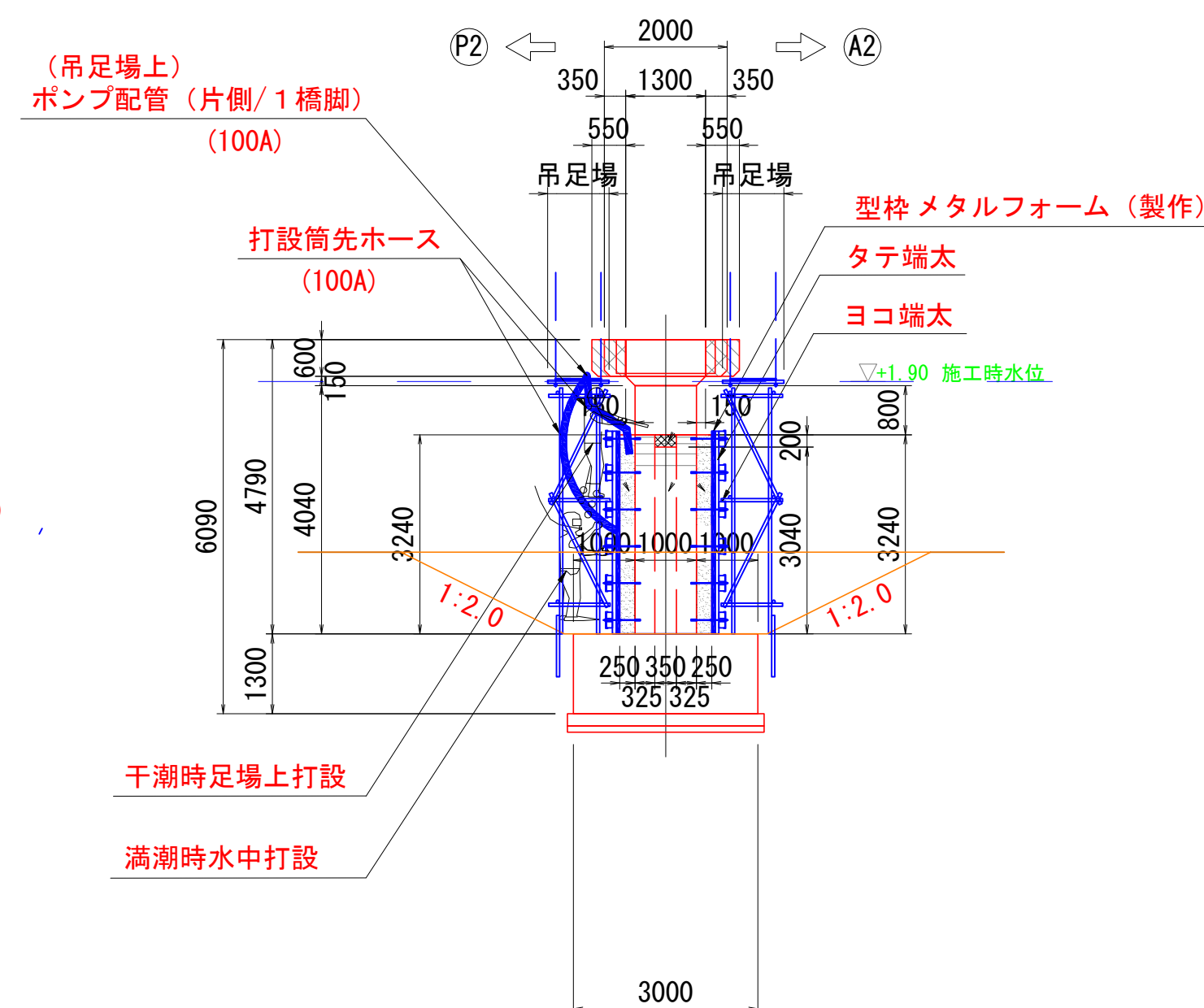
フーティング平面図
(2 - 2)



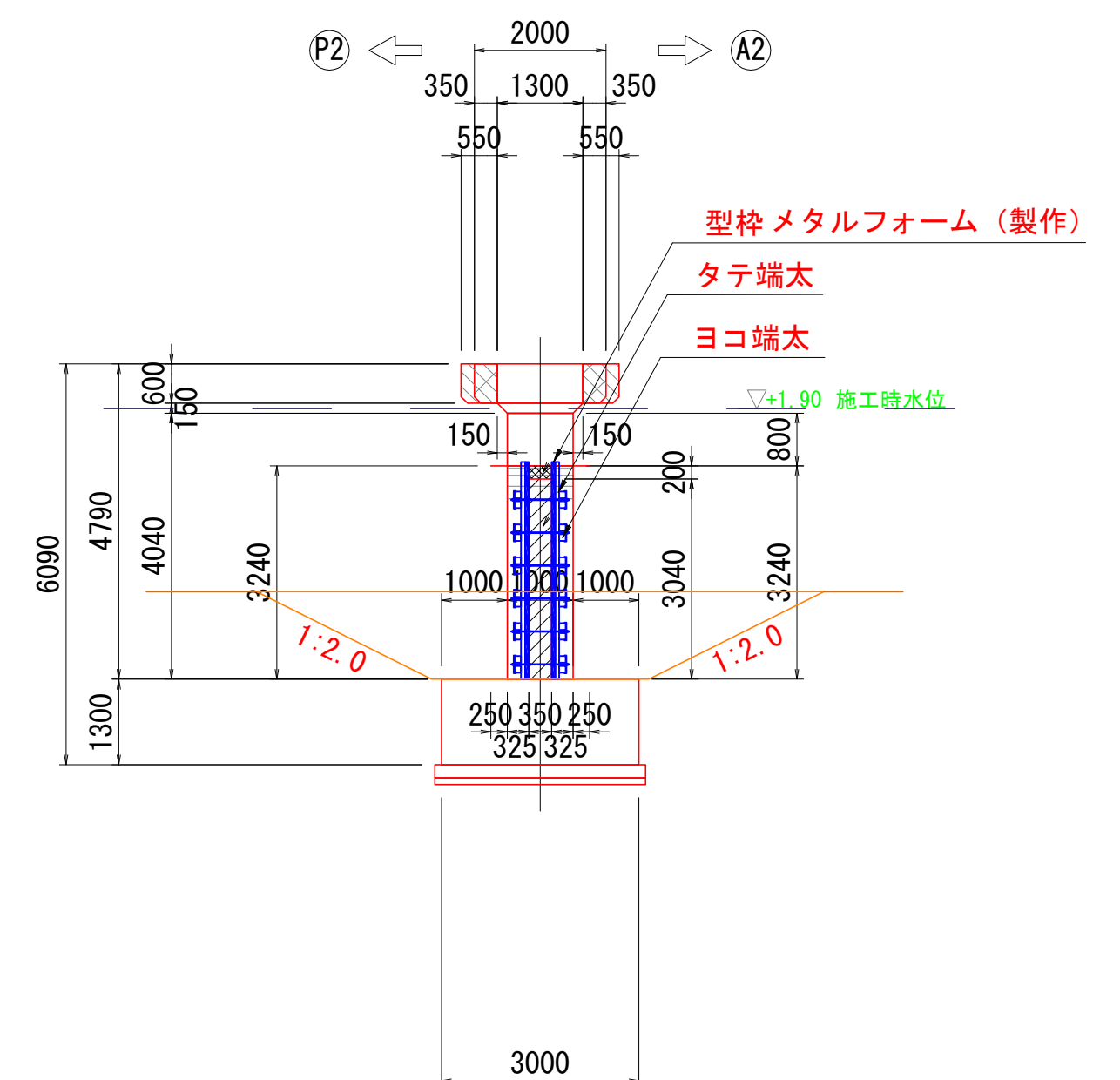
A部詳細図 S=1:10



既設部断面図
(3 - 3)

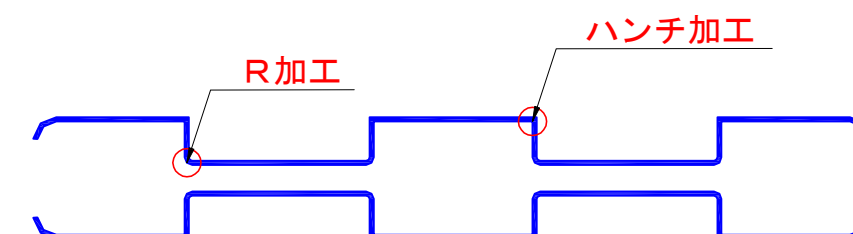


既設部断面図
(2 - 2)



(注)

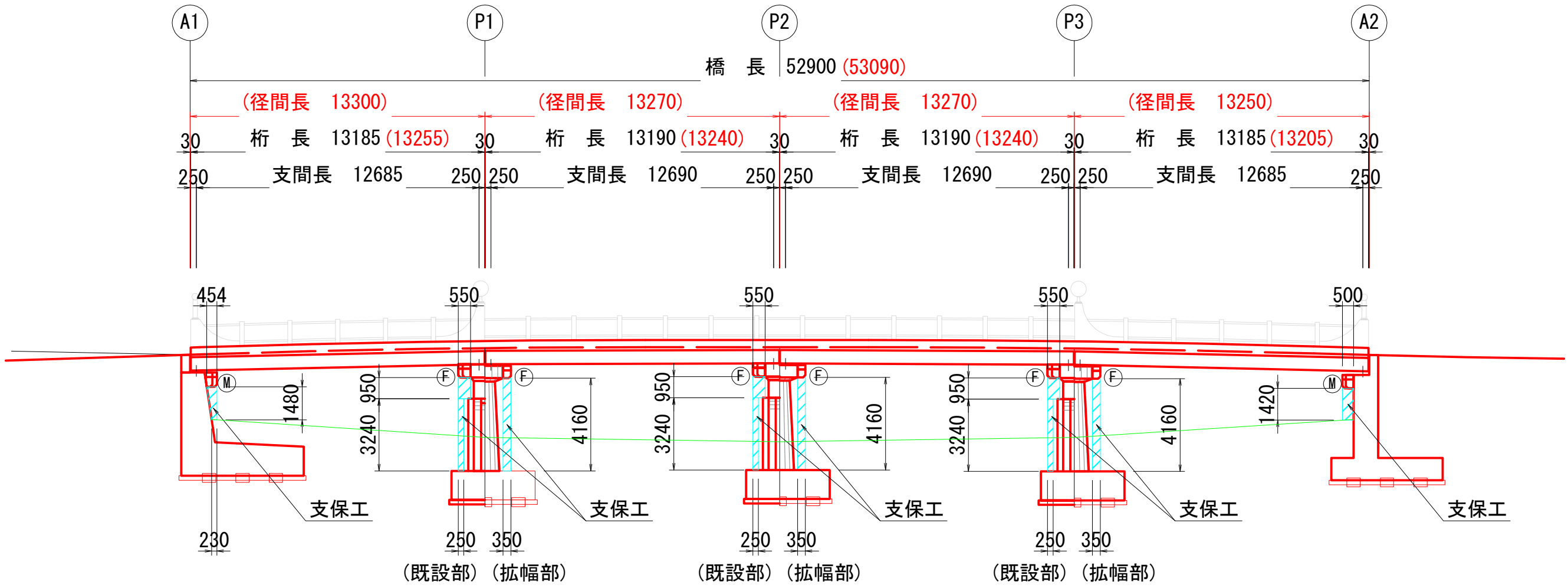
- (1) 柱部と耐震壁は一体施工する。
ただし「柱部補強天端」は「耐震壁天端」で一旦打ち止めして打継ぐ。
また「耐震壁天端モルタル部」は型枠を用いて無収縮モルタルを注入する。
- (2) 型枠はメタルフォームとし、新規製作する。
- (3) 柱部と耐震壁の連続部型枠は脱型時の施工性を考慮してR加工とする。
直角部はハンチ加工とする。
- (4) 型枠寸法および接続部位置は人力での着脱性を考慮して決定する。
- (5) 型枠には打設確認窓（300×300）を設置する。
打設確認窓の目的は下記のものがある。
 - ① 打設状況の確認
 - ② ポンプ配管筒先の挿入口
 - ③ 〈充填性が悪い場合には〉必要に応じて棒状バイブレータの挿入口



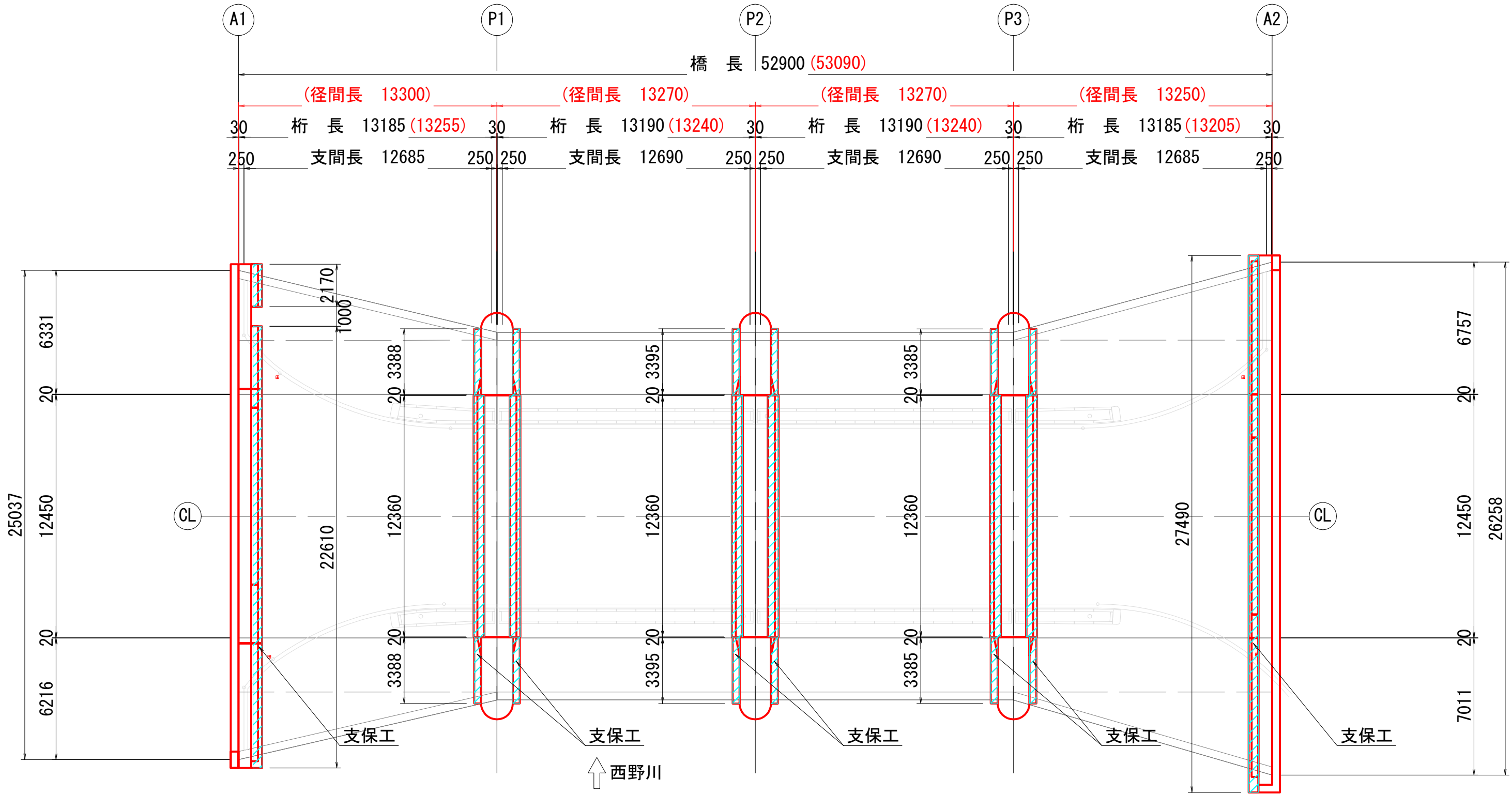
図面番号	31 枚の内 30	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強設計業務委託 (曙橋)		
種 別	支保工図 (参考図)	番号	
路線 河川 名	三原市役所本庁舎		
工事箇所	三原市港町三丁目		
三 原 市			

曙橋 支保工図 (参考図)

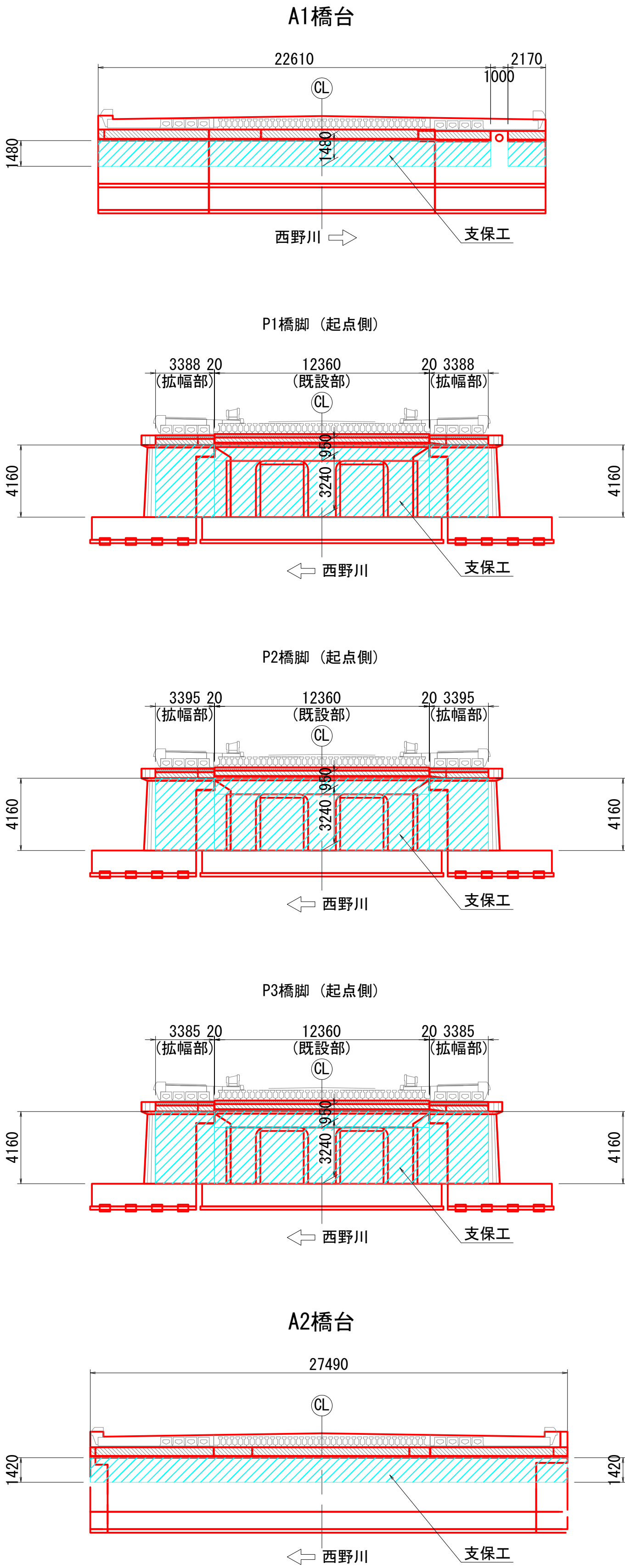
側 面 図 S=1:200



平 面 図 S=1:200



正 面 図 S=1:200

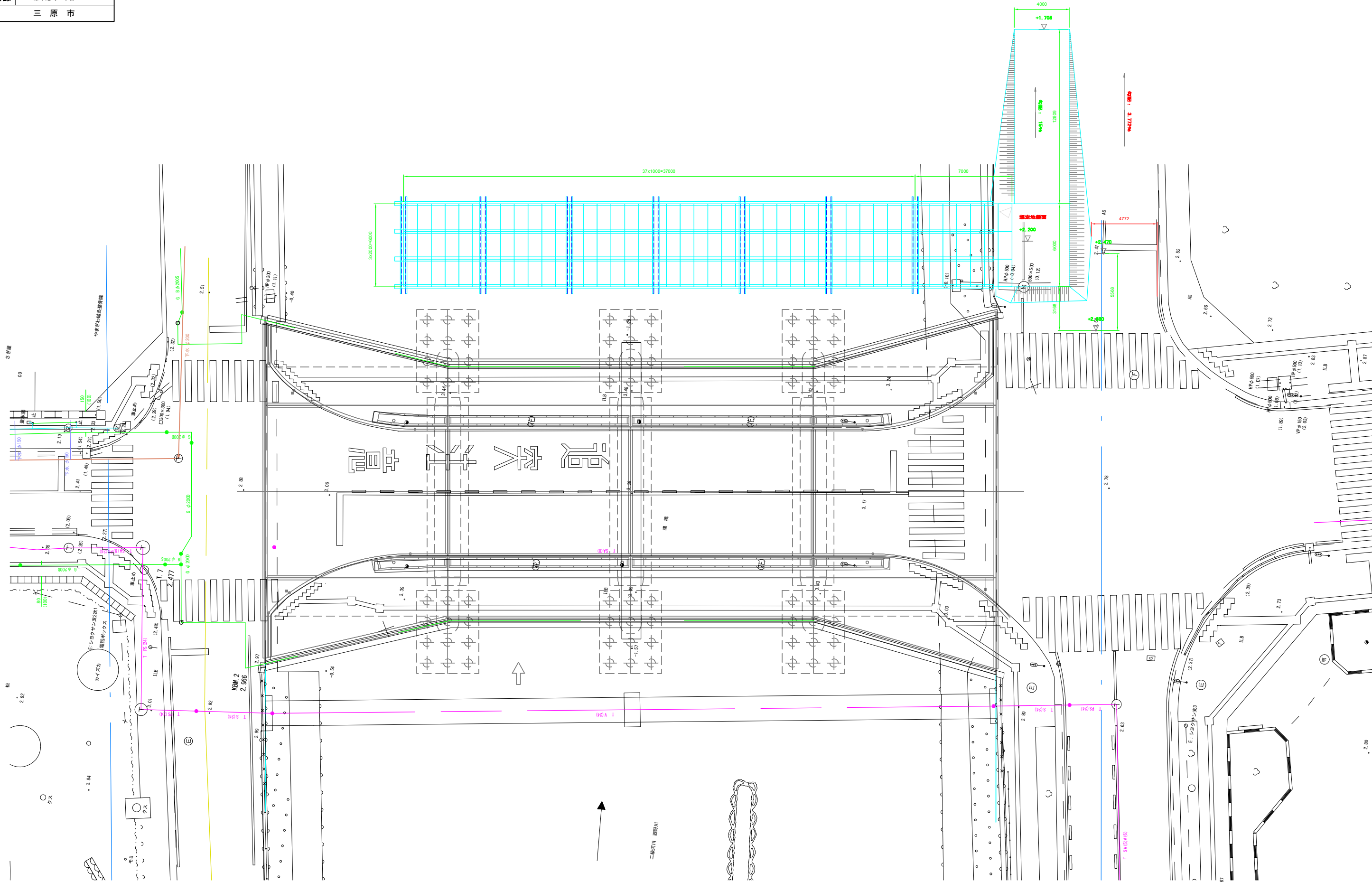


※ (朱書き) の寸法値は、実測値を示す。

図面番号	34 表の内 29	縮尺	図示
工 種	橋梁新設補強設計業務委託(曙橋)		
種 別	曙橋 仮設構台計画一般図		表
番 号	三原市役所本庁舎		
工事箇所	三原市港町三丁目		
	三 原 市		

曙橋 仮設構台計画平面図

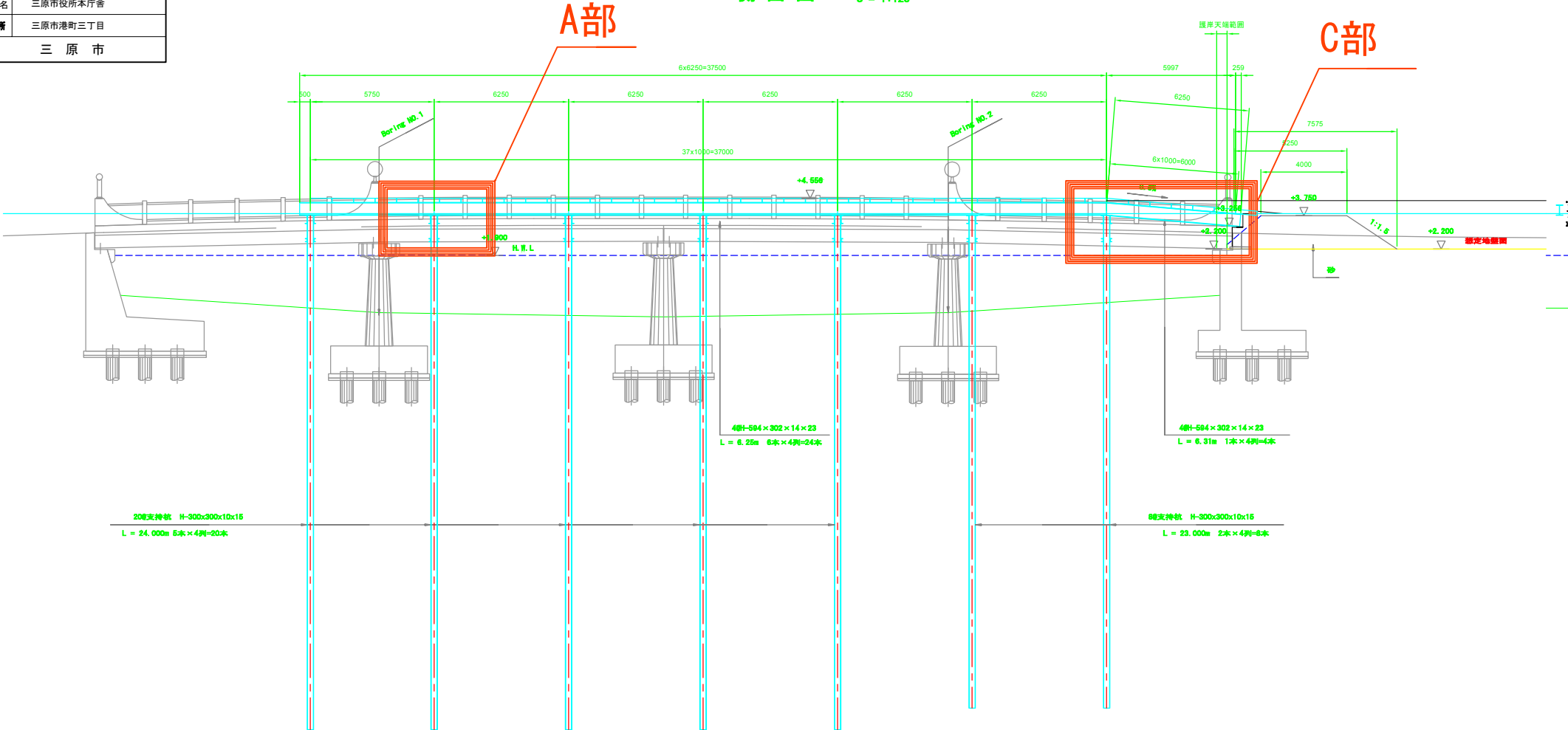
平面図 S = 1:125



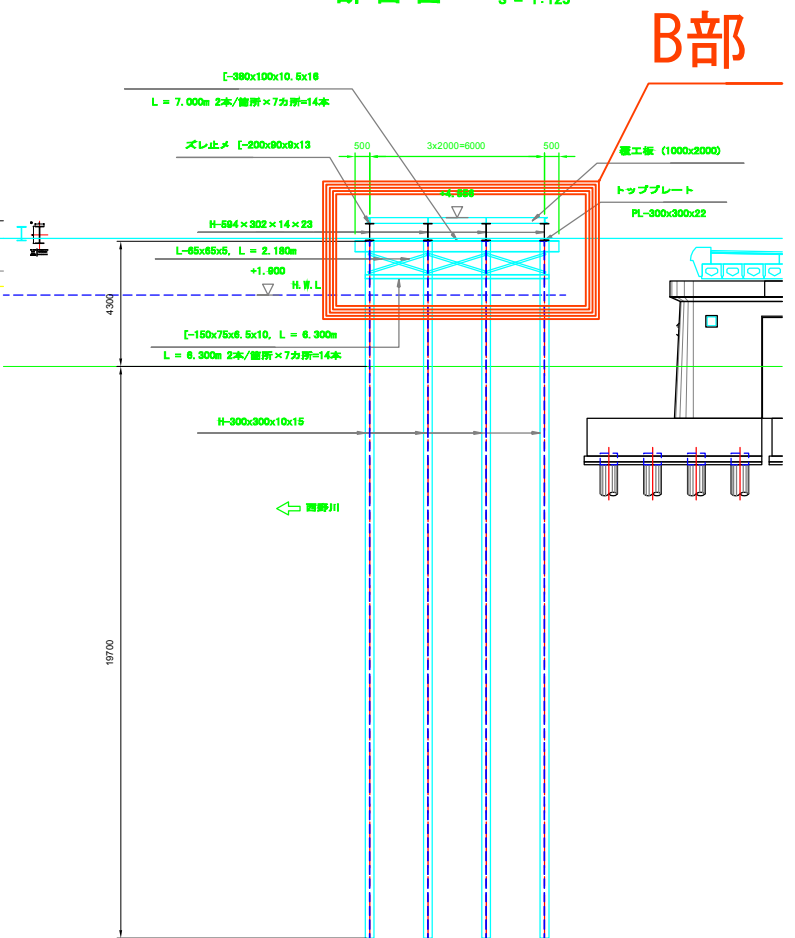
図面番号	34 枚の内 31	縮尺	図示
工 種	橋梁附置補強設計業務委託(曙橋)		
種 別	曙橋 仮設構台計画詳細図	番号	
路線 河川	名 三原市役所本庁舎		
工事箇所	三原市港町三丁目		
三 原 市			

曙橋 仮設構台詳細図

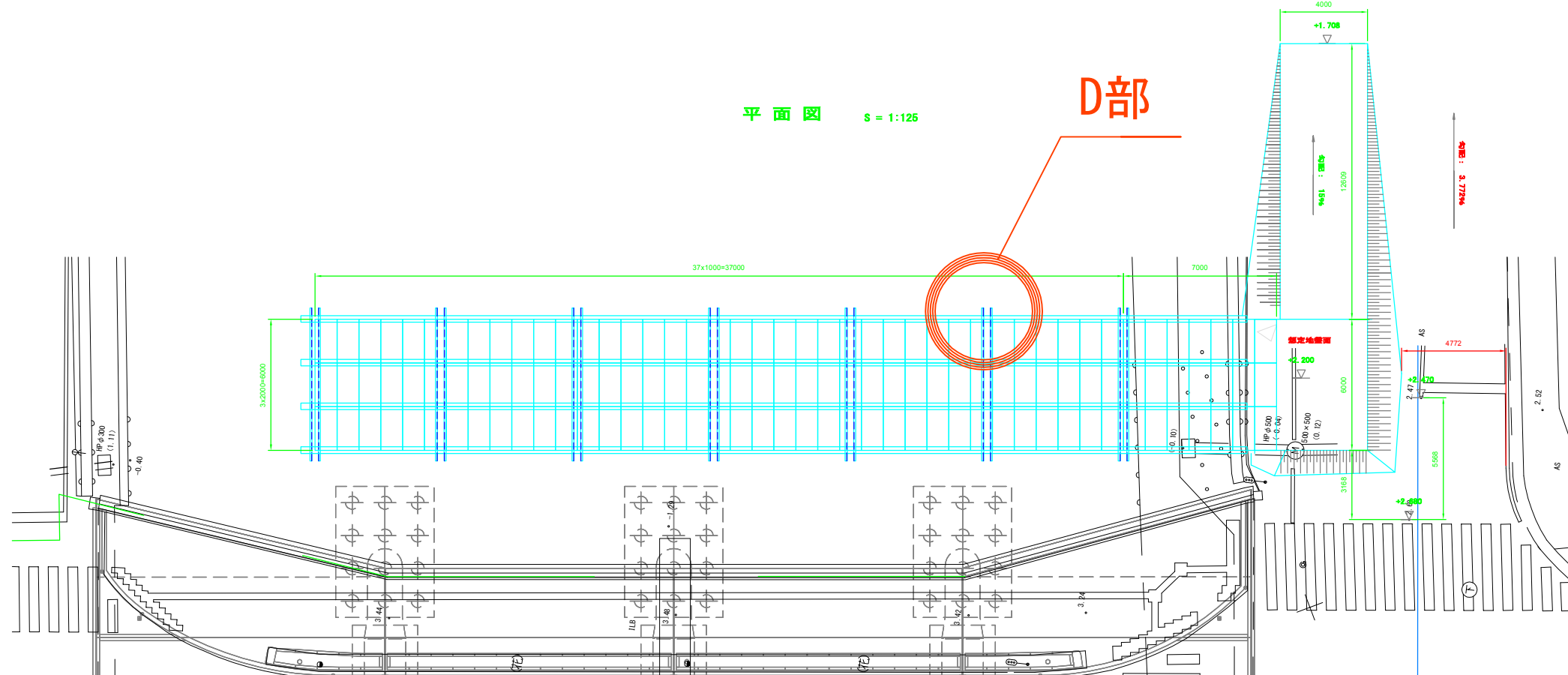
側 面 図 S = 1:125



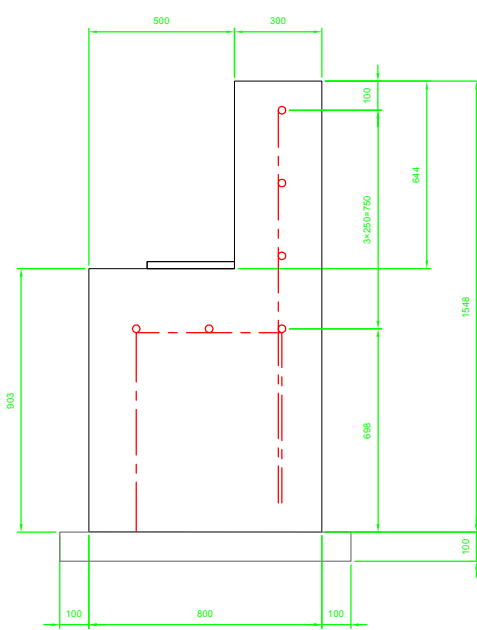
断 面 図 S = 1:125



平 面 図 S = 1:125



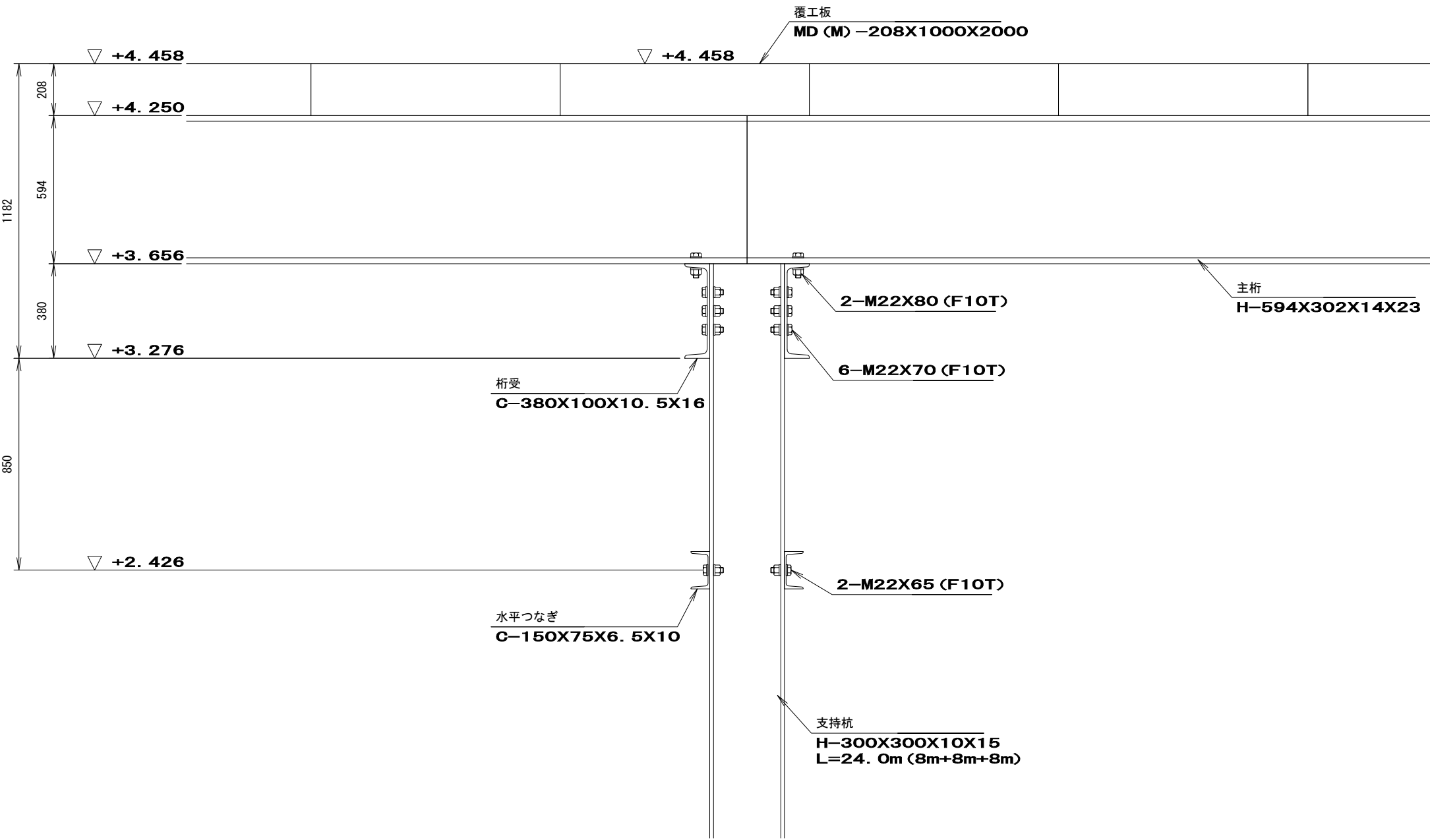
受台側面図



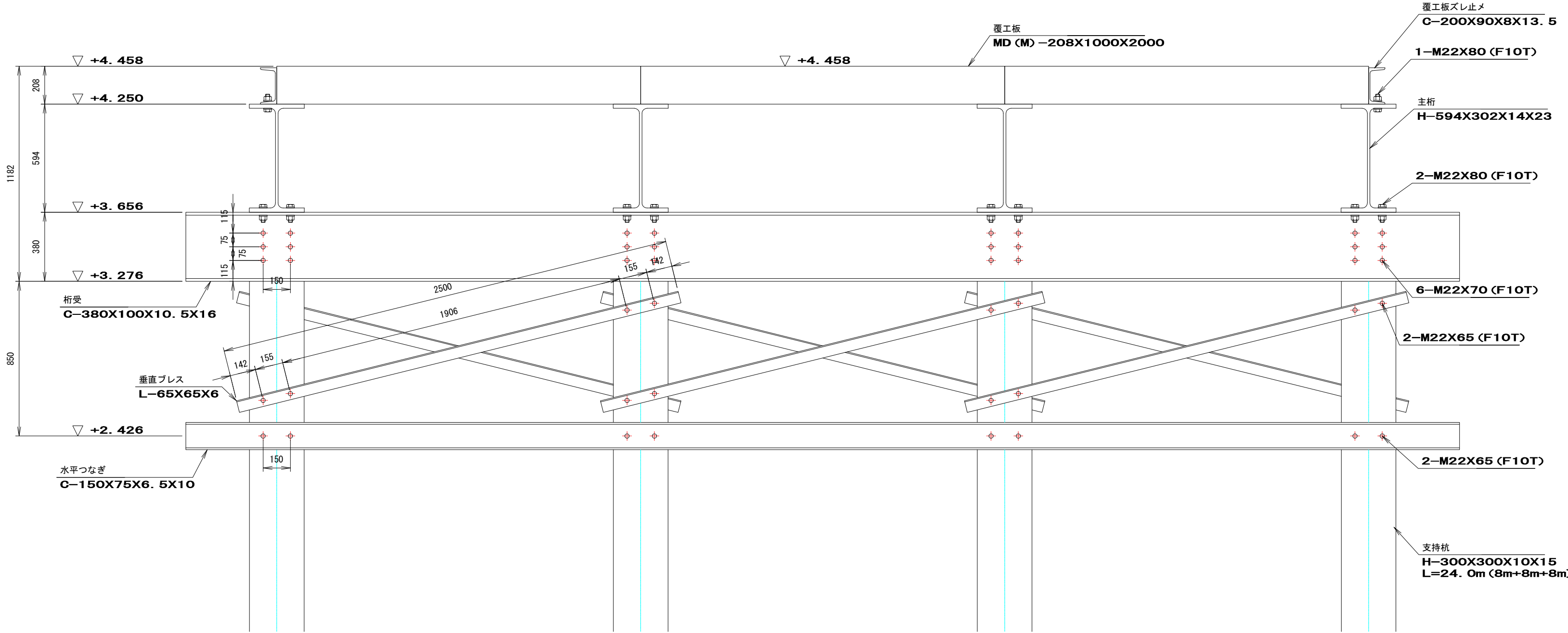
図面番号	2 枚の内 1	縮尺	図示
工 種	橋梁耐震補強設計業務委託 (囃橋)		
種 別	詳細図(その1)	番号	
路線 河川 名	三原市役所本庁舎		
工事箇所	三原市港町三丁目		
三 原 市			

詳細図 (その 1) S=1 : 20

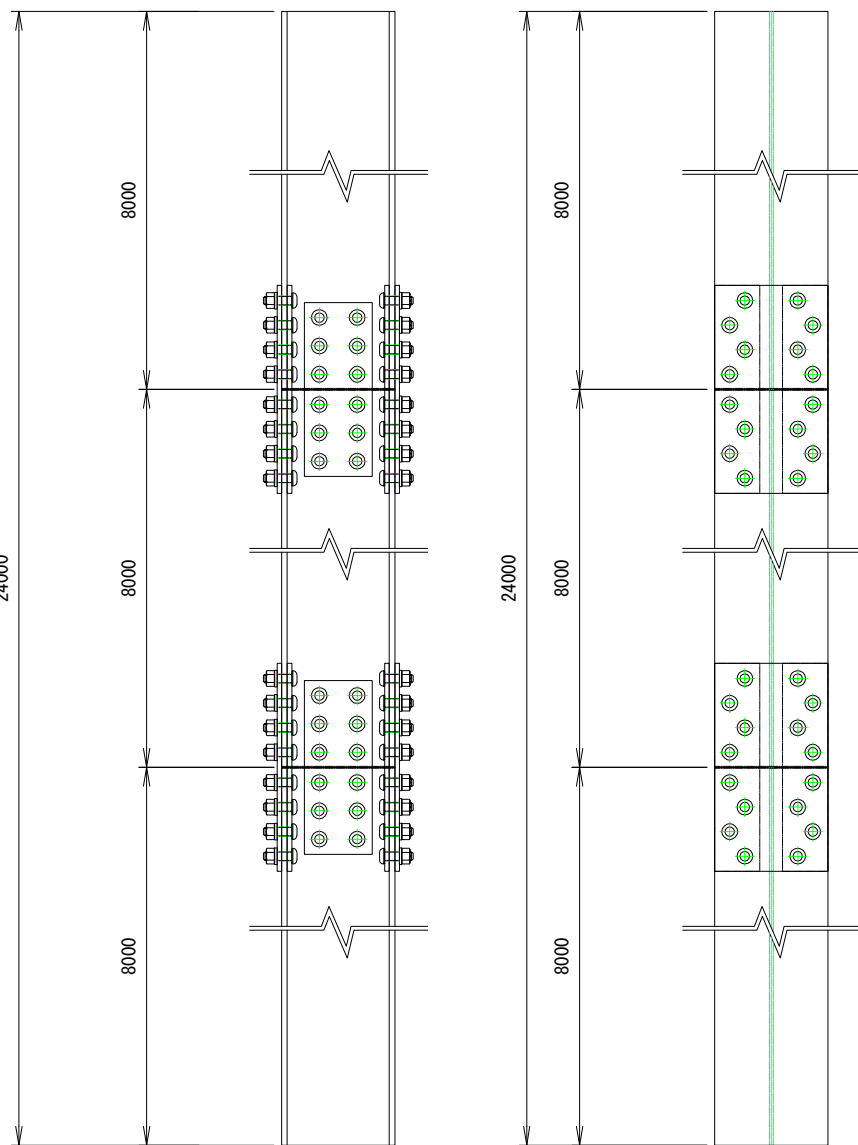
A 部 詳細図 S=1 : 20



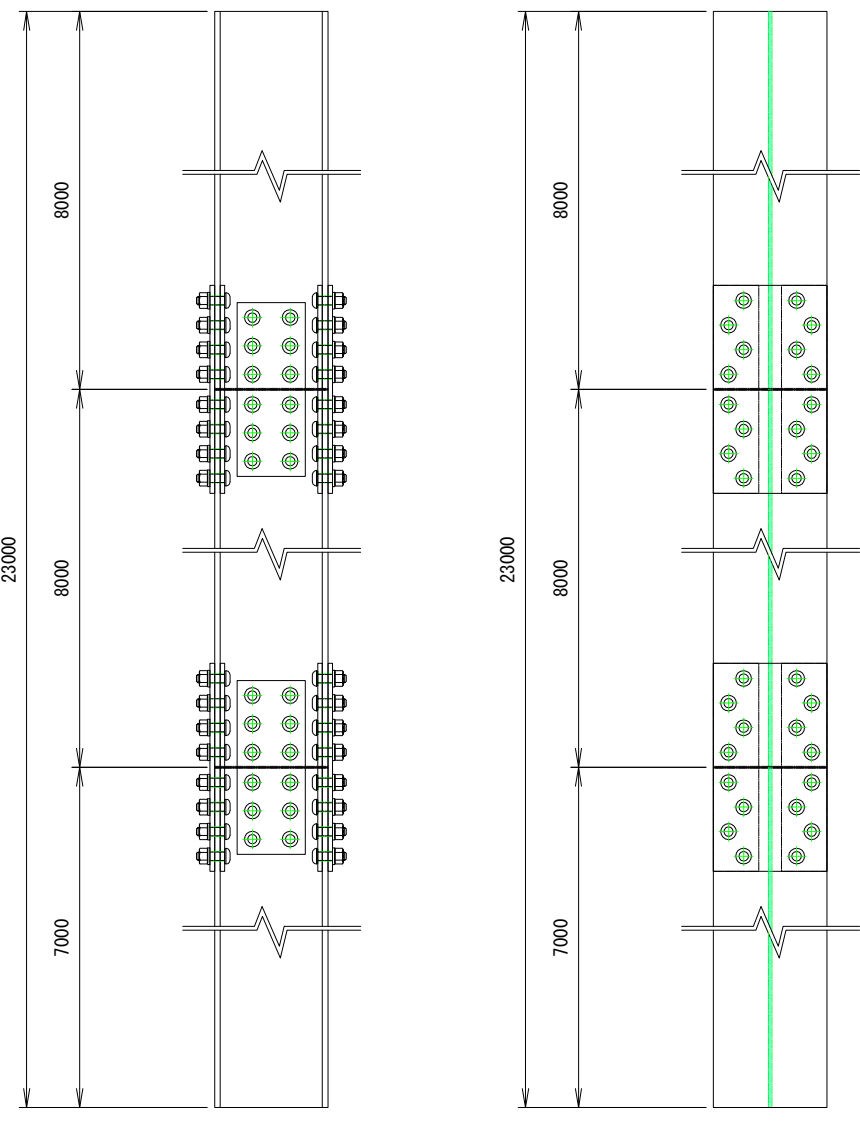
B 部 詳細図 S=1 : 20



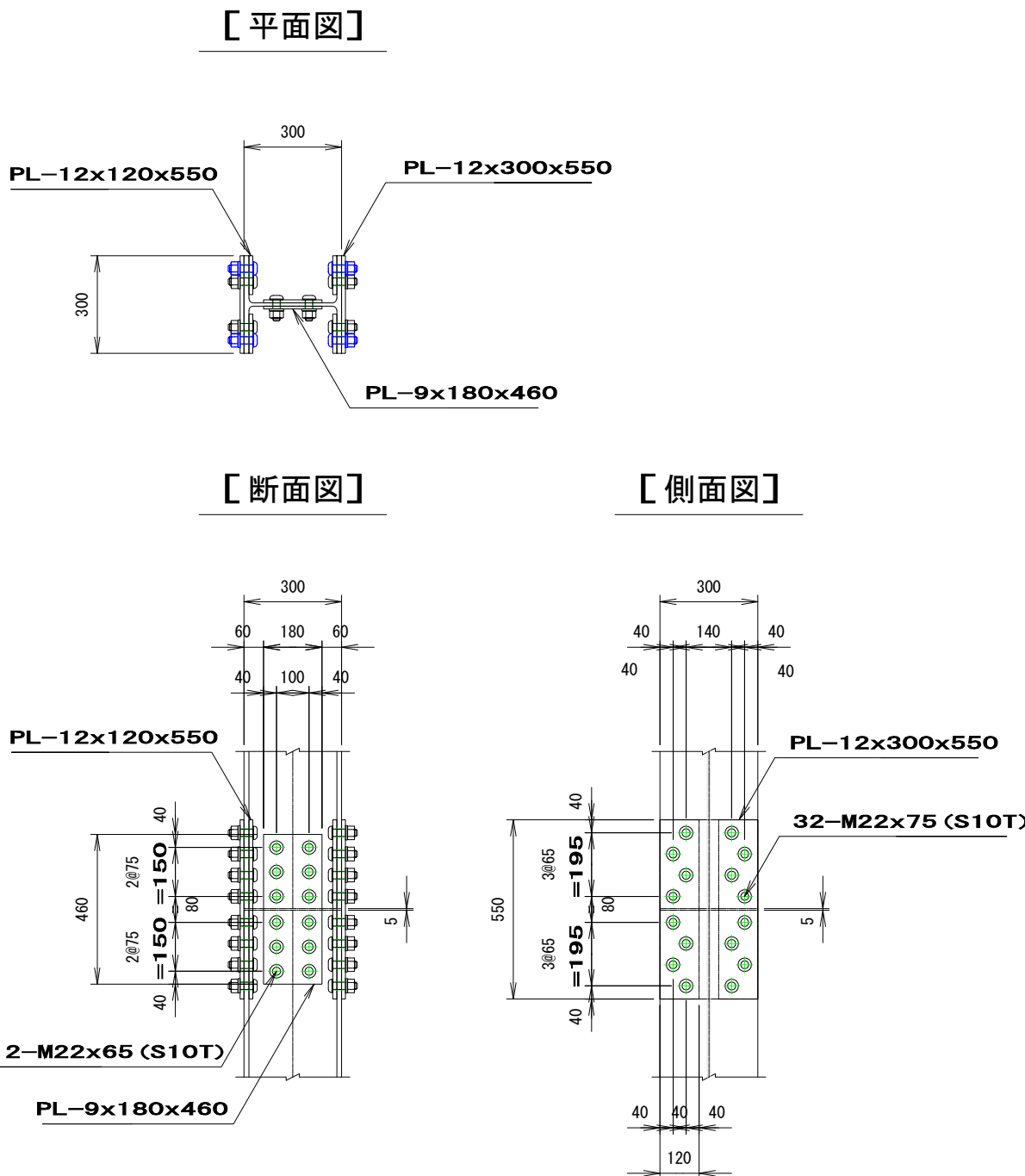
支持杭継手配置図 S=1 : 20
H-300X300X10X15
L=24. 0m



支持杭継手配置図 S=1 : 20
H-300X300X10X15
L=23. 0m

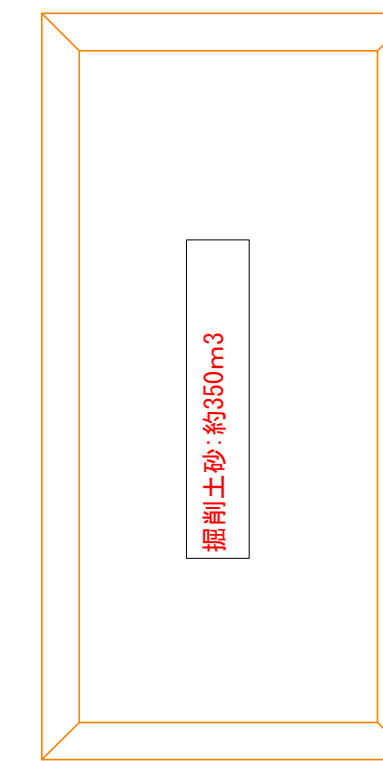


支持杭継手詳細図 S=1 : 20
H-300X300X10X15



S=1:200

側面図

[illegible]

平面图

